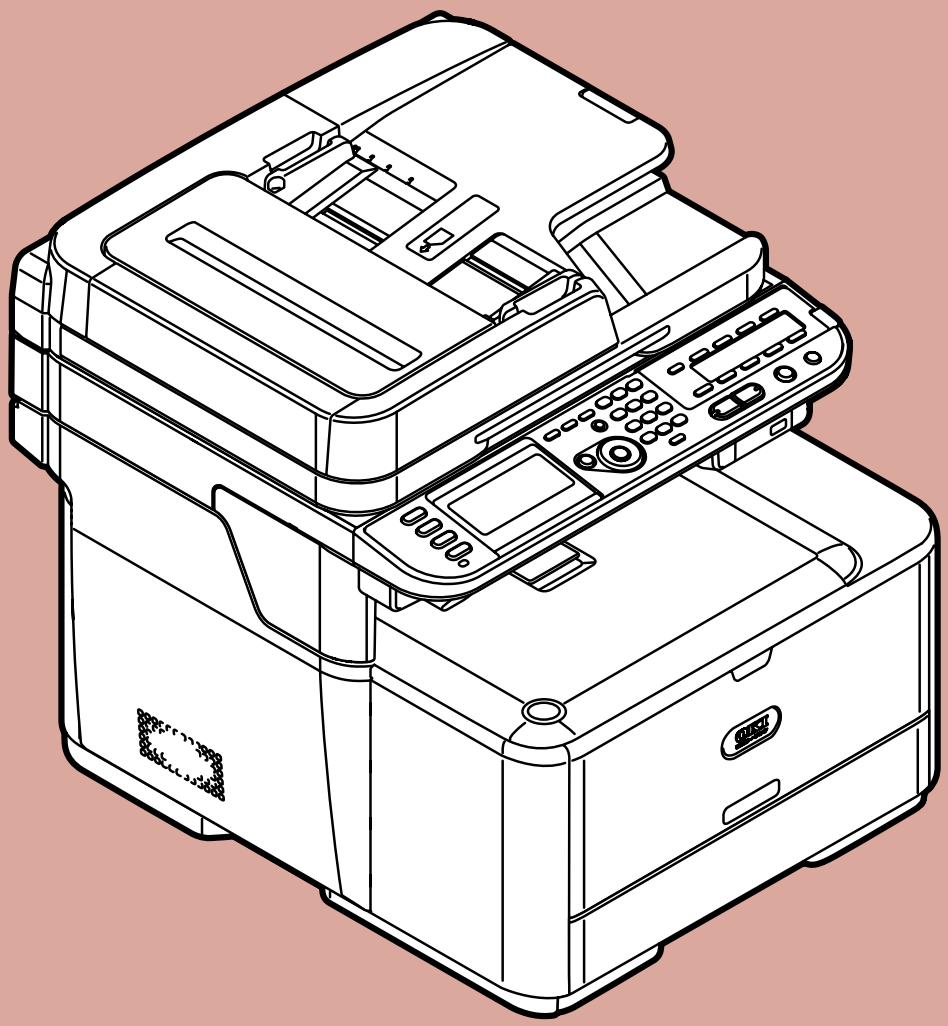
OKI
PRINTING SOLUTIONS



# MC361dn/MC561dn

## ユーザーズマニュアル

## 基本編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

**MC361dn**
**MC561dn**

○ このマニュアルには、製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
ご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○ 本マニュアルを製品のそばに置いて、ご使用ください。

# はじめに

## 本書について

***1*** 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。

***2*** 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

***3*** 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。

***4*** 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## マニュアルの版権について

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行なってはいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

© 2010 Oki Data Corporation

## 商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。

Energy Star は米国環境保護庁の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Active Directory、Excel、Internet Explorer、および Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Apple、Mac、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、Bonjour、ColorSync、EtherTalk、LaserWriter、Rosetta、Safari、および TrueType は、米国 Apple Inc., の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Photoshop、PostScript および Reader は、米国およびその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

SD メモリーカードは、SD Association の登録商標または商標です。SD ロゴは SD-3C、LLC の商標です。

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は、RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

PaperPort は、Nuance Communications, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他記載されている製品名またはブランド名は、各社の登録商標または商標です。

## エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

## 本機に搭載のソフトウェアについて

本機は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

本機は IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

## 紙幣、有価証券などの印刷について

● 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくても犯罪となり罰せられます。

● 以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。

・株券・手形・小切手などの有価証券

・公務員又は役所が作成した証明書などの文書

・契約書等、権利義務や事実証明に関する文書

・役所または公務員の印影、署名、記号

・私人の印影または署名

● 著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。

関係法律

刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、

外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造二関スル法律、著作権法

## 電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

## 高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

## 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## VOC（揮発性有機化合物）の放散

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷及びカラー印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

## ⚠危険

本装置には CR2450 リチウム電池が使用されています。
通常使用において 8 年間の寿命を有します。
電池を廃棄する場合はテープなどで絶縁してください。
他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。
電池は地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

# 使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様が本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

### ■ お客様へのお願い

本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読みください。

お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。

もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却してください。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

***1*** 使用範囲

お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データ MFP を所有する場合に限り、当該 MFP に直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

***2*** 財産権および義務

(1)本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。

(2)第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。

(3)お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。

(4)お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。

(5)お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

***3*** 期間

(1)お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。

(2)お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。

(3)お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

***4*** 保証

(1)沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。

・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。

・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。

・第三者の権利を侵害していないこと。

・特定の目的に適合していること。

(2)本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

***5*** 責任の限定

沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為（過失を含むがこれに限定されない）に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

***6*** 準拠法

本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

***7*** 契約の有効性

本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

***8*** 輸出管理

本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

***9*** 完全な合意

お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

***10*** Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）

All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

# 安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。

## 安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

## 一般的な注意

### ⚠警告

| | | |
|---|---|---|
| 本機内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。 | 本機の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。装置内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。 | カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。<br>火災のおそれがあります。 |
| 水などの液体が装置内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。<br>火災のおそれがあります。 | クリップなどの異物を装置内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。<br>感電、火災、ケガのおそれがあります。 | ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。<br>感電、火災、ケガのおそれがあります。 |
| 装置を落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。<br>感電、火災、ケガのおそれがあります。 | 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。<br>電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にほこりが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。 | こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。<br>トナーを床などにこぼしてしまった場合は、トナーを飛び散らさないよう、ぬれた雑巾などで静かに拭き取ってください。 |
| 通気口に物を差し込まないでください。<br>感電、火災、ケガのおそれがあります。 | 水の入ったコップなどを装置の上に載せないでください。感電、火災のおそれがあります。 | 装置のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。 |
| トナーカートリッジ、イメージドラムユニットを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。 | 電源コード、ケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。<br>火災のおそれがあります。 | UPS（無停電電源）およびインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバータは使用しないでください。<br>火災のおそれがあります。 |

### ⚠注意

| | |
|---|---|
| 電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。 | 壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。<br>液晶ディスプレイから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。<br>必要に応じて医師の診断を受けてください。 |

# 目次

はじめに . . . . . 2
使用許諾契約 . . . . . 4
安全にお使いいただくために . . . . . 6
マニュアルの構成 . . . . . 12
このマニュアルについて . . . . . 12

1 セットアップする . . . . . 14

本機の概要 . . . . . 14
パッケージの内容 . . . . . 14
オプション . . . . . 15
設置条件 . . . . . 15
各部の名称 . . . . . 16
設置のしかた . . . . . 18
開梱する . . . . . 18
電源を入れる / 切る . . . . . 20
オプションを取り付ける . . . . . 23
セカンドトレイユニットを取り付ける . . . . . 23
増設メモリを取り付ける . . . . . 25
16 GB SD メモリーカードを取り付ける（MC561dn のみ） . . . . . 26
操作パネル . . . . . 28
デフォルトモード . . . . . 29
操作パネルを使用して文字を入力する . . . . . 29
コンピュータに接続する . . . . . 32
ネットワーク接続 . . . . . 33
USB 接続 . . . . . 42
ネットワーク設定を行う . . . . . 47
共通セットアップ情報の確認 . . . . . 48
スキャン To メール・インターネットファクスのセットアップ . . . . . 48
スキャン To ネットワーク PC のセットアップ . . . . . 50
プロファイルの管理 . . . . . 59
ファクス送信のための基本設定 . . . . . 61
電話線ケーブルの接続 . . . . . 61
現在の日付・時刻を設定する . . . . . 63
送信者情報を設定する . . . . . 63
ダイヤル種別の設定 . . . . . 64
用紙・原稿のセットのしかた . . . . . 65
用紙 . . . . . 65

使用できる用紙の種類 . . . 65
推奨紙 . . . 66
使用できない用紙 . . . 67
用紙の保管 . . . 67
用紙のセットのしかた . . . 68
用紙の排出 . . . 72
原稿 . . . 73
原稿の条件 . . . 73
コピー時の読み取り可能領域 . . . 73
原稿のセットのしかた . . . 74
メニューマップを印刷する . . . 75
印刷手順 . . . 75
2 コピー機として使うとき . . . 76
基本操作 . . . 76
コピーを始める . . . 76
コピーを中止する . . . 76
コピー設定を変更する . . . 77
読み取りサイズを変更する（読取サイズ） . . . 77
用紙トレイを変更する（給紙トレイ） . . . 77
原稿の向きを変更する（原稿の画像向き） . . . 78
拡大 / 縮小コピーをする（拡大 / 縮小） . . . 78
継続読取モードを有効にする（継続読取） . . . 79
両面コピーをする（両面） . . . 79
コピー濃度を調整する（濃度） . . . 80
原稿の種類を変更する（ドキュメントタイプ） . . . 80
背景除去を調整する（背景除去） . . . 81
読取解像度を変える（読取解像度（カラー）） . . . 81
設定をリセットする . . . 81
3 ファクス・インターネットファクスとして使うとき . . . 82
ファクス機能の基本操作 . . . 82
ファクスを送信する . . . 82
宛先を指定する . . . 83
指定した宛先を削除する . . . 84
応用設定を変更する . . . 85
読み取りサイズを変更する（読取サイズ） . . . 85
解像度を変更する（解像度） . . . 85
濃度を調整する（濃度） . . . 85
発信元名を印刷する . . . 85
ファクス送信を確認 / 中止する . . . 86
ファクス送信を中止する . . . 86
送信予約を取り消す . . . 86

送信 / 受信履歴を確認する . . . 86

ファクス受信時の動作について . . . 87
受信モードを指定する . . . 87
受信動作 . . . 87
受信したファクスを印刷する . . . 88

電話帳 . . . 90
短縮ダイヤル . . . 90
登録 / 編集する . . . 90
履歴から登録する . . . 90
削除する . . . 91
グループダイヤル（グループ番号） . . . 91
登録 / 編集する . . . 91
削除する . . . 91
ワンタッチキーを使用する . . . 92

インターネットファクス機能の基本操作 . . . 93
インターネットファクスを送信する . . . 93
宛先を指定する . . . 94
宛先を確認、削除、変更する . . . 95
送信を中止する . . . 96
インターネットファクスを受信する . . . 96

4 スキャナとして使うとき . . . 97

スキャナドライバ（TWAIN/WIA ドライバ）をインストールする . . . 97
インストール手順 . . . 97
Windows の場合 . . . 97
Mac OS X の場合 . . . 98

スキャンする . . . 100
スキャン To メール . . . 100
スキャン To USB メモリ . . . 102
スキャン To ネットワーク PC . . . 102
スキャン To ローカル PC . . . 103
スキャン To リモート PC . . . 104
スキャンを中止する . . . 106

アドレスブックを登録する . . . 107
アドレスブック . . . 107
グループリスト . . . 108

ネットワーク接続 PC を登録する . . . 109

5 プリンタとして使うとき . . . 110

コンピュータから印刷する . . . 110
印刷する . . . 110
印刷を中止する . . . 112

USB メモリから印刷する . . . . . 113
印刷する . . . . . 113
印刷設定をする . . . . . 114
印刷を中止する . . . . . 115

6 ユーザ認証・アクセス制御 . . . . . 116

ユーザ認証・アクセス制御について . . . . . 116

PIN による認証 . . . . . 117
PIN を登録する . . . . . 117
アクセス制御を有効にする . . . . . 117
PIN 認証が有効にされているときの操作 . . . . . 117

ユーザ名・パスワードによる認証 . . . . . 120
ユーザ名・パスワードを登録する . . . . . 120
アクセス制御を有効にする . . . . . 120
ユーザ名・パスワードによる認証が有効にされているときの操作 . . . . . 120

7 トラブルシューティング . . . . . 123

紙づまり . . . . . 123
エラーメッセージを確認する . . . . . 123
紙づまりを処理する . . . . . 123

エラーメッセージ . . . . . 130
表示画面に表示されるエラーメッセージ . . . . . 130
＜ステータス＞キーで本機の状態を確認する . . . . . 142

そのほかのトラブル . . . . . 143
コンピュータから印刷できないとき . . . . . 143
プリンタドライバのインストールがうまくいかないとき . . . . . 145
各 OS に関する制限事項 . . . . . 146
コピーに関するトラブル . . . . . 150
ファクスに関するトラブル . . . . . 152
スキャンに関するトラブル . . . . . 154
印刷が不鮮明なとき . . . . . 154
原稿送り・用紙送りがおかしいとき . . . . . 157
本機のトラブル . . . . . 159
停電のとき . . . . . 161

8 メンテナンス . . . . . 162

消耗品を交換する . . . . . 162
トナーカートリッジを交換する . . . . . 163
イメージドラムユニットを交換する . . . . . 165
ベルトユニットを交換する . . . . . 168

定着器ユニットを交換する . . . . . 169
給紙ローラを交換する . . . . . 171

本機のお手入れ . . . . . 176
本機の表面を清掃する . . . . . 176
原稿ガラスを清掃する . . . . . 176
自動原稿送り装置（ADF）の原稿搬送ローラを清掃する . . . . . 176
給紙ローラを清掃する . . . . . 177
LED ヘッドを清掃する . . . . . 178

本機を移動・輸送する . . . . . 179

9 付録 . . . . . 181

仕様 . . . . . 181

消耗品・オプションの構成部品について . . . . . 186

ユーザサポートサービスについて . . . . . 187

Windows の基本手順 . . . . . 191

索引 . . . . . 192

# マニュアルの構成

本製品には以下のマニュアルが付属しています。

- ユーザーズマニュアル　基本編…本書　（印刷マニュアル）
  本機をよく理解していただくために、基本的な操作を説明しています。本機の設置方法やネットワークの初期設定方法など、初期セットアップの説明、トラブル対処方法やメンテナンスの手引も記載されています。
- ユーザーズマニュアル CD-ROM
  各機能の高度な操作について説明しています。ユーティリティとネットワークの応用設定の情報も含まれています。
- クイックガイド
  本機の基本的な使用方法の簡単な説明や、紙づまりの対処方法が記載されています。専用袋に入れ、本機に貼り付けてご使用ください。

# このマニュアルについて

## 本書のマーク

本書では、以下のマークを使用しています。

注

- 操作に関する重要な情報を示します。必ずお読みください。

メモ

- 操作に関する追加情報を示します。お読みになることをおすすめします。

参照

- 参照ページを示します。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

**⚠警告**

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

**⚠注意**

- この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

## 本書の記号

本書では、以下の記号を使用しています。

| 記号 | 説明 |
|---|---|
| [　] | ●表示画面のメニュー名を示します。<br>●コンピュータのメニュー、ウィンドウ、およびダイアログ名を示します。 |
| 「　」 | ●表示画面のメッセージおよび入力テキストを示します。<br>●コンピュータ上でのファイル名を示します。<br>●参照先のタイトルを示します。 |
| <　>キー | 操作パネルのキーまたはコンピュータのキーボードのキーを示します。 |
| > | 本機またはコンピュータのメニュー階層を示します。 |

## 本書の表記

本書では、以下の表記をしている場合があります。

- PostScript3 エミュレーション → PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION
- Microsoft® Windows® 7 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows 7 (64bit 版)
- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008(64bit 版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP (x64 版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003 (x64 版) ※
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版 → Windows 7 ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称 → Windows

※ 特に記載がない場合は、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。(Windows Server 2008 には、64bit 版、および Windows Server 2008 R2 も含みます。)

本書では、特に記載のない限り、Windows の場合は Windows 7、Mac OS X の場合は Mac OS X 10.6、本機は MC561dn を例にしています。

お使いの OS やモデルによって、本書の記載と異なることがあります。

# 1. セットアップする

この章では、本機の基本操作と、各機能を使用する前に行うセットアップについて説明します。

## 本機の概要

この節では、本機の概要を説明します。

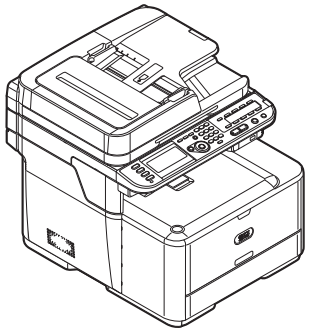
### パッケージの内容

以下のものがすべてそろっていることを確認してください。

| ⚠注意 | ケガをするおそれがあります。 | ⚠ |
|---|---|---|
| ● 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。 | | |

参照
● 開梱方法については、「開梱する」（P. 18）を参照してください。

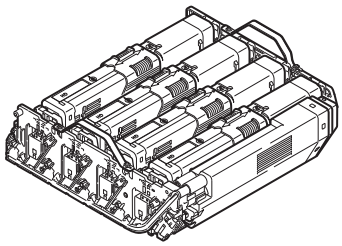
● 本機



● イメージドラムユニット

● スタータトナーカートリッジ

本機には、4 つのトナーカートリッジ（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）が同梱されています。



注
● スタータトナーカートリッジは、イメージドラムユニット内に取り付けられています。イメージドラムユニットは、出荷時に本機内に取り付けられています。

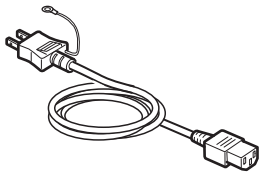
● ユーザーズマニュアル　基本編（本書）

● ソフトウェア CD-ROM

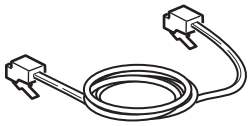
● ユーザーズマニュアル CD-ROM

● アプリケーション CD-ROM

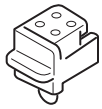
● 電源コード



● 電話線ケーブル



● TEL コネクタカバー



● クイックガイド

● クイックガイド専用袋

注
● イーサネットケーブルおよび USB ケーブルは本機に同梱されていません。別途用意してください。
● 梱包箱や緩衝材は本機を輸送するときに必要です。捨てずに保管しておいてください。

## オプション

本機には、以下のオプションが提供されています。

- セカンドトレイユニット（トレイ 2）
- 増設メモリ（256 MB または 512 MB）
- 16 GB SD メモリーカード（MC561dn のみ）

メモ

- MC561dn には 4 GB SD メモリーカードが内蔵されています。メモリ容量を増やしたい場合に、オプションの 16 GB SD メモリーカードと交換してください。

参照

- オプションの取り付け方法については、「オプションを取り付ける」（P. 23）を参照してください。
- SD メモリーカードは、部数コピー時のスプール、認証印刷・暗号化印刷データの保存、フォームデータの保存先、自動配信・通信データ保存機能などに使用されます。認証印刷、暗号化印刷、フォームデータ、自動配信・通信データ保存機能については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## 設置条件

### 設置環境

本機は、以下の環境に設置してください。

| | |
|---|---|
| 周囲温度： | 10°C ～ 32°C |
| 周囲湿度： | 20% ～ 80% RH（相対湿度） |
| 最大湿球温度： | 25°C |

注

- 結露しないように注意してください。故障の原因になります。
- 周囲湿度が 30% RH 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットを使用してください。
- 粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジを使用し、白黒印刷およびカラー印刷を行なった場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

### ⚠警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さな子供の手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- 本機の通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

### ⚠注意

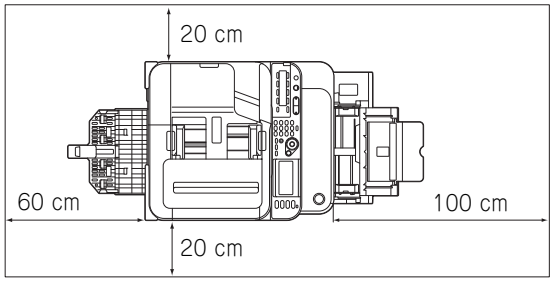
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- 本機を移動するときは、本機の両側を持ち、本機を後ろ側に倒し気味にして運んでください。

## 設置スペース

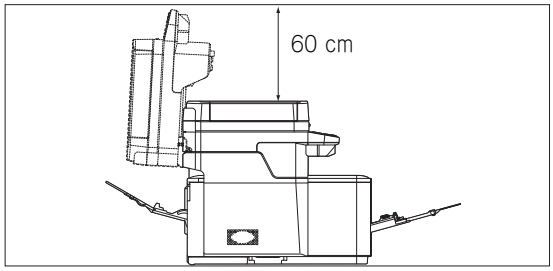
本機の足が乗る大きさの平らな机の上に設置してください。

以下の図に示すとおり、本機の周りに十分なスペースを取ってください。

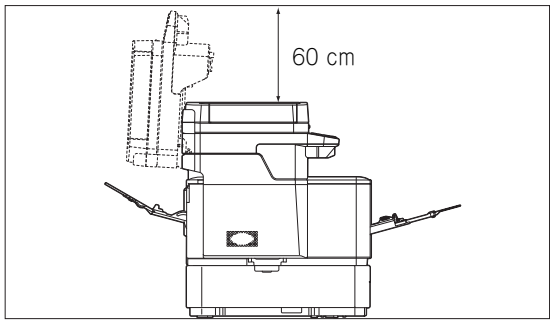
- 平面図



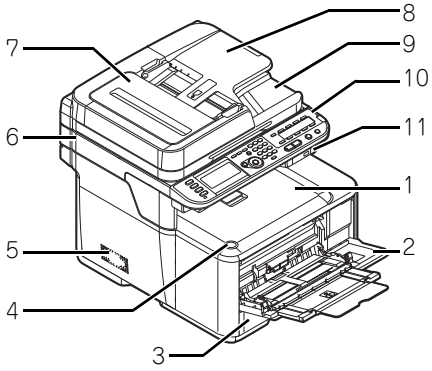

- 側面図



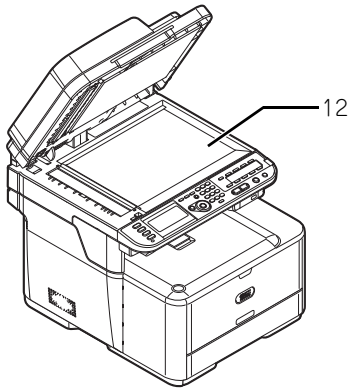

- 側面図（セカンドトレイユニット取り付け時）



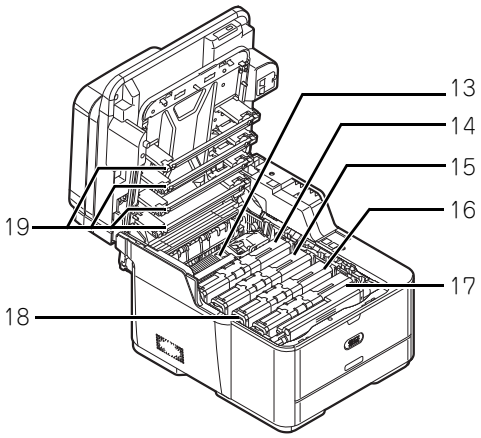

## 各部の名称



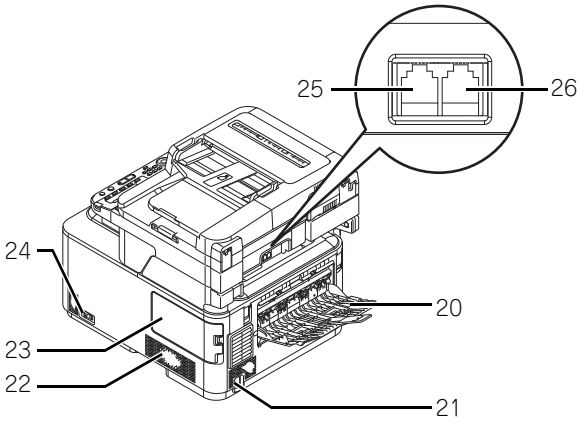

| 番号 | 名称 |
|---|---|
| 1 | トップカバー |
| 2 | マルチパーパス（MP）トレイ |
| 3 | トレイ 1 |
| 4 | トップカバーオープンボタン |
| 5 | 通気口 |
| 6 | スキャナ部 |
| 7 | 自動原稿送り装置（ADF）カバー |
| 8 | 原稿トレイ |
| 9 | 原稿ガラスカバー |
| 10 | 操作パネル |
| 11 | USB ポート |




| 番号 | 名称 |
|---|---|
| 12 | 原稿ガラス |

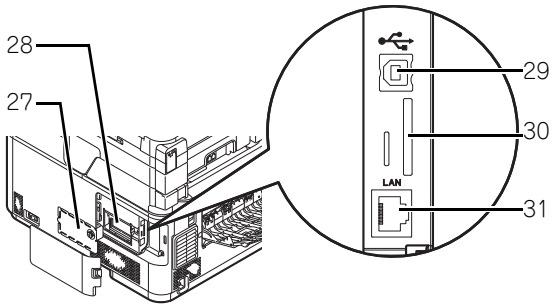



| 番号 | 名称 |
|---|---|
| 13 | 定着器ユニット |
| 14 | トナーカートリッジ（Y：イエロー（黄色）） |
| 15 | トナーカートリッジ（M：マゼンタ（赤色）） |
| 16 | トナーカートリッジ（C：シアン（青色）） |
| 17 | トナーカートリッジ（K：ブラック（黒色）） |
| 18 | イメージドラムユニット |
| 19 | LED ヘッド（4 個） |




| 番号 | 名称 |
|---|---|
| 20 | フェイスアップスタッカ |
| 21 | 電源コネクタ |
| 22 | 通気口 |
| 23 | コネクタカバー |
| 24 | 電源スイッチ |
| 25 | LINE コネクタ |
| 26 | TEL コネクタ |

● コネクタカバー内部




| 番号 | 名称 |
|---|---|
| 27 | ブラケット |
| 28 | 増設メモリスロット |
| 29 | USB インタフェースコネクタ |
| 30 | SD メモリーカードスロット（MC561dn のみ） |
| 31 | ネットワークインタフェースコネクタ |

# 設置のしかた

この節では、本機の開梱方法と、電源の入れ方および切り方について説明します。

## 開梱する

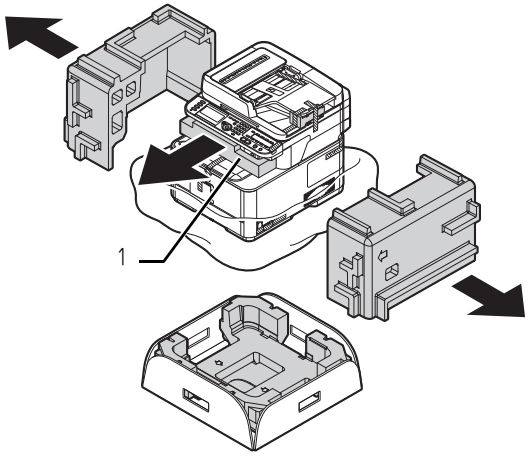
| ⚠注意 | ケガをするおそれがあります。 | ⚠ |
|---|---|---|
| ● 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。 | | |

注

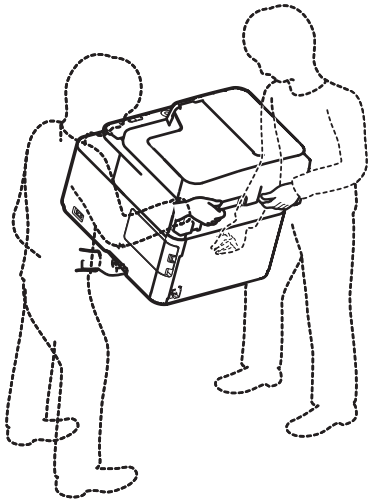
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムユニットは、直射日光や、約 1500 ルクスを超える強い室内光に当てないでください。通常の室内の照明の下でも、5 分を超えて放置しないでください。
- 梱包箱や緩衝材は本機を輸送するときに必要です。捨てずに保管しておいてください。

***1*** 梱包箱を取り外し、本機から緩衝材とビニール袋を取り外します。

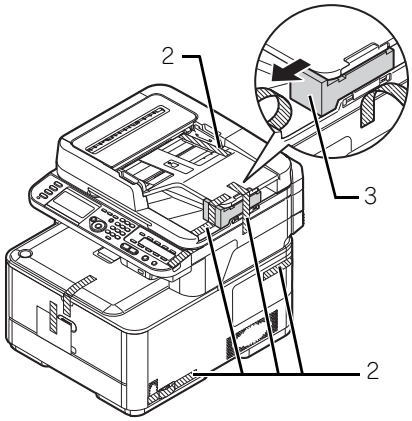
緩衝材（1）の中に付属品一式が梱包されています。



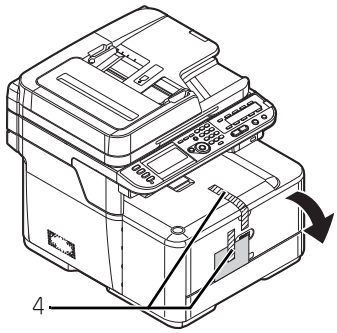

***2*** 本機を持ち上げ、設置場所に置きます。



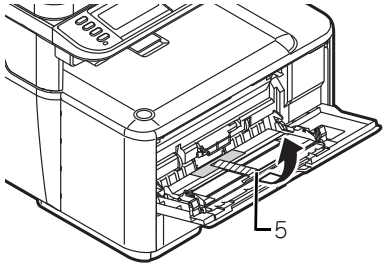
***3*** 本機上部と側面の保護テープ（2）をはがし、緩衝材（3）を取り除きます。




***4*** 保護テープ（4）をはがし、MP トレイを開きます。

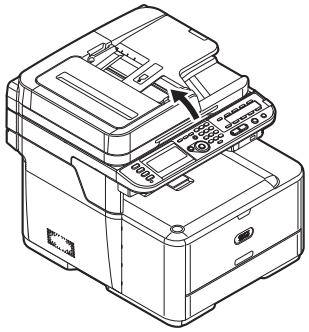



***5*** 保護テープ（5）をはがし、紙を上に引き抜きます。

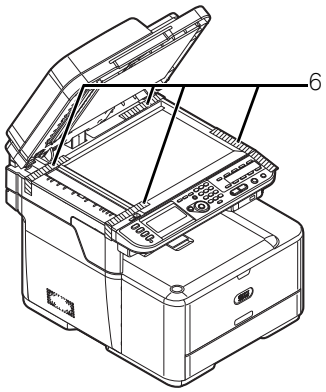



***6*** MP トレイを閉じます。

***7*** 原稿ガラスカバーを開けます。

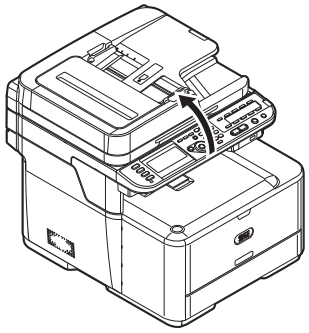


***8*** 保護テープ（6）を取り除きます。

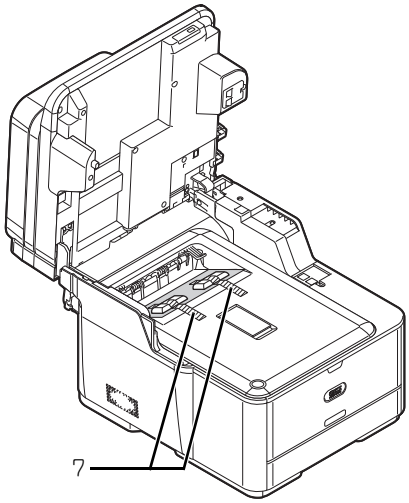



***9*** 原稿ガラスカバーを閉じます。

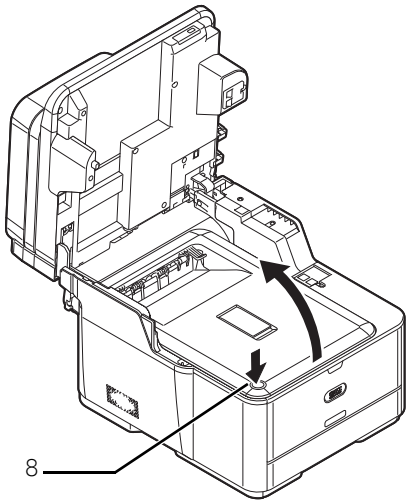
***10*** スキャナ部を開きます。



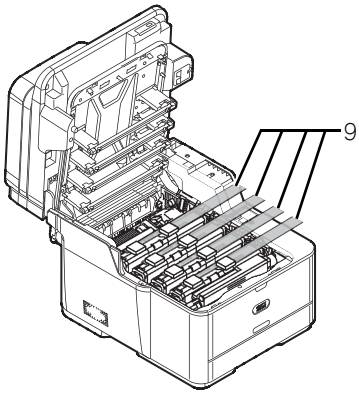
***11*** 保護テープ（7）をはがし、乾燥剤とフィルムを取り除きます。



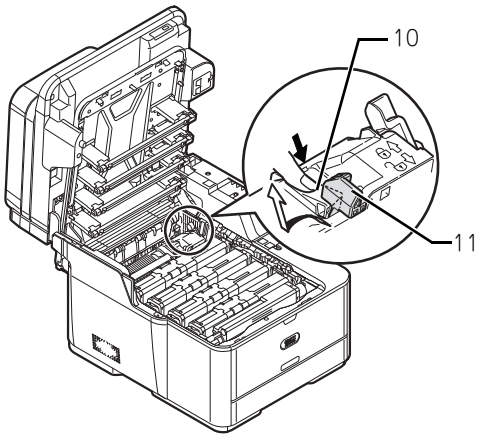

***12*** トップカバーオープンボタン（8）を押し、トップカバーを開けます。




***13*** 保護シート（9）を取り除きます。




***14*** 定着器ユニットの青いレバー（10）を矢印の方向に押しながら、オレンジ色のストッパリリース（11）を取り外します。

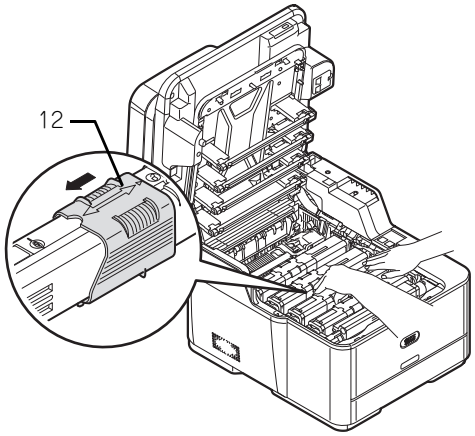



! 注

- オレンジ色のストッパリリースは、本機を輸送するときに使いますので、保管しておいてください。

**15** トナーカートリッジの右側を押さえながら、青いロック（12）を左側にすばやくスライドさせ、ロックします。

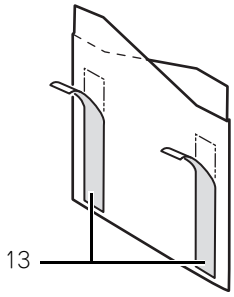
4 本のトナーカートリッジすべてのロックをスライドさせてください。




**16** トップカバーを閉じます。

**17** スキャナ部を閉じます。

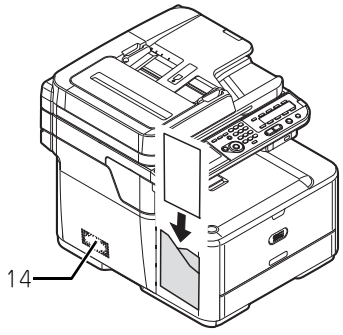
**18** クイックガイド専用袋裏側の、両面テープ（13）をはがします。




**19** クイックガイド専用袋を本機に貼り付け、クイックガイドを収納します。

注

- 本機の通気口（14）をふさがないように貼り付けてください。




参照

- 本機への給紙については、「用紙のセットのしかた」（P. 68）を参照してください。

## 電源を入れる / 切る

### 電源の条件

電源は、次の条件を満たしている必要があります。

| | |
|---|---|
| 交流（AC）： | 100 V ± 10% |
| 電源周波数： | 50/60 Hz ± 2% |

注

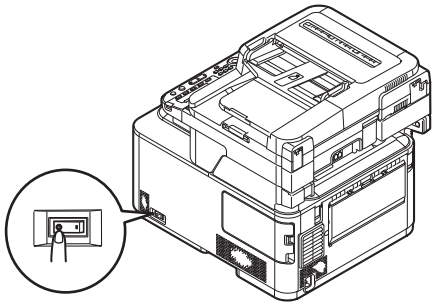
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器を使用してください。
- 本機の最大消費電力は 1170 W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- 無停電電源（UPS）やインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバータは使用しないでください。

| ⚠警告 | 火災や感電のおそれがあります。 |
|---|---|

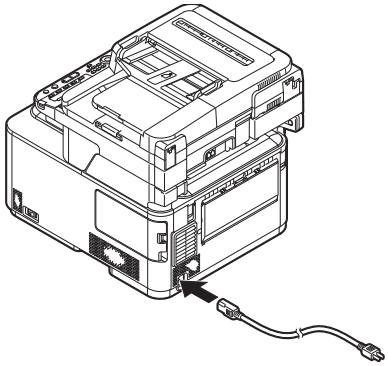
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- アース線は、水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース線の接続は、必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本機とほかの電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによって本機が誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 本機に付属の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。ほかの製品用の電源コードを本機に使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、本機が正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源コードを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 本機に付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

## 電源を入れる

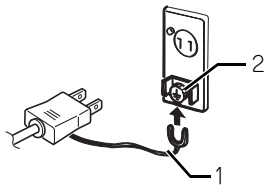
***1*** 電源スイッチの<O>側が押された状態になっていることを確認します。
電源が切れた状態です。



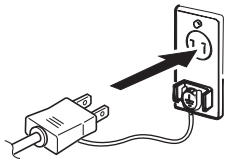
***2*** 電源コードを本機の電源コネクタに差し込みます。



***3*** アース線（1）をコンセントのアース端子（2）に接続します。

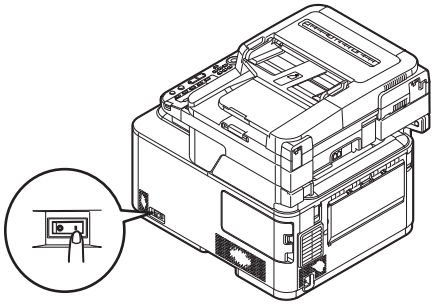



***4*** 電源コードをコンセントに差し込みます。



***5*** 原稿ガラスまたは自動原稿送り装置上に原稿がないこと、および ADF カバーが閉じられていることを確認します。

***6*** 電源スイッチの<｜>側を押して電源を入れます。



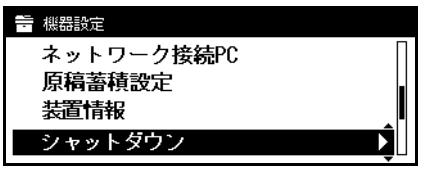
注
- 電源を切って、再び電源を入れるときは、数秒間待ってから電源スイッチの<｜>側を押してください。

## 電源を切る

電源を切るときは、必ず以下の手順でシャットダウン操作を行ってください。

***1*** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

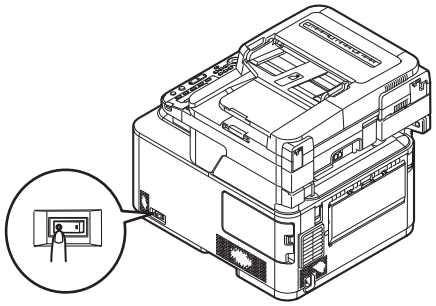
***2*** ▼を押して［**シャットダウン**］を選択し、OKを押します。




***3*** 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

注
- 本機がコンピュータからのファクスデータなどを受信中でないことを確認して、シャットダウンしてください。

*4* 電源を切るよう促す画面が表示されたら、電源スイッチの <O> 側を押して電源を切ります。

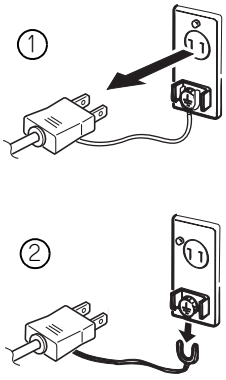


注

- 電源を切って、再び電源を入れるときは、数秒間待ってから電源スイッチの< | >側を押してください。

## ■長期間使用しないとき

連休や旅行で本機を長期間使用しない場合は、コンセントから電源コードを抜いてください。また、定着器ユニットにストッパリリースを取り付けてください。




注

- アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

メモ

- 本機は長時間（4 週間以上）電源コードを抜いておいても、機能障害を生じません。

# パワーセーブモード・スリープモード

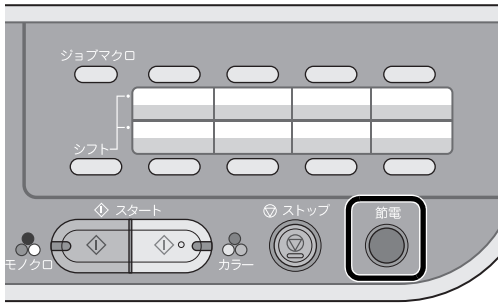
2 段階の節電モードにより、本機の消費電力を節約することができます。

## ■パワーセーブモード

一定時間本機を使用しないと、自動的にパワーセーブモードに入り、消費電力を節約します。

または、操作パネルの < **節電** > キーを押して、手動でパワーセーブモードに入ることができます。

パワーセーブモードのときは、< **節電** > キーが点灯します。




メモ

- 工場出荷時の設定では、パワーセーブモードに入るまでの時間は 30 分です。< **設定** > キー > [**管理者設定**] > [**機器管理**] > [**節電モード**] > [**パワーセーブ移行時間**] を選択すると、パワーセーブモードに入るまでの時間を変更することができます。

## ■スリープモード

本機は、設定された時間が経過すると、パワーセーブモードからスリープモードに移行します。スリープモードでは、本機の状態は電源が切れているときとほぼ同じです。

スリープモードのときは、< **節電** > キーが点滅します。

注

- エラーが発生している場合、本機はスリープモードに入りません。
- 時刻指定送信が予約されている場合、本機はスリープモードに入りません。
- ファクス送信がリダイヤル待ちとなっている場合、本機はスリープモードに入りません。
- USB 接続時にコンピュータの電源が入っている間はスリープモードに入りません。

メモ

- 工場出荷時の設定では、スリープモードに入るまでの時間は 10 分です。< **設定** > キー > [**管理者設定**] > [**機器管理**] > [**節電モード**] > [**スリープ移行時間**] を選択すると、スリープモードに入るまでの時間を変更することができます。

参照

- スリープモードについてのより詳しい情報は、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## ■待機状態への戻り方

パワーセーブモードまたはスリープモードから待機状態に戻るには、操作パネルの < **節電** > キーを押します。

メモ

- 本機は、コンピュータやそのほかの装置からデータを受信すると、自動的に待機状態に戻ります。

# オプションを取り付ける

この節では、オプションの取り付け方について説明します。以下のオプションが利用できます。

- セカンドトレイユニット
- 増設メモリ（256 MB または 512 MB）
- 16 GB SD メモリーカード（MC561dn のみ）

注

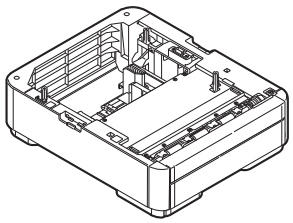
- 必ず電源を切り、電源ケーブルとイーサネットケーブル /USB ケーブルを抜いてから、オプションを取り付けてください。電源を入れた状態でオプションを取り付けると、本機とオプションが故障する場合があります。

参照

- 本機の各部の位置については、「各部の名称」（P. 16）を参照してください。

## セカンドトレイユニットを取り付ける

セカンドトレイユニット（トレイ 2）は、セットできる用紙を増やしたいときに取り付けます。取り付けたあと、プリンタドライバを設定する必要があります。



型名：TRY-C4G1

参照

- セカンドトレイユニット（トレイ 2）の仕様については、「用紙のセットのしかた」（P. 68）を参照してください。

### 取り付け

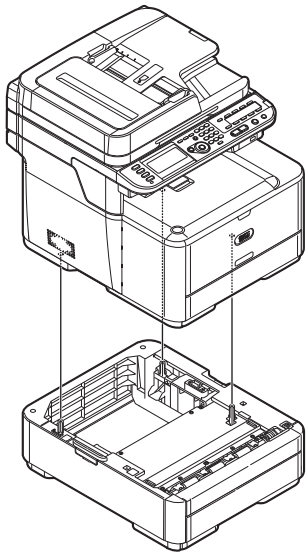
| ⚠注意 | ケガをするおそれがあります。 | ⚠ |
|---|---|---|
| ● 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。 | | |

***1*** 本機の電源を切り、電源コードとイーサネットケーブル /USB ケーブルを取り外します。

参照

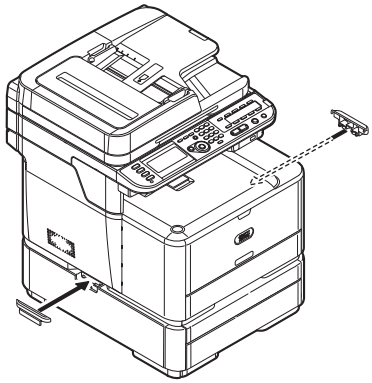
- 「電源を切る」（P. 21）

***2*** 本機を持ち上げ、セカンドトレイユニットの 3 本の突起を本機の底の穴に合わせます。



***3*** 本機をセカンドトレイユニットの上に静かに載せます。

***4*** ロックピースを取り付けます。



***5*** 電源ケーブルとイーサネットケーブル /USB ケーブルを本機に差し込み、電源を入れます。

## プリンタドライバの設定

注

- この手順を実行する場合は、コンピュータに、管理者の権限でログインする必要があります。
- Mac OS X で次の条件にあてはまる場合は、取り付けたオプションの情報は本機から自動的に取得されるため、プリンタドライバを設定する必要はありません。
  - USB 接続
  - EtherTalk を使用したネットワーク接続で、ドライバをインストールする前に本機にオプションを取り付けた場合
- Windows PCL XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 では使用できません。

参照

- この手順を実行する前に、プリンタドライバをコンピュータにインストールしておく必要があります。プリンタドライバのインストール方法については、「コンピュータに接続する」(P. 32)を参照してください。

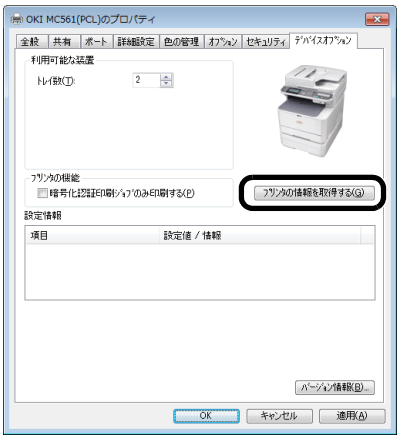
### ■ Windows PCL/PCL XPS ドライバの場合

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 OKI MC561 のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］（複数のドライバをインストールしている場合は＞［OKI MC561 (PCL)］/［OKI MC561(PCL XPS)］）を選択します。

3 ［デバイスオプション］タブを選択します。

4 ネットワーク接続の場合は、［プリンタの情報を取得する］を選択します。
USB 接続の場合は、［トレイ数］に「2」（本機に取り付けたトレイの合計数）を入力します。




5 ［OK］をクリックします。

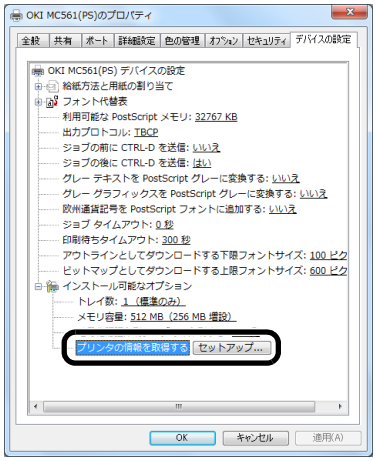
### ■ Windows PS ドライバの場合

1 ［スタート］をクリックし、［デバイスとプリンター］を選択します。

2 ［OKI MC561(PS)］のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］（複数のドライバをインストールしている場合は＞［OKI MC561 (PS)］）を選択します。

3 ［デバイスの設定］タブを選択します。

4 ネットワーク接続の場合は、［インストール可能なオプション］で［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］をクリックします。
USB 接続の場合は、［インストール可能なオプション］の［トレイ数］で［2( セカンドトレイ追加 )］を選択します。




5 ［OK］をクリックします。

### ■ Mac OS X PS ドライバの場合（Mac OS X 10.5 ～ 10.6）

1 アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

2 ［プリントとファクス］をクリックします。

3 本機を選択し、［オプションとサプライ］をクリックします。

4 ［ドライバ］タブを選択します。

**5** ［**トレイ数**］で、［**2（セカンドトレイ追加）**］を選択し、［**OK**］をクリックします。

### ■Mac OS X PS ドライバの場合（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11）

メモ

- 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

**1** ［**移動**］メニューから［**ユーティリティ**］を選択し、［**プリンタ設定ユーティリティ**］をダブルクリックします。

**2** 本機を選択し、［**情報を見る**］をクリックします。

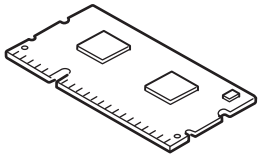
**3** プリンタ名の下のポップアップメニューから［**インストール可能なオプション**］を選択します。

**4** ［**トレイ数**］で［**2（セカンドトレイ追加）**］を選択し、［**変更を適用**］をクリックします。

**5** ［**プリンタ情報**］を閉じます。

## 増設メモリを取り付ける

メモリオーバーが発生する場合など、本機のメモリ容量を増やしたいときは、増設メモリを取り付けます。256 MB と 512 MB のメモリが使用できます。



型名：
MEM256G（256 MB）/
MEM512D（512 MB）

注

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。

メモ

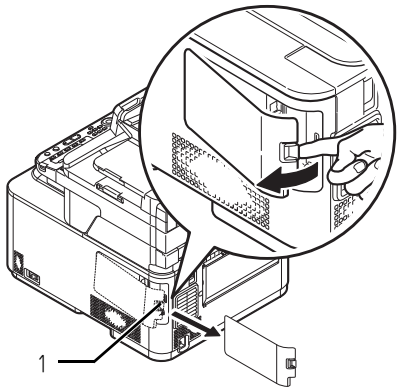
- 長尺印刷を行う場合は、256 MB 以上の増設メモリの追加をおすすめします。

**1** 本機の電源を切り、電源コードを取り外します。

参照

- 「電源を切る」（P. 21）

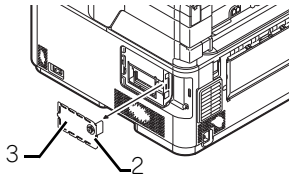
**2** 本機右側のロックボタン（1）を押しながら、コネクタカバーを取り外します。



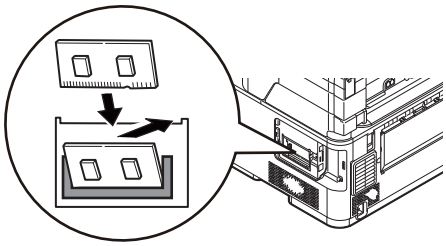

**3** イーサネットケーブル/USBケーブルを本機から取り外します。

**4** 本機の金属部分に触れ、静電気を逃がします。

**5** ネジ（2）を左に回して緩め、ブラケット（3）を取り外します。



**6** 増設メモリをスロットに差し込み、本機側に押します。



**7** ブラケットを取り付け、ネジを右に回して締めます。

**8** イーサネットケーブル/USBケーブルを本機に取り付けます。

**9** コネクタカバーを取り付けます。

**10** 電源ケーブルを本機に差し込み、電源を入れます。

**11** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

**12** ▼を押して［**装置情報**］を選択し、OKを押します。

**13** ［**システム情報**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

**14** ［**メモリ容量**］の値が増えていることを確認します。

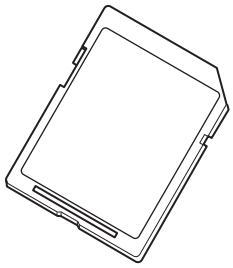
- ▼を押して画面をスクロールします。
- 256 MB 増設メモリの場合は［**512 MB**］、512 MB 増設メモリの場合は［**768 MB**］となります。

注

- ［**メモリ容量**］の値が増えていない場合、本機の電源を切り、電源ケーブルとイーサネットケーブル /USB ケーブルを取り外し、増設メモリを取り付けなおします。

## 16 GB SD メモリーカードを取り付ける（MC561dn のみ）

SD メモリーカードの容量を増やしたいときは、内蔵 SD メモリーカード（4GB）を 16GB SD メモリーカードと交換します。



型名：SDC-A1

注

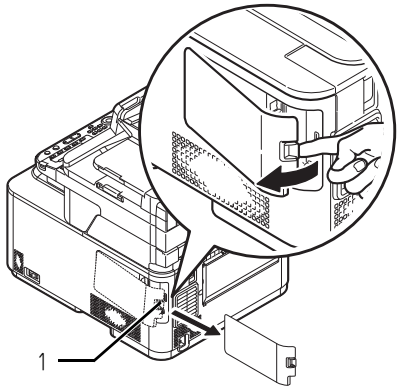
- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- SD メモリーカードの誤消去防止用プロテクトスイッチが禁止状態では使用できません。必ず許可状態で使用してください。

**1** 本機の電源を切り、電源コードを取り外します。

参照

●「電源を切る」（P. 21）

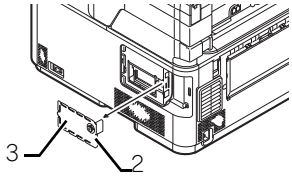
**2** 本機右側のロックボタン（1）を押しながら、コネクタカバーを取り外します。



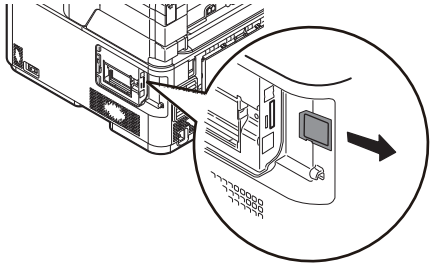

**3** イーサネットケーブル/USBケーブルを本機から取り外します。

**4** 本機の金属部分に触れ、静電気を逃がします。

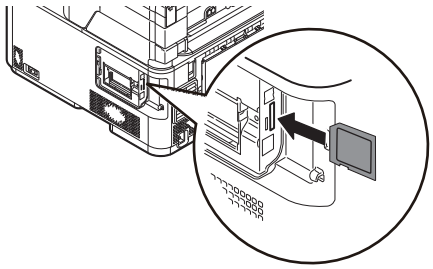
**5** ネジ（2）を左に回して緩め、ブラケット（3）を取り外します。



***6*** 内蔵 SD メモリーカードを押し、SD メモリーカードスロットから取り外します。



***7*** 16 GB SD メモリーカードを SD メモリーカードスロットに差し込みます。



***8*** ブラケットを取り付け、ネジを右に回して締めます。

***9*** イーサネットケーブル/USBケーブルを本機に取り付けます。

***10*** コネクタカバーを取り付けます。

***11*** 電源ケーブルを本機に差し込み、電源を入れます。

***12*** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

***13*** ▼を押して［**装置情報**］を選択し、㊎を押します。

***14*** ［**システム情報**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

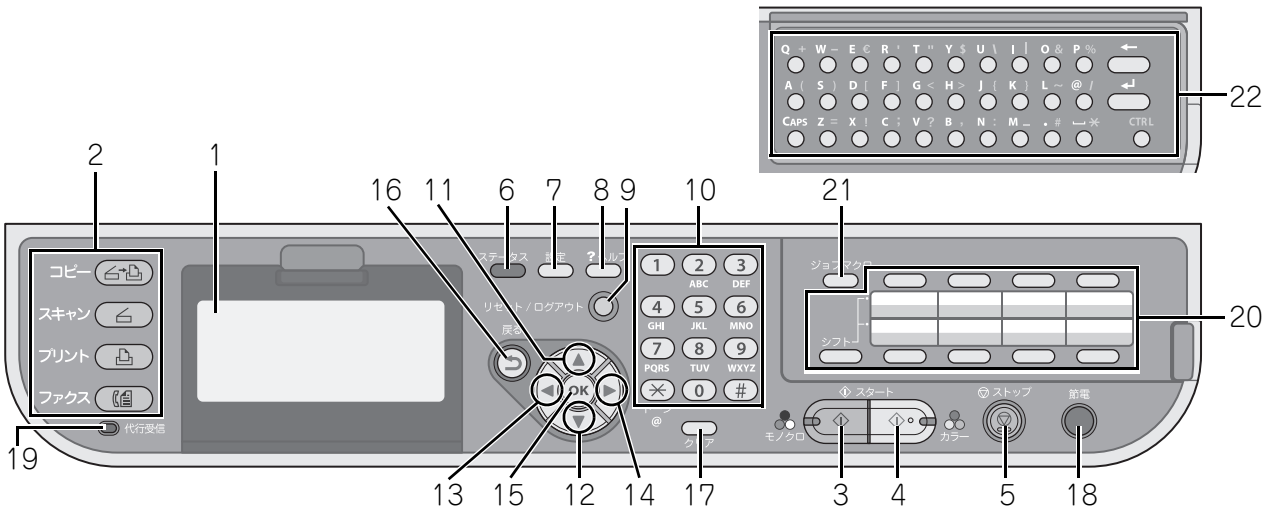
***15*** ［**SD メモリーカード情報**］の値が［**15 GB**］になっていることを確認します。
▼を押して画面をスクロールします。

注

- ［**SD メモリーカード情報**］には、実際のメモリ容量（16 GB）より少ない［**15 GB**］と表示されますが、エラーではありません。
- ［**SD メモリーカード情報**］の値が増えていない場合、本機の電源を切り、電源ケーブルとイーサネットケーブル /USB ケーブルを取り外し、SD メモリーカードを取り付けなおします。

# 操作パネル

この節では、操作パネルの各部の名称とはたらき、および文字入力の方法について説明します。

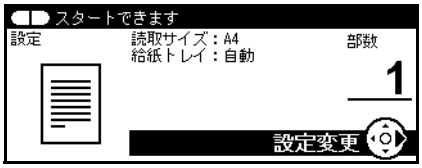



| 番号 | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 1 | 表示画面 | 操作指示および本機の状態を表示します。 |
| 2 | 機能切り替えキー | 各機能のトップ画面を表示します。選択されたキーが青色に点灯します。 |
| | <**コピー**>キー | コピースタート画面を表示します。 |
| | <**スキャン**>キー | スキャンメニューを表示します。 |
| | <**プリント**>キー | プリントメニューを表示します。 |
| | <**ファクス**>キー | ファクス / インターネットファクス機能選択画面を表示します。 |
| 3 | <**スタート（モノクロ）**>キー | モノクロのコピー、スキャン、ファクス、またはUSBメモリからの印刷を開始します。 |
| 4 | <**スタート（カラー）**>キー | カラーのコピー、スキャン、またはUSBメモリからの印刷を開始します。 |
| 5 | <**ストップ**>キー | 現在のジョブを直ちに取り消します。 |
| 6 | <**ステータス**>キー | ステータスメニューを表示します。<br>エラーステータスがある場合、点滅または点灯します。 |
| 7 | <**設定**>キー | 機器設定メニューを表示します。 |
| 8 | <**? ヘルプ**>キー | ヘルプ画面を表示します。閉じるときは、<**? ヘルプ**>キーを再度押すか、<**戻る**>キーまたは<**リセット / ログアウト**>キーを押します。 |
| 9 | <**リセット / ログアウト**>キー | ● 各機能のトップ画面では、ログアウトします。<br>● 各機能のスタート画面では、トップ画面に戻ります。<br>＊コピー機能では、トップ画面とスタート画面が同じです。<br>● 設定項目画面では、設定値をリセットして、各機能のスタート画面に戻ります。 |
| 10 | テンキー | ● 数字を入力します。<br>● 英字や記号を入力します。 |
| 11 | <**上**>キー | 項目選択 / 文字入力中、ハイライトを上に移動します。 |
| 12 | <**下**>キー | 項目選択 / 文字入力中、ハイライトを下に移動します。 |
| 13 | <**左**>キー | ● 前の画面に戻ります。<br>● 項目選択 / 文字入力中、ハイライトを左に移動します。 |
| 14 | <**右**>キー | ● 次の画面に進みます。<br>● 項目選択 / 文字入力中、ハイライトを右に移動します。 |
| 15 | <**OK**>キー | ● ハイライトされた項目を確定します。<br>● チェック項目を選択します。 |

| 番号 | 名称 | 機能 |
|---|---|---|
| 16 | ＜**戻る**＞キー | 前の画面に戻ります。 |
| 17 | ＜**クリア**＞キー | 短く押す、または長押しすると、入力項目に応じて次の動作を実行します。<br>● 設定値を最小にします。<br>● 設定値に 0 を入力します。<br>● 入力された内容をクリアします。<br>● 選択された項目を取り消します。 |
| 18 | ＜**節電**＞キー | ● パワーセーブモードに入るか、パワーセーブモードを解除します。<br>● スリープモードを解除します。<br>パワーセーブモードのときは緑色に点灯し、スリープモードのときは緑色に低速点滅します。 |
| 19 | ＜**代行受信**＞ランプ | メモリにデータがあると点灯します。<br>* スリープモードのときは、メモリにデータがあっても点灯しません。 |
| 20 | ワンタッチキー | 登録された E メールアドレスまたはファクス番号を呼び出します。<br>E メールアドレスやファクス番号は 8 個のキーそれぞれに 2 件、計 16 件登録でき、＜**シフト**＞キーとの同時押下で切り替えます。 |
| 21 | ＜**ジョブマクロ**＞キー<br>(MC561dn のみ) | ジョブマクロ画面に切り替えます。 |
| 22 | QWERTY キーボード<br>(MC561dn のみ) | 文字を入力します。<br>ワンタッチキー部分を開くと下にあります。 |

## デフォルトモード

電源を入れて、本機が使用可能な状態になると、デフォルトモードとしてコピースタート画面が表示されます。




機能切り替えキーを使って、ほかの機能に切り替えることができます。

参照

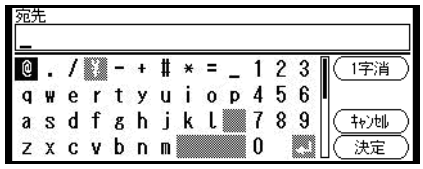
● ＜**設定**＞キー＞［**管理者設定**］＞［**機器管理**］＞［**デフォルトモード**］を選択すると、デフォルトモードを変更することができます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## 操作パネルを使用して文字を入力する

項目の設定中に文字を入力する必要があるときは、以下の入力画面が表示されます。

### ■ 英数字・記号入力時

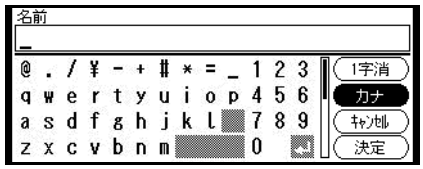
画面キーボードで、半角の英大文字、英小文字、数字、記号を入力できます。




### ■ 英数字・記号・カナ入力時

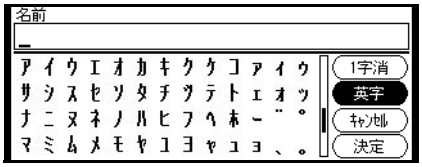
半角英数字と記号に加え、半角カナを使用できる項目の入力時には、以下の入力画面が表示されます。

● 英字入力用




［**カナ**］を選択すると、カナ入力用の画面キーボードに切り替えることができます。

● カナ入力用



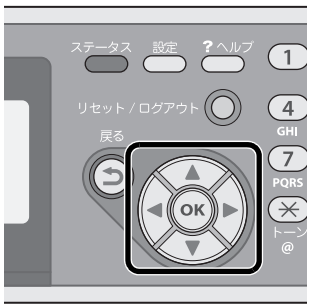

［**英字**］を選択すると、英字入力用の画面キーボードに戻ります。

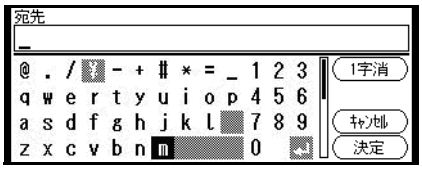
メモ

- 網掛けされた文字は選択できません。
- 操作パネルから全角文字の入力はできません。
- 数字のみを入力するときは、画面キーボードが表示されないことがあります。この場合は、テンキーを使って数字を入力します。

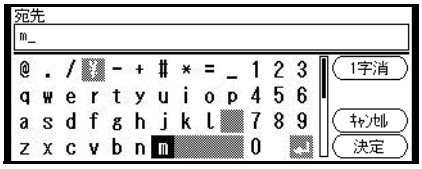
## 文字を入力する

***1*** ▶、◀、▼、▲を押して文字を選択し、㊎を押します。



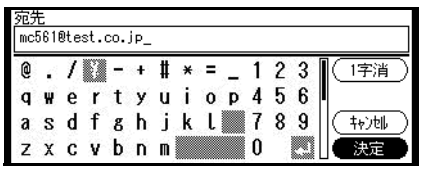




選択した文字がテキストフィールドに入力されます。




***2*** 必要なすべての文字が入力されるまで、手順 1 を繰り返します。

***3*** ▶および▼を押して［**決定**］を選択し、㊎を押します。




## ■ テンキーの使用

入力画面では、テンキーを使用して英数字および記号の入力を行うこともできます。

各キーに表示された数字のほかに、キーを繰り返し押して英字や記号を入力できます。

***1*** テキストフィールドに入力したい文字が表示されるまでテンキーを押します。

***2*** 必要なすべての文字が入力されるまで、手順 1 を繰り返します。

続けて同じキーを使用する場合は、▶を押してカーソルを移動します。

***3*** ［**決定**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

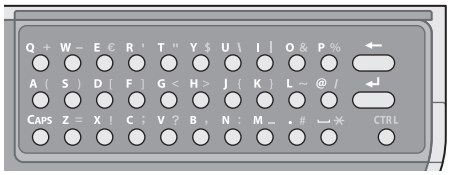
メモ

- 各キーで入力できる文字は以下のとおりです。

| テンキー | 文字 |
|---|---|
| 1 | 1 |
| 2 | abc2ABC |
| 3 | def3DEF |
| 4 | ghi4GHI |
| 5 | jkl5JKL |
| 6 | mno6MNO |
| 7 | pqrs7PQRS |
| 8 | tuv8TUV |
| 9 | wxyz9WXYZ |
| 0 | （スペース）0 |
| * | @* |
| # | ._-（スペース）+!"$%&'(),/:;<=>?[￥]^# |

## ■QWERTY キーボードの使用（MC561dn のみ）

入力画面では、QWERTY キーボードを使って英字や記号を入力することもできます。

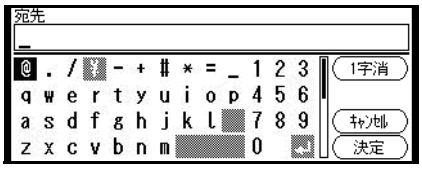


標準モード、CAPS モード、および CTRL モードの間で、入力モードを切り替えることができます。モードの変更は、画面キーボード表示に反映されます。

- 標準モード

英小文字を入力できます。

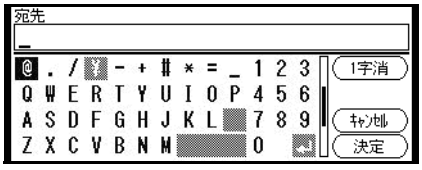
以下のような、画面キーボードが表示されます。




- CAPS モード

<**CAPS**> キーを押すと、英大文字を入力できます。

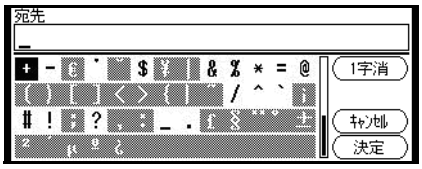
以下のような、画面キーボードが表示されます。




- CTRL モード

<**CTRL**> キーを押すと、記号を入力できます。

以下のような、画面キーボードが表示されます。




注

- QWERTY キーボードのカバーを開いている状態では、テンキーは数字入力専用になります。

## 入力した文字の削除

テキストフィールド内の文字は、次の方法で削除できます。

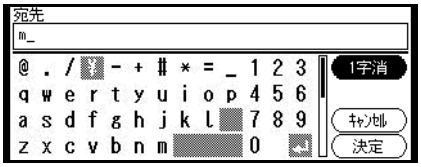
### ■＜クリア＞キーを押す

＜**クリア**＞キーを押して、最後に入力した文字を削除します。

＜**クリア**＞キーを長押しして、入力したすべての文字を削除します。

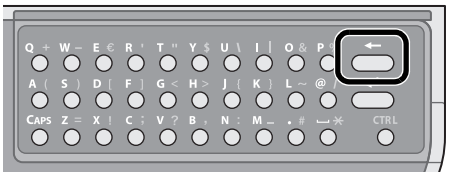
### ■画面キーボードの［1 字消］を選択する

▶と▼を押して［**1 字消**］を選択し、㊎を押して、最後に入力した文字を削除します。




### ■QWERTY キーボードのバックスペースキーを押す（MC561dn のみ）

バックスペースキーを押して、最後に入力した文字を削除します。



# コンピュータに接続する

この節では、本機をコンピュータに接続し、プリンタおよびファクスドライバをインストールする方法について説明します。

## ■ 接続方法

本機は、次のいずれかの方法でコンピュータと接続できます。

- 「ネットワーク接続」(P. 33)
- 「USB 接続」(P. 42)

## ■ 動作環境

本機は次のオペレーティングシステム（OS）に対応しています。

- Windows 7/Windows 7（64bit 版） 日本語版
- Windows Vista/Windows Vista（64bit 版） 日本語版
- Windows Server 2008 R2 日本語版
- Windows Server 2008/Windows Server 2008（x64 版） 日本語版
- Windows XP/Windows XP（x64 版） 日本語版
- Windows Server 2003/Windows Server 2003（x64 版） 日本語版
- Windows 2000 日本語版
- Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 日本語版

注

- Mac OS X 10.6 をお使いの方は、プリンタドライバをインストールする前に Rosetta をインストールしてください。

## ■ ドライバの種類

インストールできるドライバの種類は以下のとおりです。

- Windows の場合

| 種類 | 説明 |
|---|---|
| PCL | ビジネス文書の印刷に適しています。 |
| PS | PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。 |
| PCL XPS | XPS 対応アプリケーションからの印刷に適しています。<br>* Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 には対応していません。 |
| FAX | 本機を介してコンピュータから宛先にファクスを直接送信するときにインストールします。 |

- Mac OS X の場合

| 種類 | 説明 |
|---|---|
| PS | PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。<br>通常の印刷にも使用できます。 |

注

- プリンタドライバ、Windows、Mac OS X のバージョンによって、記載と異なることがあります。

## ネットワーク接続

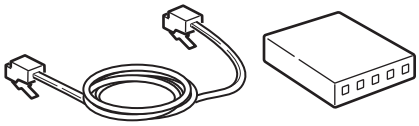
ネットワークを介して本機をコンピュータに接続します。

### イーサネットケーブルの接続

ドライバをインストールする前に、本機をイーサネットケーブルでネットワークに接続してください。

***1*** イーサネットケーブルとハブを用意します。

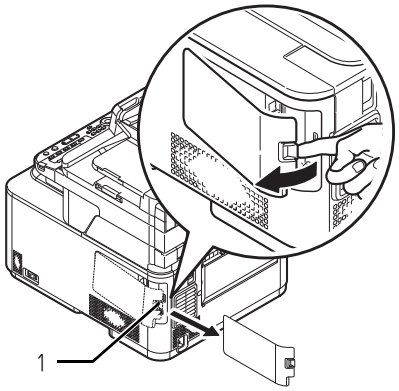
イーサネットケーブル（カテゴリ５以上、ツイストペア、ストレート）とハブを別途用意してください。



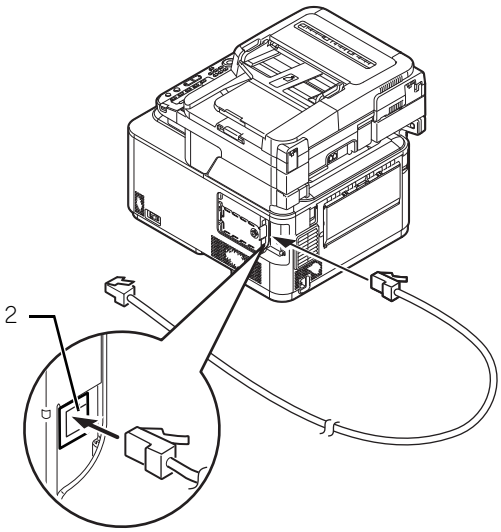
***2*** 本機とコンピュータの電源を切ります。

参照
●「電源を切る」（P. 21）

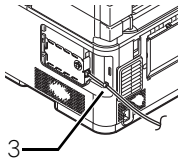
***3*** ロックボタン（1）を押しながら、本機の右側のコネクタカバーを取り外します。




***4*** イーサネットケーブルの一端を、本機のネットワークインタフェースコネクタ（2）に差し込みます。

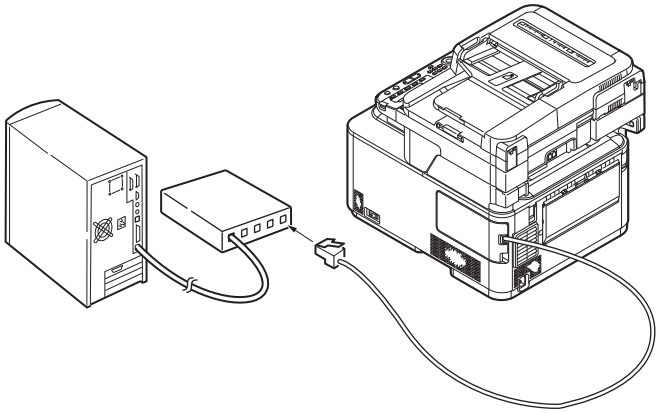



***5*** イーサネットケーブルを本機のフック（3）に掛けます。




***6*** コネクタカバーを本機に取り付けます。

***7*** イーサネットケーブルの他端をハブに差し込みます。



## プリンタ・ファクスドライバのインストール（Windows の場合）

Windows コンピュータとのネットワーク接続を完了するには、最初に本機の IP アドレスを設定し、次にプリンタ・ファクスドライバをコンピュータにインストールします。

ネットワーク上に DHCP サーバや BOOTP サーバがない場合、手動でコンピュータや本機に IP アドレスを設定する必要があります。

また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータや本機に IP アドレスを設定する必要があります。

注

- 次の手順を行う前に、コンピュータのネットワーク設定を完了させてください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- IP アドレスを手動で設定する場合、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダに、使用する IP アドレスを問い合わせてください。IP アドレスを誤って設定すると、ネットワークが停止したりインターネットアクセスが不能になることがあります。

メモ

- 本機と 1 台のコンピュータで小さなネットワークを構成する場合は、以下に示すとおりに IP アドレスを設定します（RFC1918 に準拠）。

| | |
|---|---|
| **コンピュータ** | |
| IP アドレス： | 192.168.0.1 ～ 254 |
| サブネットマスク： | 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ： | 不使用 |
| DNS サーバ | 不使用 |
| **本機** | |
| IP アドレス設定： | 手動 |
| IP アドレス： | 192.168.0.1 ～ 254（コンピュータとは異なる値を選択します） |
| サブネットマスク： | 255.255.255.0 |
| デフォルトゲートウェイ： | 0.0.0.0 |
| ネットワークの規模： | 小規模 |

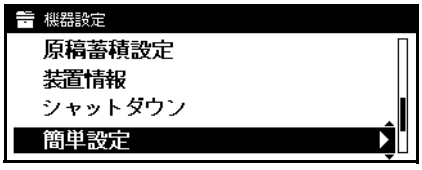
- ［**ネットワークの規模**］を設定するには、＜**設定**＞キー＞［**管理者設定**］＞［**ネットワーク管理**］＞［**ネットワーク設定**］＞［**ネットワークの規模**］＞［**小規模**］を選択します。

❑ まず、本機の IP アドレスを設定します。

***1*** 本機の電源を入れます。

***2*** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

***3*** ▼を押して［**簡単設定**］を選択し、㊎を押します。

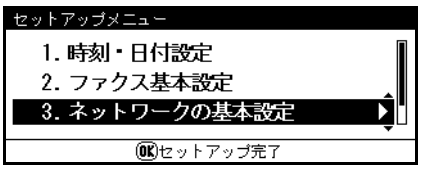



***4*** 管理者パスワードを入力します。

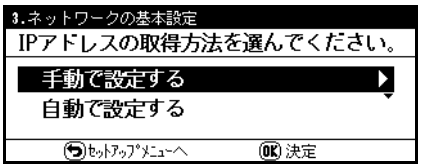
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

***5*** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

***6*** ▼を押して［**ネットワークの基本設定**］を選択し、▶を押します。



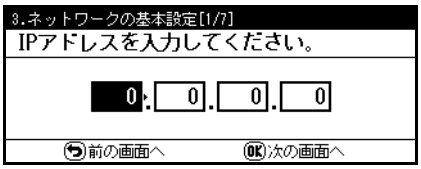

***7*** IP アドレスを手動で設定する場合は、［**手動で設定する**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。




IP アドレスを自動で取得する場合は、▼を押して［**自動で設定する**］を選択し、㊎を押します。手順 12 に進みます。

***8*** IP アドレスを入力し、㊎を押します。

次のボックスに移動するには、▶を押します。




***9*** サブネットマスクを入力し、㊎を押します。

次のボックスに移動するには、▶を押します。

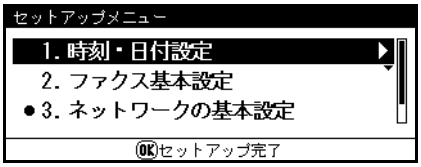
***10*** デフォルトゲートウェイアドレスを入力し、㊎を押します。

次のボックスに移動するには、▶を押します。

***11*** 必要に応じて、DNS サーバおよび WINS サーバを入力します。（スキャン To メール、インターネットファクス、スキャン To ネットワーク PC を使用する場合、必ず入力してください。）

DNS サーバおよび WINS サーバがネットワーク接続に必要ない場合は、設定完了を示すポップアップメッセージが表示されるまで㊎を押します。

***12*** セットアップメニュー画面が表示されたら、㊎を押してセットアップを完了します。



❑ 次に、コンピュータにプリンタ・ファクスドライバをインストールします。

**1** 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認してから、「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

参照

●「イーサネットケーブルの接続」(P. 33)

**2** ［**自動再生**］が表示されたら、［**setup.exe の実行**］をクリックします。

［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

**3** モデルを選択し、［**次へ**］をクリックします。

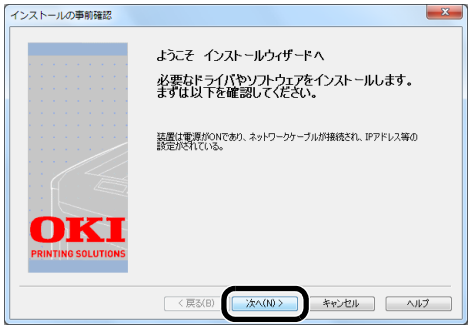
**4** 使用許諾契約を読んで、［**同意する**］をクリックします。

**5** ［**ドライバのインストール**］の下の［**かんたんインストール ( ネットワーク接続 )**］を選択します。

メモ

● ［**かんたんインストール ( ネットワーク接続 )**］では、PCL、PS、FAX ドライバがインストールされます。インストールするドライバを手動で選択したい場合、共有プリンタをインストールする場合、または OKI LPR ユーティリティを印刷方法として使用する場合は、［**詳細インストール ( プリンタ )**］を選択し、画面に表示される指示に従ってください。

**6** ［**次へ**］をクリックします。




デバイス検索が開始されます。

- 本機が検出されると、自動的にインストールが開始されます。手順 8 に進みます。
- 本機が検出されない場合は、［**インストール対象の確認**］画面が表示されます。手順 7 に進みます。

メモ

● プリンタ・ファクスドライバのほかに、スキャナドライバ、Network Extension、および色見本印刷ユーティリティも同時にインストールされます。

**7** ［**再検索**］をクリックして、デバイス検索を再開します。

本機が表示されたら、本機を選択して［**次へ**］をクリックします。

メモ

● ［**再検索**］をクリックしても本機が表示されない場合は、［**IP アドレス**］を選択し、本機に割り当てた IP アドレスを入力し、［**次へ**］をクリックします。

**8** ［Windows セキュリティ］ダイアログが表示されたら、［**このドライバー ソフトウェアをインストールします**］をクリックします。

**9** ［**完了**］をクリックすると、インストールが終了します。

- チェックがついているドライバ以外のドライバを通常使うプリンタに設定するには、設定したいドライバにチェックをつけます。
- ドライバのインストール前に本機にオプションのセカンドトレイユニットを取り付けた場合は、［**プロパティ画面を開く**］をクリックして、トレイの設定を変更します。

注

- コンピュータの再起動を促すダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。コンピュータが自動的に再起動します。

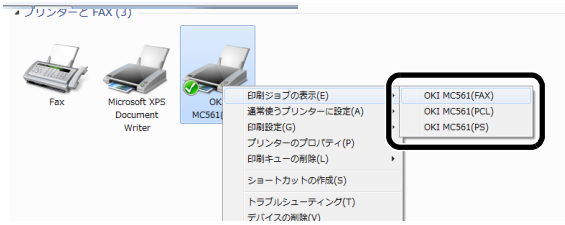
参照

- ドライバでトレイの設定を変更する方法については、「プリンタドライバの設定」（P. 24）を参照してください。

**10** ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

**11** OKI MC561 アイコンが表示されていることを確認します。

OKI MC561 アイコンを右クリックし、メニュー項目の 1 つを選択し、インストールしたすべてのドライバがサブメニューに表示されていることを確認します。




**12**「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。

これで、インストールは完了です。

## プリンタドライバのインストール（Mac OS X の場合）

Mac OS X とのネットワーク接続を完了するには、コンピュータにプリンタドライバをインストールし、本機をネットワークプリンタとして設定します。

ネットワーク接続のプロトコルを以下から選択してください。

- EtherTalk
- Bonjour（Mac OS X 10.3 の場合は Rendezvous）

注

- Mac OS X 10.6 では、EtherTalk はサポートされていません。
- この手順を開始する前に、アンチウィルスソフトウェアを無効にしてください。

### ■ EtherTalk の使用（Mac OS X 10.5 の場合）

EtherTalk を使用してネットワーク接続を行う場合、本機で EtherTalk を有効にし、スリープモードを無効にしておく必要があります。その後、コンピュータにドライバをインストールします。

❑ まず、本機で EtherTalk を有効にします。

**1** 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認します。

参照

- 「イーサネットケーブルの接続」（P. 33）

**2** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

**3** ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

**4** 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

**5** ［**決定**］を選択し、OKを押します。

**6** ▼を押して［**ネットワーク管理**］を選択し、OKを押します。

**7** ▼を押して［**ネットワーク設定**］を選択し、OKを押します。

**8** ▼を押して［**EtherTalk**］を選択し、OKを押します。

**9** ▼を押して［**有効**］を選択し、OKを押します。

**10** トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

❑ 次に、本機でスリープモードを無効にします。

**1** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

**2** ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

**3** 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

**4** ［**決定**］を選択し、OKを押します。

**5** ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、OKを押します。

**6** ▼を押して［**省電力設定**］を選択し、OKを押します。

**7** ▼を押して［**スリープ**］を選択し、OKを押します。

**8** ▼を押して［**オフ**］を選択し、OKを押します。

**9** トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

❑ 次に、コンピュータにドライバをインストールします。

**1** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

**2** デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

**3** ［**Driver**］＞［**Printer**］＞［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

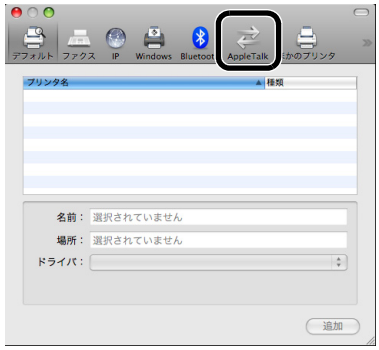
**4** 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

**5** アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

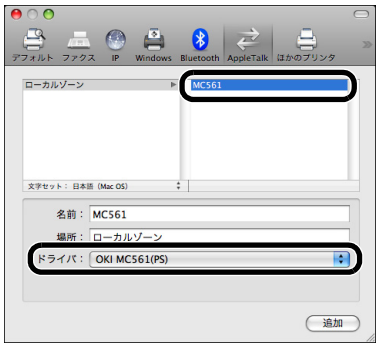
**6** ［**プリントとファクス**］をクリックします。

**7** ［**+**］をクリックします。

**8** ［**AppleTalk**］をクリックします。




**9** 本機を選択し、［**OKI MC561(PS)**］が［**ドライバ**］に表示されていることを確認します。




**10** ［**追加**］をクリックします。

**11** 本機が［**プリンタ**］に追加され、［**種類**］に［**OKI MC561(PS)**］が表示されていることを確認します。

注

- ［**種類**］に［**OKI MC561(PS)**］と正しく表示されない場合は、［**-**］をクリックして［**プリンタ**］から本機を削除し、手順 7 ～ 10 を再度行ってください。

**12** ［**プリントとファクス**］を閉じます。

**13** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。
これで、インストールは完了です。

## ■ EtherTalk の使用（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合）

EtherTalk を使用してネットワーク接続を行う場合、本機で EtherTalk を有効にし、スリープモードを無効にしておく必要があります。その後、コンピュータにドライバをインストールします。

メモ

- 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

❑ まず、本機で EtherTalk を有効にします。

1 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認します。

参照
- 「イーサネットケーブルの接続」（P. 33）

2 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

3 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

4 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

5 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**ネットワーク管理**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**ネットワーク設定**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**EtherTalk**］を選択し、OKを押します。

9 ▼を押して［**有効**］を選択し、OKを押します。

10 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

❑ 次に、本機でスリープモードを無効にします。

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**省電力設定**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**スリープ**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して［**オフ**］を選択し、OKを押します。

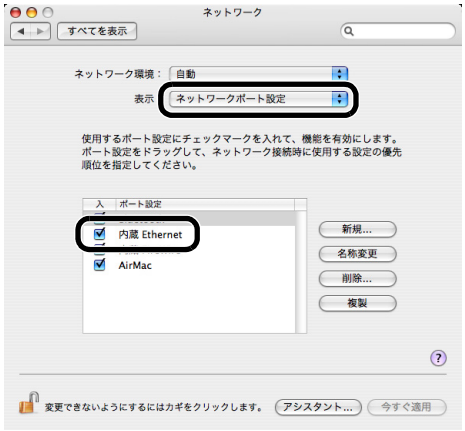
9 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

❑ 次に、コンピュータにドライバをインストールします。

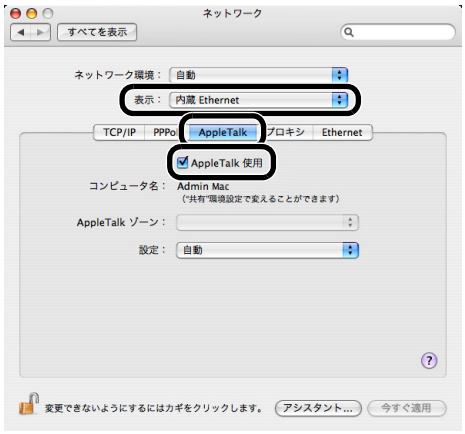
1 コンピュータのアップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

2 ［**ネットワーク**］をクリックします。

3 ［**表示**］から［**ネットワークポート設定**］を選択し、［**内蔵 Ethernet**］にチェックがついていることを確認します。




4 ［**表示**］から［**内蔵 Ethernet**］を選択し、［**AppleTalk**］タブを選択し、［**AppleTalk 使用**］にチェックがついていることを確認します。




5 ［**ネットワーク**］を閉じます。

6 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

7 デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

**8** ［Driver］＞［Printer］＞［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

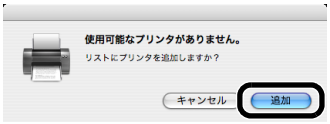
**9** 管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

**10** ［移動］メニューから［ユーティリティ］を選択し、［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

注
- ［プリンタ設定ユーティリティ］がすでに実行されている場合は、一度閉じて再度開きます。

**11** ［追加］をクリックします。

［使用可能なプリンタがありません。］ダイアログが表示されたら、［追加］をクリックします。




**12** ［接続］が［AppleTalk］である本機を選択し、［OKI MC561(PS)］が［使用するドライバ］に表示されていることを確認します。

Mac OS X 10.3.9 の場合は、以下のとおりに設定してください。

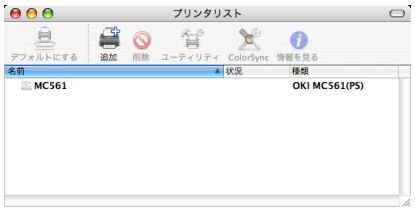
a) ポップアップメニューから［AppleTalk］を選択します。

b) リストから本機を選択します。

c) ［プリンタの機種］から［Oki］を選択し、ドライバのリストから［OKI MC561(PS)］を選択します。

**13** ［追加］をクリックします。

**14** 本機が［プリンタリスト］に表示されたことを確認し、ウィンドウを閉じます。

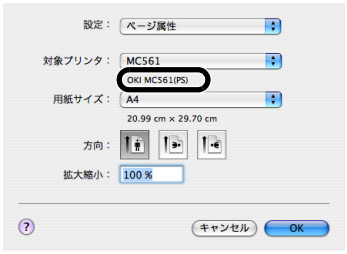



**15** ［移動］メニューから［アプリケーション］を選択し、［テキストエディット］をダブルクリックします。

**16** ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

**17** ［対象プリンタ］から、本機を選択します。

**18** ［OKI MC561(PS)］が［対象プリンタ］の下に正しく表示されていることを確認します。




**19** ［OK］をクリックします。

**20** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。
これで、インストールは完了です。

## ■ Bonjour の使用（Mac OS X 10.5 ～ 10.6 の場合）

Bonjour を使用してネットワーク接続を行う場合、本機でスリープモードを無効にしておく必要があります。その後、コンピュータにドライバをインストールします。

❑ まず、本機でスリープモードを無効にします。

**1** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

**2** ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、㊎を押します。

**3** 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

**4** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**5** ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、㊎を押します。

**6** ▼を押して［**省電力設定**］を選択し、㊎を押します。

*7* ▼を押して［**スリープ**］を選択し、OKを押します。

*8* ▼を押して［**オフ**］を選択し、OKを押します。

*9* トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

❑ 次に、コンピュータにドライバをインストールします。

*1* 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認します。

参照
●「イーサネットケーブルの接続」（P. 33）

*2* 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

*3* デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

*4* ［**Driver**］＞［**Printer**］＞［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

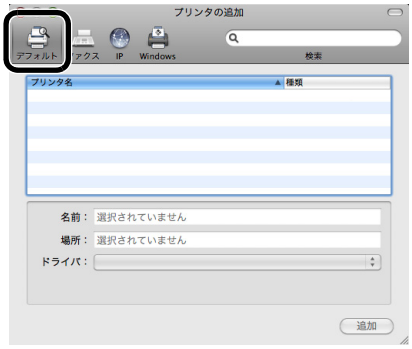
*5* 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

*6* アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

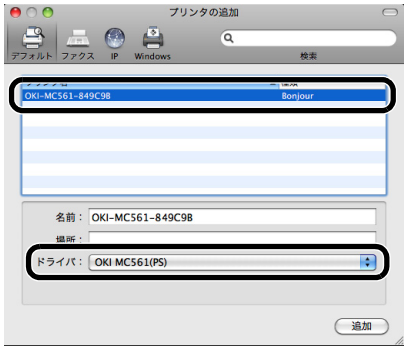
*7* ［**プリントとファクス**］をクリックします。

*8* ［**+**］をクリックします。

*9* ［**デフォルト**］をクリックします。




*10* ［**種類**］が［**Bonjour**］である本機を選択し、［**OKI MC561(PS)**］が［**ドライバ**］に表示されていることを確認します。
本機の名前は、「OKI-MC561-（MAC アドレスの下 6 桁）」の形で表示されます。




*11* ［**追加**］をクリックします。

*12* ［**インストール可能なオプション**］ウィンドウが表示されたら、［**続ける**］をクリックします。
ドライバをインストールする前にオプションのセカンドトレイユニットを本機に取り付けた場合は、トレイ設定を変更し、［**続ける**］をクリックします。

*13* 本機が［**プリンタ**］に追加され、［**種類**］に［**OKI MC561(PS)**］が表示されていることを確認します。

注

● ［**種類**］に［**OKI MC561(PS)**］と正しく表示されない場合は、［**-**］をクリックして［**プリンタ**］から本機を削除し、手順 8 ～ 12 を再度行ってください。

**14** [プリントとファクス] を閉じます。

**15** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。
これで、インストールは完了です。

## ■ Bonjour（Rendezvous）の使用（Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合）

Bonjour を使用してネットワーク接続を行う場合、本機でスリープモードを無効にしておく必要があります。その後、コンピュータにドライバをインストールします。

メモ

- 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

❑ まず、本機でスリープモードを無効にします。

**1** 操作パネルの < **設定** > キーを押します。

**2** ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、OKを押します。

**3** 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

**4** ［**決定**］を選択し、OKを押します。

**5** ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、OKを押します。

**6** ▼を押して［**省電力設定**］を選択し、OKを押します。

**7** ▼を押して［**スリープ**］を選択し、OKを押します。

**8** ▼を押して［**オフ**］を選択し、OKを押します。

**9** トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

❑ 次に、コンピュータにドライバをインストールします。

**1** 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認します。

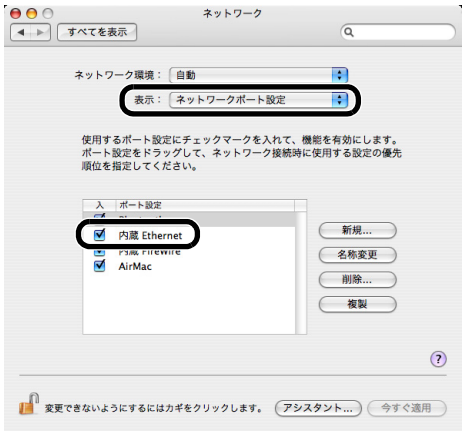
参照

- 「イーサネットケーブルの接続」（P. 33）

**2** アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

**3** ［**ネットワーク**］をクリックします。

**4** ［**表示**］から［**ネットワークポート設定**］を選択し、［**内蔵 Ethernet**］にチェックがついていることを確認します。




**5** ［**ネットワーク**］を閉じます。

**6** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

**7** デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

**8** ［**Driver**］>［**Printer**］>［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

**9** 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

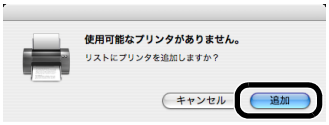
**10** ［**移動**］メニューから［**ユーティリティ**］を選択し、［**プリンタ設定ユーティリティ**］をダブルクリックします。

注

- ［**プリンタ設定ユーティリティ**］がすでに実行されている場合は、一度閉じて再度開きます。

**11** ［**追加**］をクリックします。

［**使用可能なプリンタがありません。**］ダイアログが表示されたら、［**追加**］をクリックします。



**12** ［**接続**］が［**Bonjour**］である本機を選択し、［**OKI MC561(PS)**］が［**使用するドライバ**］に表示されていることを確認します。

本機の名前は、「OKI-MC561-（MAC アドレスの下 6 桁）」の形で表示されます。

Mac OS X 10.3.9 の場合は、以下のとおりに設定してください。

a) ポップアップメニューから［**Rendezvous**］を選択します。

b) リストから本機を選択します。

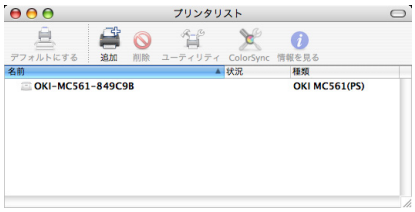
c) ［**プリンタの機種**］から［**Oki**］を選択し、ドライバのリストから［**OKI MC561(PS)**］を選択します。

**13** ［**追加**］をクリックします。

**14** ［**インストール可能なオプション**］ウィンドウが表示されたら、［**続ける**］をクリックします。

ドライバをインストールする前にオプションのセカンドトレイユニットを本機に取り付けた場合は、トレイ設定を変更し、［**続ける**］をクリックします。

**15** 本機が［**プリンタリスト**］に表示されたことを確認し、ウィンドウを閉じます。

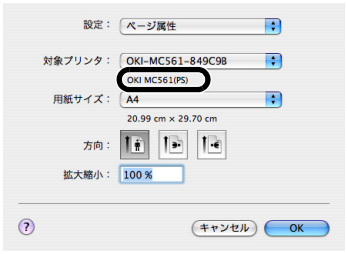



**16** ［**移動**］メニューから［**アプリケーション**］を選択し、［**テキストエディット**］をダブルクリックします。

**17** ［**ファイル**］メニューから［**ページ設定**］を選択します。

**18** ［**対象プリンタ**］から、本機を選択します。

**19** ［**OKI MC561(PS)**］が［**対象プリンタ**］の下に正しく表示されていることを確認します。




**20** ［**OK**］をクリックします。

**21** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。

これで、インストールは完了です。

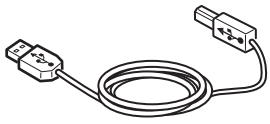
## USB 接続

USB を介して本機をコンピュータに接続します。

### USB ケーブルの接続

**1** USB ケーブルを用意します。

USB ケーブルは本機に付属していません。USB 2.0 ケーブルを別途用意してください。



メモ

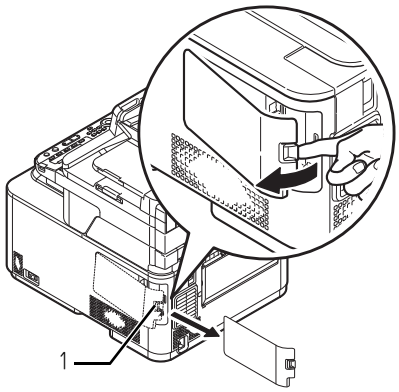
- USB 2.0 の Hi-Speed モードで接続を行う場合は、Hi-Speed USB 2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。

**2** 本機とコンピュータの電源を切ります。

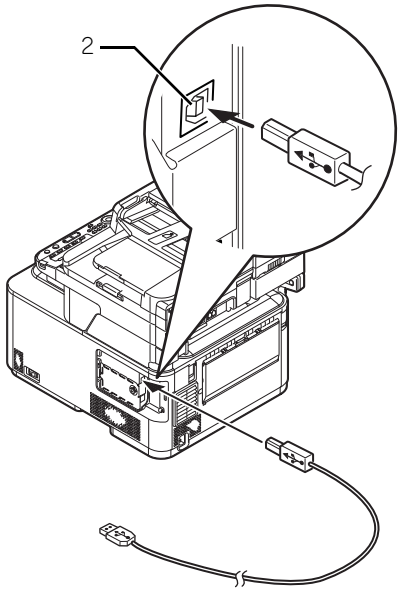
参照

- 「電源を切る」（P. 21）

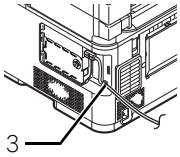
**3** ロックボタン（1）を押しながら、本機の右側のコネクタカバーを取り外します。



**4** USB ケーブルの一端を、本機の USB インタフェースコネクタ（2）に差し込みます。

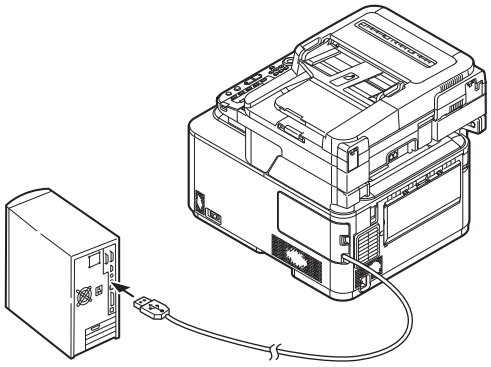



**5** USB ケーブルを本機のフック（3）に掛けます。




**6** コネクタカバーを本機に取り付けます。

**7** USBケーブルの他端をコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。



注

- Windows の場合、ドライバのインストール中に画面上に指示が表示されるまで、USB ケーブルの他端をコンピュータに差し込まないでください。

注

- USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないでください。故障の原因になります。

## プリンタ・ファクスドライバのインストール（Windows の場合）

注

- コンピュータの管理者の権限が必要です。

**1** 本機の電源が入っていないこと、USB ケーブルがコンピュータから抜いてあることを確認します。

**2** コンピュータの電源を入れます。

**3** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

**4** ［**自動再生**］が表示されたら、［**setup.exe の実行**］をクリックします。

［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

**5** モデルを選択し、［**次へ**］をクリックします。

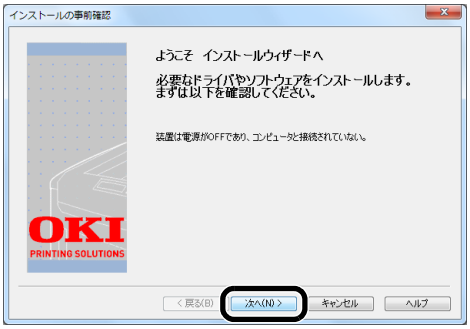
**6** 使用許諾契約を読んで、［**同意する**］をクリックします。

**7** ［**ドライバのインストール**］の下の［**かんたんインストール ( ローカル接続 )**］を選択します。

メモ

- ［**かんたんインストール ( ローカル接続 )**］では、PCL、PS、FAX ドライバがインストールされます。インストールするドライバを手動で選択したい場合は、［**詳細インストール ( プリンタ )**］を選択し、画面に表示される指示に従ってください。

**8** ［**次へ**］をクリックします。



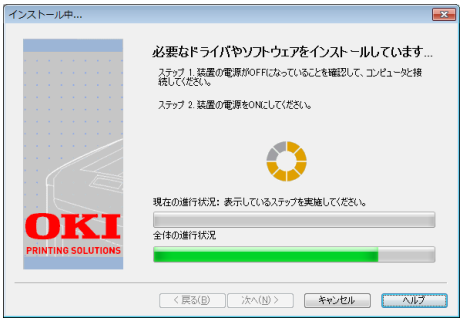

インストールが開始されます。

メモ

- プリンタ・ファクスドライバのほかに、スキャナドライバ、および色見本印刷ユーティリティも同時にインストールされます。

**9** ［**Windows セキュリティ**］ダイアログが表示されたら、［**このドライバー ソフトウェアをインストールします**］をクリックします。

**10** 本機をコンピュータに接続して、本機の電源を入れることを促す指示が表示されたら、本機とコンピュータを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。




画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

参照

- 「USB ケーブルの接続」（P. 42）

**11** ［**インストールの完了**］画面が表示されたら、［**完了**］をクリックします。

**12** ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

**13** OKI MC561 アイコンが表示されていることを確認します。

OKI MC561 アイコンを右クリックし、メニュー項目の 1 つを選択し、インストールしたすべてのドライバがサブメニューに表示されていることを確認します。

**14** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。

これで、インストールは完了です。

## プリンタドライバのインストール（Mac OS X の場合）

注

- この手順を開始する前に、アンチウィルスソフトウェアを無効にしてください。

### ■ Mac OS X 10.5 ～ 10.6 の場合

**1** 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認します。

参照

- 「USB ケーブルの接続」（P. 42）

**2** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

**3** デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

**4** ［**Driver**］＞［**Printer**］＞［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

**5** 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

**6** アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

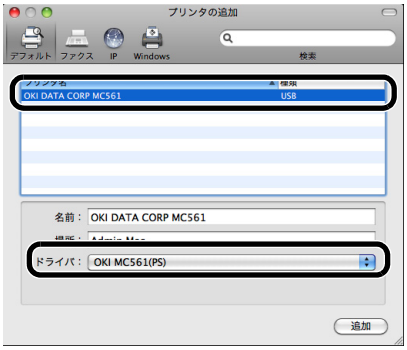
**7** ［**プリントとファクス**］をクリックします。

**8** ［+］をクリックします。

注

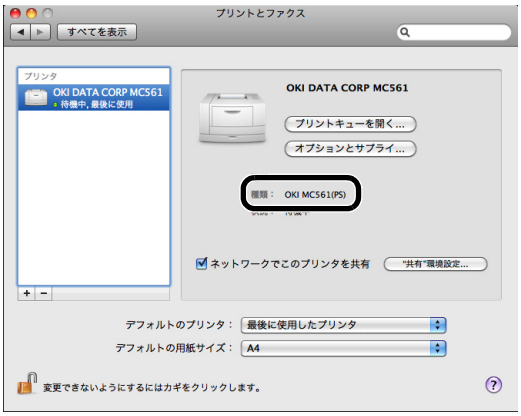
- ［**プリンタ**］に本機がすでに表示されている場合は、本機を選択し、［-］をクリックして削除します。その後、［+］をクリックします。

**9** ［**種類**］が［**USB**］である本機を選択し、［**OKI MC561(PS)**］が［**ドライバ**］に表示されていることを確認します。




**10** ［**追加**］をクリックします。

**11** 本機が［**プリンタ**］に追加され、［**種類**］に［**OKI MC561(PS)**］が表示されていることを確認します。




注

- ［**種類**］に［**OKI MC561(PS)**］と正しく表示されない場合は、［-］をクリックして［**プリンタ**］から本機を削除し、手順 8 ～ 10 を再度行ってください。

**12** ［**プリントとファクス**］を閉じます。

**13** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。

これで、インストールは完了です。

## ■ Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合

メモ

- 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

**1** 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認します。

参照

- 「USB ケーブルの接続」（P. 42）

**2** 「ソフトウェア CD-ROM」を挿入します。

**3** デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

**4** ［**Driver**］＞［**Printer**］＞［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

**5** 管理者パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

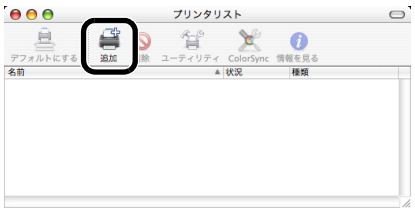
画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

**6** ［**移動**］メニューから［**ユーティリティ**］を選択し、［**プリンタ設定ユーティリティ**］をダブルクリックします。

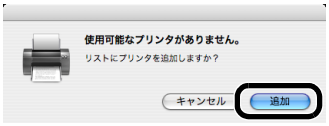
注

- ［**プリンタ設定ユーティリティ**］がすでに実行されている場合は、一度閉じて再度開きます。

**7** ［**追加**］をクリックします。



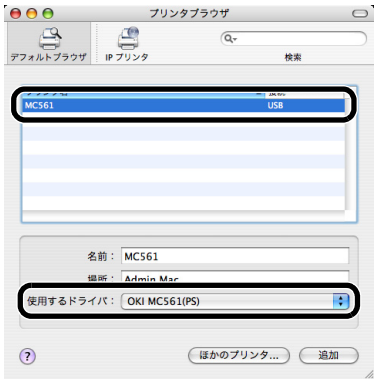

［**使用可能なプリンタがありません。**］ダイアログが表示されたら、［**追加**］をクリックします。




注

- 本機がすでに表示されている場合は、本機を選択して［**削除**］をクリックしてから、［**追加**］をクリックします。

***8*** ［**接続**］が［**USB**］である本機を選択し、［**OKI MC561(PS)**］が［**使用するドライバ**］に表示されていることを確認します。




Mac OS X 10.3.9 の場合は、以下のとおりに設定してください。

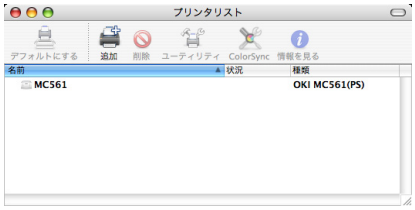
a) ポップアップメニューから［**USB**］を選択します。

b) リストから本機を選択します。

c)［**プリンタの機種**］から［**Oki**］を選択し、ドライバのリストから［**OKI MC561(PS)**］を選択します。

***9*** ［**追加**］をクリックします。

***10*** 本機が［**プリンタリスト**］に表示されたことを確認し、ウィンドウを閉じます。




***11*** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータから取り出します。

これで、インストールは完了です。

# ネットワーク設定を行う

この節では、スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC、インターネットファクス機能を使用するために必要なセットアップについて説明します。

上記の機能は、ネットワーク接続を介してスキャンしたデータをコンピュータに送信します。そのため、本機と送信先のコンピュータをあらかじめセットアップしておく必要があります。

まず、セットアップに必要な情報を確認し、以下の設定情報シートの［**お客様記入欄**］に記入します。次に、［**お客様記入欄**］の情報を使用して、本機およびコンピュータを設定します。

参照

- 以下の手順を行う前に、必ずネットワーク接続を設定してください。詳しくは、「ネットワーク接続」（P. 33）を参照してください。

## 設定情報シート

| 番号 | 項目 | 概略説明 | 例 | お客様記入欄<br>* 次ページ以降をご覧になり、確認したり設定したりした内容をここにメモしてください。 |
|---|---|---|---|---|
| **共通セットアップ情報** | | | | |
| A-1 | 本機の管理者パスワード | 本機のシステム設定を変更するためのパスワード | aaaaaa | |
| A-2 | ゲートウェイアドレス | ゲートウェイアドレス | 192.168.0.1 | |
| A-3 | DNS サーバアドレス | DNS サーバアドレス | 192.168.0.1 | |
| **スキャン To メールおよびインターネットファクスに必要なセットアップ情報** | | | | |
| B-1 | 送信者 | 本機から E メールを送るときに使用する E メールアドレス | mc561@test.co.jp | （半角 80 文字以内） |
| B-2 | SMTP サーバ | E メールを送信するときに使用するサーバのアドレス | smtp.test.co.jp | |
| B-3 | POP3 サーバ | E メールを受信するときに使用するサーバのアドレス | pop3.test.co.jp | |
| B-4 | 認証方法 | 送信メールサーバの認証 | SMTP | |
| B-5 | SMTP ユーザ ID | 送信メールサーバのアカウント名 | OKIMC561 | |
| B-6 | SMTP パスワード | 送信メールサーバのパスワード | okimc561 | |
| B-7 | POP ユーザ ID | 受信メールサーバのアカウント名 | user | |
| B-8 | POP パスワード | 受信メールサーバのパスワード | okimc561 | |
| B-9 | E メール送信先の名称 | 本機からスキャン To メール / インターネットファクスで送りたい相手の名前 | User | |
| B-10 | E メールアドレス | 本機からスキャン To メール / インターネットファクスで送りたい相手の E メールアドレス | user@test.co.jp | |
| **スキャン To ネットワーク PC に必要なセットアップ情報** | | | | |
| C-1 | 送信先のコンピュータ名 | スキャンしたデータを転送するコンピュータの名前 | PC1 | |
| C-2 | ユーザ名 | スキャンしたデータを転送するコンピュータにログインするためのユーザ名 | mc561 | （半角 32 文字以内） |
| C-3 | パスワード | スキャンしたデータを転送するコンピュータにログインするためのパスワード | mc561 | （半角 32 文字以内） |
| C-4 | プロファイル名 | 送信先の名称（任意） | Sales | （半角 16 文字以内） |
| C-5 | 共有フォルダ名 | スキャンしたデータを転送するコンピュータのフォルダ名 | SalesDev | （半角 64 文字以内） |
| C-6 | スキャンファイル名 | スキャンしたデータのファイル名（任意） | ScanData | （半角 64 文字以内） |

## 共通セットアップ情報の確認

スキャン To メール、スキャン To ネットワーク PC、およびインターネットファクスに共通のセットアップ情報を確認し、設定情報シートの該当する欄に記入してください。

### ■本機の管理者パスワード

設定情報シートの A-1 に、本機の管理者パスワードを記入します。

本機の管理者でない場合は、管理者にパスワードを問い合わせてください。

メモ

- パスワードは大文字 / 小文字が区別されます。
- 工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

### ■ゲートウェイアドレス・DNS サーバ

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ［**レポート印刷**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

3 ［**メニューマップ**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

4 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

5 設定情報シートの A-2 に、印刷されたメニューマップの 3 ページ目右下にあるゲートウェイアドレスの行に書かれているアドレスを、A-3 に、同ページ右下にある DNS サーバ（プライマリ）の行に書かれているアドレスを記入します。

注

- あらかじめ、ゲートウェイアドレスの設定がされている必要があります。また、インターネットサービスプロバイダを利用している場合は、DNS サーバの設定がされている必要があります。未設定（0.0.0.0）の場合、34 ページの手順に従って設定してください。

## スキャン To メール・インターネットファクスのセットアップ

スキャン To メールおよびインターネットファクスにより、スキャンした画像を E メールの添付ファイルとして、ネットワーク上の指定された E メールアドレスに送信することができます。これらの機能を使用するには、本機の E メール設定をセットアップします。

自動配信・通信データ保存機能（MC561dn のみ）を使用する場合も、以下のセットアップを行う必要があります。

### コンピュータの E メール設定を確認する

注

- ネットワーク管理者が本機のメールサーバアカウント、パスワード、E メールアドレスなどの値を指定する場合は、それらを設定情報シートに記入してください。

メモ

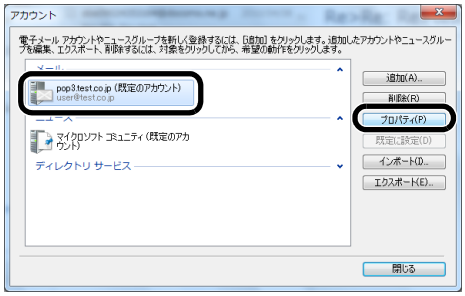
- 次の手順では、本機で使用予定のメールサーバを使用し、Windows7 上の Windows Live メールを使用して本機からのメールを受信する場合を例にしています。異なる E メールソフトウェアを使用している場合は、E メールソフトウェアのマニュアルを参照してください。

1 ［**スタート**］をクリックし、［**Windows Live メール**］を選択します。

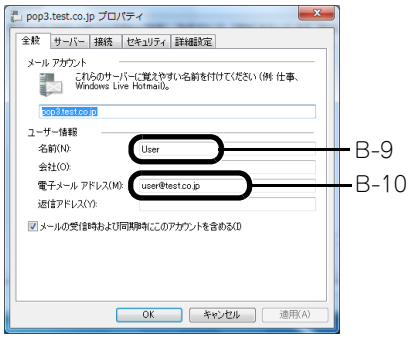
2 ［**ツール**］メニューから［**アカウント**］を選択します。

メニューバーが表示されていない場合は、［**メニュー**］アイコンをクリックし、［**メニュー バーの表示**］を選択します。

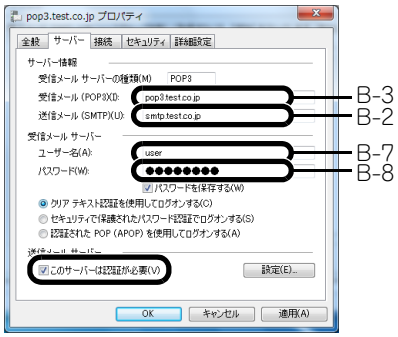
3 メールアカウントを選択し、［**プロパティ**］をクリックします。



**4** ［**全般**］タブの［**名前**］と［**電子メール アドレス**］の内容を、設定情報シートの B-9 と B-10 に記入します。




**5** ［**サーバー**］タブを選択し、各設定値を設定情報シートの該当する欄に記入します。



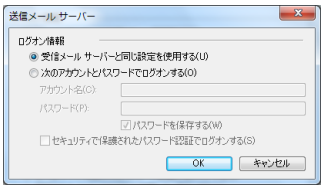

- ［**このサーバーは認証が必要**］にチェックがついている場合は、B-4 に「SMTP」と記入し手順 6 に進みます。
- ［**このサーバーは認証が必要**］にチェックがついていない場合は、B-4 に「POP、または認証しない」と記入します。ここで E メール設定の確認は完了です。

注

- インターネットサービスプロバイダを利用している場合は、「POP」と記入してください。

**6** ［**設定**］をクリックします。

**7** ［**送信メール サーバー**］ダイアログでログオン情報を確認します。




- ［**受信メール サーバーと同じ設定を使用する**］が選択されている場合は、B-7 の値を B-5 に、B-8 の値を B-6 に記入します。
- ［**次のアカウントとパスワードでログオンする**］が選択されている場合は、［**アカウント名**］の値を B-5 に、［**パスワード**］の値を B-6 に記入します。

## 本機の E メールアドレスを決定する

本機からスキャンしたデータを E メールで送信するときに、本機用の E メールアドレスが必要になります。以下に従って本機の E メールアドレスを決定し、設定情報シートの B-1 に記入します。

- 本機の E メールアドレスがネットワーク管理者によって指定されている場合は、その E メールアドレスを B-1 に記入します。
- インターネットサービスプロバイダを利用している場合は、本機の E メールアドレスをプロバイダから取得し、その E メールアドレスを B-1 に記入します。
- 本機の E メールアドレスの指定がなく、取得されてもいない場合には、B-4 に「認証しない」と記入されている場合のみ、任意で E メールアドレスを決め、それを B-1 に記入します。

注

- 本機で E メールを受信したい場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダから本機の E メールアドレスを取得する必要があります。

## スキャン To メール・インターネットファクスを使用できるように本機を設定する

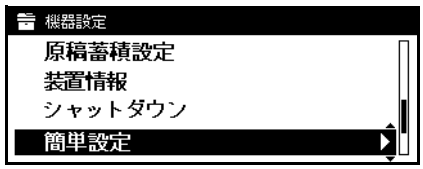
設定情報シートの情報を使用して、スキャン To メールおよびインターネットファクスを使用できるように本機を設定します。

注

- フリーのメールサーバやお使いのインターネットサービスプロバイダが提供しているメールサーバ以外のメールサーバをお使いの場合、簡単設定では設定できません。
＜**設定**＞キーを押し、［**管理者設定**］＞［**ネットワーク管理**］＞［**メールサーバ設定**］を選択すると、詳細なメールサーバ設定が表示されますので、その画面で設定をしてください。

**1** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

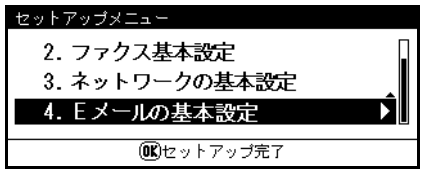
**2** ▼を押して［**簡単設定**］を選択し、㊎を押します。




**3** 管理者パスワード（A-1）を入力します。

**4** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**5** ▼を押して［**E メールの基本設定**］を選択し、▶を押します。




**6** ▶を押し、B-2 の情報を入力します。

**7** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**8** ▶を押し、B-1 の情報を入力します。

**9** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**10** ▼を押して B-4 の情報をもとに認証方法を選択し、㊎を押します。

- B-4 が「認証しない」の場合は、［**認証しない**］を選択します。手順 21 に進みます。
- B-4 が「SMTP」の場合は、［**SMTP Auth**］を選択します。手順 11 に進みます。
- B-4 が「POP」の場合は、［**POP Before SMTP**］を選択します。手順 15 に進みます。

**11** ▶を押し、B-5 の情報を入力します。

**12** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**13** ▶を押し、B-6 の情報を入力します。

**14** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。
手順 21 に進みます。

**15** ▶を押し、B-3 の情報を入力します。

**16** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

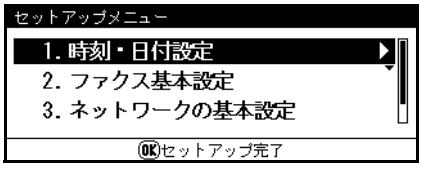
**17** ▶を押し、B-7 の情報を入力します。

**18** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**19** ▶を押し、B-8 の情報を入力します。

**20** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**21** セットアップメニュー画面が表示されたら、㊎を押します。




これでスキャン To メールおよびインターネットファクス用のセットアップは完了です。

参照

- スキャン To メールの使用方法については、「スキャン To メール」（P. 100）を参照してください。
- インターネットファクスの使用方法については、「インターネットファクス機能の基本操作」（P. 93）を参照してください。

## スキャン To ネットワーク PC のセットアップ

スキャン To ネットワーク PC により、スキャンしたデータをネットワーク上のコンピュータの「共有フォルダ」に送信することができます。この機能を使用するには、本機をコンピュータにユーザとして登録し、共有フォルダを作成してから、本機にプロファイルを登録します。

注

- セットアップを開始する前に、ネットワーク管理者にコンピュータ上に共有フォルダを作成してもよいか確認してください。

メモ

- この手順では、CIFS プロトコルを使用します。

### コンピュータの名前を確認する

次の手順に従ってコンピュータの名前を確認し、設定情報シートの C-1 に記入します。

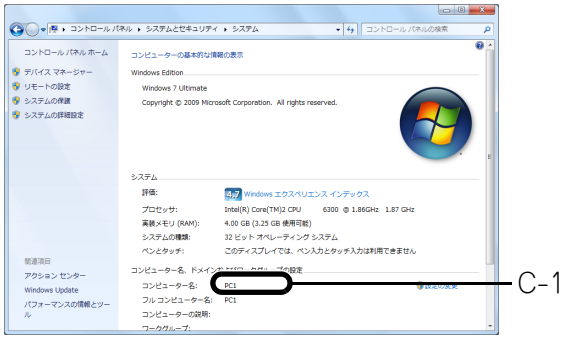
#### ■ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 の場合

**1** ［**スタート**］をクリックし、［**コントロール パネル**］を選択します。

**2** ［**システムとセキュリティ**］を選択します。
Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、［**システムとメンテナンス**］を選択します。

**3** ［**システム**］の下の［**コンピューターの名前の参照**］を選択します。

**4** 設定情報シートの C-1 に、［**コンピューター名**］の名前を記入します。




**5** ウィンドウを閉じます。

#### ■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

**1** ［**スタート**］をクリックし、［**コントロールパネル**］＞［**パフォーマンスとメンテナンス**］＞［**システム**］を選択します。
Windows Server 2003 の場合は、［**スタート**］をクリックし、［**コントロールパネル**］＞［**システム**］を選択します。

2 ［コンピュータ名］タブを選択し、［変更］をクリックします。

3 設定情報シートの C-1 に、［コンピュータ名］の名前を記入します。

4 ［キャンセル］をクリックして、ウィンドウを閉じます。

### ■ Windows 2000 の場合

1 ［スタート］をクリックし、［設定］＞［コントロール パネル］を選択します。

2 ［システム］をダブルクリックします。

3 ［ネットワーク ID］タブを選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 設定情報シートの C-1 に、［コンピュータ名］の名前を記入します。

5 ［キャンセル］をクリックして、ウィンドウを閉じます。

### ■ Mac OS X の場合

1 アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

2 ［共有］をクリックします。

3 設定情報シートの C-1 に、［コンピュータ名］の名前を記入します。

メモ

- コンピュータ名が 16 文字以上の場合、Mac OS X 10.4.11 では、最初の 15 文字を C-1 に記入します。
  Mac OS X 10.5 ～ 10.6 では、［システム環境設定］＞［ネットワーク］で使用するネットワークサービスを選択し、詳細設定の WINS で、NetBIOS 欄の名前を C-1 に記入します。

4 ［共有］を閉じます。

## スキャン To ネットワーク PC に必要な項目の名前を決める

次の項目の名前を決め、設定情報シートの C-2 から C-6 に記入します。

- 送信先コンピュータにログインするためのユーザ名（C-2）

  ! 注

  - ユーザ名がドメインで管理されている場合は、「ユーザ名@ドメイン名」を C-2 に記入します。
    ドメイン名を確認するには、［システムのプロパティ］ダイアログの［コンピュータ名］タブで、［変更］をクリックします。
- 送信先コンピュータにログインするためのパスワード（C-3）
- 本機に設定を登録するためのプロファイル名（C-4）
- 送信先コンピュータに作成する共有フォルダの名前（C-5）
- スキャンしたデータのファイル名（C-6）

## スキャン To ネットワーク PC を使用できるようにコンピュータを設定する

設定情報シートの情報を使って、コンピュータに本機用のアカウントと共有フォルダを作成します。

メモ

- コンピュータがドメイン内にある場合、ユーザアカウントを追加する手順が以下の手順と異なることがあります。お使いの OS のマニュアルを参照してください。

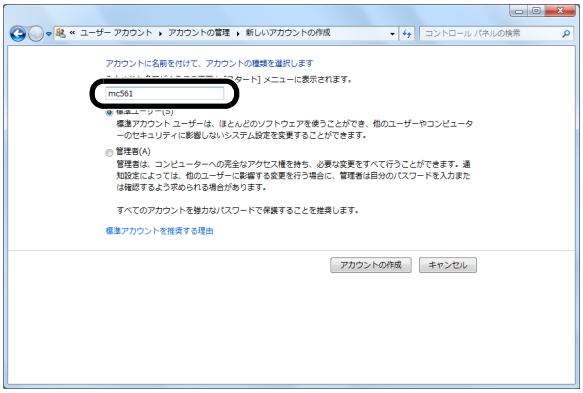
### ■ Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 の場合

1 ［スタート］をクリックし、［コントロール パネル］を選択します。

2 ［ユーザー アカウントの追加または削除］を選択します。

3 ［新しいアカウントの作成］を選択します。

4 C-2 の値をテキストボックスに入力します。



**5** ［**標準ユーザー**］が選択されていることを確認し、［**アカウントの作成**］をクリックします。

**6** 手順5で作成したユーザアカウントのアイコンをクリックします。

**7** ［**パスワードの作成**］を選択します。

**8** C-3 の値を［**新しいパスワード**］と［**新しいパスワードの確認**］に入力し、［**パスワードの作成**］をクリックします。

**9** ウィンドウを閉じます。

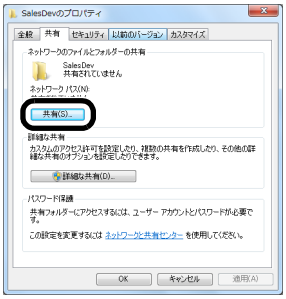
**10** C-5 に記入した名前で、コンピュータ上に新しいフォルダを作成します。

メモ

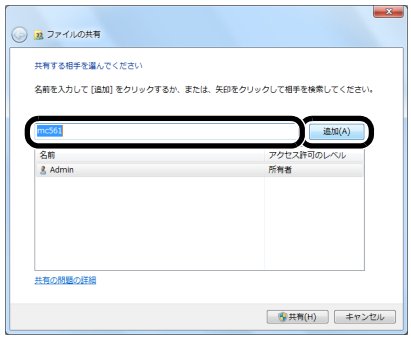
- デスクトップや［**ドキュメント**］、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダを作成することをおすすめします。

**11** 手順 10 で作成したフォルダを右クリックし、［**プロパティ**］を選択します。

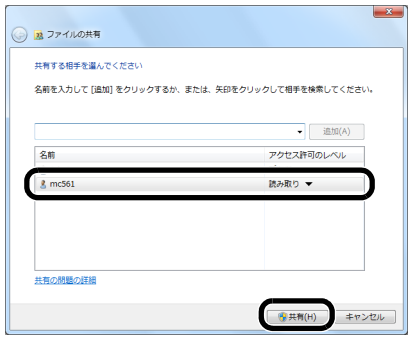
**12** ［**共有**］タブを選択し、［**共有**］をクリックします。




**13** 手順5で作成したユーザアカウントをドロップダウンリストから選択し、［**追加**］をクリックします。




**14** 手順 13 で追加したユーザがリストに表示されたことを確認し、［**共有**］をクリックします。

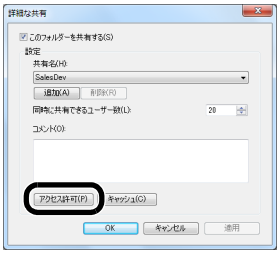



［**ネットワークの探索とファイル共有**］ダイアログが表示されたら、［**いいえ、接続しているネットワークをプライベートネットワークにします**］をクリックします。

**15** ［**終了**］をクリックします。

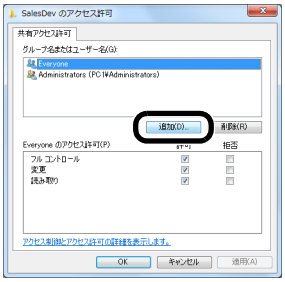
**16** ［**共有**］タブの［**詳細な共有**］をクリックします。

**17** ［**アクセス許可**］をクリックします。

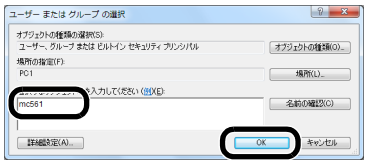



Windows Vista/Windows Server 2008 の場合は、手順 20 に進みます。

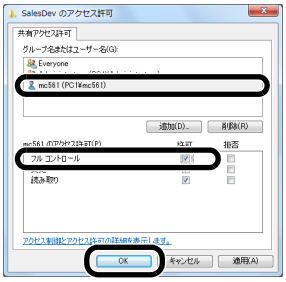
**18** ［**追加**］をクリックします。



***19*** 入力欄に C-2 の値を入力し、［**OK**］をクリックします。



***20*** 手順 13 で追加したユーザを選択し、［**フル コントロール**］の［**許可**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。



***21*** ［**OK**］をクリックします。

***22*** ［**閉じる**］をクリックします。

「スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」（P. 58）に進みます。

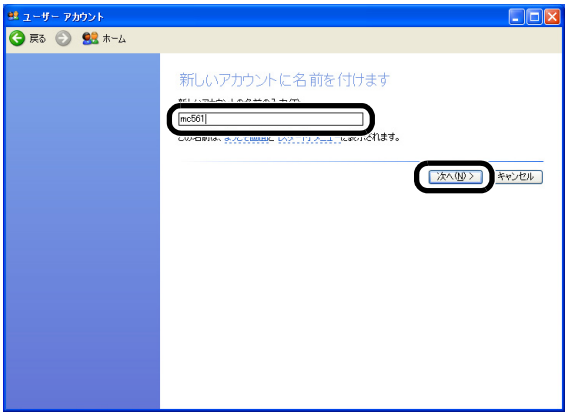
## ■ Windows XP の場合

***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**コントロール パネル**］を選択します。

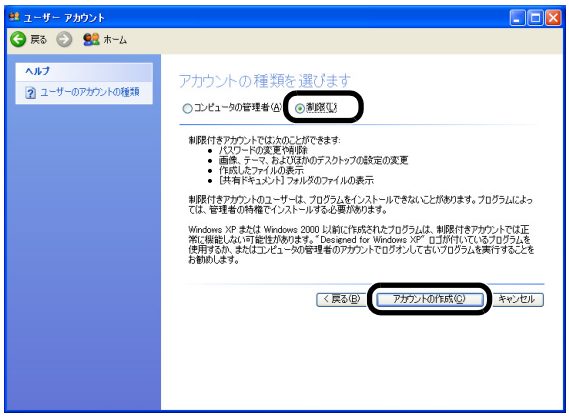
***2*** ［**ユーザー アカウント**］をダブルクリックします。

***3*** ［**新しいアカウントを作成する**］を選択します。

***4*** C-2 の値をテキストボックスに入力し、［**次へ**］をクリックします。



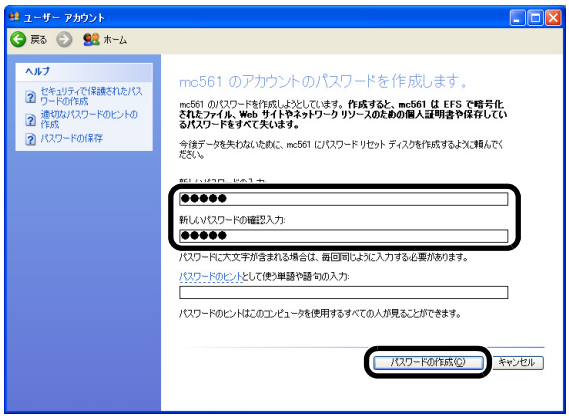
***5*** ［**制限**］を選択し、［**アカウントの作成**］をクリックします。



***6*** 手順5で作成したユーザアカウントのアイコンをクリックします。

***7*** ［**パスワードを作成する**］を選択します。

***8*** C-3 の値を［**新しいパスワードの入力**］および［**新しいパスワードの確認入力**］に入力し、［**パスワードの作成**］をクリックします。



***9*** ウィンドウを閉じます。

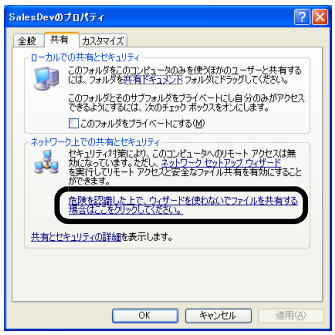
***10*** C-5 に記入した名前で、コンピュータ上に新しいフォルダを作成します。

メモ

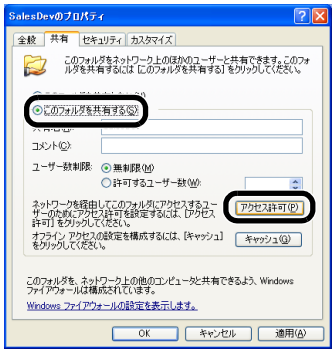
- デスクトップや［**マイ ドキュメント**］、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダを作成することをおすすめします。

***11*** 手順 10 で作成したフォルダを右クリックし、［**共有とセキュリティ**］を選択します。

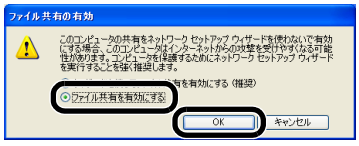
**12** ［危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。］をクリックします。



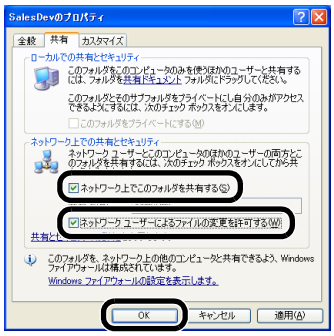

次の画面が表示された場合は、［**このフォルダを共有する**］を選択し、［**アクセス許可**］をクリックします。手順 15 に進みます。




**13** Windows ファイアウォールで［**ファイル共有を有効にする**］を選択し、［OK］をクリックします。

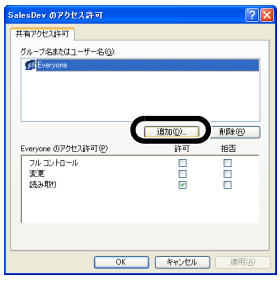



**14** ［**ネットワーク上でこのフォルダを共有する**］および［**ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する**］にチェックをつけ、［OK］をクリックします。

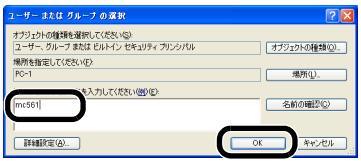



「スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」（P. 58）に進みます。

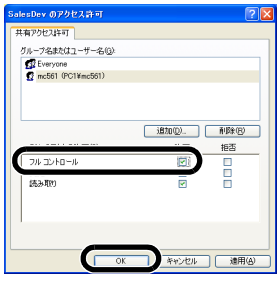
**15** ［**追加**］をクリックします。




**16** 入力欄に C-2 の値を入力し、［OK］をクリックします。




**17** ［**フル コントロール**］の［**許可**］にチェックをつけ、［OK］をクリックします。




「スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」（P. 58）に進みます。

## ■ Windows Server 2003/Windows 2000 の場合

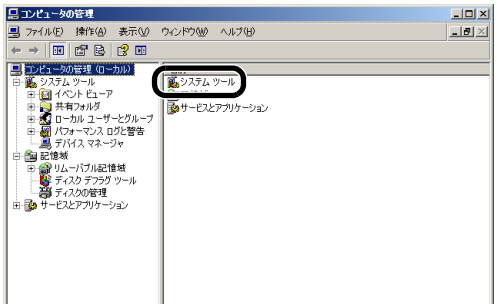
メモ

- お使いのエディションによって、記載と異なることがあります。

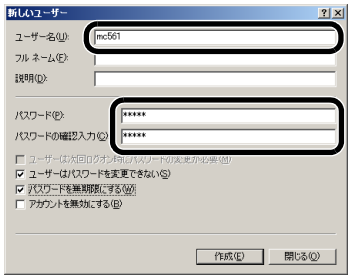
***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**管理ツール**］＞［**コンピュータの管理**］を選択します。

Windows 2000 の場合は、デスクトップの［**マイ コンピュータ**］を右クリックし、［**管理**］を選択します。

***2*** 右側のウィンドウで、［**システム ツール**］＞［**ローカル ユーザーとグループ**］をダブルクリックし、［**ユーザー**］を右クリックして、［**新しいユーザー**］を選択します。




***3*** C-2 の値を［**ユーザー名**］に、C-3 の値を［**パスワード**］と［**パスワードの確認入力**］に入力します。




***4*** ［**ユーザーはパスワードを変更できない**］と［**パスワードを無期限にする**］にチェックをつけ、［**作成**］をクリックします。

メモ

- ［**ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要**］にチェックがついている場合は、そのチェックを外してから［**ユーザーはパスワードを変更できない**］と［**パスワードを無期限にする**］にチェックをつけてください。

***5*** ［**閉じる**］をクリックします。

***6*** ［**ユーザー**］をダブルクリックし、手順 4 で作成したユーザが表示されていることを確認します。

***7*** ウィンドウを閉じます。

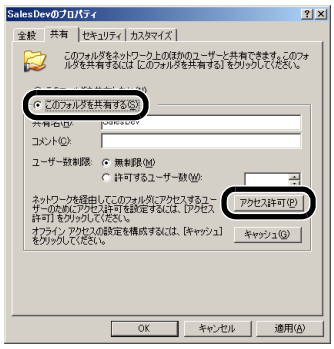
***8*** C-5 に記入した名前で、コンピュータ上に新しいフォルダを作成します。

メモ

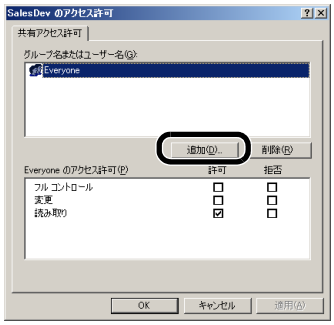
- デスクトップや［**マイ ドキュメント**］、またはネットワークドライブ上ではなく、C ドライブや D ドライブなどのハードディスクドライブ直下にフォルダを作成することをおすすめします。

***9*** 手順 8 で作成したフォルダを右クリックし、［**共有**］を選択します。

***10*** ［**このフォルダを共有する**］を選択し、［**アクセス許可**］をクリックします。

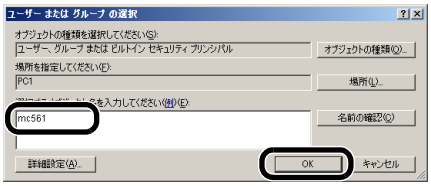



***11*** ［**追加**］をクリックします。



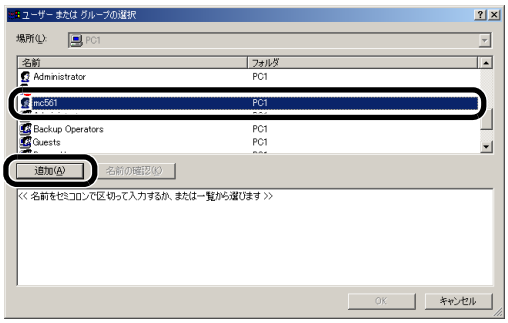

Windows 2000 の場合は、手順 13 に進みます。

***12*** 入力欄に C-2 の値を入力し、［**OK**］をクリックします。



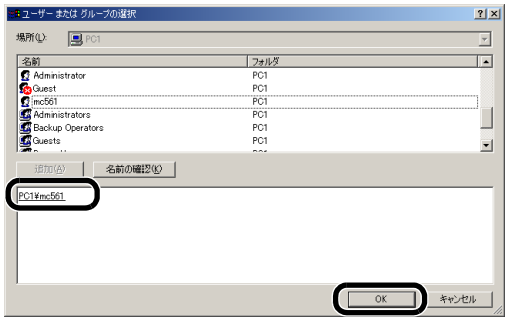

手順 15 に進みます。

**13** Windows 2000 の場合は、手順 4 で作成したユーザアカウントを選択し、［**追加**］をクリックします。

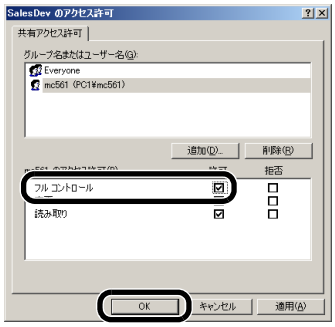


**14** 手順 13 で追加したユーザアカウントが下のリストに表示されたことを確認し、［**OK**］をクリックします。

ユーザアカウントは、「C-1￥C-2」の形で表示されます。



**15** ［**フル コントロール**］の［**許可**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。



**16** 手順8で作成したフォルダのアイコンが手のついたアイコンに変わったことを確認し、ウィンドウを閉じます。

「スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」（P. 58）に進みます。

## ■ Mac OS X 10.5 ～ 10.6 の場合

**1** アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

**2** ［**アカウント**］をクリックします。

**3** 画面左下の［**変更するにはカギをクリックします。**］をクリックし、管理者パスワードを入力して［**OK**］をクリックします。

**4** ［**+**］をクリックします。

**5** ［**新規アカウント**］から［**通常**］を選択します。

**6** C-2 の値を［**フルネーム**］に入力します。

Mac OS X 10.5 の場合は、C-2 の値を［**名前**］に入力します。

**7** C-3 の値を［**パスワード**］と［**確認**］に入力します。

**8** ［**アカウントを作成**］をクリックします。

メモ

- 自動ログインについてのダイアログが表示されたら、自動ログインを無効にします。

**9** ［**その他のアカウント**］に C-2 の名前でアカウントが追加されたことを確認し、［**アカウント**］を閉じます。

**10** C-5 に記入した名前で、コンピュータ上に新しいフォルダを作成します。

***11*** アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

***12*** ［**共有**］をクリックします。

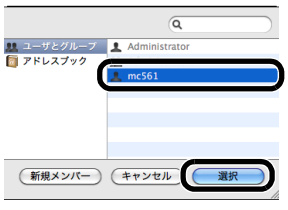
***13*** ［**ファイル共有**］にチェックをつけます。

***14*** ［**共有フォルダ**］下の［**+**］をクリックします。

***15*** 手順 10 で作成したフォルダを選択して［**追加**］をクリックします。

***16*** 手順 15 で追加したフォルダを選択し、［**ユーザ**］下の［**+**］をクリックします。

***17*** 手順 8 で作成したアカウントを選択して［**選択**］をクリックします。

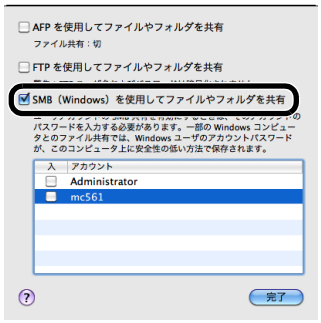



***18*** 手順 17 で追加したユーザの右端の三角形ボタンをクリックし、［**読み／書き**］を選択します。

***19*** ［**オプション**］をクリックします。

***20*** ［**SMB（Windows）を使用してファイルやフォルダを共有**］にチェックをつけます。

Mac OS X 10.5 の場合は［**SMB を使用してファイルやフォルダを共有**］にチェックをつけます。




***21*** 手順 16 で追加したアカウントにチェックをつけます。

***22*** ［**パスワード**］に C-3 の値を入力して［**OK**］をクリックします。

***23*** ［**完了**］をクリックします。

***24*** ［**共有**］を閉じます。

「スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」（P. 58）に進みます。

## ■ Mac OS X 10.3.9 ～ 10.4.11 の場合

メモ

- 次の手順では、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。お使いの OS によって、記載と異なることがあります。

***1*** アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

**2** ［**アカウント**］をクリックします。

**3** 画面左下の［**変更するにはカギをクリックします。**］をクリックし、管理者パスワードを入力して［**OK**］をクリックします。

**4** ［**+**］をクリックします。

**5** C-2 の値を［**名前**］に入力します。

**6** C-3 の値を［**パスワード**］と［**確認**］に入力します。

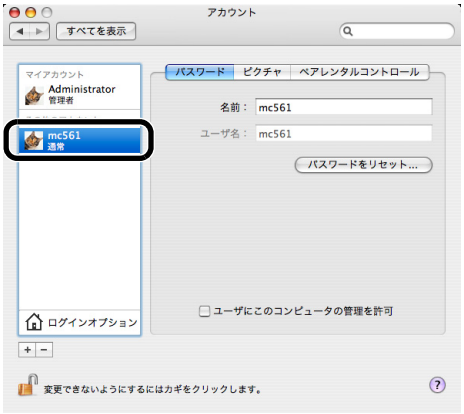
Mac OS X 10.3.9 の場合は、手順 8 に進みます。

**7** ［**アカウントを作成**］をクリックします。

メモ

- 自動ログインについてのダイアログが表示されたら、自動ログインを無効にします。

**8** ［**その他のアカウント**］に C-2 の名前でアカウントが追加されたことを確認し、［**アカウント**］を閉じます。

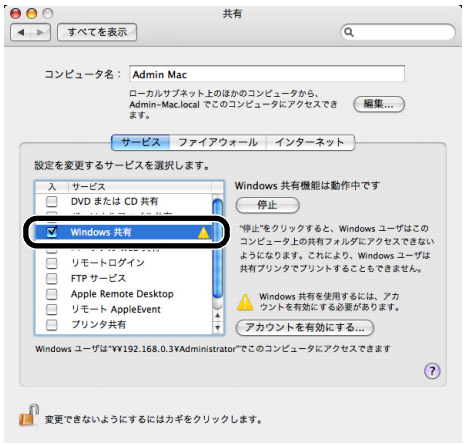



**9** C-5 に記入した名前で、コンピュータ上に新しいフォルダを作成します。

**10** アップルメニューから［**システム環境設定**］を選択します。

**11** ［**共有**］をクリックします。

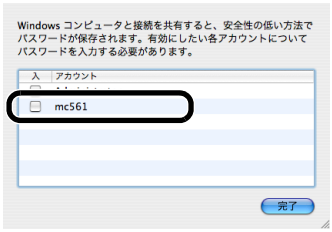
**12** ［**Windows 共有**］にチェックをつけます。




Mac OS X 10.3.9 の場合は、手順 17 に進みます。

**13** ［**アカウントを有効にする**］をクリックします。

**14** 手順7で作成したアカウントにチェックをつけます。




**15** ［**パスワード**］に C-3 の値を入力し、［**OK**］をクリックします。

**16** ［**完了**］をクリックします。

**17** ［**共有**］を閉じます。

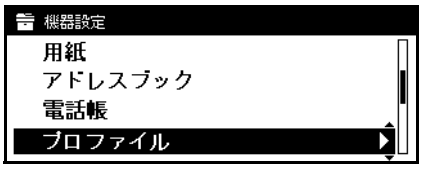
「スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」に進みます。

## スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する

設定情報シートの情報をプロファイルとして本機に登録します。スキャン To ネットワーク PC を実行するときは、このプロファイルを指定してデータを送信します。

**1** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

**2** ▼を押して［**プロファイル**］を選択し、㊎を押します。




**3** ▼を押して登録したいプロファイル番号を選択し、㊎を押します。

**4** ［**登録**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

**5** ［**プロファイル名**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

**6** C-4 の値を入力します。

**7** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**8** ▼を押して［**対象 URL**］を選択し、▶を押します。

**9** C-1 および C-5 の値を「￥￥C-1￥C-5」の形式で入力します。

例： ￥￥PC1￥SalesDev

注

- ネットワークに DNS サーバがない場合、コンピュータ名（C-1）ではコンピュータを指定できません。この場合は、コンピュータの IP アドレスを使用して設定します。

例： ￥￥192.168.0.3￥SalesDev

メモ

- QWERTY キーボードを使って「￥」を入力する場合は、＜ **CTRL** ＞キーを押してから＜＼＞キーを押します。

**10** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**11** ▼を押して［**ユーザ名**］を選択し、▶を押します。

**12** C-2 の値を入力します。

注

- ドメイン管理が行われている場合は、「C-2@ ドメイン名」を入力します。
- ドメイン管理が行われている場合で、「C-2 @ドメイン名」を入力しても接続できない場合は、「@ドメイン名」を削除してください。
  さらにユーザーズマニュアル応用編 99 ページを参考に、本機の Web ページにアクセスし、［**管理者設定**］＞［**ネットワーク管理**］＞［**NBT/NetBEUI**］の［**ワークグループ名**］に NetBIOS ドメイン名を設定してください。
  * ドメイン名に関してはネットワーク管理者に確認してください。

**13** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**14** ▼を押して［**パスワード**］を選択し、▶を押します。

**15** C-3 の値を入力します。

**16** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**17** ▼を押して［**ファイル名**］を選択し、▶を押します。

**18** C-6 の値を入力します。

- ファイル名の最後に「#n」を追加すると、送信されるファイル名の最後に自動的にシリアル番号が割り当てられます。
- ファイル名の最後に「#d」を追加すると、送信されるファイル名の最後に自動的に日付が割り当てられます。

**19** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**20** 必要に応じて、そのほかの項目を設定します。

**21** ㊎を押して、設定を登録します。

スキャン To ネットワーク PC 用のセットアップは完了です。

参照

- スキャンToネットワークPCの使用方法については、「スキャンToネットワーク PC」（P. 102）を参照してください。

## プロファイルの管理

スキャン To ネットワーク PC、または自動配信・通信データ保存機能（MC561dn のみ）を実行するには、各送信先のプロファイルを作成する必要があります。最大 50 件のプロファイルを登録できます。

参照

- プロファイルの作成については、「スキャン To ネットワーク PC 用のプロファイルを作成する」（P. 58）を参照してください。

### プロファイルの変更

**1** 操作パネルの ＜ **設定** ＞ キーを押します。

**2** ▼を押して［**プロファイル**］を選択し、㊎を押します。

**3** ▼を押して変更したいプロファイルを選択し、㊎を押します。

**4** ［**編集**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

*5* ▼を押して変更したい項目を選択し、▶を押します。

*6* 項目を変更します。

*7* ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

*8* 複数の項目を変更したい場合は、手順５～７を繰り返します。

*9* ㊎を押して、設定を登録します。

## プロファイルの削除

*1* 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

*2* ▼を押して［**プロファイル**］を選択し、㊎を押します。

*3* ▼を押して削除したいプロファイルを選択し、㊎を押します。

*4* ▼を押して［**削除**］を選択し、㊎を押します。

*5* 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

# ファクス送信のための基本設定

この節では、ファクス送信のための基本設定について説明します。ファクスを送信する前に、必ず次の設定を行ってください。



## 電話線ケーブルの接続

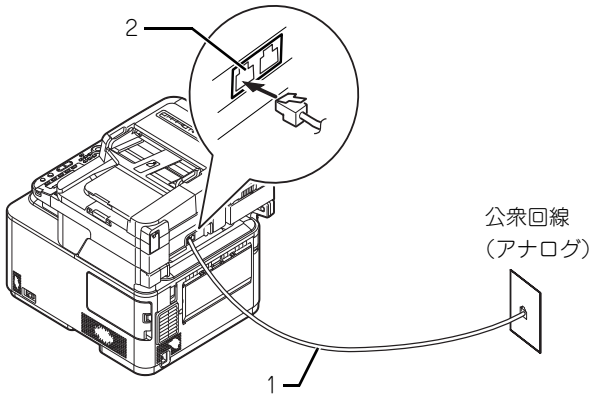
お使いの環境によって、電話線ケーブルの接続のしかたが異なります。次の図を参考に、お使いの環境に合うように接続してください。

注

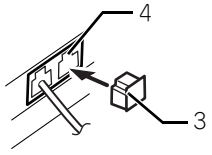
- ISDN 回線には直接接続できません。接続するためには、ターミナルアダプタ（TA）を使用し、本機の LINE コネクタに接続してください。

### 公衆回線に接続する（ファクス専用として使う場合）

*1* 付属の電話線ケーブル（1）の一端を本機の LINE コネクタ（2）に差し込み、他端を公衆回線（アナログ）に差し込みます。

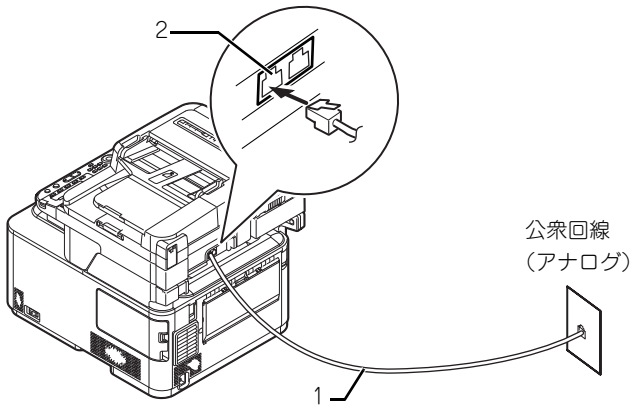



*2* 付属の TEL コネクタカバー（3）を本機の TEL コネクタ（4）に取り付けます。

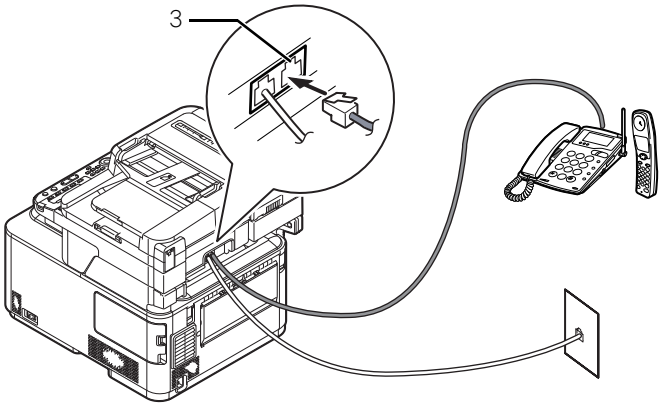



### 公衆回線に接続する（本機に電話機を接続する場合）

*1* 付属の電話線ケーブル（1）の一端を本機の LINE コネクタ（2）に差し込み、他端を公衆回線（アナログ）に差し込みます。




*2* 外付け電話機の電話線ケーブルを本機の TEL コネクタ（3）に差し込みます。

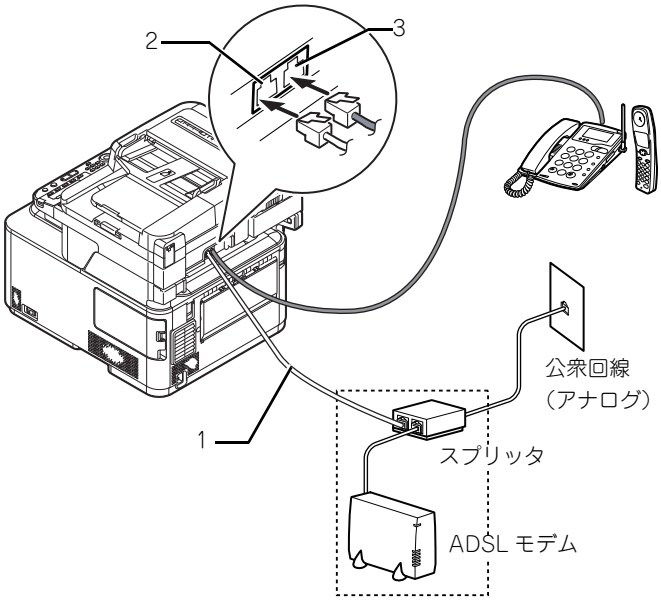


## そのほかの場合

### ■ ADSL 環境に接続する

ADSL モデムにつないだ付属の電話線ケーブル（1）を本機の LINE コネクタ（2）に差し込みます。

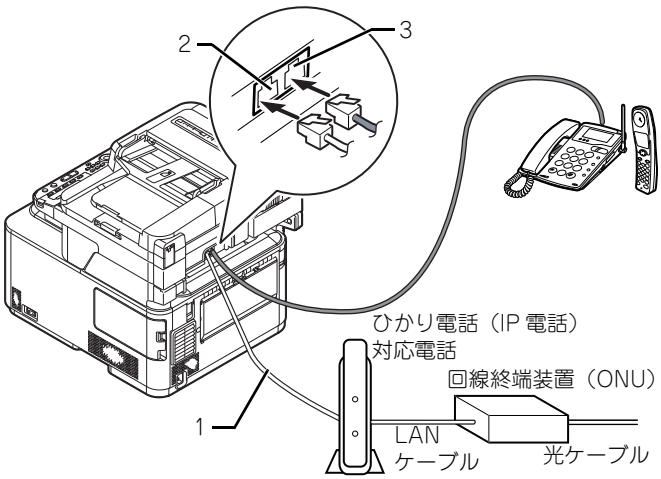
外付け電話機の電話線ケーブルを本機の TEL コネクタ（3）に差し込みます。




### ■ ひかり電話（IP 電話）に接続する

ひかり電話（IP 電話）対応電話につないだ付属の電話線ケーブル（1）を本機の LINE コネクタ（2）に差し込みます。

外付け電話機の電話線ケーブルを本機の TEL コネクタ（3）に差し込みます。

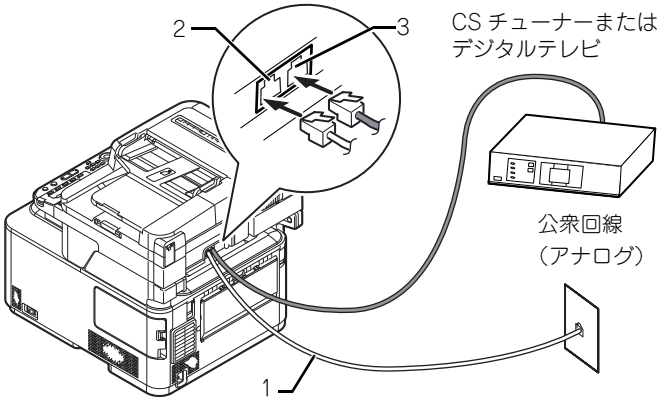



＊電話機ケーブル差込口に
差し込みます。

### ■ CS チューナーやデジタルテレビを接続する

公衆回線（アナログ）につないだ付属の電話線ケーブル（1）を本機の LINE コネクタ（2）に差し込みます。

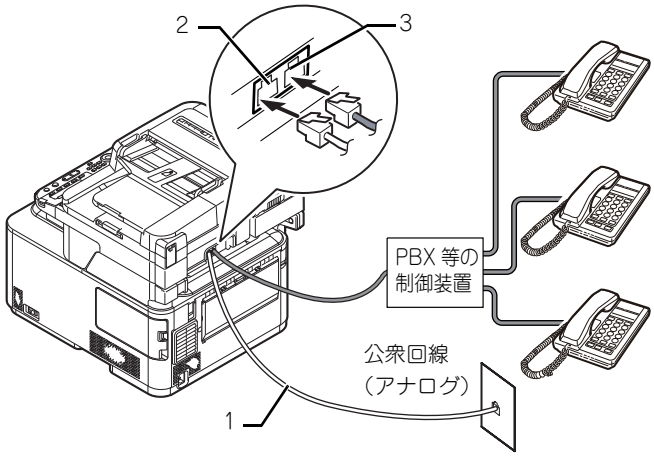
CS チューナーまたはデジタルテレビにつないだ電話線ケーブルを本機の TEL コネクタ（3）に差し込みます。




### ■ 構内交換機（PBX）、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する

公衆回線（アナログ）につないだ付属の電話線ケーブル（1）を本機の LINE コネクタ（2）に差し込みます。

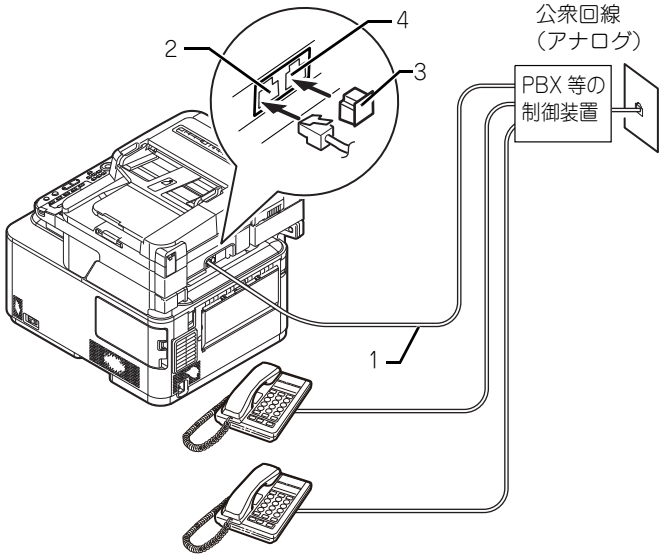
PBX 等の制御装置につないだ電話線ケーブルを本機の TEL コネクタ（3）に差し込みます。



### ■内線電話として接続する

PBX 等の制御装置につないだ付属の電話線ケーブル（1）を本機の LINE コネクタ（2）に差し込みます。

付属の TEL コネクタカバー（3）を本機の TEL コネクタ（4）に取り付けます。




## 現在の日付・時刻を設定する

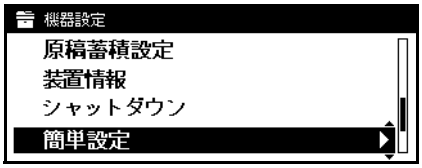
お住まいの地域の現在の日付・時刻を設定します。

参照

- 本機の Web ページから、日付と時刻を自動的に設定することができます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

***1*** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

***2*** ▼を押して［**簡単設定**］を選択し、㊎を押します。

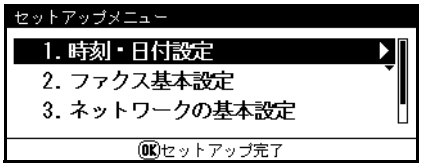



***3*** 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

***4*** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

***5*** ［**時刻･日付設定**］が選択されていることを確認し、▶を押します。



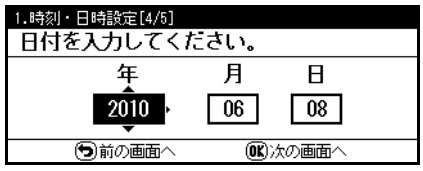

***6*** ▼を押して適切なタイムゾーンを選択し、㊎を押します。

日本国内で使用する場合は、［**GMT+09:00 大阪、札幌、東京**］を選択します。

***7*** ［**手動で設定する**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

***8*** ▲または▼を押して現在の日付を選択し、㊎を押します。

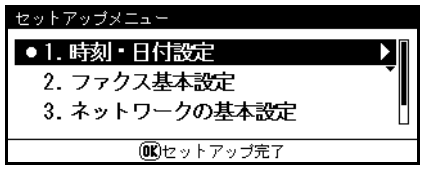
次のボックスに移動するには、▶を押します。




***9*** ▲または▼を押して現在時刻を入力し、㊎を押します。

次のボックスに移動するには、▶を押します。

***10*** セットアップメニュー画面が表示されたら、㊎を押してセットアップを完了します。

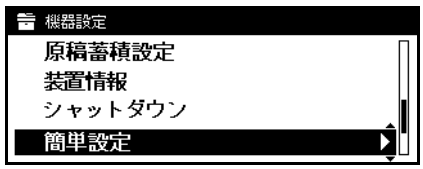



## 送信者情報を設定する

本機のファクス番号および送信者情報を設定します。

***1*** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

***2*** ▼を押して［**簡単設定**］を選択し、㊎を押します。

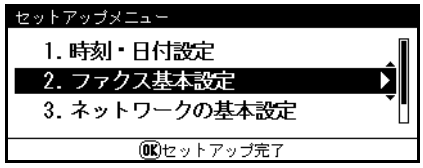



***3*** 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

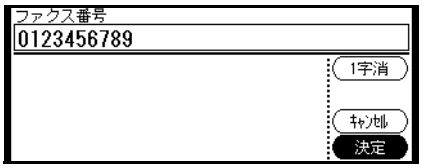
***4*** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

***5*** ▼を押して［**ファクス基本設定**］を選択し、▶を押します。



**6** ▶を押して［**ファクス番号**］入力画面に入ります。

**7** テンキーで本機のファクス番号を入力します。




**8** ［**決定**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

**9** ▶を押して［**送信者情報**］入力画面に入ります。

**10** 任意の送信者情報を入力します。

最大半角 22 文字まで入力できます。

注

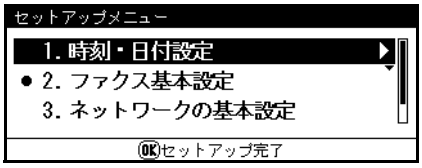
- ［**送信者情報**］は、半角英数字・半角カナのみをご使用ください。Web ページや Configration tool を使用して入力すると全角文字（漢字・平仮名）を入力可能な場合がありますが、全角文字で［**送信者情報**］を登録した場合、送信するファクスの送信者情報欄（送信元名欄）は印刷されません。

メモ

- 受信者がファクスを印刷したときに、ここで入力した送信者情報がファクスの上端に印刷されます。

**11** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**12** セットアップメニュー画面が表示されたら、㊎を押してセットアップを完了します。




## ダイヤル種別の設定

工場出荷時は、［**ダイヤル種別**］は［**プッシュ**］に設定されています。

- 押しボタン式電話で、ダイヤル時に「ピッポッパ」と音がする場合は、［**ダイヤル種別**］は［**プッシュ**］のままにしてください。
- 押しボタン式電話で、ダイヤル時に「ピッポッパ」と音がしない場合、または、回転ダイヤル式電話をお使いの場合は、［**ダイヤル種別**］を［**ダイヤル 20**］に設定してください。
「177 番」（天気予報）にダイヤルして、電話がかからない場合は、［**ダイヤル種別**］を［**ダイヤル 10**］に変更してください。

### ■ 設定方法

**1** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

**2** ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、㊎を押します。

**3** 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

**4** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**5** ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、㊎を押します。

**6** ▼を押して［**ダイヤル種別**］を選択し、㊎を押します。

**7** ▼を押してダイヤル種別を選択し、㊎を押します。

**8** トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

# 用紙・原稿のセットのしかた

この節では、用紙および原稿の仕様と、それらをセットする方法について説明します。



## 用紙

### 使用できる用紙の種類

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。電子写真プリンタ用紙をご使用ください。

弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

| 用紙種類 | 用紙サイズ（mm）（カッコ内の単位はインチ） | | 用紙の厚さ |
|---|---|---|---|
| 普通紙 | A4 | 210 x 297 | 64 ～ 220 g/m²（連量 55 ～ 189 kg）、両面印刷の場合は 64 ～ 176 g/m²（連量 55 ～ 151 kg）<br>! 注<br>● A6、A5 サイズおよび、用紙幅が 148 mm（A5 幅）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。 |
| | A5 | 148 x 210 | |
| | A6 | 105 x 148 | |
| | B5 | 182 x 257 | |
| | レター | 215.9 x 279.4<br>(8.5 x 11) | |
| | リーガル（13 インチ） | 215.9 x 330.2<br>(8.5 x 13) | |
| | リーガル（13.5 インチ） | 215.9 x 342.9<br>(8.5 x 13.5) | |
| | リーガル（14 インチ） | 215.9 x 355.6<br>(8.5 x 14) | |
| | エグゼクティブ | 184.2 x 266.7<br>(7.25 x 10.5) | |
| | 16K<br>(184 x 260 mm) | 184 x 260 | |
| | 16K<br>(195 x 270 mm) | 195 x 270 | |
| | 16K<br>(197 x 273 mm) | 197 x 273 | |
| | カスタム | 幅：<br>64 ～ 216<br>長さ：<br>148 ～ 1321 | 64 ～ 220 g/m²（連量 55 ～ 189 kg） |
| はがき | はがき | 100 x 148 | 郵便はがき |
| | 往復はがき | 148 x 200 | |

| 用紙種類 | 用紙サイズ（mm）（カッコ内の単位はインチ） | | 用紙の厚さ |
|---|---|---|---|
| 封筒 | 封筒（長形 3 号） | 120 x 235 | 85 g/m$^2$ の紙を使用したもの |
| | 封筒（長形 4 号） | 90 x 205 | |
| | 封筒（洋形 4 号） | 105 x 235 | |
| | 封筒（A4） | 216 x 297 | |
| | Monarch | 98.4 x 190.5<br>(3.875 x 7.5) | 24 lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの |
| | Com-9 | 98.4 x 225.4<br>(3.875 x 8.875) | |
| | Com-10 | 104.8 x 241.3<br>(4.125 x 9.5) | |
| | DL | 110 x 220<br>(4.33 x 8.66) | |
| | C5 | 162 x 229<br>(6.4 x 9) | |
| インデックスカード | インデックスカード | 76.2 x 12.7<br>(3 x 5) | |
| ラベル紙 | A4 | 210 x 297 | 0.1 ～ 0.2 mm |
| | レター | 215.9 x 279.4<br>(8.5 x 11) | |
| 部分印刷用紙 | 普通紙に準じます。 | | 64 ～ 220 g/m$^2$（連量 55 ～ 189 kg） |
| カラー用紙 | 普通紙に準じます。 | | 64 ～ 220 g/m$^2$（連量 55 ～ 189 kg） |

## 推奨紙

### ■ 普通紙

OKI カラーページプリンタ用紙 エクセレントペーパー A4（型名：PPR-DA4TDB）

### ■ 再生紙

王子製紙製　再生 PPC 用紙 100

## 使用できない用紙

次の種類の用紙は使用しないでください。使用すると、紙づまりや不具合の原因になります。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工（コート紙）をしてある用紙
- のり・薬品などで特殊加工してあるもの
- 耐熱性（230°C）のない特殊加工をしてあるもの
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがあるもの
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついているもの
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙やはがき、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など
- 切手の貼ってあるもの
- 写真加工してあるはがき
- 厚すぎる封筒、プラスチックでできた封筒、内袋のある二重封筒、撥水加工された封筒
- 留め金やボタンや窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤や両面テープのついた封筒

## 用紙の保管

用紙は、品質を維持するために次の条件の下で保管してください。

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度：20°C
- 湿度：50% RH（相対湿度）

次のような場所には保管しないでください。

- 床の直接上
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

! 注

- 用紙は、使用するときまで開封しないでください。
- 開封した用紙を長期間放置しないでください。正常に印刷できないことがあります。

## 用紙のセットのしかた

本機には、2 つの内蔵トレイ（トレイ 1 および MP トレイ）とオプションのセカンドトレイユニット（トレイ 2）があります。次のリストを参照して、使用できる用紙と各トレイの容量を確認してください。

注

- 「*」がついた用紙には、両面印刷は行えません。

| トレイ | 使用できる用紙サイズ | セットできる枚数 | 用紙の厚さ |
|---|---|---|---|
| トレイ 1 | ● A4<br>● A5<br>● B5<br>● A6*<br>● レター<br>● リーガル（13 インチ）<br>● リーガル（13.5 インチ）<br>● リーガル（14 インチ）<br>● エグゼクティブ<br>● 16K（184 x 260 mm）<br>● 16K（195 x 270 mm）<br>● 16K（197 x 273 mm）<br>● はがき *<br>● カスタム | 280 枚<br>（用紙の厚さが 64 g/m$^2$<br>（連量 55 kg）の場合） | ● 普通紙<br>（64 ～ 74 g/m$^2$（連量 55 ～ 64 kg））<br>● やや厚い紙<br>（75 ～ 82 g/m$^2$（連量 65 ～ 70 kg））<br>● 厚い紙<br>（83 ～ 104 g/m$^2$（連量 71 ～ 90 kg））<br>● より厚い紙<br>（105 ～ 120 g/m$^2$（連量 91 ～ 103 kg））<br>● ごく厚い紙 1<br>（121 ～ 176 g/m$^2$（連量 104 ～ 151 kg）） |
| トレイ 2<br>（オプション） | ● A4<br>● A5<br>● B5<br>● レター<br>● リーガル（13 インチ）<br>● リーガル（13.5 インチ）<br>● リーガル（14 インチ）<br>● エグゼクティブ<br>● 16K（184 x 260 mm）<br>● 16K（195 x 270 mm）<br>● 16K（197 x 273 mm）<br>● カスタム | 580 枚<br>（用紙の厚さが 64 g/m$^2$<br>（連量 55 kg）の場合） | ● 普通紙<br>（64 ～ 74 g/m$^2$（連量 55 ～ 64 kg））<br>● やや厚い紙<br>（75 ～ 82 g/m$^2$（連量 65 ～ 70 kg））<br>● 厚い紙<br>（83 ～ 104 g/m$^2$（連量 71 ～ 90 kg））<br>● より厚い紙<br>（105 ～ 120 g/m$^2$（連量 91 ～ 103 kg））<br>● ごく厚い紙 1<br>（121 ～ 176 g/m$^2$（連量 104 ～ 151 kg）） |

| トレイ | 使用できる用紙サイズ | セットできる枚数 | 用紙の厚さ |
|---|---|---|---|
| MP トレイ | ● A4<br>● A5<br>● B5<br>● A6*<br>● レター<br>● リーガル（13 インチ）<br>● リーガル（13.5 インチ）<br>● リーガル（14 インチ）<br>● エグゼクティブ<br>● 16K（184 x 260 mm）<br>● 16K（195 x 270 mm）<br>● 16K（197 x 273 mm）<br>● カスタム<br>● Com-9*<br>● Com-10*<br>● Monarch*<br>● DL*<br>● C5*<br>● はがき *<br>● 往復はがき *<br>● 封筒 1（長形 3 号）*<br>● 封筒 2（長形 4 号）*<br>● 封筒 3（洋形 4 号）*<br>● 封筒 4（A4）*<br>● インデックスカード * | ● 110 枚<br>（用紙の厚さが 64 g/m2（連量 55 kg）の場合）<br>● 10 枚（封筒） | ● 普通紙<br>（64 ～ 74 g/m$^2$（連量 55 ～ 64 kg））<br>● やや厚い紙<br>（75 ～ 82 g/m$^2$（連量 65 ～ 70 kg））<br>● 厚い紙<br>（83 ～ 104 g/m$^2$（連量 71 ～ 90 kg））<br>● より厚い紙<br>（105 ～ 120 g/m$^2$（連量 91 ～ 103 kg））<br>● ごく厚い紙 1<br>（121 ～ 176 g/m$^2$（連量 104 ～ 151 kg））<br>● ごく厚い紙 2*<br>（172 ～ 220 g/m$^2$（連量 152 ～ 189 kg）） |

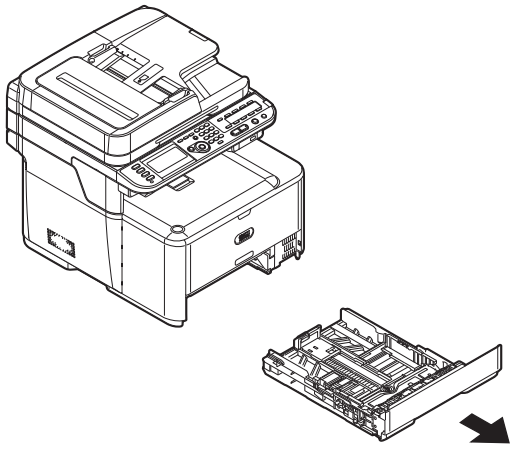
## ■ トレイ 1 とトレイ 2 に用紙をセットする

次の手順では、トレイ 1 またはトレイ 2 に用紙をセットする方法を説明します。

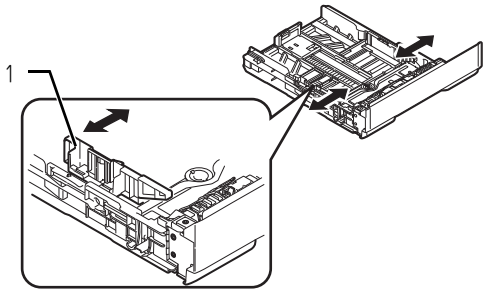
メモ

- 次の手順では例としてトレイ 1 を使用しますが、トレイ 2 にも同じ手順があてはまります。

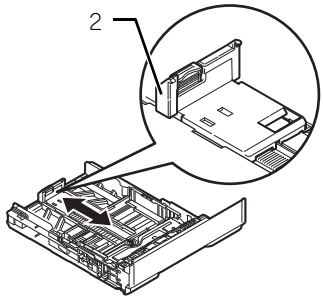
***1*** 用紙トレイを引き出します。



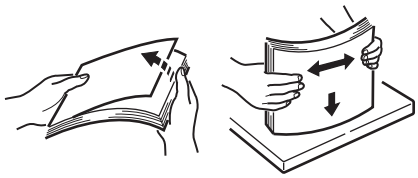
***2*** 用紙ガイド（1）を、セットする用紙の幅に合わせてスライドさせます。




***3*** 用紙ストッパ（2）を、セットする用紙の長さに合わせてスライドさせます。



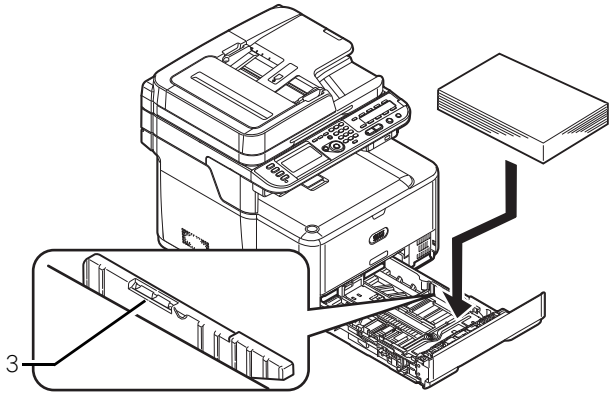
***4*** 用紙をよくさばきます。用紙の端を水平にまっすぐにそろえます。



***5*** 印刷面を下にして用紙をセットします。

注

- 用紙ガイドの「▽」マーク（3）を越えて用紙をセットしないでください。



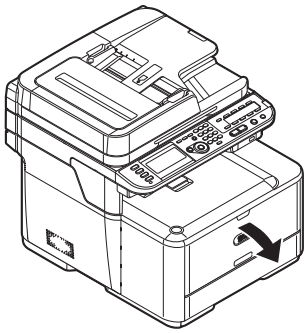

***6*** 止まるまで用紙トレイを押します。

セットした用紙を本機に登録します。「トレイ設定を行う」（P. 71）に進みます。

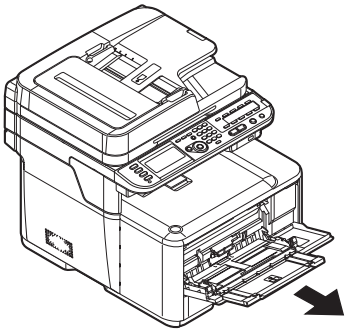
## ■MP トレイに用紙をセットする

次の手順では、用紙を MP トレイにセットする方法を説明します。

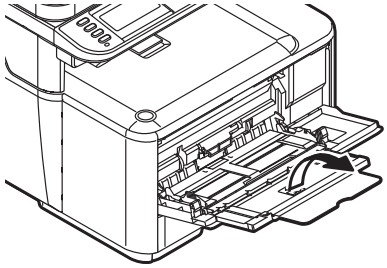
***1*** MP トレイを開きます。



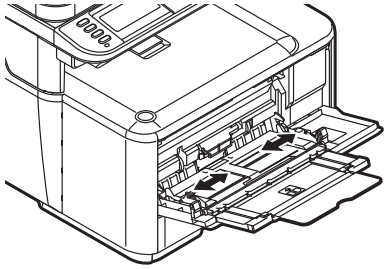
***2*** 用紙サポータを引き出します。



***3*** 補助サポータを開きます。



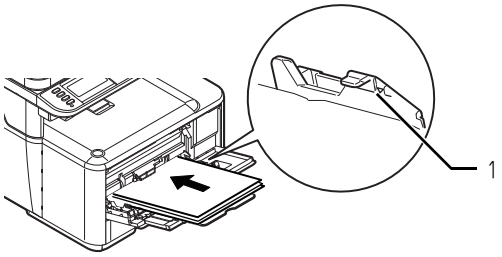
***4*** 手差しガイドを、セットする用紙の幅に合わせて調節します。



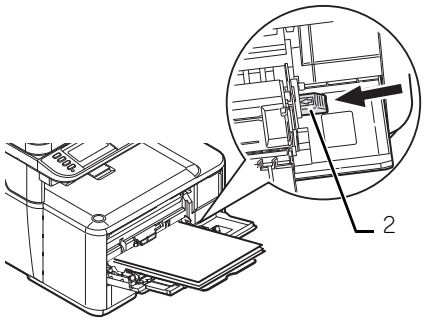
**5** 用紙の端が給紙口に接触するまで、印刷面を上にして用紙をセットします。

注

●「▽」マーク（1）を越えて用紙をセットしないでください。




**6** セットボタン（2）を押します。




セットした用紙を本機に登録します。「トレイ設定を行う」に進みます。

注

- サイズ、種類、厚さが異なる用紙を同時にセットしないでください。
- 用紙を追加するときは、MP トレイに入っている用紙を取り出し、その用紙と追加する用紙の端をまっすぐにそろえてから、両方の用紙をセットします。
- MP トレイには、印刷用紙以外のものは入れないでください。

メモ

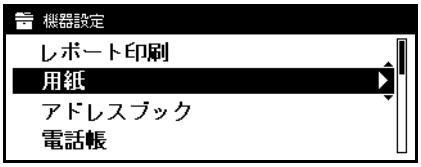
- はがき、往復はがきは印刷する面を上に、封筒は宛名面を上にし、それぞれ次の向きにセットします。
  - はがきは、上端から給紙口に入っていくようにセットします。
  - 往復はがきは、右端から給紙口に入っていくようにセットします。
  - 長形封筒（長形 3 号、長形 4 号、A4）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を開いた状態で、フラップが手前にくるようにセットします。
  - 封筒 3（洋形 4 号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、フラップ部分が給紙方向に対して右側にくるようにセットします。
  - 洋形封筒（Monarch、Com-9、Com-10、DL、C5）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、フラップ部分が給紙方向に対して左側にくるようにセットします。

## ■ トレイ設定を行う

トレイ 1、トレイ 2、または MP トレイに用紙をセットしたら、セットした用紙を本機に登録する必要があります。

**1** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

**2** ▼を押して［**用紙**］を選択し、OKを押します。




**3** ▼を押して用紙をセットした用紙トレイを選択し、OKを押します。

**4** ［**用紙サイズ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

**5** ▼を押してセットした用紙のサイズを選択し、OKを押します。

参照

- ［**用紙サイズ**］で［**カスタムサイズ**］を選択した場合は、カスタムサイズを登録する必要があります。カスタムサイズの登録方法については、「カスタムサイズを登録する」（P. 72）を参照してください。

**6** ▼を押して［**用紙種類**］を選択し、OKを押します。

**7** ▼を押してセットした用紙の種類を選択し、OKを押します。

**8** ▼を押して［**用紙厚**］を選択し、OKを押します。

**9** ▼を押してセットした用紙の厚さを選択し、OKを押します。

**10** トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

## ■カスタムサイズを登録する

カスタムサイズの用紙をセットするには、印刷前に用紙の幅と長さを登録する必要があります。設定できるサイズの範囲は、用紙トレイによって異なります。

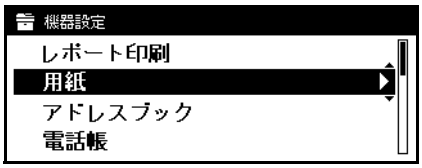
| トレイ | 使用できる用紙サイズの範囲 |
|---|---|
| トレイ 1 | 幅：<br>100 ～ 216 mm（3.9 ～ 8.5 インチ）<br>長さ：<br>148 ～ 356 mm（5.8 ～ 14.0 インチ） |
| トレイ 2<br>（オプション） | 幅：<br>148 ～ 216 mm（5.8 ～ 8.5 インチ）<br>長さ：<br>210 ～ 356 mm（8.3 ～ 14.0 インチ） |
| MP トレイ | 幅：<br>64 ～ 216 mm（2.5 ～ 8.5 インチ）<br>長さ：<br>127 ～ 1321 mm（5.0 ～ 52.0 インチ） |

注

- ［**用紙サイズ**］が［**カスタムサイズ**］に設定されている場合のみ、［**カスタムサイズ**］が表示されます。
- 両面印刷に使用できる用紙サイズの範囲は、トレイ 2 に使用できる用紙サイズの範囲と同じです。

***1*** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

***2*** ▼を押して［**用紙**］を選択し、㊎を押します。

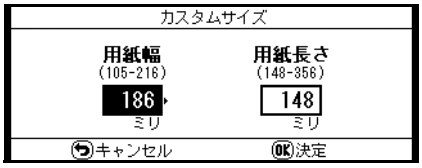



***3*** ▼を押して用紙をセットした用紙トレイを選択し、㊎を押します。

***4*** ▼を押して［**カスタムサイズ**］を選択し、㊎を押します。

***5*** テンキーを使用して目的の値を入力し、㊎を押します。

次のボックスに移動するには、◀または▶を押します。




***6*** トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

## 用紙の排出

本機は、フェイスダウンスタッカまたはフェイスアップスタッカに用紙を排出します。それぞれのスタッカに排出できる用紙の種類は次のとおりです。

| 排出先 | 排出できる用紙種類 | 容量 |
|---|---|---|
| フェイスダウンスタッカ | ● 普通紙<br>● 再生紙 | ● 150 枚（用紙の厚さが 64 g/m²（連量 55 kg）の場合） |
| フェイスアップスタッカ | ● 普通紙<br>● 再生紙<br>● 封筒<br>● はがき<br>● 往復はがき<br>● インデックスカード<br>● ラベル紙 | ● 110 枚（用紙の厚さが 64 g/m²（連量 55 kg）の場合）<br>● 10 枚（厚紙および封筒） |

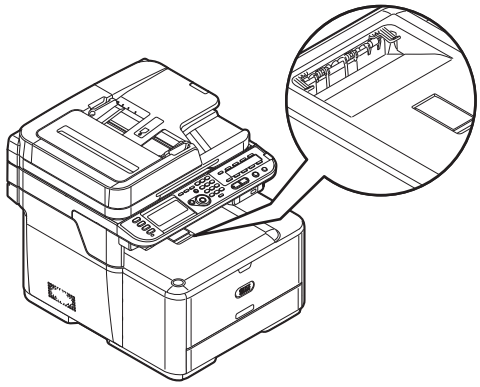
両面印刷するときは、フェイスダウンスタッカに排出します。

注

- 印刷中は、フェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

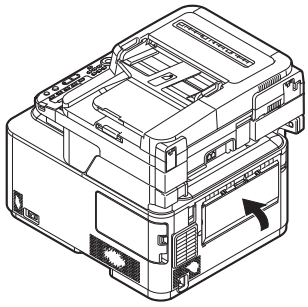
## ■フェイスダウンスタッカを使用する

印刷面を下にして排紙します。



注

- 本機の後ろ側にあるフェイスアップスタッカが閉じていることを確認してください。フェイスアップスタッカが開いた状態では、常にフェイスアップスタッカに排紙されます。



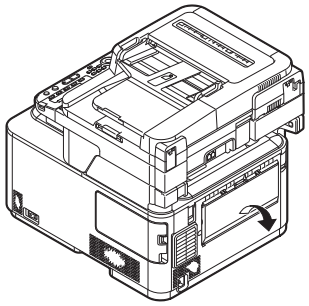
### ■フェイスアップスタッカを使用する

印刷面を上にして排紙します。

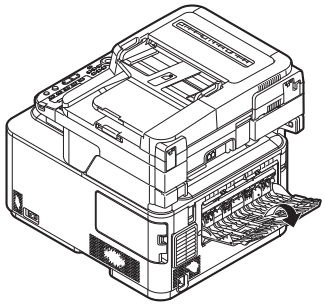
注

- 両面印刷するときは、フェイスアップスタッカは使用できません。

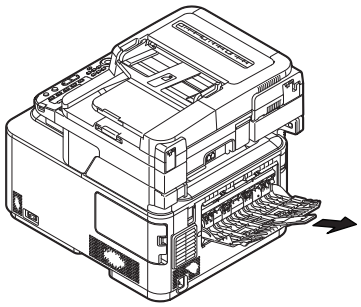
***1*** 本機の後ろ側にあるフェイスアップスタッカを手前に開きます。



***2*** 用紙サポータを広げます。



***3*** 補助サポータを引き出します。



## 原稿

自動原稿送り装置（ADF）または原稿ガラスを使って原稿をセットし、コピー、スキャン、またはファクス送信することができます。

### 原稿の条件

次の原稿は自動原稿送り装置にセットすることはできません。代わりに原稿ガラスを使用してください。

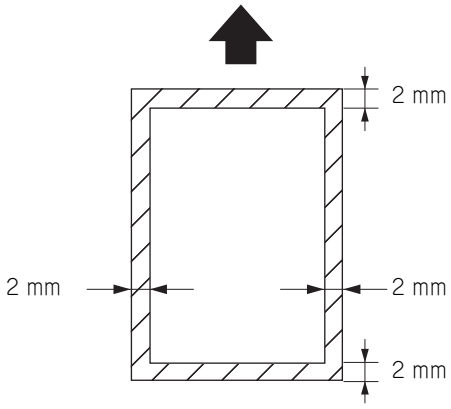
- 破れや穴のある原稿
- シワやカールの激しい原稿
- 湿った原稿
- 静電気で密着した原稿
- 裏がカーボンになっている原稿
- 布地、金属シート、OHP フィルム
- ホチキス、クリップ、セロハンテープなどがついた原稿
- 貼り合わせた原稿、のりがついた原稿
- 光沢のある原稿
- 特殊コーティングされた原稿

原稿ガラスを損傷しないように、次のことに注意してください。

- 厚手の原稿をコピーするときに、原稿をガラスに強く押し付けないでください。
- 堅い原稿は、静かに置いてください。
- 鋭利な突起のある原稿をセットしないでください。

### コピー時の読み取り可能領域

コピー機能では、定形紙の用紙端 2 mm の領域にある文字または画像は、読み取ることができません。




メモ

- 上図の矢印は、自動原稿送り装置での送り方向、または原稿ガラスでの読み取り開始側を示します。

## 原稿のセットのしかた

| スキャナタイプ | 読み取り可能サイズ | 容量 | 用紙の厚さ |
|---|---|---|---|
| 自動原稿送り装置 | ● A4<br>● A5<br>● B5<br>● A6<br>● レター<br>● リーガル 13<br>● リーガル 13.5<br>● リーガル 14<br>● エグゼクティブ | 50 枚（64 g/m$^2$） | 60 ～ 105 g/m$^2$（連量 52 ～ 90 kg） |
| 原稿ガラス | ● A4<br>● A5<br>● B5<br>● A6<br>● レター<br>● エグゼクティブ | - | 20 mm |

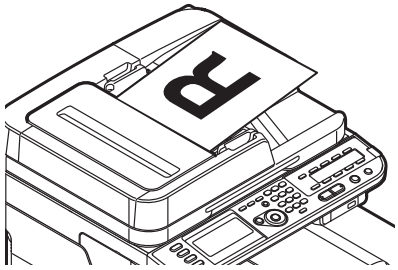
注

- 接着剤、インク、修正液を使用した原稿の場合は、完全に乾いていることを確認してからセットしてください。

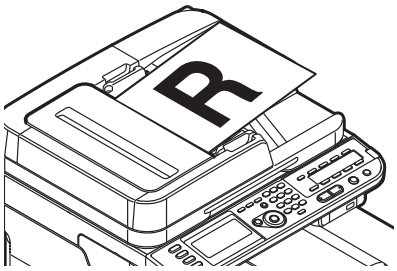
### ■原稿を自動原稿送り装置にセットする

*1* 原稿を表にして自動原稿送り装置にセットします。

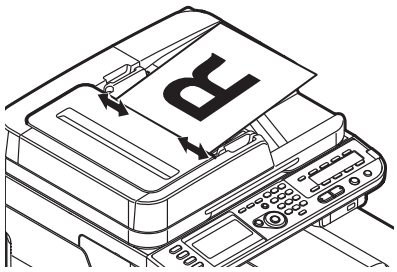
縦向きの原稿の場合、原稿の上端から入っていくようにセットします。



横向きの原稿の場合、原稿の左端から入っていくようにセットします。



*2* 原稿の幅に合わせて、原稿ガイドを調節します。

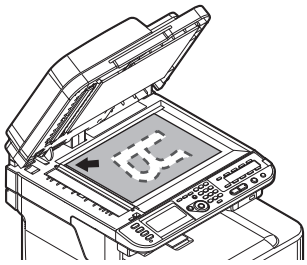


### ■原稿を原稿ガラスにセットする

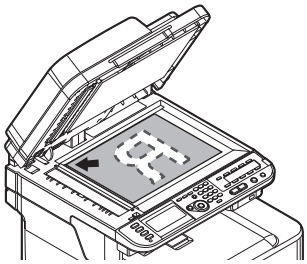
*1* 原稿ガラスカバーを開きます。

*2* 原稿を裏にして、原稿ガラスにセットします。

縦向きの原稿の場合、原稿の上端とガラスの左上の角を合わせます。



横向きの原稿の場合、原稿の右端とガラスの左上の角を合わせます。



*3* 原稿ガラスカバーを静かに閉じます。

参照

- 原稿の方向（縦、横）に応じて、あらかじめ［**原稿の画像向き**］設定を変更しておく必要があります。工場出荷時の設定は［**縦**］です。［**原稿の画像向き**］設定については、「原稿の向きを変更する（原稿の画像向き）」（P. 78）を参照してください。

# メニューマップを印刷する

この節では、本機の設定や状態の確認ができるメニューマップを印刷する方法を説明します。



## 印刷手順

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ［**レポート印刷**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

3 ［**メニューマップ**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

4 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

参照

- 各機能のレポートやジョブリストを印刷することもできます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

# 2. コピー機として使うとき

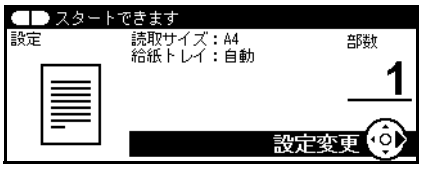
この章では、コピー機能の基本操作と設定について説明します。

## 基本操作

この節では、コピーの開始および中止方法について説明します。

### コピーを始める

*1* 操作パネルの＜**コピー**＞キーを押して、スタート画面を開きます。




*2* 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

*3* 必要に応じて、コピー設定を変更します。

*4* テンキーで部数を入力します。

- 1～99部まで入力できます。
- 間違えて入力したときは、＜**クリア**＞キーを押して入力しなおします。＜**クリア**＞キーを押すと、もとの設定値に戻ります。

*5* モノクロまたはカラーを押してコピーを始めます。

メモ

- 工場出荷時の設定では、以下の設定でコピーされます。

| | |
|---|---|
| ［**読取サイズ**］：A4 | ［**給紙トレイ**］：自動 |
| ［**原稿の画像向き**］：縦 | ［**拡大 / 縮小**］：100% |
| ［**濃度**］：0 | ［**ドキュメントタイプ**］：文字 / 写真 |

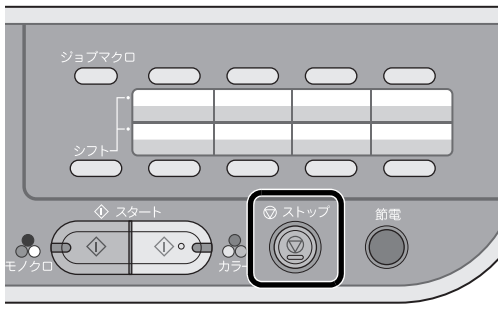
参照

- 各コピー機能の設定方法については、「コピー設定を変更する」（P. 77）を参照してください。
- 自動原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」（P. 74）を参照してください。

### コピーを中止する

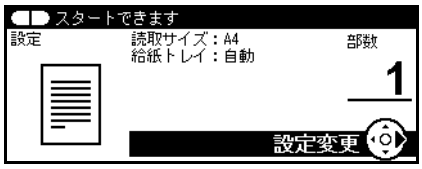
コピー完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、コピーを中止できます。

*1* 操作パネルの＜**ストップ**＞キーを押します。



# コピー設定を変更する

この節では、各コピー設定の変更方法を説明します。各設定は、スタート画面の［**設定変更**］から行います。




前述の「コピーを始める」（P. 76）に示す手順３で、以下の操作を行います。

参照

- スタート画面の［**設定変更**］メニューで行う変更は一時的なものです。初期設定を変更するときは、＜**設定**＞キーを押して［**管理者設定**］から行います。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## 読み取りサイズを変更する（読取サイズ）

原稿の適切な読み取りサイズを選択できます。

***1*** ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

***2*** ［**読取サイズ**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

***3*** ▼を押して読み取りサイズを選択し、㊎を押します。

設定可能なサイズ

| |
|---|
| A4*　A5　A6　B5　レター　リーガル 13<br>リーガル 13.5　リーガル 14　エグゼクティブ |

＊は工場出荷時の設定

***4*** スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

## 用紙トレイを変更する（給紙トレイ）

コピー用紙をセットするトレイを選択できます。

***1*** ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

***2*** ▼を押して［**給紙トレイ**］を選択し、㊎を押します。

***3*** ▼を押してトレイを選択し、㊎を押します。

設定可能なトレイ

| |
|---|
| 自動＊　トレイ 1　トレイ 2　MP トレイ |

＊は工場出荷時の設定

***4*** スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

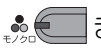
- ［**トレイ 2**］は、オプションのセカンドトレイユニットを取り付けているときに表示されます。
- ［**自動**］に設定しているときに、初期設定で MP トレイは選択されません。MP トレイを使用するには、＜**設定**＞キー＞［**用紙**］＞［**印刷トレイ指定**］＞［**コピー**］＞［**MP トレイ**］＞［**オン**］または［**オン ( 優先 )**］を選択します。
- ［**自動**］に選択しているときに、A4、B5、A5、A6、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ以外の用紙がセットされている用紙トレイは選択されません。ほかの用紙サイズを使用するには、［**給紙トレイ**］設定で用紙トレイを選択します。

### ■MP トレイを使う

［**MP トレイ**］を選択すると、MP トレイにセットされている用紙にコピーできます。

***1*** 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

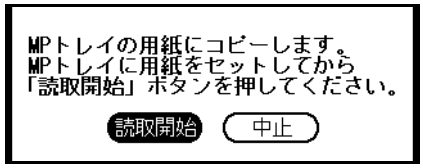
***2*** MP トレイに用紙をセットします。

***3*** 

または

を押します。

***4*** ポップアップメッセージが表示されたら、◀または▶を押して［**読取開始**］を選択し、㊎を押します。




参照

- MP トレイに用紙をセットする方法については、「MP トレイに用紙をセットする」（P. 70）を参照してください。

## 原稿の向きを変更する（原稿の画像向き）

原稿の向きは、［**縦**］または［**横**］を選択できます。適切な方向を指定して、希望どおりにコピーします。

参照

- 各方向に原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」（P. 74）を参照してください。

***1*** ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

***2*** ▼を押して［**原稿の画像向き**］を選択し、㊎を押します。

***3*** ▼を押して原稿の向きを選択し、㊎を押します。

設定可能な向き

| |
|---|
| 縦＊　横 |

＊は工場出荷時の設定

***4*** スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

## 拡大 / 縮小コピーをする（拡大 / 縮小）

拡大 / 縮小コピーをするには、［**拡大 / 縮小**］を設定します。倍率は、以下の 3 つの方法で設定できます。

- ［**自動**］を使用する
- 固定倍率を選択する
- テンキーで倍率を設定する

### ［自動］を使用する

［**自動**］を選択していると、倍率は、指定した読み取りサイズと用紙トレイに応じて自動的に設定されます。

注

- ［**自動**］は、A4、A5、A6、B5、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブの用紙にコピーするときにのみ使用できます。

***1*** ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

***2*** ▼を押して［**拡大 / 縮小**］を選択し、㊎を押します。

***3*** ▼を押して［**自動**］を選択し、㊎を押します。

***4*** スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

メモ

- ［**給紙トレイ**］を［**自動**］に設定していると、［**拡大 / 縮小**］は、自動的に［**100%**］に設定されます。ほかの倍率を選択したいときは、最初に、［**給紙トレイ**］を設定し、次に、［**拡大 / 縮小**］を設定します。

### 固定倍率を選択する

***1*** ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

***2*** ▼を押して［**拡大 / 縮小**］を選択し、㊎を押します。

***3*** ▼を押して倍率を選択し、㊎を押します。

設定可能な倍率

| | |
|---|---|
| 100%* | A4->A5(70%) |
| Leg14->Let(78%) | Leg13.5->Let(81%) |
| Leg13->Let(84%) | A4->B5(86%) |
| A4->Let(94%) | Let->A4(97%) |
| Fit to page(98%) | B5->A4(115%) |
| A5->A4(141%) | |

＊は工場出荷時の設定

メモ

- ［**Fit to page(98%)**］を選択すると、原稿と用紙のサイズが同じ場合に、用紙に合わせて原稿が縮小されます。

***4*** スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- ［**給紙トレイ**］を［**自動**］に設定しているときは、選択できない値があります。選択できる値は、指定した読み取りサイズに応じて異なります。
- 使用する倍率によっては、原稿の一部がコピーされなかったり、余白が生じたりすることがあります。

メモ

- ［**給紙トレイ**］を［**自動**］に設定しているとき、用紙トレイは、指定した倍率に応じて自動的に選択されます。特定の用紙トレイを使用したいときは、［**給紙トレイ**］を設定しなおします。
- ［**給紙トレイ**］が［**自動**］に設定されていても、A4、B5、A5、A6、レター、リーガル 13/13.5/14、エグゼクティブ以外の用紙がセットされている用紙トレイは選択されません。そのほかの用紙サイズを選択するには、［**給紙トレイ**］を設定しなおします。

### テンキーで倍率を設定する

***1*** ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

***2*** ▼を押して［**拡大 / 縮小**］を選択し、㊎を押します。

***3*** ▼を押して［**任意倍率 (25 ～ 400%)**］を選択し、㊎を押します。

**4** テンキーで 25 ～ 400% までの倍率を入力し、㊎を押します。

- 倍率は 1% ずつ設定できます。
- 間違えて入力したときは、＜**クリア**＞キーを押して入力しなおします。

**5** スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

## 継続読取モードを有効にする（継続読取）

あらかじめ複数の原稿を読み取り、1 つのジョブとしてコピーしたいときは、継続読取モードを有効にします。［**ソート**］、［**集約**］、［**両面**］機能を使用するときに設定すると便利です。

メモ

- ファクス、インターネットファクス、およびスキャン機能にも継続読取モードがあります。ファクスは［**応用設定**］、インターネットファクス、およびスキャンは［**読込設定**］から設定できます。

参照

- ［**両面**］機能については、「両面コピーをする（両面）」を参照してください。
- ［**ソート**］および［**集約**］機能については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

**1** ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

**2** ▼を押して［**継続読取**］を選択し、㊎を押します。

**3** ▼を押して［**オン**］を選択し、㊎を押します。

**4** スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

### ■継続読取モードでコピーする

継続読取モードでは、自動原稿送り装置または原稿ガラスのいずれか、または両方を使用できます。

**1** 1 枚目の原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

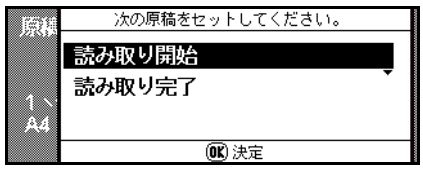
**2** 継続読取モードを有効にします。

必要に応じて、そのほかのコピー設定を変更します。

**3** テンキーで部数を入力します。

**4** モノクロまたはカラーを押して、1 枚目の原稿の読み取りを始めます。

**5** ［**次の原稿をセットしてください。**］画面が表示されたら、自動原稿送り装置または原稿ガラスに次の原稿をセットします。




注

- 次の原稿を別の場所にセットするときは、先に使用した場所から原稿を取り除きます。

**6** ［**読み取り開始**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

**7** すべての原稿の読み取りが終了したら、▼を押して［**読み取り完了**］を選択し、㊎を押します。

メモ

- 原稿ガラスで、集約コピーや両面コピーするときは、［**継続読取**］が［**オフ**］に設定されていても、原稿の読み取りが終了すると、［**次の原稿をセットしてください。**］画面が表示されます。
- ファクス、インターネットファクス、およびスキャン機能では、1 枚目の原稿の読み取り開始後、手順 5 ～ 7 を行ってください。

## 両面コピーをする（両面）

片面原稿と両面原稿を、用紙の片面にコピーすることも、両面にコピーすることもできます。また、出力紙を長辺でとじるか、短辺でとじるかを選択することもできます。

希望どおりにコピーするには、［**原稿の画像向き**］で原稿の適切な方向を指定しておく必要があります。

注

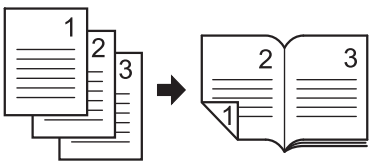
- 両面コピーには定形サイズの普通紙を使用します。定形サイズの普通紙以外の用紙を使用すると、紙づまりの原因となります。

参照

- 使用できる用紙については、「用紙のセットのしかた」（P. 68）を参照してください。
- ［**原稿の画像向き**］の設定方法については、「原稿の向きを変更する（原稿の画像向き）」（P. 78）を参照してください。

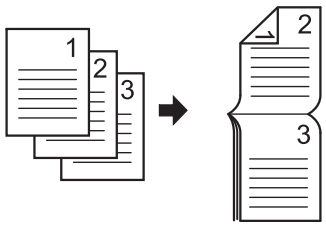
### ■長辺とじ

用紙の長辺をとじるように原稿をコピーします。



### ■短辺とじ

用紙の短辺をとじるように原稿をコピーします。




参照

- とじしろの設定方法については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## 両面コピーを有効にする

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**両面**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して印刷方法を選択し、OKを押します。

設定可能な印刷方法

| |
|---|
| オフ（両面しない）* |
| 片面原稿 → 両面長辺とじ |
| 片面原稿 → 両面短辺とじ |
| 両面原稿 → 両面印刷 |
| 両面長辺とじ → 片面印刷 |
| 両面短辺とじ → 片面印刷 |

* は工場出荷時の設定

4 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- ［**両面原稿→両面印刷**］、［**両面長辺とじ→片面印刷**］、［**両面短辺とじ→片面印刷**］を行うには、自動原稿送り装置へ原稿をセットしてください。

メモ

- 原稿ガラスで両面コピーするときは、継続読取モードが自動的に有効になります。表示画面の指示に従って操作します。

## コピー濃度を調整する（濃度）

コピー濃度は 7 段階で調整できます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。

3 ［**濃度**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

4 ▲または▼を押して濃度を選択し、OKを押します。

設定可能な濃度

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| +3 | +2 | +1 | 0* | -1 | -2 | -3 |

* は工場出荷時の設定

メモ

- ［**0**］は標準値です。コピーの濃度を濃くするには、［**+1**］、［**+2**］、［**+3**］を選択します。逆に、コピーの濃度を薄くするには、［**-1**］、［**-2**］、［**-3**］を選択します。

5 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

## 原稿の種類を変更する（ドキュメントタイプ）

原稿の種類を選択して、最適な画質でコピーできます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**ドキュメントタイプ**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して原稿の種類を選択し、OKを押します。

設定可能な種類

| | | | |
|---|---|---|---|
| 文字 | 文字 / 写真 * | 写真 | 光沢写真 |

* は工場出荷時の設定

メモ

- ［**文字**］：文字の多い原稿をコピーするときに設定します。
- ［**文字 / 写真**］：文字と写真が混在する原稿をコピーするときに設定します。
  文字と写真それぞれのバランスをとった画像で再現されます。
- ［**写真**］：印刷された写真・グラフィック原稿をコピーするときに設定します。
  階調性を重視した画像で再現されます。
- ［**光沢写真**］：光沢のある写真や光沢インクジェット紙に印刷された写真原稿をコピーするときに設定します。
  光沢を考慮して階調性を重視した画像で再現されます。

5 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- ［**文字**］を選択すると、原稿によっては階調性が少なくなる場合があります。
- ［**写真**］、［**光沢写真**］を選択すると、原稿によっては細かい文字や細線がぼやける場合があります。
- ［**光沢写真**］を選択すると、画像が明るくなる事があります。

## 背景除去を調整する（背景除去）

原稿の背景（下地）除去をオフ、または 6 段階で調整できます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**背景除去**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して設定値を選択し、OKを押します。

設定可能な値

| オフ | 1 | 2 | 3* | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|

＊は工場出荷時の設定

メモ

- ［3］は標準値です。原稿の背景（下地）の除去を強くするには、［4］、［5］、［6］を選択します。逆に弱めるには、［2］、［1］、または［**オフ**］（除去しない）を選択します。

5 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- 背景除去の設定を強くすると、原稿によっては細線や細かい文字、薄い色が再現されなくなる場合があります。

## 読取解像度を変える（読取解像度（カラー））

原稿の読取解像度を変えることができます。

1 ▶を押して、［**設定変更**］メニューに入ります。

2 ▼を押して［**画質**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**読取解像度（カラー）**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押して解像度を選択し、OKを押します。

設定可能な解像度

| 普通＊ | 高精細 |
|---|---|

＊は工場出荷時の設定

メモ

- ［**普通**］は標準値です。［**高精細**］を選択することで、細線や細かい文字の再現性、階調性が向上できます。

5 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

注

- モノクロコピーの場合は、読取解像度は［**高精細**］固定となります。

## 設定をリセットする

### 自動リセット

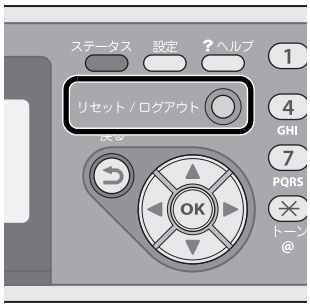
一定時間何も操作をしないと、コピー機能の設定がすべて初期値に戻ります。工場出荷時は、3 分に設定されています。

参照

- 自動リセット時間の変更は、＜**設定**＞キーを押して［**管理者設定**］から行います。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

### ＜リセット / ログアウト＞キーを使用する

スタート画面または設定項目画面で＜**リセット / ログアウト**＞キーを押すと、コピー機能の設定が初期値に戻ります。




コピーが終了したら、次のユーザのために、＜**リセット / ログアウト**＞キーを押して初期値に戻します。

# 3. ファクス・インターネットファクスとして使うとき

この章では、ファクス機能とインターネットファクス機能の基本設定と操作、電話帳の管理方法について説明します。

## ファクス機能の基本操作

この節では、ファクス送信の基本操作について説明します。ファクス機能を使用する前に、初期設定を行う必要があります。

メモ
- 自動原稿送り装置にセットできる原稿のサイズは、A4/ レター / リーガル、原稿ガラスにセットできる原稿のサイズは、A4/ レターのみです。
- サイズが異なる原稿を一緒に使用することはできません。

参照
- ファクス機能の初期設定については、「ファクス送信のための基本設定」（P. 61）を参照してください。

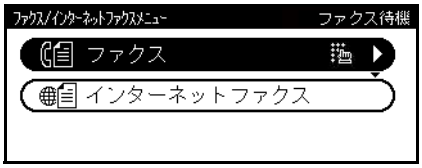
### ファクスを送信する

メモ
- 原稿の読み取りには、自動原稿送り装置が優先的に使用されます。原稿ガラスを使用するときは、原稿を自動原稿送り装置にセットしないでください。

***1*** 操作パネルの＜**ファクス**＞キーを押します。

***2*** 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

***3*** ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。




***4*** スタート画面で［**宛先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

***5*** 宛先を指定します。

宛先を指定するときは、テンキーによる直接入力、短縮ダイヤルリスト、宛先グループリスト、送信履歴、受信履歴、ワンタッチキーを使用できます。

参照
- 「宛先を指定する」（P. 83）

***6*** 必要に応じて、応用設定を変更します。

参照
- 「応用設定を変更する」（P. 85）

***7*** モノクロ/カラーを押して、送信を始めます。

原稿ガラスを使用した 1 回のファクス操作で、複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

参照
- 「継続読取モードを有効にする （継続読取）」（P. 79）

注
- カラーは使用できません。

メモ
- 工場出荷時の設定では、以下の設定で読み取ります。

  ［**読取サイズ**］：A4　　［**解像度**］：標準

  ［**濃度**］：0

参照
- 自動原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」（P. 74）を参照してください。
- 複数の宛先を指定したいときは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## 宛先を指定する

宛先は、以下の 6 つの方法で指定できます。

- 直接入力する
- 短縮ダイヤルリストを使用する
- 宛先グループリストを使用する
- 送信履歴を使用する
- 受信履歴を使用する
- ワンタッチキーを使用する

前述の「ファクスを送信する」（P. 82）の手順 5 で、以下の操作を行います。

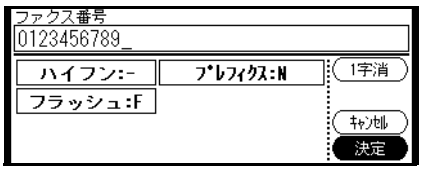
### 直接入力する

宛先のファクス番号をテンキーで直接入力できます。最大 40 桁まで入力できます。

1 ▼を押して［**直接入力**］を選択し、㊎を押します。

2 操作パネルのテンキーで、宛先のファクス番号を入力します。

3 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。




メモ

- ＜**ファクス**＞キーを押したあとに表示される画面でも、テンキーで宛先を入力できます。この場合、宛先の入力後にスタート画面が表示され、応用設定を行うことができます。

#### ■ ダイヤル機能

宛先のファクス番号を入力するときは、以下の機能を使用できます。

「-」、「プレフィクス」、および「フラッシュ」は、ファクス番号入力画面に表示される各記号を選択し、㊎を押して入力します。

- -（ハイフン）

入力するファクス番号にハイフンを挿入します。

- プレフィクス

あらかじめ登録しておいた局番を挿入します。入力時には「N」が入ります。

- フラッシュ

構内交換機に公衆回線への切り替えを通知します。入力時には「F」が入ります。

「ポーズ」と「#」はテンキーの＜＃＞キーにより入力します。＜＃＞キーを押すごとに、「P」と「#」が切り替わります。

- ポーズ

ダイヤル中に、2 秒間、間隔をあけます。何回でもポーズを入力できます。入力時には「P」が入ります。

- #（シャープ）

トーンダイヤルが設定されているときに、「#」を回線に送出します。入力時は「#」が入ります。

「トーン」と「*」はテンキーの＜＊＞キーにより入力します。＜＊＞キーを押すごとに、「T」と「*」が切り替わります。

- トーン

パルスダイヤルが設定されているときに、トーンダイヤルに切り替えます。入力時には「T」が入ります。

- *（アスタリスク）

トーンダイヤルが設定されているときに、「*」を回線に送出します。入力時には「*」が入ります。

参照

- プレフィクスについては、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

### 短縮ダイヤルリストと宛先グループリストを使用する

短縮ダイヤルリストや宛先グループリストに登録している番号から宛先を選択できます。あらかじめ、番号を登録しておく必要があります。

参照

- 短縮ダイヤルリスト、宛先グループリストへの番号登録については、「電話帳」（P. 90）を参照してください。

1 ▼を押して［**短縮ダイヤルリスト**］または［**宛先グループリスト**］を選択し、㊎を押します。

2 ▼を押して宛先またはグループを選択し、㊎を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

## 送信 / 受信履歴を使用する

最近の 50 件の送信履歴または受信履歴から宛先を選択できます。

1 ▼を押して［**送信履歴**］または［**受信履歴**］を選択し、㊎を押します。

2 ▼を押して項目を選択し、㊎を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

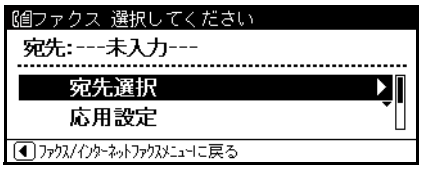
4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

## ワンタッチキーを使用する

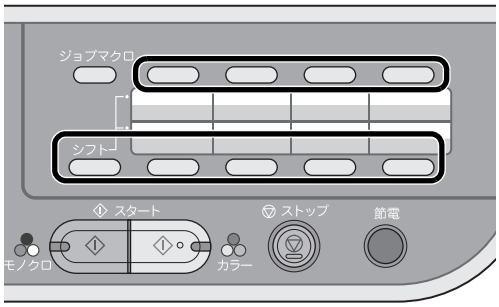
ワンタッチキーで、短縮ダイヤルリストに登録しているファクス番号を選択できます。

ワンタッチキーには、短縮ダイヤル番号 01 ～ 16 が自動的に登録されます。

1 スタート画面で、操作パネルのワンタッチキーを押します。




ワンタッチキーに割り当てられている短縮ダイヤル番号 09 ～ 16 を選択するときは、＜**シフト**＞キーを押しながらワンタッチキーを押します。

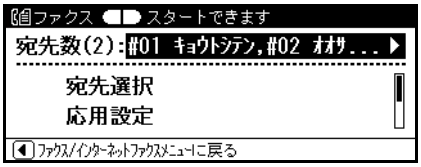



メモ

- ＜**ファクス**＞キーを押したあとに表示されるトップ画面でも、ワンタッチキーを使用できます。この場合、スタート画面は、ワンタッチキーを押したあとに表示され、ほかの応用設定を変更できます。

## 指定した宛先を削除する

1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、㊎を押します。




2 ▼を押して削除する宛先を選択し、㊎を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

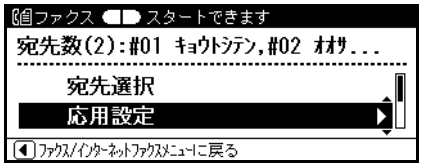
3 削除する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先から削除**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

- すべての宛先を削除したときは、自動的にスタート画面に戻ります。
- 宛先をすべて削除しないときは、◀を押してスタート画面に戻ります。

# 応用設定を変更する

この節では、ファクスの応用設定を変更する方法について説明します。ファクスの応用設定を変更することで、原稿を希望どおりにスキャンできます。各設定は、スタート画面の［**応用設定**］メニューから行います。




前述の「ファクスを送信する」（P. 82）の手順 6 で、以下の操作を行います。

## 読み取りサイズを変更する（読取サイズ）

原稿の適切な読み取りサイズを選択できます。

1 ▼を押してスタート画面の［**応用設定**］を選択し、OKを押します。

2 ［**読取サイズ**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

3 ▼を押してサイズを選択し、OKを押します。

設定可能なサイズ

| |
|---|
| A4* レター リーガル13 リーガル13.5 リーガル 14 |

* は工場出荷時の設定

4 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

## 解像度を変更する（解像度）

最適な画質になるように適切な解像度を選択できます。

1 ▼を押してスタート画面の［**応用設定**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**解像度**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して解像度を選択し、OKを押します。

設定可能な解像度

| |
|---|
| 標準 * 高画質 超高画質 写真 |

* は工場出荷時の設定

メモ

- ［**超高画質**］は、受信先の機械によっては使用できないことがあります。
- ［**高画質**］、［**超高画質**］、［**写真**］モードを使用すると、読み取り時間が長くなります。

4 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

## 濃度を調整する（濃度）

読み取り濃度は 7 段階で調整できます。

1 ▼を押してスタート画面の［**応用設定**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**濃度**］を選択し、OKを押します。

3 ▲または▼を押して濃度を選択し、OKを押します。

設定可能な濃度

| |
|---|
| +3 +2 +1 0* -1 -2 -3 |

* は工場出荷時の設定

メモ

- ［**0**］は標準値です。原稿の濃度を濃くするには、［**+1**］、［**+2**］、［**+3**］を選択します。逆に、原稿の濃度を薄くするには、［**-1**］、［**-2**］、［**-3**］を選択します。

4 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

## 発信元名を印刷する

送信するファクスに発信元名を印刷するように設定できます。工場出荷時の設定では、発信元名は有効になっており、［**送信者情報**］で指定した名前が印刷されます。

参照

- ［**送信者情報**］については、「送信者情報を設定する」（P. 63）を参照してください。

1 ▼を押してスタート画面の［**応用設定**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して［**発信元名**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**オン**］を選択し、OKを押します。

4 スタート画面が表示されるまで、◀を押します。

参照

- 発信元名の登録方法や、使用する発信元名の変更方法については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

# ファクス送信を確認 / 中止する

この節では、ファクス送信の確認方法や中止方法について説明します。

## ファクス送信を中止する

「原稿読み取り中」画面が表示されている間は、ファクス送信を中止できます。

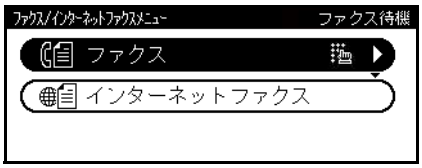
*1* 操作パネルの＜**ストップ**＞キーを押します。

## 送信予約を取り消す

送信予約を取り消すことができます。

*1* 操作パネルの＜**ファクス**＞キーを押します。

*2* ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、㊎を押してスタート画面を開きます。




*3* ▼を押して［**ファクス確認 / 中止**］を選選択し、㊎を押します。

*4* ▼を押して中止するジョブを選択し、㊎を押します。

*5* ジョブ内容を確認し、▶を押します。

*6* ▼を押して［**予約削除**］を選択し、㊎を押します。

*7* 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

注

- 同報送信を選択すると、同報送信ジョブ自体が取り消されます。

メモ

- 送信中のファクスは、リストの一番上に表示されます。

## 送信 / 受信履歴を確認する

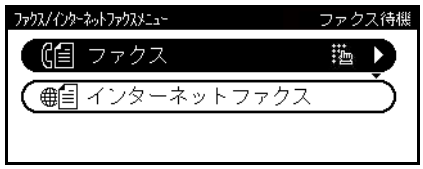
送信・受信履歴と結果を確認できます。

メモ

- ファクスの送信中は、送信状況を［**ファクス確認 / 中止**］画面で確認できます。

*1* 操作パネルの＜**ファクス**＞キーを押します。

*2* ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、㊎を押してスタート画面を開きます。




*3* ▼を押して［**ファクス送受信履歴**］を選択し、㊎を押します。

*4* ▼を押して［**送信履歴**］または［**受信履歴**］を選択し、㊎を押します。

*5* ▼を押して確認する履歴を選択し、㊎を押します。

*6* 履歴内容を確認し、㊎を押します。

注

- パネルに表示される受信履歴はＦコードポーリング受信したもののみです。

# ファクス受信時の動作について

この節では、受信モードの設定方法と、ファクスの受信時と印刷時の動作について説明します。

## 受信モードを指定する

本機をお使いの環境によって、最適な受信モードが異なります。以下の説明で確認してください。

● **ファクス待機**

ファクス専用で使用するときは、このモードをおすすめします。

● **電話 / ファクス待機**

電話機を接続するときは、このモードをおすすめします。

● **留守 / ファクス待機**

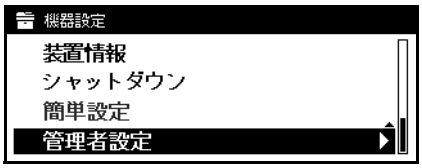
留守番電話を接続するときは、このモードをおすすめします。

● **電話待機**

電話機を使用することが多い場合は、このモードをおすすめします。

***1*** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

***2*** ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、㊎を押します。




***3*** 管理者パスワードを入力します。

工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

***4*** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

***5*** ▼を押して［**運用初期設定**］を選択し、㊎を押します。

***6*** ▼を押して［**ファクス受信モード**］を選択し、㊎を押します。

***7*** ▼を押して受信モードを指定し、㊎を押します。

設定可能な受信モード

| | |
|---|---|
| ファクス待機 * | 電話 / ファクス待機 |
| 留守 / ファクス待機 | 電話待機 |

* は工場出荷時の設定

***8*** トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

## 受信動作

受信動作は、指定した受信モードによって異なります。

工場出荷時の設定は、［**ファクス待機**］になっているので、ファクスを自動的に受信します。ファクス受信モードを変更したときは、以下の説明で受信動作を確認してください。

ファクスの受信中は、＜**代行受信**＞ランプが点灯し、表示画面に発信元情報が表示されます。受信が終了しても、データがメモリに保存されている間は、ランプは点灯を続けます。

メモ

● データの受信中にメモリがオーバーフローすると、受信は中止されます。このようなときは、発信元に、ファクスを再度送信するように依頼してください。

### 電話とファクスを受信するとき（電話 / ファクス待機）

［**電話 / ファクス待機**］に設定しているときは、電話とファクスを兼用できます。電話を受けるには、あらかじめ、電話機を接続しておく必要があります。

信号を受信しながら、電話かファクスかを自動判別します。判別期間中は、電話機の呼び出し音が鳴ります。

参照

● 電話機の接続方法については、「電話線ケーブルの接続」（P. 61）を参照してください。

#### ■ ファクスを受信する

ファクスの受信は自動的に始まります。

#### ■ 電話を受ける

電話を受けると、呼び出し音が鳴り始めます。

***1*** 呼び出し音が鳴り始めたら、受話器を上げます。

相手と会話できます。

**2** ファクスを受信したい場合は、モノクロを押します。

受話器を上げたままにすると、ファクス受信完了後に相手と会話できます。

メモ

- 電話を受ける頻度が高い場合は、［**電話優先モード**］を有効にすることをおすすめします。［**電話優先モード**］については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。
- 離れた場所の電話機を接続している場合は、リモート切替え番号をダイヤルすることでファクスを受信できます。リモート切替え番号は３秒以内にダイヤルしてください。リモート切替え番号については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。
- 電話かファクスか判別している期間に、お使いの電話機の種類によっては呼び出し音が正常に鳴らない場合があります。

## 留守番電話を接続するとき（留守 / ファクス待機）

［**留守 / ファクス待機**］に設定しているときは、留守番電話とファクスを兼用できます。あらかじめ、留守番電話を接続してください。

メモ

- お使いの留守番電話や発信元の機械によっては、［**留守 / ファクス待機**］が正しく機能しないことがあります。

参照

- 留守番電話の接続方法については、「電話線ケーブルの接続」（P. 61）を参照してください。

### ■ファクスを受信する

留守番電話の呼び出し音が鳴り、応答メッセージが流れ、ファクスの受信が自動的に始まります。

### ■電話を受ける

留守番電話の呼び出し音が鳴り、応答メッセージが流れ、メッセージの録音が始まります。

## 通常は電話として使用するとき（電話待機）

本機に接続した電話機を使用することが多い場合は、［**電話待機**］をおすすめします。

### ■電話を受ける

電話を受けると、電話機の呼び出し音が鳴り始めます。

### ■ファクスを受信する

信号を受信すると、電話機の呼び出し音が鳴り始めます。

**1** 呼び出し音が鳴り始めたら、受話器を上げます。

**2** モノクロを押します。

ファクス受信後に通話を再開する場合は、受話器は上げたままにしてください。受信完了後に会話できます。

# 受信したファクスを印刷する

受信したファクスは自動的に印刷されます。また、使用する用紙トレイを指定できます。

注

- 印刷中に用紙トレイを引き出さないでください。

メモ

- 普通紙または再生紙以外を使用しないでください。
- 使用できる用紙サイズは、A4、レター、リーガルです。

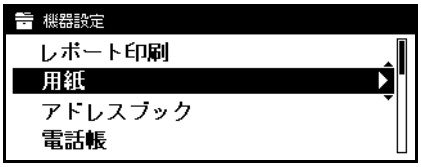
参照

- 受信したファクスが指定した用紙サイズより大きいときは、受信側の印刷設定によって、縮小されたり、破棄されたり、複数の用紙に分けて印刷されたりします。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## 使用するトレイを選択する

**1** 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

**2** ▼を押して［**用紙**］を選択し、OKを押します。




**3** ▼を押して［**印刷トレイ指定**］を選択し、OKを押します。

**4** ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

**5** ▼を押して用紙トレイを選択し、OKを押します。

**6** ▼を押して設定値を選択し、OKを押します。

設定可能な値

| |
|---|
| オン＊　オフ　オン（優先） |

＊は工場出荷時の設定

- ［**オン（優先）**］を指定した用紙トレイは、同じサイズの用紙がセットされているほかのトレイより優先して使用されます。
- MP トレイは、工場出荷時に［**オフ**］に設定されています。

**7** トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

## 受信したファクスを印刷できないとき

用紙切れや紙づまりなどが原因で受信したファクスを印刷できないときは、受信できるデータ容量は最大200 枚までとなります。（ただし、メモリの残量や原稿の内容によって変化します。）問題が解決されると、印刷は自動的に始まります。

参照

- 用紙のセット方法については、「用紙のセットのしかた」（P. 68）を参照してください。
- 紙づまりの解消方法については、「紙づまり」（P. 123）を参照してください。
- 受信履歴の確認方法については、「送信 / 受信履歴を確認する」（P. 86）を参照してください。

# 電話帳

この節では、電話帳にファクス番号を登録する方法や、登録した番号を編集、削除する方法について説明します。電話帳では、頻繁に使用するファクス番号を短縮ダイヤルに設定したり、ファクスを同報送信するファクス番号のグループを作成することができます。

## 短縮ダイヤル

宛先を短縮ダイヤルに最大 100 件登録できます。

### 登録 / 編集する

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」（P. 29）を参照してください。

*1* 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

*2* ▼を押して［**電話帳**］を選択し、OKを押します。

*3* ［**短縮ダイヤル**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

*4* ▼を押して短縮ダイヤルを選択し、OKを押します。

送信予約、自動配信で使用されている短縮ダイヤルは選択できません。

*5* ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

登録済みの短縮ダイヤルを編集する場合は、［**編集**］を選択します。

*6* 必要に応じて、名前を指定します。

a）［**相手先名**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

b）名前を入力します。

最大半角 24 文字まで入力できます。

c）［**決定**］を選択し、OKを押します。

*7* ▼を押して［**相手先番号**］を選択し、▶を押します。

*8* ファクス番号を入力します。

最大 40 桁まで入力できます。

*9* ［**決定**］を選択し、OKを押します。

*10* 必要に応じて、グループ番号を指定します。

a）▼を押して［**グループ番号**］を選択し、▶を押します。

b）▼を押して、グループ番号（01 ～ 20）を選択します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

c）グループをすべて選択したら、▶を押します。

d）［**グループ選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

*11* OKを押します。

メモ

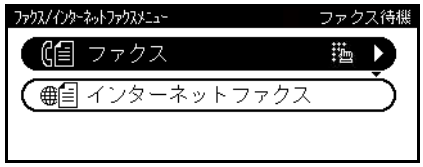
- ［**短縮ダイヤル**］機能からグループに登録した番号は、［**グループ番号**］機能を使用してグループに登録した番号と同期されます。

### 履歴から登録する

ファクスの送信履歴や受信履歴から、ファクス番号を短縮ダイヤル番号として登録できます。

*1* 操作パネルの＜**ファクス**＞キーを押します。

*2* ［**ファクス**］が選択されていることを確認し、OKを押してスタート画面を開きます。




*3* ▼を押して［**ファクス送受信履歴**］を選択し、OKを押します。

*4* ▼を押して［**送信履歴**］または［**受信履歴**］を選択し、OKを押します。

*5* ▼を押して項目を選択し、OKを押します。

*6* 項目の内容を確認したら、▶を押します。

*7* ［**短縮ダイヤルリストへ登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

**8** 「登録 / 編集する」(P. 90) の手順 4 ～ 11 を行います。
ファクス番号は自動的に入力されます。手動で入力する必要はありません。

### 削除する

**1** 操作パネルの < **設定** > キーを押します。

**2** ▼を押して［**電話帳**］を選択し、㊎を押します。

**3** ［**短縮ダイヤル**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

**4** ▼を押して削除する番号を選択し、㊎を押します。

**5** ▼を押して［**削除**］を選択し、㊎を押します。

**6** 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

注
- 送信予約、自動配信で使用されている短縮番号は削除できません。

## グループダイヤル（グループ番号）

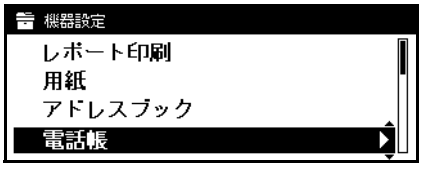
最大 20 個のグループを作成し、グループ全体を短縮ダイヤル番号として登録できます。

### 登録 / 編集する

参照
- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」(P. 29) を参照してください。

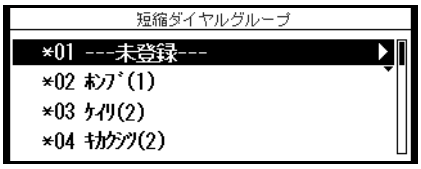
**1** 操作パネルの < **設定** > キーを押します。

**2** ▼を押して［**電話帳**］を選択し、㊎を押します。




**3** ▼を押して［**グループ番号**］を選択し、㊎を押します。

**4** ▼を押してグループ番号を選択し、㊎を押します。




**5** ［**登録**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。
登録済みのグループ番号を編集する場合は、［**編集**］を選択します。

**6** ［**名称**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

**7** 名前を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。

**8** ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

**9** ▼を押して［**短縮ダイヤル**］を選択し、▶を押します。

**10** ▼を押して短縮ダイヤル番号（01 ～ 100）を選択し、㊎を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

**11** 番号をすべて選択したら、▶を押します。

**12** ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

**13** ㊎を押します。

メモ
- ［**短縮ダイヤル**］機能からグループに登録した番号は、［**グループ番号**］機能を使用してグループに登録した番号と同期されます。

### 削除する

**1** 操作パネルの < **設定** > キーを押します。

**2** ▼を押して［**電話帳**］を選択し、㊎を押します。

**3** ▼を押して［**グループ番号**］を選択し、㊎を押します。

**4** ▼を押してグループ番号を選択し、㊎を押します。

***5*** ▼を押して［**削除**］を選択し、㊎を押します。

***6*** 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

メモ

- グループを削除しても、短縮ダイヤル番号として登録されている番号は削除されません。

## ワンタッチキーを使用する

ワンタッチキーには短縮ダイヤル番号 01 ～ 16 が自動的に登録されます。

# インターネットファクス機能の基本操作

この節では、インターネットファクス送信の基本操作について説明します。

インターネットファクス機能を使用すると、ファクスデータは TIFF ファイルに変換され、E メールの添付ファイルとして送信されます。データは、読み取りが終了するとすぐに送信され、メモリには保存されません。宛先には、E メールアドレスのみ、指定可能です。

メモ

- 自動原稿送り装置にセットできる原稿のサイズは、A4/ レター / リーガル、原稿ガラスにセットできる原稿のサイズは、A4/ レターのみです。サイズが異なる原稿を一緒に使用することはできません。
- 相手先で使用している機械によっては、インターネットファクス機能で送信する原稿データが正しく印刷されないことがあります。
- インターネットファクス機能の詳細設定は、スキャン To メール機能の設定と同じです。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

参照

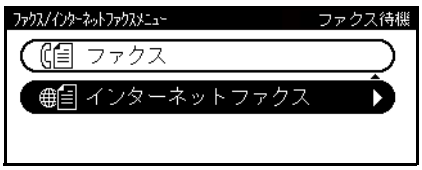
- インターネットファクス機能を使用する前に、サーバの設定を行う必要があります。サーバの設定については、「スキャン To メール・インターネットファクスのセットアップ」（P. 48）を参照してください。

## インターネットファクスを送信する

***1*** 操作パネルの＜**ファクス**＞キーを押します。

***2*** 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

***3*** ▼を押して［**インターネットファクス**］を選択し、㊎を押します。

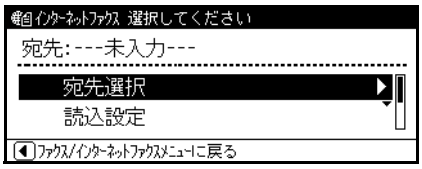



***4*** 必要に応じて、読込設定を行います。

参照

- 「ユーザーズマニュアル　応用編」

***5*** ［**宛先選択**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

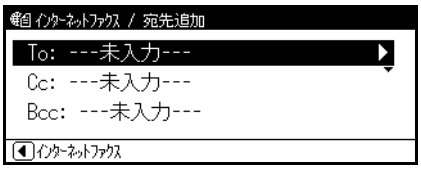



メモ

- ここではワンタッチキーを使って宛先を追加することができます。宛先は［**To**］に追加されます。続けてワンタッチキーで複数宛先を追加できます。

***6*** ［**To**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

［**Cc**］または［**Bcc**］を選択する場合は、▼を押し、㊎を押してください。




***7*** 宛先の E メールアドレスを指定します。

- 宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。

参照

- 「宛先を指定する」（P. 94）

***8*** モノクロ を押して、送信を始めます。

原稿ガラスを使用して複数の原稿を読み取りたいときは、継続読取モードを有効にします。

参照

- 「継続読取モードを有効にする （継続読取）」（P. 79）

参照

- 自動原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットする方法については、「原稿のセットのしかた」（P. 74）を参照してください。

# 宛先を指定する

宛先は、以下の 5 つの方法で指定できます。

- アドレスブックを使用する
- グループリストを使用する
- 送信履歴を使用する
- 直接入力する
- LDAP 検索を使用する

前述の「インターネットファクスを送信する」（P. 93）の手順 7 で、以下のいずれかの操作を行います。

## アドレスブックまたはグループリストを使用する

アドレスブックやグループリストから宛先を選択できます。あらかじめ、宛先をアドレスブックやグループリストに登録しておく必要があります。

参照

- E メールアドレスをアドレスブックやグループリストに追加する方法については、「アドレスブックを登録する」（P. 107）を参照してください。

1 ▼を押して［**アドレスブック**］または［**グループリスト**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して、送信先の宛先またはグループを選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

## 送信履歴を使用する

送信履歴から宛先を選択できます。

注

- 送信履歴には、直接入力で送信した宛先のみ表示されます。

1 ▼を押して［**送信履歴**］を選択し、OKを押します。

2 ▼を押して宛先を選択し、OKを押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

## 直接入力する

宛先は直接入力できます。

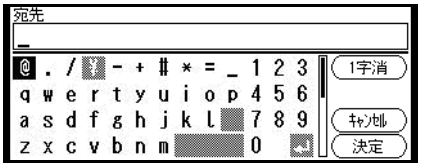
参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」（P. 29）を参照してください。

1 ▼を押して［**直接入力**］を選択し、OKを押します。

2 E メールアドレスを入力します。

最大半角 80 文字まで入力できます。




3 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

4 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

## LDAP 検索を使用する

LDAP サーバのリストから宛先を検索できます。

検索方法は、［**単純検索**］と［**詳細検索**］を選択できます。

［**単純検索**］は 1 つのキーワードのみ、ユーザ名として検索します。また、単純検索ではユーザ名に含まれる文字列のみを検索します。E メールアドレスに含まれる文字列は検索されません。

［**詳細検索**］では、検索条件を選択して、指定したキーワードをすべて含む項目のみを検索することもできます。ユーザ名としての検索キーワードと、E メールアドレスとしての検索キーワードを指定できます。

参照

- LDAP サーバの設定については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

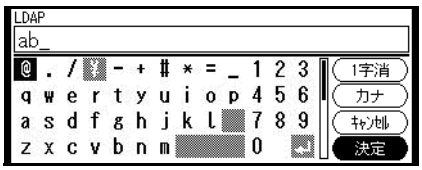
### ■単純検索の場合

1 ▼を押して［**LDAP**］を選択し、OK を押します。

2 ［**単純検索**］が選択されていることを確認し、OK を押します。

3 LDAP サーバ内のユーザ名を検索するキーワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、OK を押して検索を開始します。




5 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、OK を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数のアドレスを選択できます。

6 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

7 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OK を押します。

8 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

### ■詳細検索の場合

1 ▼を押して［**LDAP**］を選択し、OK を押します。

2 ▼を押して［**詳細検索**］を選択し、OK を押します。

3 ［**検索方法**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

4 ［**OR**］または［**AND**］を選択し、OK を押します。

5 ▼を押して［**ユーザ名**］を選択し、▶を押します。

6 検索するキーワードを入力します。

7 ［**決定**］を選択し、OK を押します。

8 ▼を押して［**E メールアドレス**］を選択し、▶を押します。

9 検索するキーワードを入力します。

10 ［**決定**］を選択し、OK を押します。

11 OK を押して検索を開始します。

12 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、OK を押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数のアドレスを選択できます。

13 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

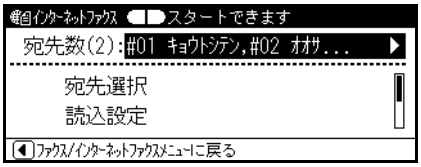
14 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OK を押します。

15 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

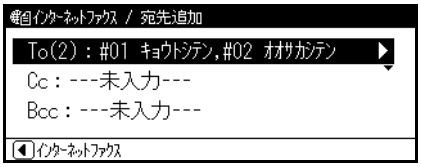
## 宛先を確認、削除、変更する

### 宛先を確認する

1 スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、OK を押します。




2 ▼を押して確認する宛先タイプを選択し、OK を押します。
宛先タイプには、To、Cc、Bcc があります。

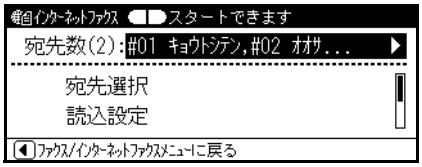



3 宛先を確認したら、▶を押します。

*4* ［**一覧を閉じる**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

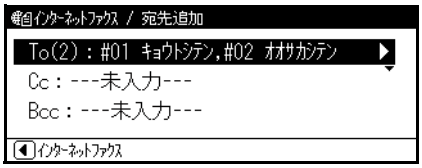
### 宛先を削除する

*1* スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、㊎を押します。




*2* ▼を押して削除する宛先が含まれる宛先タイプを選択し、㊎を押します。

宛先タイプには、To、Cc、Bcc があります。




*3* ▼を押して削除する宛先を選択し、㊎を押します。

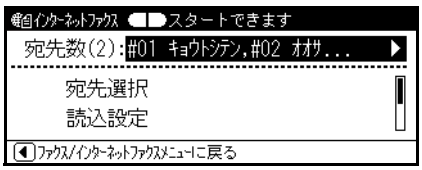
チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。

*4* 削除する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

*5* ▼を押して［**宛先から削除**］を選択し、㊎を押します。

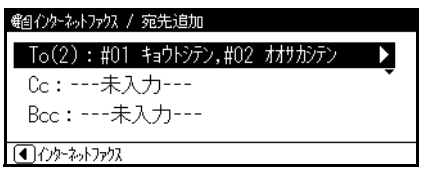
### 宛先タイプを変更する

*1* スタート画面で、▲を押して指定した宛先を選択し、㊎を押します。




*2* ▼を押して変更する宛先が含まれる宛先タイプを選択し、㊎を押します。

宛先タイプには、To、Cc、Bcc があります。




*3* ▼を押して変更する宛先を選択し、㊎を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の宛先を選択できます。

*4* 変更する宛先をすべて選択したら、▶を押します。

*5* ［**宛先種別を変更**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

*6* ▼を押して［**To**］、［**Cc**］、［**Bcc**］から宛先タイプを選択し、㊎を押します。

## 送信を中止する

原稿読み取り中のメッセージが表示されている間は、送信を中止できます。

*1* 操作パネルの＜**ストップ**＞キーを押して、送信を中止します。

## インターネットファクスを受信する

受信したインターネットファクスは自動的に印刷されます。原稿が A4 サイズより大きいときは、指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズに合わせて自動的に縮小されます。

参照

- インターネットファクスを受信するためには、あらかじめ E メールの受信設定をしておく必要があります。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。
- インターネットファクスを転送したいときは、自動配信機能を使用できます。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

# 4. スキャナとして使うとき

この章では、スキャン機能の基本操作と設定について説明します。

## スキャナドライバ（TWAIN/WIA ドライバ）をインストールする

この節では、スキャナドライバのインストール手順について説明します。スキャン機能を使用する前に、スキャナドライバをインストールします。TWAIN ドライバと WIA ドライバ（Windows 専用）を同時にインストールできます。

ネットワークスキャン機能を使用する場合は、以下の手順でお使いのコンピュータの情報を登録してスキャナドライバをインストールします。

メモ
- Windows でネットワークスキャン機能を使用する場合は、ActKey ユーティリティをインストールしてください。

参照
- 次の手順を行う前に、必ずネットワーク接続を設定してください。詳しくは、「ネットワーク接続」（P. 33）を参照してください。

注
- Windows でネットワーク接続でスキャナを使用している場合、装置の IP アドレスが変わりましたら、Network Configuration で設定を変更してください。Mac OS X の場合は、ネットワークスキャナ設定ツールで設定を変更してください。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

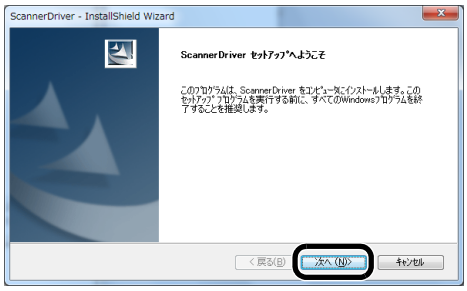
### インストール手順

メモ
- Windows でネットワークスキャン機能を使用する場合は、Network Configuration をインストールしてください。Mac OS X の場合は、ネットワークスキャナ設定ツールが自動的にインストールされます。

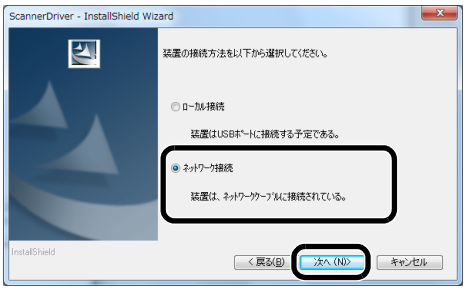
#### Windows の場合

1. 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。
2. ［**自動再生**］が表示されたら、［**setup.exe の実行**］をクリックします。
   ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。
3. モデルを選択し、［**次へ**］をクリックします。
4. 使用許諾契約を読み、［**同意する**］をクリックします。
5. ［**ドライバのインストール**］の下の［**詳細インストール（スキャナ）**］を選択します。
   スキャナドライバをすでにインストールしている場合は、スキャナドライバのセットアップ メンテナンス プログラムが表示されます。［**接続先を追加**］にチェックをつけ、「**次へ**」をクリックして手順 8 に進みます。

6. ［**次へ**］をクリックします。

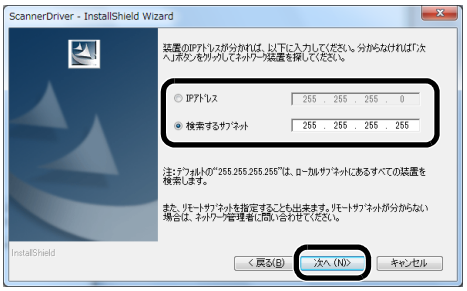


***7*** ［**ネットワーク接続**］にチェックをつけ［**次へ**］をクリックします。

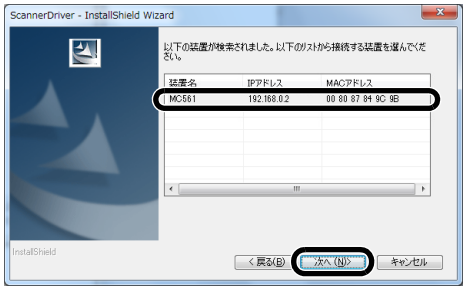



***8*** ［**IP アドレス**］にチェックをつけて本機のアドレスを入力するか、または［**検索するサブネット**］にチェックをつけ、［**次へ**］をクリックします。

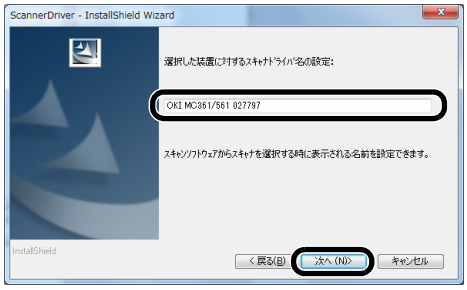
［**IP アドレス**］を指定した場合は、手順 10 に進みます。




***9*** ［**検索するサブネット**］を選択した場合は、本機を選択し、［**次へ**］をクリックします。

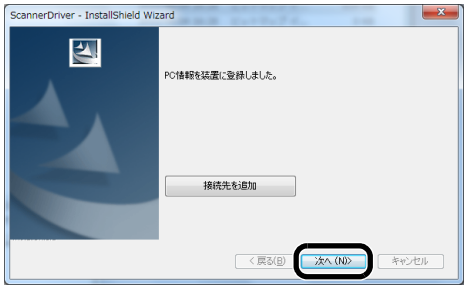



***10*** スキャナドライバ名を設定し、［**次へ**］をクリックします。

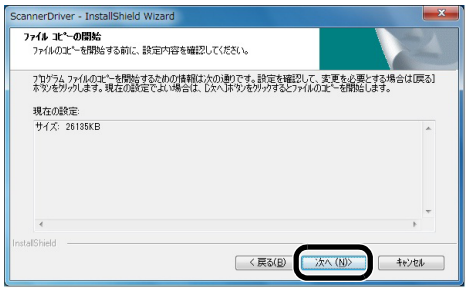



***11*** ホスト名、IP アドレス、ポート番号を確認し、［**登録**］をクリックします。

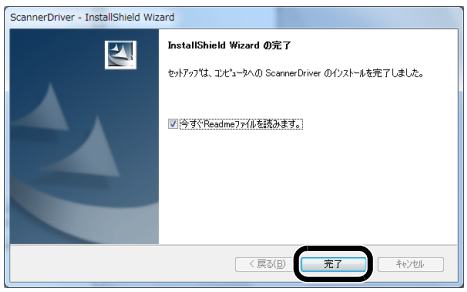
***12*** ［**次へ**］をクリックします。




***13*** ［**次へ**］をクリックします。




***14*** ［**完了**］をクリックします。




## Mac OS X の場合

***1*** 本機とコンピュータが接続され、電源が入っていることを確認し、「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

***2*** デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

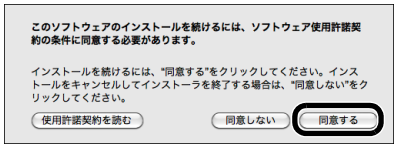
***3*** ［**Driver**］＞［**Scanner**］＞［**TWAIN**］＞［**Installer for MacOSX**］をダブルクリックします。

***4*** ［**続ける**］をクリックします。

***5*** 表示された内容を確認し、［**続ける**］をクリックします。

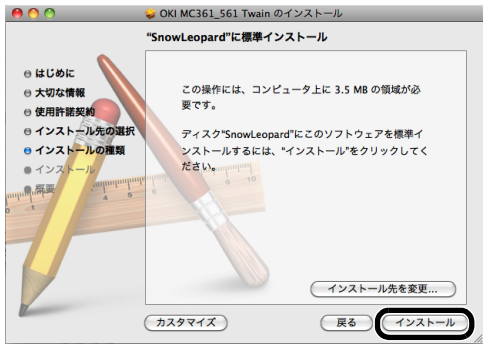
***6*** 使用許諾契約を読み、［**続ける**］をクリックします。

***7*** ［**同意する**］をクリックします。




***8*** ［**インストール**］をクリックします。

ドライバのインストール先を変更する場合は、［**インストール先を変更**］をクリックします。




***9*** 管理者の名前とパスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

***10*** ［**閉じる**］をクリックします。

# スキャンする

この節では、スキャン機能の基本操作について説明します。スキャンモードでは、スキャン To メール、スキャン To USB メモリ、スキャン To ネットワーク PC、スキャン To ローカル PC、スキャン To リモート PC の 5 つのスキャン機能を使用できます。各機能は、＜**スキャン**＞キーを押したあとで選択します。

参照

- スキャン機能では、継続読取モードを使用できます。［**継続読取**］機能については、「継続読取モードを有効にする（継続読取）」（P. 79）を参照してください。

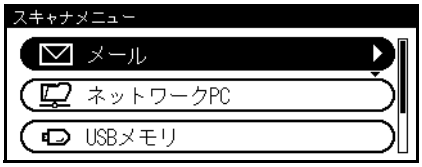
## スキャン To メール

スキャンしたデータを E メールに添付できます。

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

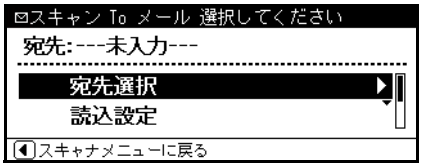
2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ［**メール**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。




メモ

- ここではワンタッチキーを使って宛先を追加することができます。宛先は［To］に追加されます。続けてワンタッチキーで複数宛先を追加できます。




4 ［**宛先選択**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

5 ［**To**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

［**Cc**］または［**Bcc**］を選択する場合は、▼を押し、㊎を押してください。

6 宛先を指定します。

宛先は、直接入力、アドレスブック、グループリスト、送信履歴、LDAP 検索のいずれかの方法で指定します。

7 または を押します。

### 宛先を指定する

宛先は、以下の 5 つの方法で指定できます。

- アドレスブックを使用する
- グループリストを使用する
- 送信履歴を使用する
- 直接入力する
- LDAP 検索を使用する

前述の「スキャン To メール」の手順 6 で、以下のいずれかの操作を行います。

#### ■アドレスブックまたはグループリストを使用する

アドレスブックやグループリストから宛先を選択できます。あらかじめ、宛先をアドレスブックやグループリストに登録しておく必要があります。

参照

- アドレスブックやグループリストの宛先登録方法については「アドレスブックを登録する」（P. 107）を参照してください。

1 ▼を押して［**アドレスブック**］または［**グループリスト**］を選択し、㊎を押します。

2 ▼を押して、送信先の宛先またはグループを選択し、㊎を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

#### ■送信履歴を使用する

送信履歴から宛先を選択できます。

1 ▼を押して［**送信履歴**］を選択し、㊎を押します。

2 ▼を押して宛先を選択し、㊎を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

3 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

4 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

5 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

### ■直接入力する

宛先を操作パネルから直接入力します。

1 ▼を押して［**直接入力**］を選択し、㊎を押します。

2 E メールアドレスを入力します。

最大半角 80 文字まで入力できます。

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」（P. 29）を参照してください。

3 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

4 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

### ■LDAP 検索を使用する

LDAP サーバのリストから宛先を検索して、指定します。

検索方法は、［**単純検索**］と［**詳細検索**］を選択できます。

［**単純検索**］は 1 つのキーワードのみ、ユーザ名として検索します。また、単純検索ではユーザ名に含まれる文字列のみを検索します。E メールアドレスに含まれる文字列は検索されません。

［**詳細検索**］では、検索条件を選択して、指定したキーワードをすべて含む項目のみを検索することもできます。ユーザ名としての検索キーワードと、E メールアドレスとしての検索キーワードを指定できます。

参照

- LDAP サーバの設定については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

❑ 単純検索の場合

1 ▼を押して［**LDAP**］を選択し、㊎を押します。

2 ［**単純検索**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

3 LDAP サーバ内のユーザ名を検索するキーワードを入力します。

4 ［**決定**］を選択し、㊎を押して検索を開始します。

5 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、㊎を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数の項目を選択できます。

6 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

7 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

8 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

❑ 詳細検索の場合

1 ▼を押して［**LDAP**］を選択し、㊎を押します。

2 ▼を押して［**詳細検索**］を選択し、㊎を押します。

3 ［**検索方法**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

4 ［**OR**］または［**AND**］を選択し、㊎を押します。

5 ▼を押して［**ユーザ名**］を選択し、▶を押します。

6 検索するキーワードを入力します。

7 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

8 ▼を押して［**E メールアドレス**］を選択し、▶を押します。

9 検索するキーワードを入力します。

10 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

11 ㊎を押して検索を開始します。

12 検索結果が表示されたら、▼を押して宛先を選択し、㊎を押します。

チェックボックスにチェックが入ります。複数のアドレスを選択できます。

13 宛先をすべて選択したら、▶を押します。

14 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

15 ◀を押して、スタート画面に戻ります。

## スキャン To USB メモリ

スキャンしたデータを、USB メモリに保存できます。

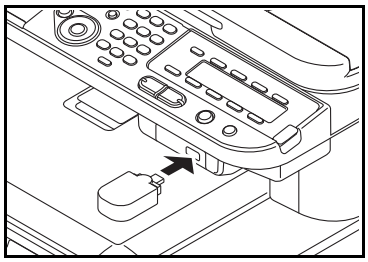
参照

- 使用できる USB メモリの仕様については、「USB メモリからの印刷仕様」（P. 185）を参照してください。

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

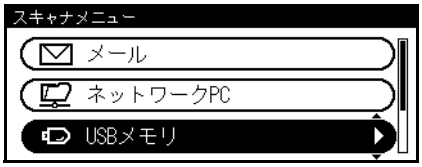
3 USB メモリを、本機の USB ポートに差し込みます。



注

- USB メモリは、USB ポートにまっすぐ差し込みます。正しい角度で挿入しないと、USB ポートを傷つけることがあります。

4 ▼を押して［**USB メモリ**］を選択し、OK を押します。




5 ▼を押して必要に応じて読み取り設定をします。

6 モノクロ または カラー を押します。

7 USB メモリを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USB メモリを取り外します。

## スキャン To ネットワーク PC

スキャンしたデータをネットワーク上のサーバに送信できます。

スキャンしたデータは、PDF、JPEG、TIFF、XPS ファイルに変換されます。工場出荷時の設定は PDF です。

注

- 本機がネットワークに接続されていることを確認してください。
- あらかじめスキャン To ネットワーク PC のセットアップをしておく必要があります。

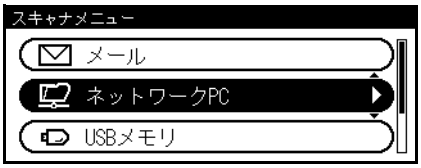
参照

- スキャン To ネットワーク PC のセットアップについては、「スキャン To ネットワーク PC の セットアップ」（P. 50）を参照してください。

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**ネットワーク PC**］を選択し、OK を押します。




4 ［**プロファイル選択**］が選択されていることを確認し、OK を押します。

5 ▼を押してプロファイルを選択し、OK を押します。

6 モノクロ または カラー を押します。

## スキャン To ローカル PC

スキャンしたデータを、コンピュータに保存できます。

または を押すと、読み取りジョブが始まり、ActKey ユーティリティと TWAIN ドライバが自動的に起動します。読み取った原稿は、指定したアプリケーションに送信するか、指定したフォルダに保存するか、ファクスで送信できます。

本機とコンピュータは、USB またはネットワークで接続できますが、同時に接続できるのは、1 台のコンピュータです。

スキャン To ローカル PC 機能は、Windows をお使いのときに限り使用できます。Mac OS X をお使いのときは使用できません。

注

- USB またはネットワークのどちらかを使用して、本機をコンピュータに接続します。
- ローカルコンピュータへの読み取りを行う前に、ActKey とスキャナドライバをインストールします。
- 本機をネットワークに接続するときは、以下の設定をします。
  - 本機の［**TCP/IP**］設定を［**有効**］に設定します。
  - 本機の IP バージョンとコンピュータの IP バージョンを一致させます。
  - DNS サーバを設定します。
  - Network TWAIN 機能を有効にします。

参照

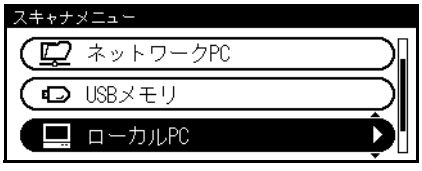
- Network TWAIN 機能を有効にする方法については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。
- ActKey ユーティリティのインストール方法については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

### ■USB 接続の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**ローカル PC**］を選択し、OKを押します。
Network TWAIN 機能を［**オフ**］に設定している場合は、手順 6 に進みます。




4 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ▼を押して［**USB 接続 PC**］を選択し、OKを押します。

6 ▼を押して［**起動アプリ**］を選択し、OKを押します。

7 ▼を押して、読み取った原稿の送信先を選択し、OKを押します。

選択可能な送信先

| アプリケーション | フォルダ | PC-FAX |
|---|---|---|

8 または を押します。

メモ

- ［**アプリケーション**］を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- ［**フォルダ**］を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダに保存されます。
- ［**PC-FAX**］を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動します。読み取った原稿を送信したあと、お使いのコンピュータのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

### ■ネットワーク接続の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**ローカル PC**］を選択し、OKを押します。

4 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

5 ［**ネットワーク接続 PC リストから選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

6 ▼を押して、接続先のコンピュータを選択し、OKを押します。

7 ▼を押して［**起動アプリ**］を選択し、OKを押します。

8 ▼を押して、読み取った原稿の送信先を選択し、OKを押します。

9 または を押します。

メモ

- ［**アプリケーション**］を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- ［**フォルダ**］を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダに保存されます。
- ［**PC-FAX**］を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動します。読み取った原稿を送信したあと、お使いのコンピュータのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

# スキャン To リモート PC

コンピュータにインストールされているユーティリティ（ActKey、PaperPort、イメージキャプチャ、Adobe Photoshop CS3 など）を使って TWAIN ドライバを起動して、読み取りを行います。

本機とコンピュータは、USB またはネットワークで接続されてる必要があります。

スキャン To リモート PC には、シンプルスキャンモードとセキュアスキャンモードの 2 つのモードがあります。シンプルモードの場合、読み取りジョブを始めるのは簡単です。セキュアスキャンモードの場合、指定したコンピュータ以外からの操作は実行できません。一度に 1 台のコンピュータしか接続できません。

メモ

- 次の手順では、Windows では ActKey、Mac OS X では Adobe Photoshop CS3 を例にしています。お使いのアプリケーションによっては、本書の記載と異なる場合があります。

注

- USB またはネットワークのどちらかを使用して、本機をコンピュータに接続します。
- 読み取りジョブを始める前に、アプリケーション（ActKey、PaperPort など）とスキャナドライバをインストールします。
- 本機をネットワークに接続するときは、以下の設定をします。
  - ［**TCP/IP**］設定を［**有効**］に設定します。
  - 本機の IP バージョンとコンピュータの IP バージョンを一致させます。
  - DNS サーバを設定します。
  - Network TWAIN 機能を有効にします。
- セキュアスキャンモードの場合は、管理者があらかじめ操作パネル、または Web ページから、セキュアスキャンを実行するコンピュータの情報登録をしておく必要があります。
- Mac OS X では、初めてネットワークスキャンを行うときはドライバを使用するときに接続先の設定が必要です。初回ドライバ使用時に接続先選択用のツールが起動します。
  2 回目以降は接続先の設定は不要になります。

参照

- スキャナドライバのインストール方法については、「スキャナドライバ（TWAIN/WIA ドライバ）をインストールする」（P. 97）を参照してください。

## シンプルスキャンモード

### ■ Windows の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OK を押します。

4 コンピュータ上で ActKey を起動します。

5 スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

スキャンボタン名

| | |
|---|---|
| アプリケーション -1 | アプリケーション -2 |
| フォルダに保存 | PC-Fax 送信 |

メモ

- ［**アプリケーション -1**］または［**アプリケーション -2**］を選択したときは、指定したアプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに表示されます。
- ［**フォルダに保存**］を選択したときは、読み取った原稿が指定したフォルダに保存されます。
- ［**PC-Fax 送信**］を選択したときは、ファクス送信アプリケーションが起動し、読み取った原稿がアプリケーションに送信されます。お使いのコンピュータのファクス送信ソフトウェアでファクスを送信します。

### ■ Mac OS X の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OK を押します。

4 コンピュータ上で Adobe Photoshop CS3 を起動します。

5 ［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択し、［**OKI MC361_561 Twain**］または［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択します。

- ［**OKI MC361_561 Twain**］を選択した場合は、手順 9 に進みます。
- ［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択し、ネットワークスキャンを行うのが 2 回目以降の場合は、手順 9 に進みます。

6 初めてネットワークスキャンを行うときは、接続先選択用のツールが起動することを知らせるダイアログが表示されるので［**OK**］をクリックします。

7 ［**スキャン設定**］ダイアログで、接続先を選択し、必要に応じてホスト情報を登録し［**OK**］をクリックします。

8 Adobe Photoshop CS3 の［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択して［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択します。
ウィンドウが表示されます。

9 スキャンボタンをクリックします。
読み取りが始まります。

10 ［**Photoshop**］から［**Photoshop を終了**］を選択します。

## セキュアスキャンモード（ネットワーク接続）

### ■ Windows の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、㊎を押します。

4 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

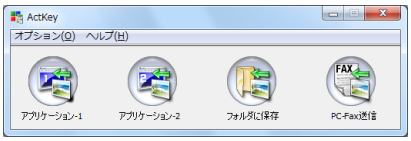
5 ［**ネットワーク接続 PC リストから選択**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

6 ▼を押して、接続先のコンピュータを選択し、㊎を押します。

7 モノクロまたはカラーを押します。

8 コンピュータ上で ActKey を起動します。

9 スキャンボタンをクリックします。




### ■ Mac OS X の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、㊎を押します。

4 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

5 ［**ネットワーク接続 PC リストから選択**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

6 ▼を押して、接続先のコンピュータを選択し、㊎を押します。

7 モノクロまたはカラーを押します。

8 コンピュータ上で Adobe Photoshop CS3 を起動します。

9 ［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択し、［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択します。
ネットワークスキャンを行うのが 2 回目以降の場合は、手順 13 に進みます。

10 初めてネットワークスキャンを行うときは、接続先選択用のツールが起動することを知らせるダイアログが表示されるので［**OK**］をクリックします。

11 ［**スキャン設定**］ダイアログで、接続先を選択し、必要に応じてホスト情報を登録し［**OK**］をクリックします。

12 Adobe Photoshop CS3 の［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択して［**OKI MC361_561 Twain Network**］を選択します。
ウィンドウが表示されます。

13 スキャンボタンをクリックします。
読み取りが始まります。

14 ［**Photoshop**］から［**Photoshop を終了**］を選択します。

## セキュアスキャンモード（USB 接続）

### ■ Windows の場合

1 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

2 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

3 ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、㊎を押します。

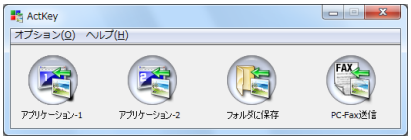
4 ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

5 ▼を押して［**USB 接続 PC**］を選択し、㊎を押します。

6 モノクロまたはカラーを押します。

7 コンピュータ上で ActKey を起動します。

**8** スキャンボタンをクリックします。




### ■ Mac OS X の場合

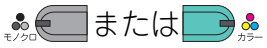
**1** 操作パネルの＜**スキャン**＞キーを押します。

**2** 原稿を自動原稿送り装置または、原稿ガラスにセットします。

**3** ▼を押して［**リモート PC**］を選択し、OKを押します。

**4** ［**接続先選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

**5** ▼を押して［**USB 接続 PC**］を選択し、OKを押します。

**6** 

またはを押します。

**7** コンピュータ上で Adobe Photoshop CS3 を起動します。

**8** ［**ファイル**］から［**読み込み**］を選択し、［**OKI MC361_561 Twain**］を選択します。

**9** スキャンボタンをクリックします。

読み取りが始まります。

**10** ［**Photoshop**］から［**Photoshop を終了**］を選択します。

## スキャンを中止する

原稿読み取り中のメッセージが表示されている間は、スキャンを中止できます。

**1** 操作パネルの＜**ストップ**＞キーを押します。

注

- スキャン To ローカル PC とスキャン To リモート PC ではキャンセルできません。

# アドレスブックを登録する

この節では、アドレスブック、グループリストの登録 / 削除方法について説明します。

E メールをアドレスブックに登録して、メッセージを同報送信するグループを作成できます。アドレスブックとグループリストは、スキャン To メール機能とインターネットファクス機能で宛先を指定するときに使用します。

## アドレスブック

E メールアドレスをアドレスブックに最大 100 件登録できます。

### 登録 / 編集する

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」(P. 29)を参照してください。

1 操作パネルの < **設定** > キーを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、㊎を押します。

3 ［**E メールアドレス**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

4 ▼を押して番号を選択し、㊎を押します。
自動配信機能で指定されている番号は選択できません。

5 ［**登録**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。
登録済みのアドレスを編集する場合は「**編集**」を選択します。

6 必要に応じて、名前を指定します。

a) ［**名前**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

b) 名前を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。

c) ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

7 ▼を押して［**E メールアドレス**］を選択し、▶を押します。

8 E メールアドレスを入力し、㊎を押します。
最大半角 80 文字まで入力できます。

9 ㊎を押します。

### 送信履歴から登録する

送信履歴からアドレスブックに、E メールアドレスを追加できます。

注

- 送信履歴には、直接入力で送信した宛先のみ表示されます。

1 操作パネルの < **スキャン** > キーを押します。

2 ［**メール**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

3 ▼を押して［**送信履歴**］を選択し、㊎を押します。

4 ▼を押して E メールアドレスを選択し、㊎を押します。

5 内容を確認し、▶を押します。

6 ［**アドレスブックへ登録**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

7 「登録 / 編集する」の手順 4 ～ 9 を繰り返します。
E メールアドレスは自動的に入力されます。手動で入力する必要はありません。

### 削除する

1 操作パネルの < **設定** > キーを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、㊎を押します。

3 ［**E メールアドレス**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

4 ▼を押して削除する E メールアドレスを選択し、㊎を押します。

5 ▼を押して［**削除**］を選択し、㊎を押します。

6 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

注

- 自動配信機能で指定されている E メールアドレスは削除できません。

# グループリスト

E メールアドレスのグループを最大 20 個作成できます。

## 登録 / 編集する

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」（P. 29）を参照してください。

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**E メールグループ**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押してグループ番号を選択し、OKを押します。

5 ［**登録**］が選択されていることを確認し、OKを押します。
登録済みのグループ番号を編集する場合は「**編集**」を選択します。

6 ［**名称**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

7 名前を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。

8 ［**決定**］を選択し、OKを押します。

9 ▼を押して［**アドレス番号**］を選択し、▶を押します。

10 ▼を押して、アドレスブックから E メールアドレスを選択し、OKを押します。
チェックボックスにチェックが入ります。複数の E メールアドレスを選択できます。

11 E メールアドレスをすべて選択し、▶を押します。

12 ［**宛先選択を完了**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

13 OKを押します。

メモ

- また、［**E メールアドレス**］の［**グループ番号**］から E メールグループを登録することもできます。

## 削除する

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**アドレスブック**］を選択し、OKを押します。

3 ▼を押して［**E メールグループ**］を選択し、OKを押します。

4 ▼を押してグループ番号を選択し、OKを押します。

5 ▼を押して［**削除**］を選択し、OKを押します。

6 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、OKを押します。

## ワンタッチキーを使用する

ワンタッチキーにはアドレスブック番号 01 ～ 16 が自動的に登録されます。このワンタッチキーはスキャン To メール、インターネットファクスでご利用いただけます。

# ネットワーク接続 PC を登録する

この節では、ネットワーク接続 PC を登録する方法について説明します。

ネットワーク上の場所を原稿の送信先として登録できます。

メモ

- ActKeyのNetwork Configurationでネットワーク接続PCも登録できます。Network Configurationでネットワーク接続PCの登録はできますが、編集と削除はできません。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## 登録 / 編集する

参照

- テキストの入力方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」(P. 29) を参照してください。

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**ネットワーク接続 PC**］を選択し、㊎を押します。

3 ▼を押して番号を選択し、㊎を押します。

4 ［**登録**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。
登録済みの番号を編集する場合は「**編集**」を選択します。

5 ［**送信先名**］が選択されていることを確認し、▶を押します。

6 宛先を入力します。
最大半角 16 文字まで入力できます。

7 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

8 ▼を押して［**送信先アドレス**］を選択し、▶を押します。

9 IP アドレス、ホスト名またはコンピュータ名を入力します。
最大半角 64 文字まで入力できます。

10 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

11 ▼を押して［**ポート番号**］を選択し、▶を押します。

12 ポート番号を入力し、㊎を押します。

13 ㊎を押します。

14 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

## 削除する

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**ネットワーク接続 PC**］を選択し、㊎を押します。

3 ▼を押して番号を選択し、㊎を押します。

4 ▼を押して［**削除**］を選択し、㊎を押します。

5 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

6 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

# 5. プリンタとして使うとき

この章では、コンピュータまたは USB メモリから文書を印刷する方法について説明します。

## コンピュータから印刷する

この節では、コンピュータから印刷する方法について説明します。

メモ

- ここでは、Windows ではメモ帳、Mac OS X ではテキストエディットを例に説明します。お使いのアプリケーションやプリンタドライバのバージョンによって、記載と異なることがあります。
- プリンタドライバの各設定項目の詳しい説明は、ドライバのオンラインヘルプを参照してください。

### 印刷する

*1* アプリケーションから印刷するファイルを開きます。

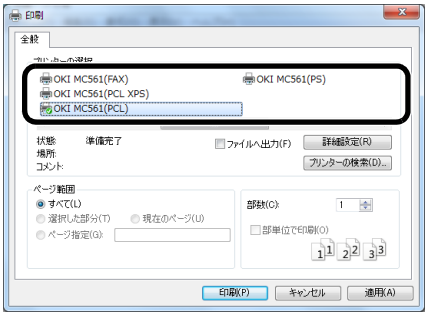
*2* プリンタドライバの画面で印刷設定を行い、印刷します。

ここでは、プリンタドライバで用紙サイズ、用紙トレイ、用紙厚を設定する方法について説明します。プリンタドライバごとの設定方法は、以下を参照してください。

#### Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

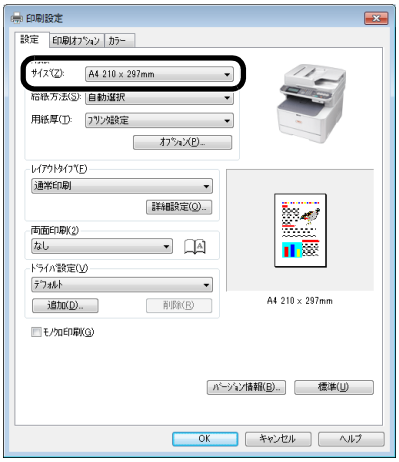
*1* アプリケーションの［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

*2* プリンタドライバを選択します。




*3* ［**詳細設定**］をクリックします。

*4* ［**設定**］タブの［**サイズ**］から用紙サイズを選択します。




*5* ［**給紙方法**］から用紙トレイを選択します。

*6* ［**用紙厚**］から用紙厚を選択します。

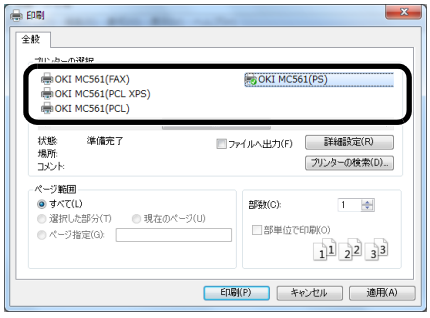
*7* ［**OK**］をクリックします。

*8* ［**印刷**］をクリックします。

#### Windows PS プリンタドライバの場合

*1* アプリケーションの［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

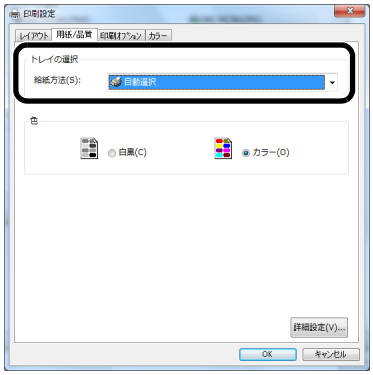
*2* プリンタドライバを選択します。




*3* ［**詳細設定**］をクリックします。

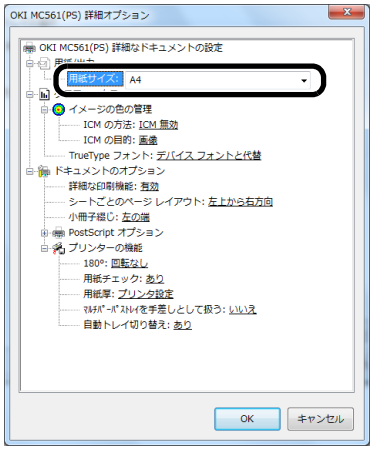
4 ［**用紙 / 品質**］タブを選択します。

5 ［**給紙方法**］から用紙トレイを選択します。



6 ［**詳細設定**］をクリックします。

7 ［**用紙サイズ**］をクリックし、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。



8 ［**用紙厚**］をクリックし、ドロップダウンリストから用紙厚を選択します。

9 ［**OK**］をクリックします。

10 ［**OK**］をクリックします。

11 ［**印刷**］をクリックします。

## Mac OS X PS プリンタドライバの場合

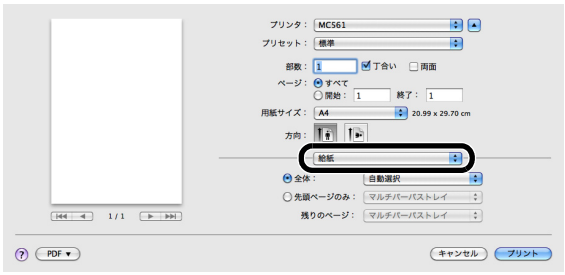
1 アプリケーションの［**ファイル**］メニューから［**ページ設定**］を選択します。

2 ［**対象プリンタ**］からプリンタを選択します。

3 ［**用紙サイズ**］から用紙サイズを選択し、［**OK**］をクリックします。

4 ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

5 パネルメニューから［**給紙**］を選択します。



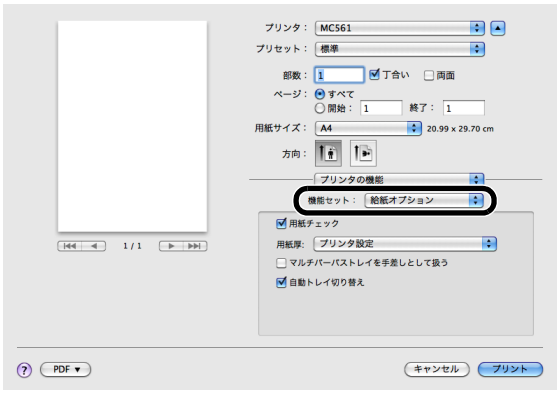
メモ

- Mac OS X 10.5 ～ 10.6 で、プリントダイアログに印刷オプションが表示されないときには、［**プリンタ**］メニューの横にある開閉用三角ボタンをクリックします。

6 ［**給紙**］パネルで用紙トレイを選択します。

7 パネルメニューから［**プリンタの機能**］を選択します。

8 ［**機能セット**］から［**給紙オプション**］を選択します。



9 ［**用紙厚**］から用紙厚を選択します。

***10*** ［**プリント**］をクリックします。

メモ

- 用紙厚には通常［**プリンタ設定**］を選択します。［**プリンタ設定**］を選択すると、本機の操作パネルで設定した値が適用されます。

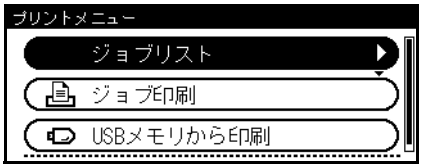
参照

- 給紙方法で［**自動選択**］を選択しているときは、指定した用紙に応じてトレイが自動的に選択されます。トレイの自動選択については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。
- 給紙方法で MP トレイを選択しているときは、MP トレイに用紙をセットする必要があります。MP トレイに用紙をセットする方法については、「MP トレイに用紙をセットする」（P. 70）を参照してください。

## 印刷を中止する

操作パネルでジョブリストから印刷ジョブを削除すると、コンピュータからの印刷を中止できます。

***1*** 操作パネルの<**プリント**>キーを押してプリトメニューを開きます。




***2*** ［**ジョブリスト**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

***3*** ▼を押して中止するジョブを選択し、㊎を押します。

***4*** ［**中止**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

***5*** 確認画面で◀または▶を押して「**はい**」を選択し、㊎を押します。

注

- 本機で印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- 操作パネルの画面に印刷中であることを示す表示が長く続く場合は、コンピュータで印刷ジョブを削除してください。

# USB メモリから印刷する

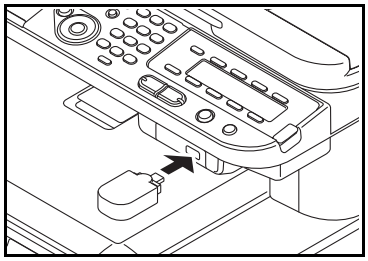
この節では、USB メモリから印刷する方法について説明します。USB メモリを本機に差し込み、USB メモリに保存しているファイルを直接印刷できます。

注
- すべての USB メモリ製品の使用保証をするものではありません。（セキュリティ機能付き USB メモリは未対応です。）
- USB ハブと外付け USB-HDD はサポートしません。
- 暗号化 PDF はサポートしません。

メモ
- ファイルシステムは、FAT12、FAT16、FAT32 をサポートします。
- ファイル形式は、JPEG、PDF（v1.7）、M-TIFF（v6 ベースライン）、PRN（PCL、PS）をサポートします。
- USB メモリは 32 GB までの容量をサポートします。
- サポートするファイル形式で USB メモリに保存されているファイルのうち、最大 100 個までのファイルがファイルリストに表示されます。
  - USB メモリに 100 個以上のファイルが保存されていると、ファイルリストは正しく表示されません。
  - 20 階層以上のディレクトリ構造をもつ USB メモリは正しくファイルを読めないことがあります。
  - パスの長さが 240 文字を超えるようなファイルは正しく読めないことがあります。
- 一度に印刷できる USB メモリ内のファイルは 1 つです。

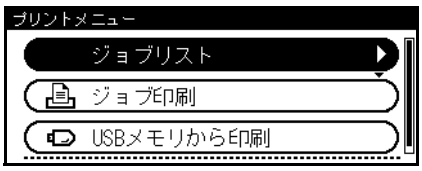
## 印刷する

*1* USBメモリを本機のUSBポートに差し込みます。

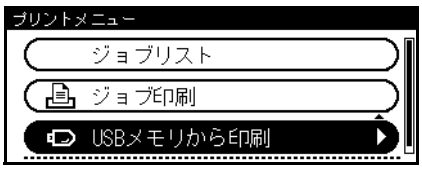


注
- USB メモリは、USB ポートにまっすぐ差し込みます。正しい角度で挿入しないと、USB ポートを傷つけることがあります。

*2* 操作パネルの<**プリント**>キーを押してプリントメニューを開きます。




*3* ▼を押して［**USB メモリから印刷**］を選択し、OKを押します。




*4* ［**ファイル選択**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

印刷するファイルがフォルダに保存されていないときは、手順 7 へ進みます。

*5* ▼を押して印刷するファイルを含むフォルダを選択し、OKを押します。

*6* ［**フォルダを開く**］が選択されていることを確認し、OKを押します。

印刷するファイルが表示されるまで、手順 5 ～ 6 を繰り返します。

メモ
- ［**フォルダ情報を見る**］を選択すると、フォルダ情報を確認できます。

*7* ▼を押して印刷するファイルを選択し、OKを押します。

*8* ▼を押して［**ファイルを選択**］を選択し、OKを押します。

メモ
- ［**ファイル情報を見る**］を選択すると、ファイル情報を確認できます。

*9* 必要に応じて印刷設定を行います。

参照
- 「印刷設定をする」（P. 114）

*10* モノクロまたはカラーを押して、印刷します。

**11** USB メモリを安全に取り外しできることを示すメッセージが表示されたら、USB メモリを取り外します。

## 印刷設定をする

USB メモリから印刷するときの印刷設定は、［**印刷設定**］メニューから行います。

以下の操作は、「USB メモリから印刷する」（P. 113）の「印刷する」に示す手順 9 で行います。

### 用紙トレイを変更する（給紙トレイ）

用紙トレイを選択できます。

注

- PRN ファイルを印刷する場合、用紙トレイの指定はファイル作成時のドライバの設定に従います。

**1** ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OK を押します。

**2** ［**給紙トレイ**］が選択されていることを確認し、OK を押します。

**3** ▼を押して用紙トレイを選択し、OK を押します。

選択可能な用紙トレイ

| トレイ 1* | トレイ 2 | MP トレイ |
|---|---|---|

* は工場出荷時の設定

**4** ◀を押してスタート画面に戻ります。

メモ

- ［**トレイ 2**］は、オプションでセカンドトレイユニットを取り付けているときに表示されます。

### 印刷部数を変更する（コピー枚数）

印刷する部数を設定できます。

**1** ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OK を押します。

**2** ▼を押して［**コピー枚数**］を選択し、OK を押します。

**3** 印刷部数を入力し、OK を押します。

最大 999 まで入力できます。

**4** ◀を押してスタート画面に戻ります。

### 両面印刷する（両面印刷）

片面印刷または両面印刷を選択できます。

注

- PRN ファイルを印刷する場合、両面印刷の設定はファイル作成時のドライバの設定に従います。

**1** ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OK を押します。

**2** ▼を押して［**両面印刷**］を選択し、OK を押します。

**3** ▼を押して両面印刷をするときは［**オン**］を、片面印刷するときは［**オフ**］を選択し、OK を押します。

**4** ◀を押してスタート画面に戻ります。

### とじ位置を設定する（とじ方）

両面印刷のとじ位置を設定できます。

**1** ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OK を押します。

**2** ▼を押して［**とじ方**］を選択し、OK を押します。

**3** ▼を押して［**長辺とじ**］または［**短辺とじ**］を選択し、OK を押します。

**4** ◀を押してスタート画面に戻ります。

参照

- 長辺とじと短辺とじについては、「両面コピーをする（両面）」（P. 79）を参照してください。

### ページサイズを用紙サイズに合わせる（フィッティング）

ファイルのページサイズを用紙サイズに合わせて印刷できます。

印刷するファイルのページサイズが有効な印刷領域より大きかったり、小さかったりするときに、ページサイズが用紙サイズに合うように自動で調整（フィッティング）します。

注

- PRN ファイルを印刷する場合、この設定は働きません。

メモ

- この機能は、工場出荷時の設定で［**オン**］に設定されています。

**1** ▼を押して［**印刷設定**］を選択し、OK を押します。

***2*** ▼を押して［**フィッティング**］を選択し、㊎を押します。

***3*** ▼を押してフィッティングするときは［**オン**］を、フィッティングしないときは［**オフ**］を選択し、㊎を押します。

***4*** ◀を押してスタート画面に戻ります。

## 印刷を中止する

操作パネルの＜**ストップ**＞キーを押すと、USB メモリからの印刷を中止できます。

印刷完了を示すメッセージが表示されるまでの間は、印刷を中止できます。

***1*** 操作パネルの＜**ストップ**＞キーを押します。

注

- 本機で印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。

# 6. ユーザ認証・アクセス制御

この章では、ユーザ認証機能とアクセス制御機能について説明します。

## ユーザ認証・アクセス制御について

ユーザ認証機能とアクセス制御機能により、各ユーザが使用できる機能を制限することができます。アクセス制御を有効にすると、本機の使用前にユーザ認証が必要となります。認証に成功したユーザは、あらかじめ設定された機能のみ、使用することができます。

ユーザ認証には、次の 2 とおりの方法があります。

- PIN（個人識別番号）
- ユーザ名とパスワード

本機へのアクセスを制御するには、各ユーザの PIN（個人識別番号）、またはユーザ名とパスワードをあらかじめ登録しておきます。最大 100 個の PIN と最大 100 組のユーザ名・パスワードを登録できます。

アクセス制御が有効になっている場合、ユーザは設定に応じて、PIN、またはユーザ名とパスワードを入力して、本機にログインします。

アクセス制御は、次の機能に適用することができます。

- コピー（カラー / モノクロ）
- ファクス送信
- スキャン To メール
- スキャン To USB メモリ
- スキャン To ネットワーク PC
- 印刷（カラー / モノクロ）
- USB メモリからの印刷（カラー / モノクロ）

注

- スキャン To メールに対する設定は、インターネットファクス送信にも適用されます。
- ファクス送信に対する設定は、コンピュータからのファクス送信にも適用されます。

ユーザ認証とアクセス制御を行なうには、下記のいずれかによる操作が必要です。

- ネットワーク /USB 接続されたコンピュータ上の Configuration Tool（PIN/ ユーザ名、パスワード）
- Web ページ（PIN）

参照

- Configuration Tool については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

# PIN による認証

この節では、PIN による認証を使用したアクセス制御を有効にする方法と、アクセス制御が有効にされているときの操作方法について説明します。

## PIN を登録する

ユーザ認証とアクセス制御を有効にする前に、必ず各ユーザの PIN を登録してください。PIN を登録するには、管理者である必要があります。

PIN を登録するには、Configuration Tool から PIN マネージャーを起動します。

参照

- Configuration Tool から PIN を登録する方法については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

メモ

- 本機の Web ページまたはプリントジョブアカウンティングから PIN を登録することもできます。

## アクセス制御を有効にする

本機へのアクセスを制御するには、管理者である必要があります。

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、㊎を押します。

3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

5 ▼を押して［**機器管理**］を選択し、㊎を押します。

6 ▼を押して［**システム設定**］を選択し、㊎を押します。

7 ［**アクセス制御**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

8 ▼を押して［**PIN**］を選択し、㊎を押します。

9 指定した認証方法が適用され、アクセス制御が有効になったというメッセージが表示されるまで、◀を押します。

## PIN 認証が有効にされているときの操作

### 本機にログインする

#### ■一般ユーザの場合

1 操作パネルのテンキーを使用して、PIN を入力します。

2 ㊎を押します。
認証に成功したら、トップ画面が表示されます。

#### ■管理者の場合

1 操作パネルのテンキーを使用して、「000000」を入力します。
管理者の PIN は「000000」です。この値を変更することはできません。

2 ㊎を押します。

3 パスワード入力画面が表示されたら、管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。
認証に成功したら、トップ画面が表示されます。

### 本機からログアウトする

操作が終了したら、必ず本機からログアウトしてください。

1 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

2 操作パネルの＜**リセット/ログアウト**＞キーを押します。

**3** 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

メモ

- パネルを操作しないまま一定の時間が経過すると、自動的にログアウトします。

## コンピュータからの操作

コンピュータからの操作を制御するには、プリントジョブアカウンティングクライアントをコンピュータにあらかじめインストールする必要があります。

メモ

- コンピュータで指定された認証タイプは、本機で指定された認証タイプに優先します。

参照

- プリントジョブアカウンティングクライアントについては、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

### ■印刷する（Windows の場合）

メモ

- 次の手順では、メモ帳、PCL ドライバを例にしています。お使いのアプリケーションやプリンタドライバによって、記載と異なることがあります。

**1** ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**プリントジョブアカウンティングクライアント**］＞［**ジョブアカウントモードの変更**］を選択します。
［**ユーザー　アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

**2** ［**ドライバ**］で、必要なプリンタドライバを選択します。

**3** ［**タブ**］にチェックをつけ、［**変更**］をクリックします。

**4** ［**OK**］をクリックします。

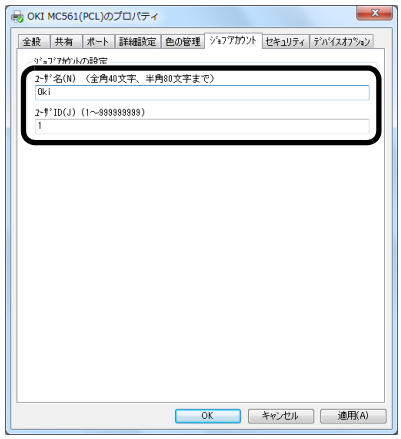
**5** ［**ファイル**］メニューから［**閉じる**］を選択します。

**6** ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

**7** OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］＞［**OKI MC561 (*)**］を選択します。
* 必要なドライバのタイプを選択してください。

**8** ［**ジョブアカウント**］タブを選択します。

**9** ユーザ名を［**ユーザ名**］に、PIN を［**ユーザ ID**］にそれぞれ入力します。




**10** ［**OK**］をクリックします。

**11** 印刷するファイルを開きます。

**12** ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

**13** 手順 7 で選択したプリンタドライバを選択し、［**印刷**］をクリックします。

### ■印刷する（Mac OS X の場合）

メモ

- 次の手順では、テキストエディットを例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

**1** 「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。

**2** デスクトップの［**OKI**］アイコンをダブルクリックします。

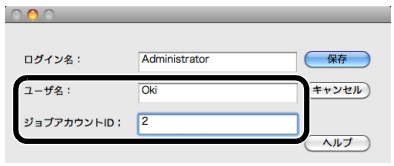
**3** ［**Utility**］をダブルクリックします。

**4** ［**JA Client**］フォルダをドラッグ＆ドロップで任意の場所にコピーします。

**5** コピーした［**JA Client**］フォルダを開き、［**プリントジョブアカウンティング**］（Mac OS X 10.3.9 の場合は［**Print JobAccounting**］）をダブルクリックします。

**6** ［**新規**］をクリックします。

**7** ユーザ名を［**ユーザ名**］に、PIN を［**ジョブアカウント ID**］にそれぞれ入力します。




**8** ［**保存**］をクリックします。

**9** ［**保存**］をクリックします。

***10*** ユーザパスワードの入力を促すメッセージが表示されたら、パスワードを入力し、［**OK**］をクリックします。

***11*** 印刷するファイルを開きます。

***12*** ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

***13*** 本機を選択し、［**プリント**］をクリックします。

## ■コンピュータからファクス送信する（Windows のみ）

メモ

- 次の手順では、メモ帳を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**プリントジョブアカウンティングクライアント**］＞［**ジョブアカウントモードの変更**］を選択します。

［**ユーザー　アカウント制御**］ダイアログが表示されたら、［**はい**］をクリックします。

***2*** ［**ドライバ**］で、本機のファクスドライバを選択します。

***3*** ［**タブ**］にチェックをつけ、［**変更**］をクリックします。

***4*** ［**OK**］をクリックします。

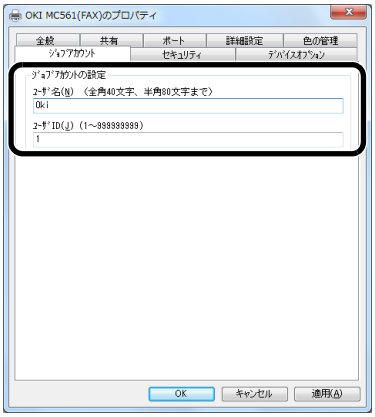
***5*** ［**ファイル**］メニューから［**閉じる**］を選択します。

***6*** ［**スタート**］をクリックし、［**デバイスとプリンター**］を選択します。

***7*** OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**プリンターのプロパティ**］＞［**OKI MC561 (FAX)**］を選択します。

***8*** ［**ジョブアカウント**］タブを選択します。

***9*** ユーザ名を［**ユーザ名**］に、PIN を［**ユーザ ID**］にそれぞれ入力します。




***10*** ［**OK**］をクリックします。

***11*** ファクス送信するファイルを開きます。

***12*** ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

***13*** 手順 7 で選択したファクスドライバを選択し、［**印刷**］をクリックします。

参照

- コンピュータからファクス送信する方法については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

# ユーザ名・パスワードによる認証

この節では、ユーザ名・パスワードによる認証を使用したアクセス制御を有効にする方法と、アクセス制御が有効にされているときの操作方法について説明します。

## ユーザ名・パスワードを登録する

ユーザ認証とアクセス制御を有効にする前に、必ず各ユーザのユーザ名とパスワードを登録してください。ユーザ名とパスワードを登録するには、管理者である必要があります。

ユーザ名とパスワードを登録するには、Configuration Tool から PIN マネージャーを起動します。

参照

- Configuration Tool からユーザ名・パスワードを登録する方法については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

## アクセス制御を有効にする

本機へのアクセスを制御するには、管理者である必要があります。

1 操作パネルの＜**設定**＞キーを押します。

2 ▼を押して［**管理者設定**］を選択し、㊎を押します。

3 管理者パスワードを入力します。
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。

4 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

5 ▼を押して［**機器管理**］を選択し、㊎を押します。

6 ▼を押して［**システム設定**］を選択し、㊎を押します。

7 ［**アクセス制御**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

8 ▼を押して［**ユーザ名 / パスワード**］を選択し、㊎を押します。

9 ▼を押して［**ユーザ認証方法**］を選択し、㊎を押します。

10 ［**ローカル**］が選択されていることを確認し、㊎を押します。

参照

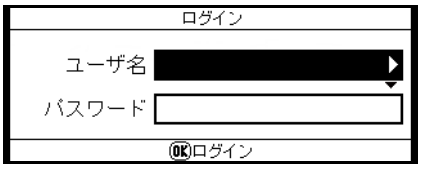
- ［LDAP］または［**セキュアプロトコル**］を選択した場合は、サーバ設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

11 指定した認証方法が適用され、アクセス制御が有効になったというメッセージが表示されるまで、◀を押します。

## ユーザ名・パスワードによる認証が有効にされているときの操作

### 本機にログインする

1 ［**ユーザ名**］が選択されていることを確認し、▶を押します。




2 自分のユーザ名を入力します。

3 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

4 ▼を押して［**パスワード**］を選択し、▶を押します。

5 自分のパスワードを入力します。

6 ［**決定**］を選択し、㊎を押します。

7 ［**ログイン**］画面で、㊎を押します。
認証に成功したら、トップ画面が表示されます。

参照

- 文字を入力する方法については、「操作パネルを使用して文字を入力する」（P. 29）を参照してください。

### 本機からログアウトする

操作が終了したら、必ず本機からログアウトしてください。

1 トップ画面が表示されるまで、◀を押します。

2 操作パネルの＜**リセット / ログアウト**＞キーを押します。

*3* 確認画面で◀または▶を押して［**はい**］を選択し、㊎を押します。

メモ

- パネルを操作しないまま一定の時間が経過すると、自動的にログアウトします。

## コンピュータからの操作

メモ

- コンピュータで指定された認証タイプは、本機で指定された認証タイプに優先します。

### ■印刷する（Windows の場合）

注

- PCL XPS プリンタドライバは、この機能には使用できません。

メモ

- 次の手順では、メモ帳、PCL ドライバを例にしています。お使いのアプリケーションやプリンタドライバによって、記載と異なることがあります。

*1* 印刷するファイルを開きます。

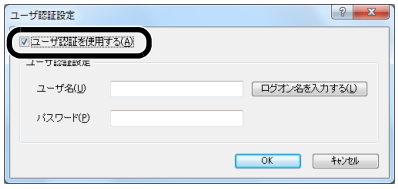
*2* ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

*3* ［**プリンターの選択**］で、必要なプリンタドライバを選択し、［**詳細設定**］をクリックします。

*4* ［**印刷オプション**］タブを選択します。

*5* ［**ユーザ認証**］をクリックします。

*6* ［**ユーザ認証を使用する**］にチェックをつけます。




*7* ユーザ名を［**ユーザ名**］に、パスワードを［**パスワード**］にそれぞれ入力します。

［**ログオン名を入力する**］をクリックすると、Windows でのログイン名が自動的に入力されます。

*8* ［OK］をクリックします。

*9* ［OK］をクリックし、［**印刷**］をクリックします。

### ■印刷する（Mac OS X の場合）

メモ

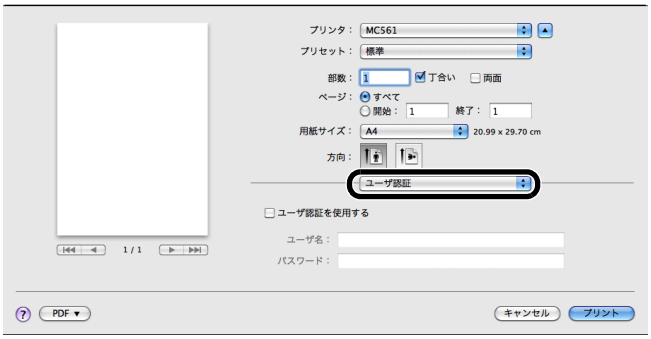
- 次の手順では、テキストエディットを例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

*1* 印刷するファイルを開きます。

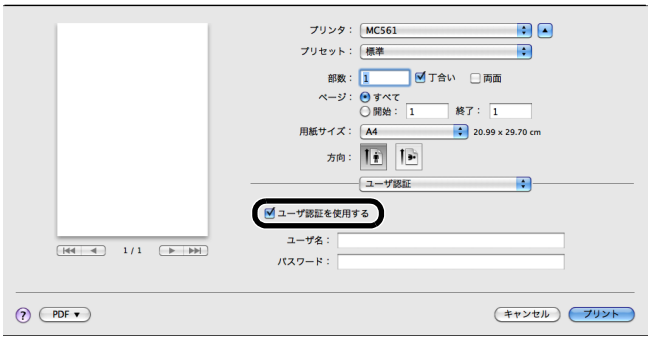
*2* ［**ファイル**］メニューから［**プリント**］を選択します。

*3* 本機のプリンタドライバを選択します。

*4* パネルメニューから［**ユーザ認証**］を選択します。




*5* ［**ユーザ認証を使用する**］にチェックをつけます。




*6* ユーザ名を［**ユーザ名**］に、パスワードを［**パスワード**］にそれぞれ入力します。

*7* ［**プリント**］をクリックします。

## ■コンピュータからファクス送信する（Windows のみ）

メモ

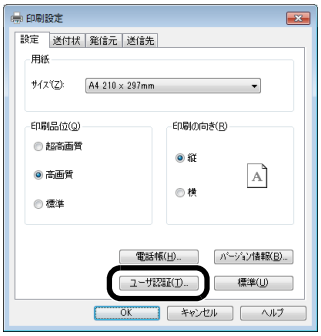
- 次の手順では、メモ帳を例にしています。お使いのアプリケーションによって、記載と異なることがあります。

***1*** ファクス送信するファイルを開きます。

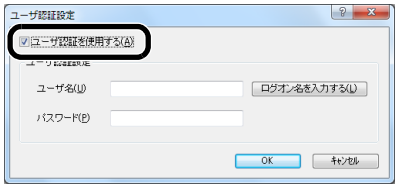
***2*** ［**ファイル**］メニューから［**印刷**］を選択します。

***3*** ［**プリンターの選択**］で、本機のファクスドライバを選択し、［**詳細設定**］をクリックします。

***4*** ［**設定**］タブで、［**ユーザ認証**］をクリックします。




***5*** ［**ユーザ認証を使用する**］にチェックをつけます。




***6*** ユーザ名を［**ユーザ名**］に、パスワードを［**パスワード**］にそれぞれ入力します。

［**ログオン名を入力する**］をクリックすると、Windows でのログイン名が自動的に入力されます。

***7*** ［OK］をクリックします。

***8*** ［OK］をクリックし、［**印刷**］をクリックします。

参照

- コンピュータからファクス送信する方法については、「ユーザーズマニュアル　応用編」を参照してください。

# 7. トラブルシューティング

この章では、本機の操作中に発生する問題の解決方法について説明します。

## 紙づまり

この節では、紙づまりが起こったときの対処方法について説明します。

参照

- 紙づまりが頻繁に起こる場合は、給紙ローラを清掃してください。詳しくは、「本機のお手入れ」（P. 176）を参照してください。
- 本機の各部の位置については、「各部の名称」（P. 16）を参照してください。

### エラーメッセージを確認する

紙づまりが起こったら、操作パネルの表示画面に［**紙づまりが発生しました。**］または［**原稿づまりが発生しました。**］が表示され、＜**ステータス**＞キーが点滅します。エラーコードとメッセージの内容は、紙づまりが起こった箇所により異なります。

次のリストで、表示されたエラーコードを確認し、各参照先の手順に従って紙づまりを処理してください。

| エラーコード | メッセージ | 参照ページ |
|---|---|---|
| 370 | 紙づまりが発生しました。: 3## スキャナユニットとトップカバーを開けて確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 123 ページ |
| 371 | | 123 ページ |
| 372 | | 123 ページ |
| 380 | | 126 ページ |
| 381 | | 126 ページ |
| 382 | | 126 ページ |
| 385 | | 126 ページ |
| 389 | | 126 ページ |
| 390 | | 127 ページ |
| 391 | 紙づまりが発生しました。: 3## トレイのカセットを引き出して確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 128 ページ |
| 392 | | 128 ページ |
| | 原稿づまりが発生しました。スキャナの ADF カバーを開けて確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 128 ページ |

### 紙づまりを処理する

| ⚠注意 | やけどのおそれがあります。 | |
|---|---|---|
| ● 定着器ユニットは高温になっていますので、作業は慎重に行い、持ち上げるときは必ずハンドルを持ってください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。 | | |

注

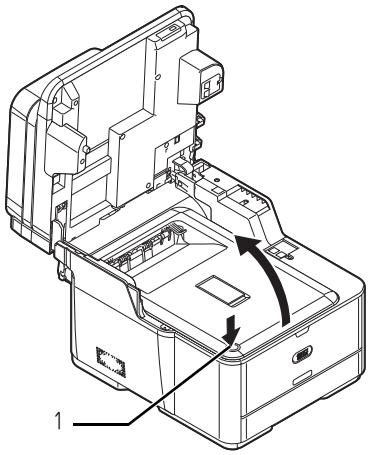
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムユニットは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。

#### エラーコード 370、371、372

1 原稿トレイに原稿がある場合は取り除きます。

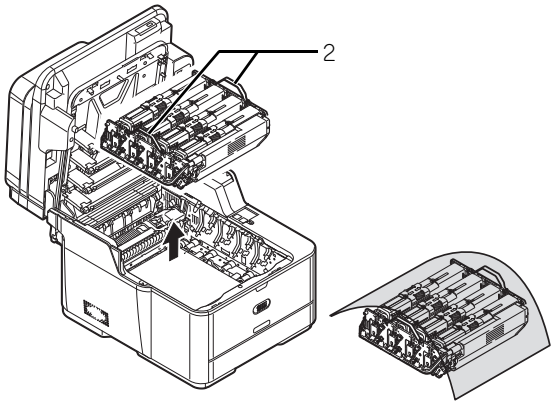
2 スキャナ部を開きます。

3 トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

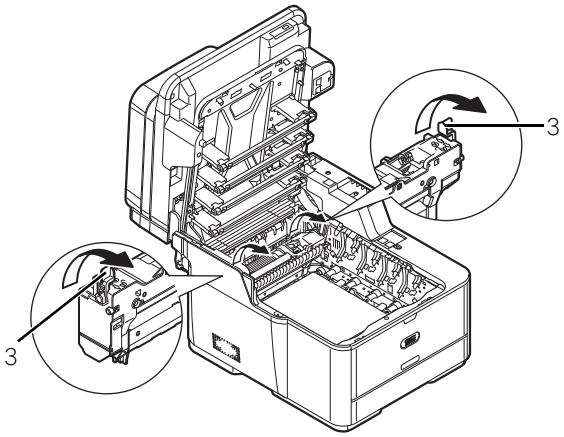


***4*** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機から取り出し、平らな場所に置きます。

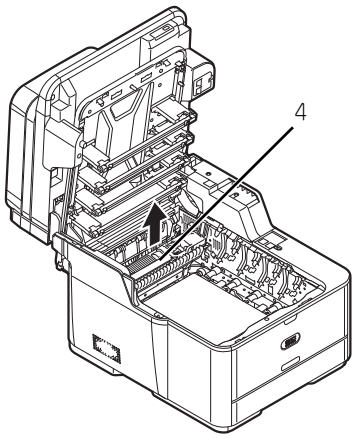
イメージドラムユニットを黒い紙または黒い袋で覆います。



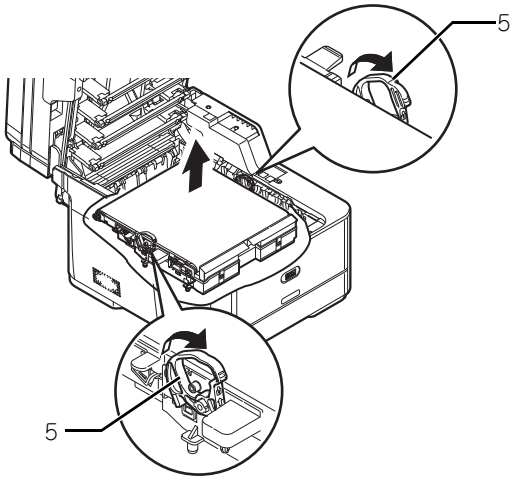

***5*** 定着器ユニットの両側の固定レバー（3）を手前に倒し、ロックを解除します。



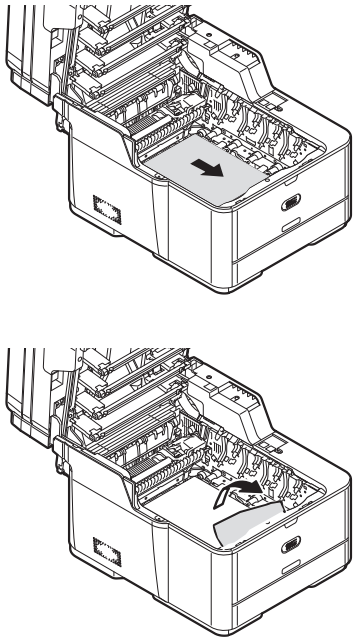

***6*** 定着器ユニットのハンドル（4）を持ち、本機から定着器ユニットを取り出します。




***7*** ベルトユニットの両側の青いロックレバー（5）に指を入れ、ロックレバーを手前に起こし、ベルトユニットを取り出します。

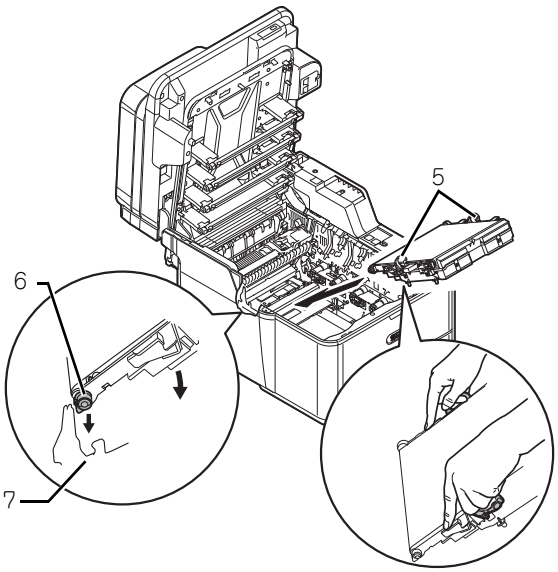



***8*** つまった用紙を矢印の方向に取り出します。

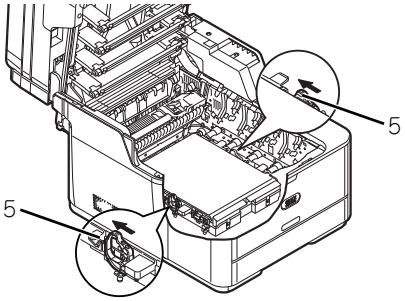


**9** ベルトユニットの両側の青いロックレバー（5）を両手で持ち、本機に戻します。

ベルトユニットの左右先端にあるローラ（6）を本機内部の溝（7）に引っかけてから、ベルトユニットの後部をおろします。

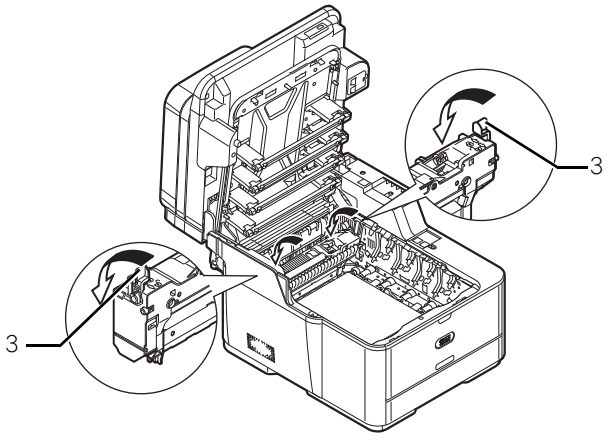



**10** ベルトユニットのロックレバー（5）を奥側に倒し、ロックします。

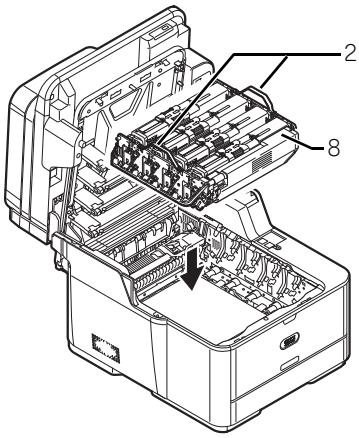



**11** 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットを本機に戻します。

**12** 定着器ユニットの両側の固定レバー（3）を奥側に倒し、ロックします。




**13** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、Kトナーカートリッジ（8）の位置が手前になるように本機に戻します。




**14** トップカバーを閉じます。

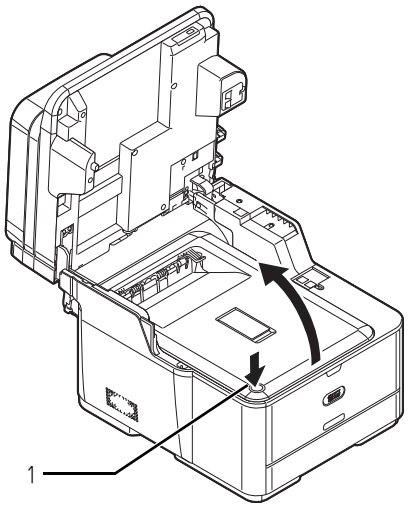
**15** スキャナ部を閉じます。

## エラーコード 380、381、382、385、389

***1*** 原稿トレイに原稿がある場合は取り除きます。

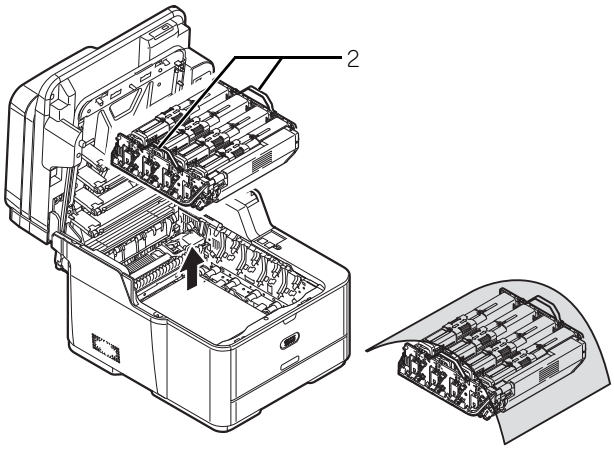
***2*** スキャナ部を開きます。

***3*** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

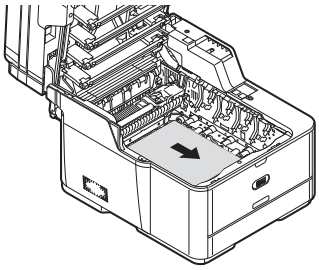



***4*** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機から取り出し、平らな場所に置きます。

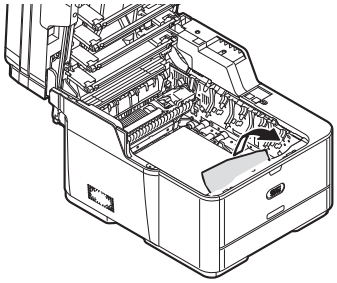
イメージドラムユニットを黒い紙または黒い袋で覆います。



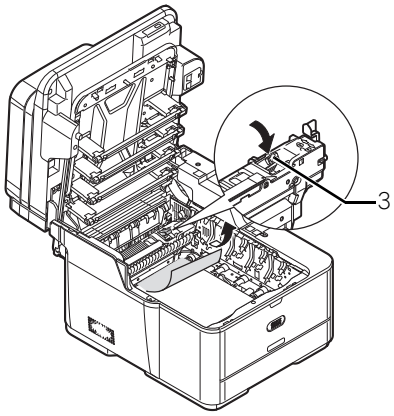

***5*** つまった用紙が見えたら、矢印の方向へ引き抜きます。



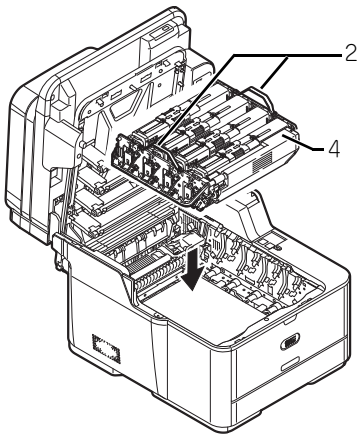
つまった用紙が本機内部の手前側にあるときは、矢印の方向へ引き抜きます。



用紙が定着器ユニットにはさまっているときは、定着器ユニットの青いレバー（3）を矢印の方向に押しながら、用紙を手前に引き抜きます。




***6*** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、Ｋトナーカートリッジ（4）の位置が手前になるように本機に戻します。




***7*** トップカバーを閉じます。

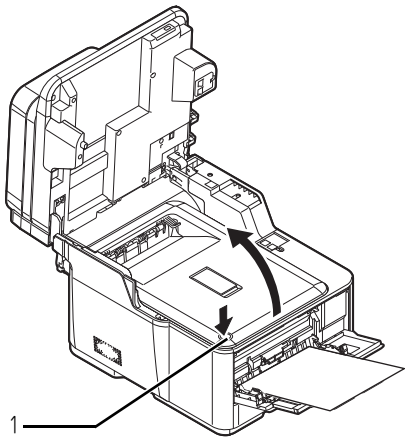
***8*** スキャナ部を閉じます。

## エラーコード 390

***1*** 原稿トレイに原稿がある場合は取り除きます。

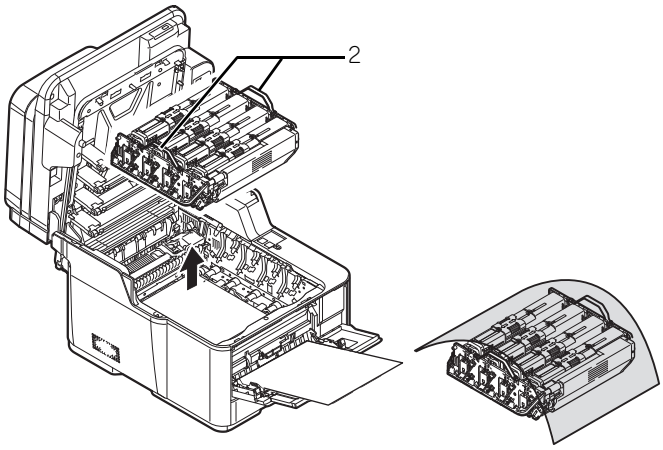
***2*** スキャナ部を開きます。

***3*** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

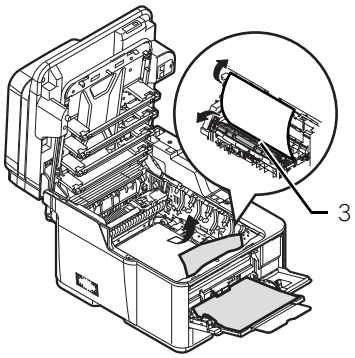


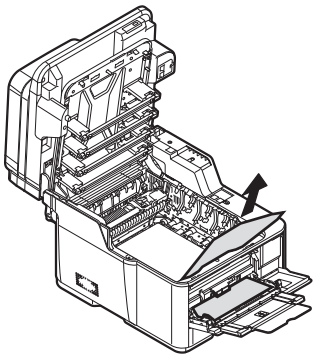

***4*** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機から取り出し、平らな場所に置きます。

イメージドラムユニットを黒い紙または黒い袋で覆います。

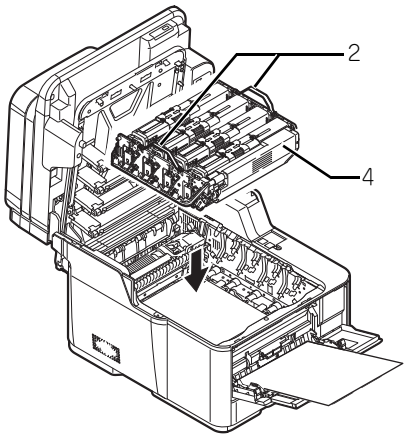



***5*** 本機内部の透明のカバー（3）を開け、つまった用紙を取り除きます。



***6*** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、Ｋトナーカートリッジ（4）の位置が手前になるように本機に戻します。




***7*** トップカバーを閉じます。

***8*** スキャナ部を閉じます。

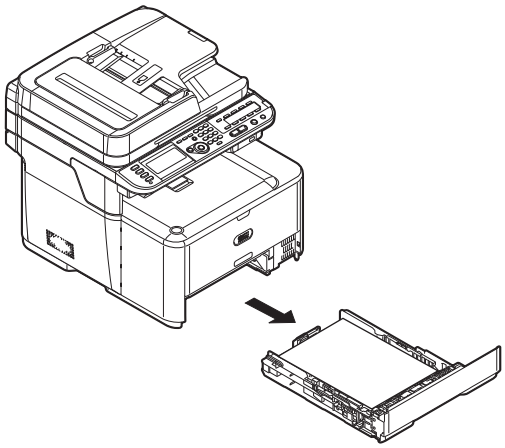
## エラーコード 391、392

エラーコード 391 はトレイ 1 で、エラーコード 392 はトレイ 2 で紙づまりが起こったことを示します。

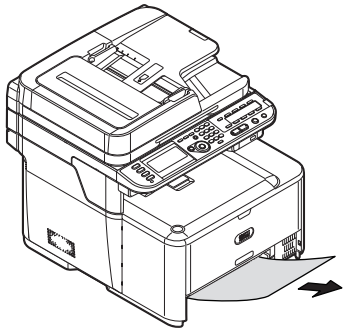
メモ

- ここではトレイ 1 を例にしています。

***1*** トレイを引き出します。



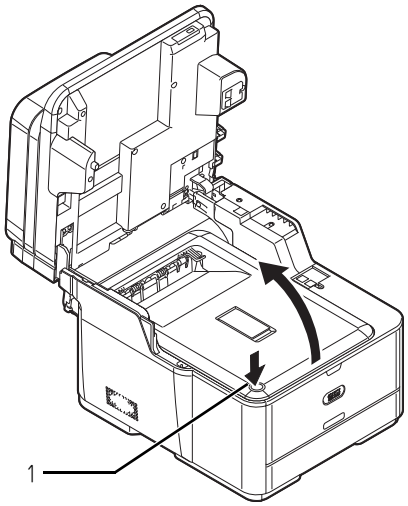
***2*** つまっている用紙を取り除きます。



***3*** トレイを本機に戻します。

***4*** スキャナ部を開きます。

***5*** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開けます。



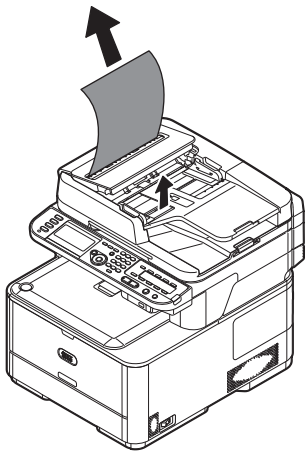

***6*** トップカバーを閉じます。

***7*** スキャナ部を閉じます。

## 原稿づまりが発生しました。

### ■両面搬送路から原稿が見える場合

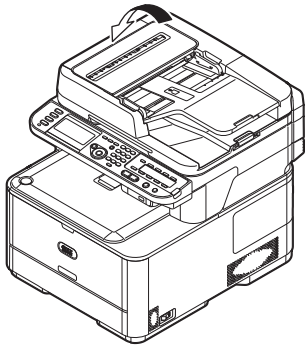
***1*** ADF カバーを開き、原稿を上方向に引き抜きます。



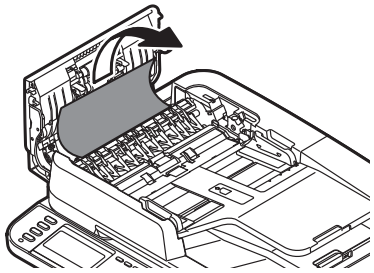
### ■自動原稿送り装置内部で原稿づまりが起きた場合

***1*** 原稿トレイに原稿がある場合は取り除きます。

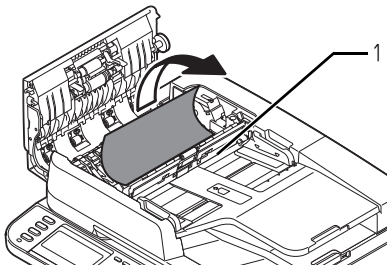
***2*** ADF カバーを開きます。



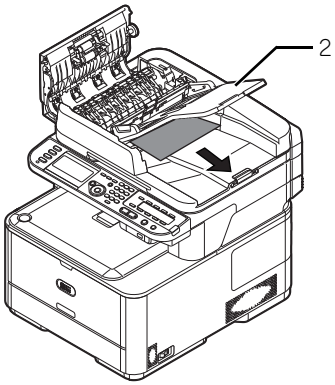
***3*** つまった原稿の先端を持って、ゆっくり引き抜きます。



用紙ガイド（1）の下に原稿の先端が見える場合は、用紙ガイドを持ち上げて原稿を引き抜きます。




原稿トレイ（2）の下に原稿の先端が見える場合は、原稿トレイを持ち上げて原稿を引き抜きます。




原稿トレイをおろします。

***4*** ADF カバーを閉じます。

# エラーメッセージ

この節では、操作パネルの表示画面に表示されるエラーメッセージの原因と処置のしかた、および＜**ステータス**＞キーの機能について説明します。

## 表示画面に表示されるエラーメッセージ

メモ

- エラーメッセージ中の記号の意味は以下のとおりです。
  - 「%COLOR%」：C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のいずれか
  - 「%TRAY%」：トレイ 1、トレイ 2、MP トレイのいずれか
  - 「%ERRCODE%」：エラーコード番号
  - 「%FS_ERR%」、「%CODE%」、「%FATALSTRING1%」：エラーの詳細情報
  - 「%MEDIA_SIZE%」：用紙サイズ
  - 「%MEDIA_TYPE%」：用紙種類
- 表示されるメッセージに、「詳しくはヘルプをご覧ください。」が含まれている場合、操作パネルの＜**? ヘルプ**＞キーを押すと、エラーの対応・処理の方法を確認できます。
- 表示されるメッセージに「OK 閉じる」が含まれている場合、操作パネルのOKを押すと、エラーを解除できます。

参照

- ＜**ステータス**＞キーの詳細は、「＜ステータス＞キーで本機の状態を確認する」（P. 142）を参照してください。

### 全機能共通のエラーメッセージ

| エラーコード | メッセージ | ＜ステータス＞キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | Inspection is required.<br>PU Flash Error | 点滅 | ファームウェアのエラーが発生しました。<br>お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | 点検をお受けください。<br>PU 通信エラー | 点滅 | ファームウェアのエラーが発生しました。<br>お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | %COLOR% トナーが少なくなっています。<br><br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 * | 表示している色のトナーが少なくなっています。<br>新しいトナーカートリッジを準備してください。<br>* ＜**設定**＞キー＞［**管理者設定**］＞［**機器管理**］＞［**システム設定**］＞［**ニアライフ時の LED**］が、［**無効**］に設定されている場合、＜**ステータス**＞キーが点灯しません。 |
| 417 | K トナーカートリッジを交換してください。：417<br><br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 廃棄トナーボックスが、廃トナーで一杯です。<br>K トナーカートリッジを交換してください。 |
| 550<br>551<br>552<br>553 | %COLOR% トナーカートリッジが正しくありません。：%ERRCODE%<br><br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | トナーカートリッジが、沖データ純正のトナーカートリッジではないため、本機を傷める可能性があります。<br>表示している色の沖データ純正のトナーカートリッジを使用してください。<br>550：Y<br>551：M<br>552：C<br>553：K |
| 554<br>555<br>556<br>557 | %COLOR% トナーカートリッジが正しくありません。：%ERRCODE%<br><br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | トナーカートリッジが間違っています。<br>この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。<br>554：Y<br>555：M<br>556：C<br>557：K |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 614<br>615<br>616<br>617 | %COLOR% トナーカートリッジが正しくありません。: %ERRCODE%<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | トナーカートリッジが、沖データ純正のトナーカートリッジではないため、本機を傷める可能性があります。<br>表示している色の沖データ純正のトナーカートリッジを使用してください。<br>614 : Y<br>615 : M<br>616 : C<br>617 : K |
| 620<br>621<br>622<br>623 | %COLOR% トナーカートリッジが正しくありません。: %ERRCODE%<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | トナーカートリッジが、沖データ純正のトナーカートリッジではないため、本機を傷める可能性があります。<br>表示している色の沖データ純正のトナーカートリッジを使用してください。<br>620 : Y<br>621 : M<br>622 : C<br>623 : K |
| | %COLOR% トナーカートリッジを認識できません。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | トナーカートリッジが、沖データ純正のトナーカートリッジではないため、本機を傷める可能性があります。<br>表示している色の沖データ純正のトナーカートリッジを使用してください。 |
| | イメージドラムユニットの交換時期です。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 * | イメージドラムユニットの寿命が近づいています。<br>新しいイメージドラムユニットを準備してください。<br>* <**設定**> キー > [**管理者設定**] > [**機器管理**] > [**システム設定**] > [**ニアライフ時のステータス**] が [**有効**] に設定され、[**ニアライフ時の LED**] が [**無効**] に設定されている場合は、<**ステータス**> キーは点灯しません。<br>[**ニアライフ時のステータス**] が [**無効**] に設定されている場合は、このメッセージは表示されず、<**ステータス**> キーも点灯しません。 |
| | 定着器の交換時期です。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 * | 定着器ユニットの寿命が近づいています。<br>新しい定着器ユニットを準備してください。<br>* <**設定**> キー > [**管理者設定**] > [**機器管理**] > [**システム設定**] > [**ニアライフ時のステータス**] が [**有効**] に設定され、[**ニアライフ時の LED**] が [**無効**] に設定されている場合は、<**ステータス**> キーは点灯しません。<br>[**ニアライフ時のステータス**] が [**無効**] に設定されている場合は、このメッセージは表示されず、<**ステータス**> キーも点灯しません。 |
| | ベルトユニットの交換時期です。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 * | ベルトユニットの寿命が近づいています。<br>新しいベルトユニットを準備してください。<br>* <**設定**> キー > [**管理者設定**] > [**機器管理**] > [**システム設定**] > [**ニアライフ時のステータス**] が [**有効**] に設定され、[**ニアライフ時の LED**] が [**無効**] に設定されている場合は、<**ステータス**> キーは点灯しません。<br>[**ニアライフ時のステータス**] が [**無効**] に設定されている場合は、このメッセージは表示されず、<**ステータス**> キーも点灯しません。 |
| 354 | 定着器を交換してください。: 354<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 定着器ユニットが寿命になりました。カウンタにより寿命に達したことを示すエラーであり、現在のジョブを停止します。<br>新しい定着器ユニットと交換してください。 |
| | 定着器を交換してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 定着器ユニットが寿命になりました。<br>新しい定着器ユニットと交換してください。 |
| 355 | ベルトユニットを交換してください。: 355<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | ベルトユニットが寿命になりました。カウンタにより寿命に達したことを示すエラーであり、現在のジョブを停止します。<br>新しいベルトユニットと交換してください。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 356 | ベルトユニットを交換してください。: 356<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | ベルトユニットが寿命になりました。<br>新しいベルトユニットと交換してください。 |
| | ベルトユニットを交換してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | ベルトユニットが寿命になりました。<br>新しいベルトユニットと交換してください。 |
| 410<br>411<br>412<br>413 | %COLOR% トナーがなくなりました。:<br>%ERRCODE%<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 表示している色のトナーが無くなりました。<br>新しいトナーカートリッジと交換してください。<br>410 : Y<br>411 : M<br>412 : C<br>413 : K |
| | %COLOR% トナーがなくなりました。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 表示している色のトナーが無くなりました。<br>新しいトナーカートリッジと交換してください。 |
| 610<br>611<br>612<br>613 | %COLOR% トナーカートリッジを正しくセットしてください。: %ERRCODE%<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 表示している色のトナーカートリッジが、正しくセットされていません。<br>正しくセットしてください。<br>610 : Y<br>611 : M<br>612 : C<br>613 : K |
| | %COLOR% トナーカートリッジを正しくセットしてください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 表示している色のトナーカートリッジが、正しくセットされていません。<br>正しくセットしてください。 |
| | イメージドラムユニットを交換してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | イメージドラムユニットが寿命になりました。<br>新しいイメージドラムユニットと交換してください。 |
| | %TRAY% に用紙を補給してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 表示しているトレイの用紙がなくなりました。<br>トレイに用紙を入れてください。 |
| | ファイルシステムがいっぱいです。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | ファイルシステムの空き容量がなくなりました。 |
| | ファイルシステムへの書込みは禁止されています。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 書き込みが禁止されているファイルシステムに書き込もうとしました。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | メモリオーバーしました。<br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br><br>OK 閉じる | 点灯 | メモリ不足が発生しました。<br>同時に別の作業を実行している場合、終了してから再度印刷してください。解決しない場合は、印刷の解像度を下げてください。 |
| 420 | メモリオーバーしました。: 420<br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br><br>OK 閉じる | 点滅 | メモリ不足が発生しました。<br>印刷解像度を下げてください。解決しない場合は、印刷データのサイズを減らしてください。 |
| | アクセス制限エラー<br>許可されていないユーザのデータを削除しました。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点灯 | 許可のないユーザのジョブが削除されました。 |
| | まもなく課金ログバッファが一杯になります。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 課金ログバッファの残りが少なくなってきました。 |
| | 課金ログバッファフル（古いログを削除） | 点灯 | 課金ログバッファフルのため、過去の古い課金ログが削除されます。 |
| | 課金ログ書き込みエラー<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点灯 | 課金書き込み中にエラーが発生しました。 |
| | ディスクオペレーションエラー %FS_ERR%<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | ディスクオペレーションエラーが発生しました。 |
| | メッセージデータを確認してください。<br>メッセージデータ書き込み失敗 : %CODE% | 点灯 | アップロードするメッセージデータの書き込みに失敗しました。<br>お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | %COLOR% トナーカートリッジを確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 印刷中に、表示している色のトナーセンサーに異常が発生しました。<br>表示している色のトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 |
| 540<br>541<br>542<br>543 | %COLOR% トナーカートリッジを確認してください。: %ERRCODE%<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 表示している色のトナーセンサーに異常が発生しました。<br>表示している色のトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。<br>540 : Y<br>541 : M<br>542 : C<br>543 : K |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| 544<br>545<br>546<br>547 | %COLOR% トナーカートリッジを確認してください。: %ERRCODE%<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 表示している色のトナーカートリッジが、正しくロックされていません。<br>ロックが正しく左にスライドされているか確認してください。<br>544：Y<br>545：M<br>546：C<br>547：K |
| 370<br>371<br>372<br>380<br>381<br>382<br>385<br>389<br>390 | 紙づまりが発生しました。: %ERRCODE%<br>スキャナユニットとトップカバーを<br>開けて確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 紙づまりが発生しました。<br>つまった用紙を取り除いてください。 |
| 391<br>392 | 紙づまりが発生しました。: %ERRCODE%<br>トレイのカセットを<br>引き出して確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 表示しているトレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。<br>つまった用紙を取り除いてください。<br>391：トレイ 1<br>392：トレイ 2 |
| 348 | 定着器をセットし直してください。: 348<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 定着器ユニットが正しくセットされていません。<br>正しくセットしてください。 |
| 320 | 定着器をセットし直してください。: 320<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 定着器ユニットが正しくセットされていません。<br>正しくセットしてください。 |
| 330 | ベルトユニットをセットし直してください。: 330<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | ベルトユニットが正しくセットされていません。<br>正しくセットしてください。 |
| 321 | 電源を切り、しばらくお待ちください。: 321 | 点滅 | モータードライバ IC の過熱が検出されました。<br>電源を切って、しばらくお待ちください。 |
| 310 | トップカバーを確認してください。: 310<br><br>トップカバーを閉じてください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | トップカバーが開いています。<br>トップカバーを閉じてください。 |
|  | ADF カバーを確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | ADF カバーが開いています。<br>ADF カバーを閉じてください。 |
| 209 | 装置を再起動してください。<br>209: ダウンロードエラー | 点滅 | エラーが発生しました。<br>電源を切り、再度電源を入れてください。<br>エラーが直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | 装置を再起動してください。<br>%ERRCODE%: エラー | 点滅 | 装置にエラーが発生しました。<br>電源を切り、再度電源を入れてください。<br>エラーが直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | 点検をお受けください。<br>%ERRCODE%: エラー | 点滅 | 装置にエラーが発生しました。<br>お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | 装置を再起動してください。<br>%ERRCODE%: エラー %FATALSTRING1% | 点滅 | 装置にエラーが発生しました。<br>電源を切り、再度電源を入れてください。<br>同じエラーが発生する場合は、もう一度電源を切り、再度電源を入れてください。エラーが直らない場合、または同じエラーが発生する場合、お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | 原稿づまりが発生しました。<br>スキャナの ADF カバーを<br>開けて確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 原稿づまりが発生しました。<br>ADF カバーを開けて、つまった原稿を取り除きます。 |
| | ランプを確認してください 。<%CODE%><br><br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | スキャナのランプが寿命になりました。または光学系の汚れなどにより、原稿を正常に読み取れません。<br>お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | %TRAY% にカセットが入っていません。<br><br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 表示しているトレイに、用紙カセットがありません。<br>表示しているトレイに、用紙カセットをセットしてください。<br>本機にカセットが入っている場合は、いったんカセットを引き出してから正しくセットしてください。 |
| 430<br>440 | %TRAY% にカセットをセットして<br>ください。: %ERRCODE% 取消す場合は<br>「印刷中止」を選択してください。 | 点滅 | 表示しているトレイに、用紙カセットがありません。<br>表示しているトレイに、用紙カセットをセットしてください。<br>本機にカセットが入っている場合は、いったんカセットを引き出してから正しくセットしてください。 |
| | 点検をお受けください。<br>%ERRCODE%: SIP エラー | 点滅 | スキャン画像の処理に失敗しました。<br>電源を切り、再度電源を入れてください。<br>エラーが直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | Please call service.<br>Scanner unit failed to detect printer unit. | 点滅 | スキャナとプリンタ間でエラーが発生しました。<br>電源を切り、再度電源を入れてください。<br>エラーが直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | SIP Firmware Missing | 点滅 | ボードの故障が検出されました。<br>電源を切り、再度電源を入れてください。<br>エラーが直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 |
| | しばらくお待ちください。<br>ネットワーク設定を保存中です。 | 点灯 | 変更されたネットワーク設定を保存しています。 |

## コピーのエラーメッセージ

以下のメッセージは、コピー機能の使用時に操作パネルの表示画面に表示されます。

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | オフライン中です。 | 点灯 | オフライン状態のため、コピーを開始することができません。<br>操作パネルの<**プリント**>キーを押し、［**オンライン / オフライン切替**］>［**オンライン**］を選択してください。 |
| | 読み取りを再開しますか？ | 点灯 | エラーが発生したため、一時的にコピージョブの動作が停止しましたが、エラーが解除されました。<br>残りの原稿の読み取りを再開する場合は、自動原稿送り装置に原稿をセットしてから、［**はい**］を選択してください。 |

## ファクスのエラーメッセージ

以下のメッセージは、ファクス機能の使用時に操作パネルの表示画面に表示されます。

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | 無効なデータを受信しました。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | 不正な PC ファクスデータを受信しました。本機が PC ファクスデータを受信中、コンピュータとの接続が不安定だった可能性があります。<br>本機とコンピュータの接続を確認してください。 |
| | 受信でメモリオーバーしました。<br><br>(OK) 閉じる | 点滅 | 受信中にメモリ不足になりました。<br>下記のいずれかの操作により、メモリ容量を確保してください。<br>● ファクスの時刻指定送信を設定している場合は、キャンセルしてください。<br>● F コードボックスに保存された原稿を削除してください。<br>または、本機にエラーが発生している場合にこのメッセージが表示される場合もあります。エラーを解除してください。 |
| | 通信エラー<br><br>(OK) 閉じる | 点滅 | ファクスの送受信がエラー終了しました。 |
| | 電話<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点灯 | 電話機が使用中です。<br>電話機の使用が終了するのをお待ちください。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | メモリオーバーしました。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | PC ファクスの受信中にメモリ不足になりました。<br>下記のいずれかの操作により、メモリ容量を確保してください。<br>● ファクスの時刻指定送信を設定している場合は、キャンセルしてください。<br>● F コードボックスに保存された原稿を削除してください。<br>または、本機にエラーが発生している場合にこのメッセージが表示される場合もあります。エラーを解除してください。<br>それでもエラーが直らない場合は、PC ファクス送信するデータを小さくしてください。 |
| | オフライン中です。 | 点灯 | オフライン状態のため、受信したファクスデータを印刷できません。<br>操作パネルの<**プリント**>キーを押し、[**オンライン / オフライン切替**] > [**オンライン**] を選択してください。 |

## スキャナのエラーメッセージ

以下のメッセージは、スキャン機能の使用時に操作パネルの表示画面に表示されます。

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | キャンセル中です。 | 点灯 | スキャンジョブをキャンセルしています。 |
| | 送信キャンセル中です。 | 点灯 | メール通信またはファイル送信をキャンセルしています。 |
| | メモリオーバーしました。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | 原稿読み取り中に、メモリ不足が発生しました。 |
| | USB メモリが一杯のため保存できませんでした。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | USB メモリが一杯になり、データを保存できません。<br>USB メモリから不要なファイルを削除するか、十分に空き容量のある USB メモリを使用してください。 |
| | 書き込みに失敗しました。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | USB メモリへの書き込みに失敗しました。<br>UBS メモリの書き込み禁止を解除してください。 |
| | USB メモリが未接続のため保存できませんでした。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | USB メモリが本機に接続されていないため、データを保存できません。<br>USB メモリが本機に正しく接続されているか確認してください。 |
| | PC との接続に失敗しました。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | 本機が PC との接続に失敗しました。<br>本機が PC に正しく接続されているか確認してください。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | ファイル送信エラー<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | ファイル送信エラーが発生しました。<br>ネットワーク設定、ケーブルの接続と状態、サーバステータスを確認してください。 |
| | メール送信エラー<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | メール送信エラーが発生しました。<br>ネットワーク設定、ケーブルの接続と状態、サーバステータスを確認してください。 |
| | SMTP 設定を確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | SMTP サーバへの接続中にエラーが発生しました。<br>● ネットワーク設定、ケーブルの接続と状態、サーバステータスを確認してください。<br>● SMTP 設定を確認してください。 |
| | POP3 設定を確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | POP3 サーバへの接続中にエラーが発生しました。<br>● ネットワーク設定、ケーブルの接続と状態、サーバステータスを確認してください。<br>● POP3 設定を確認してください。 |
| | SMTP サーバーにログインできませんでした。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | SMTP サーバへのログインに失敗しました。<br>サーバのログイン名とパスワードを確認してください。 |
| | SMTP サーバが認証に対応していません。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | SMTP サーバが認証に対応していません。 |
| | POP3 サーバーにログインできませんでした。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | POP3 サーバへのログインに失敗しました。<br>サーバのログイン名とパスワードを確認してください。 |
| | IP アドレスの取得に失敗しました。<br>DHCP 設定を確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | DHCP サーバから IP アドレスを取得できませんでした。<br>ネットワーク設定、ケーブルの接続と状態、サーバステータスを確認してください。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | DNS 設定を確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | DNS サーバへの接続中にエラーが発生したか、IP アドレスの取得に失敗しました。<br>● ネットワーク設定、ケーブルの接続と状態、サーバステータスを確認してください。<br>● DNS 設定を確認してください。<br>● プロファイルの［**対象 URL**］を確認し、コンピュータ名が正しく設定されていることを確認してください。<br>● ネットワーク上に DNS サーバがない場合は、プロファイルの［**対象 URL**］で、コンピュータ名ではなく IP アドレスを指定してください。<br>● ユーザ名がドメインで管理されている場合は、プロファイルの［**ユーザ名**］の設定で、「ユーザ名 @ ドメイン名」と入力するか、本機に Web でアクセスし、［**管理者設定**］＞［**ネットワーク管理**］＞［**NBT/NetBEUI**］の［**ワークグループ名**］に NetBIOS ドメイン名を設定してください。 |
| | サーバ設定を確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | ファイルサーバへの接続中にエラーが発生しました。<br>● ネットワーク設定、ケーブルの接続と状態、サーバステータスを確認してください。<br>● サーバ設定を確認してください。<br>● ユーザ名がドメインで管理されている場合は、プロファイルの［**ユーザ名**］の設定で、「ユーザ名 @ ドメイン名」と入力するか、本機に Web でアクセスし、［**管理者設定**］＞［**ネットワーク管理**］＞［**NBT/NetBEUI**］の［**ワークグループ名**］に NetBIOS ドメイン名を設定してください。 |
| | ファイルサーバにログインできませんでした。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | ファイルサーバへのログインに失敗しました。<br>コンピュータに設定したパスワードと、プロファイルの［**パスワード**］の設定が一致しているか確認してください。 |
| | ディレクトリに入れません。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | サーバディレクトリへのアクセスに失敗しました。<br>共有フォルダへのディレクトリが、プロファイルの［**対象 URL**］に設定したディレクトリと一致しているか確認してください。 |
| | 転送タイプを変更してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | サーバへのファイル送信に失敗しました。<br>ファイルのデータ転送タイプを変更してください。 |
| | ファイルに書き込みできませんでした。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | ファイルの書き込みに失敗しました。<br>● コンピュータに設定したユーザ名と、プロファイルの［**ユーザ名**］の設定が一致しているか確認してください。<br>● 共有フォルダに書き込み許可が設定されていない可能性があります。フォルダの共有設定を確認してください。 |
| | 保存領域が一杯です。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>(OK) 閉じる | 点滅 | サーバの保存領域が一杯です。ファイルの書き込みに失敗しました。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | ファイル名を変更してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | サーバで許可されていないファイル名を使用しました。<br>● ファイル名を変更してください。<br>● スキャンToネットワークPCでデータの保存先としてFTP サーバを利用している場合、使用する文字コードの不一致のために正常に接続できない機器があります。[**ホスト側漢字コード**]を変更してください。FTP サーバとして Mac を使用している場合、[**ホスト側漢字コード**]を[**UTF-8**]に変更してください。 |
| | 利用不可能なサーバです。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | 指定されたサーバがサポートされていません。<br>スキャン To ネットワーク PC でデータの保存先として NAS を利用している場合、まれに CIFS で正常に接続できない機器があります。プロファイルの[**CIFS 文字セット**]を[**UTF-16**]から[**Shift-JIS**]に変更してください。 |
| | 共有名を確認してください。<br><br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | ネットワーク共有フォルダの名前が無効です。<br>接続の確立に失敗しました。<br>● 共有フォルダの名前を変更してください。<br>● 共有フォルダの名前と、プロファイルの[**対象 URL**]に設定したフォルダ名が一致しているか確認してください。 |
| | 接続した USB 機器をはずしてください。<br><br>対応していない USB 機器が<br>接続されました。 | 点滅 | 対応していない USB 機器が接続されました。<br>USB 機器を本機から外してください。 |
| | USB Hub をはずしてください。<br><br>USB Hub が接続されています。 | 点滅 | USB ハブが接続されました。この装置では USB ハブは使用できません。<br>USB ハブを取り外してください。 |

## プリントのエラーメッセージ

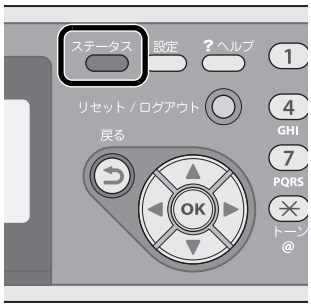
| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | オフライン中です。 | 点灯 | オフライン状態のため、印刷ジョブを開始することができません。<br>操作パネルの<**プリント**>キーを押し、[**オンライン / オフライン切替**]>[**オンライン**]を選択してください。 |
| | ポストスクリプトエラー<br><br>OK 閉じる | 点滅 | ポストスクリプトエラーが発生しました。 |
| | PDF キャッシュ書き込みエラー<br><br>OK 閉じる | 点灯 | PDF をキャッシュ中に、SD カードまたは、メモリに空きがないため、書き込みに失敗しました。<br>● SD カードの空き容量を増やしてください（MC561dn のみ）。<br>● メモリを増設してください（MC561dn 以外）。 |
| | PDF エラー<br><br>OK 閉じる | 点灯 | PDF に文法上のエラーを検出しました。<br>PDF ファイルが正しく開けるものか確認してください。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | この PDF ファイルは、パスワードによって保護されています。<br>OK 閉じる | 点灯 | 暗号化機能が有効になった PDF ファイルです。<br>暗号化 PDF ファイルを印刷する場合はコンピュータで開いて印刷してください。 |
| | この PDF ファイルは、オーナーパスワードによって印刷が制限されています。<br>OK 閉じる | 点灯 | 暗号化機能が有効になった PDF ファイルです。<br>暗号化 PDF ファイルを印刷する場合はコンピュータで開いて印刷してください。 |
| | データ削除中です。 | 点灯 | 受信したデータをキャンセルしています。 |
| | | 点灯 | <**設定**> キー > [**管理者設定**] > [**プリンタ機能**] > [**印刷メニュー**] > [**印刷補正**] > [**ジャムリカバー**] が [**無効**] に設定されているときに、紙づまりが発生した場合、残りの印刷ジョブはキャンセルされます。 |
| | | 点灯 | プリントジョブアカウンティングで印刷が許可されていないユーザからデータが送信され、ジョブがキャンセルされました。 |
| | 暗号ジョブ削除中です。 | 点灯 | 暗号化ジョブを削除しています。 |
| | ファイル消去中です。 | 点灯 | 機密ファイルを消去中です。 |
| | 消去対象ファイルがいっぱいです。<br>詳しくはヘルプをご覧ください。 | 点滅 | 消去処理待ちの機密ファイルが一杯になりました。 |
| | 認証印刷保存期限切れのため削除しました。<br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点灯 | 認証印刷のデータ保存期間が切れたため、データを削除しました。 |
| | 無効なデータを受信しました。<br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点灯 | 無効なデータを受信し、削除しました。 |
| 500 | マルチパーパストレイに (%MEDIA_SIZE%) の用紙をセットしてください 。取消す場合は「印刷中止」を選択してください。 | 点滅 | MP トレイに用紙がありません。<br>表示しているサイズの用紙をセットしてください。 |
| 460<br>461<br>462 | トレイの用紙が違います。: %ERRCODE%<br>%TRAY% の (%MEDIA_SIZE% %MEDIA_TYPE%) の用紙をセットしてください。 | 点滅 | 表示しているトレイの用紙のサイズまたは種類が、トレイに指定されたものと違っています。<br>表示しているサイズまたは種類の用紙をセットしてください。 |
| 490<br>491<br>492 | %TRAY% に (%MEDIA_SIZE%) の用紙をセットしてください。:<br>%ERRCODE% 取消す場合は「印刷中止」を選択してください。 | 点滅 | 表示しているトレイの用紙がなくなりました。<br>表示しているサイズの用紙をセットしてください。 |
| 430<br>431 | %TRAY% にカセットをセットしてください。: %ERRCODE% 取消す場合は「印刷中止」を選択してください。 | 点滅 | 表示しているトレイに用紙カセットがありません。<br>用紙カセットをセットしてください。 |

| エラーコード | メッセージ | <ステータス>キー | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|---|
| | アクセス制限エラー<br>カラー印刷制限されているため<br>モノクロ印刷しました。<br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | カラー印刷を許可されていないユーザのデータをモノクロ印刷しました。 |
| | アクセス制限エラー<br>カラー印刷制限されているため<br>データを削除しました。<br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | カラー印刷を許可されていないユーザのデータを削除しました。 |
| | アクセス制限エラー<br>印刷制限されているため<br>データを削除しました。<br>詳しくはヘルプをご覧ください。<br>OK 閉じる | 点滅 | 印刷を許可されていないユーザのデータを削除しました。 |
| | 温度調整中です。 | 点灯 | ウォーミングアップ動作中、またはクールダウン中です。<br>電源を切らずにこのままお待ちください。<br>装置の故障ではありません。 |
| | プリンタ準備中です。 | 点灯 | プリンタ部が印刷可能な状態になっていません。<br>このメッセージが消えるまでお待ちください。 |

## <ステータス>キーで本機の状態を確認する

操作パネルの<**ステータス**>キーを使用して、本機の状態を確認できます。




### トラブルステータスを確認する

本機にトラブルが発生すると、<**ステータス**>キーが点滅または点灯します。<**ステータス**>キーを押して、トラブルステータスを確認してください。

***1*** 操作パネルの<**ステータス**>キーを押します。

***2*** [**トラブルステータスを見る**]が選択されているのを確認し、OKを押します。

***3*** ▼を押して確認の必要な項目を選択し、OKを押します。

### 装置の状態やジョブステータスを確認する

消耗品の残量やカウンタ情報、およびジョブリストを、<**ステータス**>キーから確認できます。

***1*** 操作パネルの<**ステータス**>キーを押します。

***2*** ▼を押して[**機器ステータス・ジョブステータス**]を選択し、OKを押します。

***3*** ▼を押して確認の必要な項目を選択し、OKを押します。

# そのほかのトラブル

この節では、本機の操作中に発生する可能性があるトラブルと、その対処の方法について説明します。

## コンピュータから印刷できないとき

メモ

- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
- アプリケーションが原因の問題の場合は、アプリケーションのメーカーへご連絡ください。

### 一般的な原因

#### ■ Windows/Mac OS X 共通

| 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 本機がスリープモードになっています。 | 操作パネルの＜**節電**＞キーを押して、待機状態に切り替えます。<br>スリープモードを使用しない場合は、＜**設定**＞キー＞［**管理者設定**］＞［**運用初期設定**］＞［**省電力設定**］＞［**スリープ**］からスリープモードを無効にします。 | 22 ページ |
| 本機の電源が入っていません。 | 電源を入れてください。 | 21 ページ |
| イーサネットケーブル /USB ケーブルが外れています。 | ケーブルが本機とコンピュータに、正しく接続されているか確認してください。 | - |
| ケーブルに問題があります。 | 新しいケーブルと交換してください。 | - |
| 本機がオフラインになっています。 | 操作パネルの＜**プリント**＞キーを押し、［**オンライン / オフライン切替**］＞［**オンライン**］を選択します。 | - |
| 操作パネルの表示画面にエラーメッセージが表示されています。 | 「表示画面に表示されるエラーメッセージ」（P. 130）または、操作パネルの＜**? ヘルプ**＞キーを押してください。 | 130 ページ |
| インタフェースの設定が無効になっています。 | 操作パネルで、お使いのインタフェースの設定を確認してください。 | 応用編 |
| 印刷機能に問題があります。 | メニューマップが印刷できるか確認してください。 | 75 ページ |

#### ■ Windows の場合

| 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 本機が通常使うプリンタに設定されていません。 | 通常使うプリンタに設定します。 | - |
| プリンタドライバの出力ポートが間違っています。 | イーサネットケーブル /USB ケーブルが接続されている出力ポートを選択してください。 | - |
| ほかのインタフェースからの印刷を処理しています。 | 処理が完了するまでお待ちください。 | - |
| 操作パネルの表示画面に［**無効なデータを受信しました**］と表示され印刷しません。 | 操作パネルの＜**設定**＞キーを押して、［**管理者設定**］＞［**プリンタ機能**］＞［**印刷メニュー**］＞［**印刷補正**］＞［**タイムアウト印刷**］を選択し、設定時間を長くします。工場出荷時の設定は 40 秒です。 | - |
| 印刷が自動的にキャンセルされます。 | プリントジョブアカウンティング クライアントを使用している場合、印刷が許可されていません。またはジョブアカウンティングログバッファが一杯になっている可能性があります。 | 応用編 |

## ネットワーク接続の問題

### ■ Windows/Mac OS X 共通

| 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|
| クロスケーブルを使っています。 | ストレートケーブルを使用してください。 | - |
| ケーブルを接続する前に、本機の電源を入れました。 | ケーブルを接続してから、本機の電源を入れてください。 | 33 ページ |
| ハブとの相性に問題があります / がよくありません。 | 操作パネルの < **設定** > キーを押して、［**管理者設定**］>［**ネットワーク管理**］>［**ネットワーク設定**］>［**ハブとの接続**］を選択し、［**10BASE-T HALF**］を選択します。 | - |

### ■ Windows の場合

| 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|
| IP アドレスが間違っています。 | ● 本機の IP アドレスの設定と、コンピュータ上で設定している本機の IP アドレスが一致しているか確認してください。<br>● OKI LPR ユーティリティをお使いの方は、OKI LPR ユーティリティで IP アドレス設定を確認してください。 | 47 ページ |

## USB 接続の問題

### ■ Windows/Mac OS X 共通

| 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ケーブルが規格に合っていません。 | USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。 | - |
| USB ハブを使用しています。 | 本機をコンピュータに直接接続してください。 | 42 ページ |
| プリンタドライバが正しくインストールされていません。 | プリンタドライバをインストールしなおしてください。 | 42 ページ |

### ■ Windows の場合

| 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|
| 本機がオフラインになっています。 | ［**デバイスとプリンター**］フォルダで OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷ジョブの表示**］を選択します（複数のドライバがインストールされている場合は >［**OKI MC561 (*)**］）。表示されたダイアログで、［**プリンター**］メニューを選択し、［**プリンターをオフラインで使用する**］のチェックを外してください。<br>* 必要なドライバのタイプを選択してください。 | - |
| 切替器、バッファ、延長ケーブル、USB ハブを使用しています。 | 本機をコンピュータに直接接続してください。 | 42 ページ |
| USB 接続で動作するほかのプリンタドライバがインストールされています。 | コンピュータからほかのプリンタドライバを削除してください。 | - |

# プリンタドライバのインストールがうまくいかないとき

メモ

- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
- アプリケーションが原因の問題の場合は、アプリケーションのメーカーへご連絡ください。

## USB 接続の問題

### ■ Windows の場合

| 症状 | 原因 / 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|
| [**デバイスとプリンター**] フォルダに、本機のアイコンが作成されない。 | プリンタドライバが正しくインストールされていません。<br>プリンタドライバを正しく再インストールしてください。 | 42 ページ |
| 複数のプリンタドライバのインストールが選択されている場合でも、最初のプリンタドライバしかインストールされない。 | 以下の手順に従って、2 つ目以降のプリンタドライバをインストールしてください。<br>1.「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータに挿入します。<br>2.[**setup.exe の実行**] をクリックして、画面の指示に従ってください。<br>3.[**ドライバのインストール**] から [**詳細インストール ( プリンタ )**] を選択します。<br>4.[**次へ**] をクリックします。<br>5.[**ローカルプリンタ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。<br>6.[**ポートの選択**] 画面で [**FILE**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。<br>7. 画面の指示に従ってインストールを完了させます。<br>8.[**デバイスとプリンター**] で、インストールしたドライバのアイコンを右クリックし、[**プリンターのプロパティ**]（複数のドライバをインストールした場合は > [**OKI MC561 (*)**]）を選択します。<br>* 設定したいドライバのタイプを選択してください。<br>9.[**ポート**] タブのリストから、[**USBxxx**] を選択します。<br>10.[**OK**] をクリックします。 | - |
| 「プリンタドライバのインストールに失敗しました」などのエラーメッセージが表示される。 | プラグ アンド プレイを使用します。以下の手順に従ってください。<br>1. 本機とコンピュータの電源が切れていることを確認します。<br>2.USB ケーブルを接続します。<br>3. 本機の電源を入れます。<br>4. コンピュータの電源を入れます。<br>5.[**新しいハードウェアの検索ウィザード**] が表示されたら、画面の指示に従ってセットアップを実行します。<br>詳細は、「ソフトウェア CD-ROM」の [**Drivers**] > [**JPN**] >インストールしたいドライバのフォルダを開き、「README」を参照してください。 | - |

# 各 OS に関する制限事項

## Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 に関する制限事項

| 項目 | 症状 | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|
| プリンタドライバ | ヘルプが表示されない。 | ヘルプ機能が PS プリンタドライバでサポートされていません。 |
| | ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される。 | インストーラまたはユーティリティの起動時に、［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される場合があります。［**はい**］または［**続行**］をクリックして、インストーラまたはユーティリティを管理者として実行します。［**いいえ**］または［**キャンセル**］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。 |
| Network Extension | ヘルプが表示されない。 | ヘルプ機能がサポートされていません。 |
| | ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される。 | インストーラまたはユーティリティの起動時に、［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される場合があります。［**はい**］または［**続行**］をクリックして、インストーラまたはユーティリティを管理者として実行します。［**いいえ**］または［**キャンセル**］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。 |
| | ［**プログラム互換性アシスタント**］ダイアログが表示される。 | インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）［**プログラム互換性アシスタント**］ダイアログが表示される場合は、必ず［**このプログラムは正しくインストールされました**］をクリックしてください。 |
| カラー調整ユーティリティ | ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される。 | インストーラまたはユーティリティの起動時に、［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される場合があります。［**はい**］または［**続行**］をクリックして、インストーラまたはユーティリティを管理者として実行します。［**いいえ**］または［**キャンセル**］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。 |
| | ［**プログラム互換性アシスタント**］ダイアログが表示される。 | インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）［**プログラム互換性アシスタント**］ダイアログが表示される場合は、必ず［**このプログラムは正しくインストールされました**］をクリックしてください。 |
| 色見本印刷ユーティリティ | ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される。 | インストーラまたはユーティリティの起動時に、［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される場合があります。［**はい**］または［**続行**］をクリックして、インストーラまたはユーティリティを管理者として実行します。［**いいえ**］または［**キャンセル**］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。 |
| | ［**プログラム互換性アシスタント**］ダイアログが表示される。 | インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）［**プログラム互換性アシスタント**］ダイアログが表示される場合は、必ず［**このプログラムは正しくインストールされました**］をクリックしてください。 |
| PS ハーフトーン調整ユーティリティ | ［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される。 | インストーラまたはユーティリティの起動時に、［**ユーザー アカウント制御**］ダイアログが表示される場合があります。［**はい**］または［**続行**］をクリックして、インストーラまたはユーティリティを管理者として実行します。［**いいえ**］または［**キャンセル**］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。 |
| | ［**プログラム互換性アシスタント**］ダイアログが表示される。 | インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）［**プログラム互換性アシスタント**］ダイアログが表示される場合は、必ず［**このプログラムは正しくインストールされました**］をクリックしてください。 |

## Windows XP Service Pack 2/Windows Server 2003 Service Pack 1 に関する制限事項

### ■ Windows ファイアウォールに関する制限事項

Windows XP Service Pack 2 と Windows Server 2003 Service Pack 1 では、Windows ファイアウォール機能が強化されています。プリンタドライバとユーティリティに、以下の制限事項が生じる場合があります。

メモ

- 次の記載では、Windows XP Service Pack 2 を例にしています。Windows Server 2003 Service Pack 1 では、記載と異なることがあります。

| 項目 | 症状 | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|
| プリンタドライバ | 本機をネットワークの共有プリンタとして使用している場合、ファイルを印刷できない。 | サーバ側で［**スタート**］>［**コントロール パネル**］>［**セキュリティ センター**］>［**Windows ファイアウォール**］をクリックします。<br>［**例外**］タブを選択し、［**ファイルとプリンタの共有**］にチェックをつけ、［**OK**］をクリックします。 |
| OKI LPR ユーティリティ | プリンタを検索できない。 | Windows ファイアウォールの［**全般**］タブで［**例外を許可しない**］にチェックがついている場合、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができません。同一セグメント内に接続されたプリンタのみ、検索対象となります。<br>プリンタを検策できない場合は、［**プリンタの追加**］または［**プリンタの再設定**］画面で、プリンタの IP アドレスを指定します。 |
| ストレージデバイス マネージャ | プリンタを検索できない。 | Windows ファイアウォールの［**全般**］タブで［**例外を許可しない**］にチェックがついている場合、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができません。同一セグメント内に接続されたプリンタのみ、検索対象となります。<br>プリンタを検索できない場合、［**プリンタ**］>［**プリンタの追加 / 削除**］にプリンタ名（任意）と IP アドレスを入力し、［**追加**］をクリックします。 |
| Print Super Vision | リモート PC からアクセスできない。 | ［**スタート**］>［**コントロール パネル**］>［**セキュリティ センター**］>［**Windows ファイアウォール**］をクリックします。<br>［**例外**］タブを選択し、［**プログラムの追加**］をクリックします。［**参照**］をクリックして以下のファイルを選択し、［**開く**］>［**OK**］>［**OK**］をクリックします。<br>● (J2EE のインストール先 )¥jdk¥bin¥java.exe<br>● (J2EE のインストール先 )¥jdk¥bin¥javaw.exe<br>● (J2EE のインストール先 )¥jdk¥jre¥bin¥java.exe<br>● (J2EE のインストール先 )¥jdk¥jre¥bin¥javaw.exe |
| | ポップアップウィンドウがブロックされる。 | Internet Explorer を使用している場合、ポップアップウィンドウがブロックされる場合があります。<br>Internet Explorer で、［**ツール**］メニューから［**インターネット オプション**］を選択します。<br>［**プライバシー**］タブを選択し、［**ポップアップ ブロック**］領域の［**設定**］をクリックします。［**ポップアップ ブロックの設定**］ウィンドウの、［**許可する Web サイトのアドレス**］に Print Super Vision の URL を入力し、［**追加**］をクリックします。［**閉じる**］>［**OK**］をクリックします。 |

| 項目 | 症状 | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|
| Web Driver Installer | プリンタを検索できない。 | Windows ファイアウォールの［**全般**］タブで［**例外を許可しない**］にチェックがついている場合、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができません。同一セグメント内に接続されたプリンタのみ、検索対象となります。<br>プリンタを検索できない場合、IP アドレスの検索範囲の 4 桁目に「*」を入力します。 |
| | リモート PC からアクセスできない。 | ［**スタート**］＞［**コントロール パネル**］＞［**セキュリティ センター**］＞［**Windows ファイアウォール**］をクリックします。<br>［**例外**］タブを選択し、［**ポートの追加**］をクリックします。Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加します。<br>［**スタート**］＞［**コントロール パネル**］＞［**パフォーマンスとメンテナンス**］＞［**管理ツール**］をクリックします。<br>［**コンポーネント サービス**］をダブルクリックし、Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更します。<br>設定方法については、［**スタート**］＞［**すべてのプログラム**］＞［**沖データ**］＞［**Web Driver Installer**］＞［**お読みください**］に保存されている「お読みください」のファイルを参照してください。 |

## Mac OS X 10.6 に関する制限事項

| 項目 | 症状 | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|
| TWAIN ドライバ | イメージキャプチャでスキャンを実行できない。 | ● コンピュータと USB 接続している場合のみスキャンを実行できます。ネットワーク接続には対応していません。<br>● イメージキャプチャでは、TWAIN ドライバのユーザインタフェースは表示されません。イメージキャプチャのユーザインタフェースを使用してスキャンを実行してください。 |

## Mac OS X 10.5 に関する制限事項

| 項目 | 症状 | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|
| TWAIN ドライバ | イメージキャプチャでスキャンを実行できない。 | イメージキャプチャでは、コンピュータとネットワーク接続している場合は TWAIN ドライバのユーザインタフェースを表示して使用してください。<br>TWAIN ドライバのユーザインタフェースを表示するには、イメージキャプチャを起動後、イメージキャプチャの［**装置**］メニューから［**装置をブラウズ**］を選択し、デバイスブラウザを開きます。ドライバを選択し、［**TWAIN UI を使用**］をクリックします。 |

## Mac OS X 10.4 に関する制限事項

| 項目 | 症状 | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|
| TWAIN ドライバ | イメージキャプチャでスキャンを実行できない。 | イメージキャプチャでは、コンピュータとネットワーク接続している場合は TWAIN ドライバのユーザインタフェースを表示して使用してください。TWAIN ドライバのユーザインタフェースを表示するには、イメージキャプチャを起動後、イメージキャプチャの［**装置**］メニューから［**装置をブラウズ**］を選択します。［**TWAIN 装置**］からドライバを選択し、画面右下に表示される［**TWAIN ソフトウエアを使用する**］にチェックをつけます。 |

## Mac OS X 10.3.9 に関する制限事項

| 項目 | 症状 | 原因 / 対処方法 |
|---|---|---|
| TWAIN ドライバ | イメージキャプチャでスキャンを実行できない。 | イメージキャプチャでは、コンピュータとネットワーク接続している場合は TWAIN ドライバのユーザインタフェースを表示して使用してください。TWAIN ドライバのユーザインタフェースを表示するには、イメージキャプチャを起動後、イメージキャプチャの［**イメージキャプチャ**］メニューから［**環境設定**］を選択します。［**スキャナ**］タブを選択し、［**可能なときには TWAIN ソフトウェアを使用する**］にチェックをつけます。 |
| | イメージキャプチャのデバイスブラウザにスキャナが表示されない。 | コンピュータを再起動してください。 |

# コピーに関するトラブル

メモ

- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。

## コピーできない

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| コピーできない。 | 電源は入っていますか？ | 電源を入れてください。 | 21 ページ |
| | 本機が初期化中ではありませんか？ | 初期化が終わるまでお待ちください。 | - |
| | 原稿は正しくセットされていますか？ | 原稿を正しくセットしてください。 | 74 ページ |
| | 用紙はありますか？ | トレイに用紙を入れてください。<br>カセットが装置に差し込まれているか確認してください。 | 68 ページ |
| | 原稿に適したサイズの用紙がセットされていますか？ | 適したサイズの用紙をセットしてください。 | 68 ページ |
| | ［**給紙トレイ**］が［**自動**］に設定されている場合、用紙トレイが選択可能ですか？ | ＜**設定**＞キーを押して、［**用紙**］＞［**印刷トレイ指定**］＞［**コピー**］＞使用する用紙が入った用紙トレイを選択し、［**オン**］または［**オン ( 優先 )**］を選択してください。 | - |
| | 両面印刷が可能な用紙がセットされていますか？ | コピーする用紙のサイズ、用紙の種類、用紙厚の設定によっては両面印刷できません。<br>両面印刷が可能な用紙をトレイにセットし、用紙サイズ、用紙の種類、用紙厚を正しく設定してください。 | 68 ページ |
| | 用紙トレイの用紙の種類は、［**普通紙**］または［**再生紙**］に設定されていますか？ | ［**給紙トレイ**］を［**自動**］に設定する場合、用紙トレイの用紙の種類を［**普通紙**］または［**再生紙**］に設定してください。 | 71 ページ |
| | 用紙がつまっていませんか？ | エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。 | 123 ページ |
| | トナーがなくなっていませんか？ | 新しいトナーカートリッジと交換してください。 | 163 ページ |
| | イメージドラムユニットが寿命になっていませんか？ | 新しいイメージドラムユニットと交換してください。 | 165 ページ |
| | 定着器ユニットが寿命になっていませんか？ | 新しい定着器ユニットと交換してください。 | 169 ページ |
| | ベルトユニットが寿命になっていませんか？ | 新しいベルトユニットと交換してください。 | 168 ページ |
| | 本機のカバーが開いていませんか？ | すべてのカバーを閉じてください。 | 16 ページ |
| | エラーが発生していませんか？ | エラーを解除してください。 | 130 ページ |
| | ほかの動作中ではありませんか？ | ほかの動作が終わったら、コピーを開始してください。 | - |
| | コンピュータ等からの印刷中ではありませんか？ | 印刷が完了するまでお待ちください。 | - |
| | ファクスがリアルタイム送信中ではありませんか？ | ファクスの送信が終わるまでお待ちください。 | - |

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| コピーできない。 | 継続読取モードがオンになっていますか？ | 操作パネルの表示画面で［**読み取り完了**］を選択してください。 | 79 ページ |
| | オフラインではありませんか？ | 操作パネルの＜**プリント**＞キーを押し、［**オンライン / オフライン切替**］＞［**オンライン**］を選択します。 | - |
| | コピー機能が使用できますか？ | 許可された PIN またはユーザ名とパスワードを入力します。 | 116 ページ |
| ミックスコピーができない。 | ［**ミックス原稿**］が［**オフ**］に設定されていませんか？ | ［**ミックス原稿**］を［**オン**］に設定してください。 | 応用編 |
| | ミックスコピー対象外の原稿サイズではありませんか？ | ミックス対象の原稿に変更してください。 | 応用編 |
| | 必要なサイズの用紙がセットされていますか？ | 各用紙トレイに、必要なサイズの用紙をセットしてください。用紙トレイの設定を、＜**設定**＞キー＞［**用紙**］＞［**印刷トレイ指定**］＞［**コピー**］から［**オン**］または［**オン ( 優先 )**］に設定してください。 | - |
| ソートコピーできない。 | ［**ソート**］が［**オフ**］に設定されていませんか？ | ［**ソート**］を［**オン**］に設定してください。 | 応用編 |
| | メモリがいっぱいではありませんか？ | オプションの増設メモリを追加するか、原稿の枚数を減らしてください。 | 25 ページ |

## 原稿とコピー結果が異なる

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 原稿とコピー結果が異なる。 | ［**両面**］が設定されていませんか？ | ［**両面**］の設定を［**オフ ( 両面しない )**］にしてください。 | 79 ページ |
| | ［**ミックス原稿**］が［**オン**］に設定されていませんか？ | ［**ミックス原稿**］を［**オフ**］に設定してください。 | 応用編 |
| コピー結果のサイズが変わる。 | 原稿に適したサイズの用紙がセットされていますか？ | 適したサイズの用紙をセットしてください。 | 68 ページ |
| | 拡大 / 縮小の倍率が正しく設定されていますか？ | 拡大 / 縮小を適した倍率に設定してください。 | 78 ページ |
| | ［**リピート**］が有効になっていませんか？ | ［**リピート**］の設定を［**オフ**］にしてください。 | 応用編 |
| コピー結果の一部が欠ける。 | ［**枠消去**］が［**オン**］に設定されていませんか？ | ［**枠消去**］の設定を［**オフ**］にしてください。 | 応用編 |
| | ［**とじしろ**］が［**オン**］に設定されていませんか？ | ［**とじしろ**］の設定を［**オフ**］にしてください。 | 応用編 |
| | ［**集約**］が有効になっていませんか？ | ［**集約**］の設定を［**オフ**］にしてください。 | 応用編 |

## コピー開始後の問題

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 印刷開始が遅い。 | 操作パネルの表示画面に［**温度調整中です**］または［**プリンタ準備中です**］が表示されていませんか？ | 本機が準備中です。<br>コピーが開始するまでお待ちください。 | - |
| コピージョブがキャンセルされる。 | エラーが発生していませんか？ | コピー動作中に特定のエラーが発生し、コピージョブがキャンセルされます。<br>エラー要因を除去し、再度コピーを開始してください。 | 130 ページ |
| | MP トレイに用紙はありますか？ | MP トレイの用紙でコピーしている場合、コピーを開始する前に MP トレイに十分用紙があるか確認してください。<br>＜**設定**＞キーを押して、［**用紙**］＞［**印刷トレイ指定**］＞［**コピー**］＞［**MP トレイ**］を選択し、［**オン**］または［**オン ( 優先 )**］が選択されていることを確認してください。 | - |

# ファクスに関するトラブル

メモ

- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。

## 送信できない

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 送信できない。 | 送信の手順は正しいですか？ | 手順を確認し、もう一度操作を行ってください。 | 82 ページ |
| | 相手先の電話番号は正しいですか？ | 短縮ダイヤルを指定しているときは、正しく登録されているか、リストを印字して確認してください。 | 83 ページ<br>応用編 |
| | ダイヤル種別は正しく設定されていますか？ | お使いの電話回線に合ったダイヤル種別を設定してください。 | 64 ページ |
| | 相手側にトラブルはありませんか？ | 相手側に確認し、受信できる状態にするように依頼してください。 | - |
| 原稿が連続して送信されない。 | 自動原稿送り装置に原稿を正しくセットしていますか？ | 原稿の先端をそろえてセットしてください。 | 74 ページ |
| | 自動原稿送り装置にセットした原稿の中に、A4、レター、リーガル 13/13.5/14 以外のサイズが入っていませんか？ | 自動原稿送り装置にセットできるのは、A4、レター、リーガル 13/13.5/14 のサイズの原稿のみです。 | - |
| ダイヤルしたあと、モノクロを押しても、送信できない。 | ダイヤル種別は正しく設定されていますか？ | お使いの電話回線に合ったダイヤル種別を設定してください。 | 64 ページ |
| | 原稿は正しくセットされていますか？ | 原稿を正しくセットしてください。 | 74 ページ |
| | 電話番号は間違っていませんか？ | 正しい電話番号をダイヤルしてください。 | - |
| | 相手が話し中ではありませんか？ | 相手の通信が終了するまでお待ちください。 | - |
| 手動送信できない。 | 受話器を置いたあとでモノクロを押していませんか？ | 最初にモノクロを押してください。 | 応用編 |
| メモリ送信のとき原稿が読み込まれない。 | 原稿は正しくセットされていますか？ | 原稿を正しくセットしてください。 | 74 ページ |
| | メモリがいっぱいではありませんか？ | メモリ容量を確認してください。 | 応用編 |

## 受信できない

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 受信できない。 | 正しい受信モードを指定していますか？ | 受信モードを確認してください。 | 87 ページ |
| | 用紙はありますか？ | 用紙を補給してください。 | 68 ページ |
| | 用紙がつまっていませんか？ | エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。 | 123 ページ |
| | 電話線ケーブルが本機と電話回線に正しく接続されていますか？ | 電話線ケーブルを正しく接続してください。 | 61 ページ |
| | メモリがいっぱいではありませんか？ | メモリ容量を確認してください。 | 応用編 |
| | ナンバーディスプレイ対応回線に接続していませんか？ | 本機はナンバーディスプレイ対応回線に対応していません。<br>本機をナンバーディスプレイ契約をしている回線に接続し、本機の TEL コネクタへナンバーディスプレイ対応電話機を接続して使用する場合には、本機の［**応答待ち時間**］の設定を、［**10 秒**］、［**15 秒**］、［**20 秒**］のいずれかにしてください。 | 応用編 |
| 手動受信できない。 | 受話器を置いたあとで を押していませんか？ | 最初に を押してください。 | 87 ページ |
| | 電話機が 1 回鳴ったときに受話器を取りましたか？ | ナンバーディスプレイ対応回線に契約している場合、電話機が 1 回鳴ったときに受話器を取ると、正常に手動受信できない場合があります。<br>2 回以上鳴ってから受話器を取ってください。 | - |
| ポーリング受信ができない。 | 相手先がポーリング原稿を登録していますか？ | 相手先にポーリング原稿の登録を依頼してください。 | - |

## 送受信できない

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 送受信できない。 | ブロードバンド環境を利用した IP 電話に接続していますか？ | ＜**設定**＞キーを押して、［**管理者設定**］＞［**運用初期設定**］＞［**スーパー G3**］＞［**オフ**］を選択してください。 | - |

## 最適なサイズの用紙に印刷しない

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 受信したファクスを最適サイズの用紙に印刷しない。 | トレイの用紙種類を、［**用紙種類**］で［**普通紙**］または［**再生紙**］以外に設定していませんか？ | 使用するトレイの用紙種類を、［**用紙種類**］で［**普通紙**］または［**再生紙**］に設定してください。 | 応用編 |

## スキャンに関するトラブル

メモ

- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。

| 症状 | 確認項目 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| スキャンできない。 | 電源が切れていませんか？ | 本機に電源を入れてください。 | 21 ページ |
| | ケーブルが外れていませんか？ | ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。 | 32 ページ |
| | ケーブルが破損していませんか？ | ケーブルを交換してください。 | 32 ページ |
| | ネットワーク設定が間違っていませんか？ | ネットワーク設定を正しく行ってください。 | 47 ページ |
| | エラーが発生していませんか？ | 表示画面に表示されているメッセージに従って処置してください。 | 130 ページ |
| E メールの送受信ができない。 | 本機の電源を入れてから、イーサネットケーブルを接続しましたか？ | 本機の電源を切ってください。イーサネットケーブルを差し込んでから電源を入れてください。 | 33 ページ |
| | 本機の E メールアドレスが設定されていますか？ | E メールアドレスを設定してください。 | 48 ページ |
| | E メールアドレスが間違っていませんか？ | 正しい E メールアドレスを入力してください。 | 48 ページ |
| | SMTP サーバのアドレスが間違っていませんか？ | SMTP サーバの設定を確認してください。 | 48 ページ |
| | POP3 サーバのアドレスが間違っていませんか？ | POP3 サーバの設定を確認してください。 | 48 ページ |
| | DNS サーバのアドレスが間違っていませんか？ | DNS サーバのアドレスを確認してください。 | 48 ページ |
| | ほかのジョブの動作中ではありませんか？ | ほかの動作が終了するまでお待ちください。 | - |
| | エラーが発生していませんか？ | 表示画面に表示されているメッセージに従って処置してください。 | 130 ページ |
| ネットワークフォルダにファイルが保存できない。 | FTP/CIFS の設定が間違っていませんか？ | プロファイルの設定を確認してください。 | 59 ページ |
| | エラーが発生していませんか？ | 表示画面に表示されているメッセージに従って処置してください。 | 130 ページ |

## 印刷が不鮮明なとき

メモ

- 次の説明で問題を解決できない場合、お客様相談センターへご連絡ください。

| 症状 | 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 縦方向に白いスジが入る。 | LED ヘッドが汚れています。 | LED ヘッドを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 | 178 ページ |
| | トナーが残り少なくなっています。 | トナーカートリッジを交換してください。 | 163 ページ |
| | 異物がつまっています。 | イメージドラムユニットを交換してください。 | 165 ページ |
| | イメージドラムユニットの遮光フィルムが汚れています。 | 遮光フィルムを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 | - |
| | イメージドラムユニットが正しくセットされていません。 | イメージドラムユニットを正しくセットしてください。 | 165 ページ |
| | ADF 原稿ガラスが汚れています。 | ADF 原稿ガラスを清掃してください。 | 176 ページ |

| 症状 | 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 縦方向にかすれる。 | LED ヘッドが汚れています。 | LED ヘッドを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 | 178 ページ |
| | トナーが残り少なくなっています。 | トナーカートリッジを交換してください。 | 163 ページ |
| | 用紙が適していません。 | 推奨紙を使用してください。 | 66 ページ |
| 印刷が薄い。 | トナーカートリッジが正しくセットされていません。 | トナーカートリッジを取り付けなおしてください。 | 163 ページ |
| | トナーが残り少なくなっています。 | トナーカートリッジを交換してください。 | 163 ページ |
| | 用紙が湿気を含んでいます。 | 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 | 67 ページ |
| | 用紙が適していません。 | 推奨紙を使用してください。 | 66 ページ |
| | 用紙が適していません。<br>用紙の種類や厚さの設定が不適切です。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**用紙**］＞使用している用紙トレイを選択し、［**用紙種類**］と［**用紙厚**］を適切な値にしてください。または、［**用紙厚**］を現在の値より厚い値にしてください。 | 71 ページ |
| | 再生紙を使用しています。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**用紙**］＞使用している用紙トレイを選択し、［**用紙厚**］を現在の値より厚い値にしてください。 | 71 ページ |
| | 原稿に黄色や緑などが使われています。 | 受信の場合は、相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくことを依頼してください。 | - |
| 部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。 | 用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。 | 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 | 67 ページ |
| | ［**普通紙ブラック設定**］または［**普通紙カラー設定**］の設定が不適切です。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**管理者設定**］＞［**プリンタ機能**］＞［**印刷メニュー**］＞［**印刷補正**］を選択して、［**普通紙ブラック設定**］または［**普通紙カラー設定**］の値を変更してください。 | - |
| 縦方向にスジが入る。 | イメージドラムユニットに傷がついています。 | イメージドラムユニットを交換してください。 | 165 ページ |
| | トナーが残り少なくなっています。 | トナーカートリッジを交換してください。 | 163 ページ |
| | 自動原稿送り装置の原稿ガラスと原稿搬送ローラなどが汚れています。 | 原稿ガラスと原稿搬送ローラを清掃してください。 | 176 ページ |
| 横方向にスジや点が周期的に入る。 | 約 94 mm 周期の場合は、イメージドラムの緑色の筒の部分に傷または汚れがついています。 | 柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。<br>傷がついていたら、イメージドラムユニットを交換してください。 | 165 ページ |
| | 約 30 mm 周期の場合は、イメージドラムユニット内にゴミが混入しています。 | トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。 | - |
| | 約 90 mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。 | 定着器ユニットを交換してください。 | 169 ページ |
| | イメージドラムユニットが光にさらされました。 | イメージドラムユニットを本機の内部に戻し、数時間装置を使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムユニットを交換してください。 | 165 ページ |
| | 用紙搬送路に汚れが付着しています。 | 数枚テストコピーをしてください。 | - |

| 症状 | 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 白地の部分が薄く汚れる。 | 用紙が静電気を帯びています。 | 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 | 67 ページ |
| | 厚い用紙を使用しています。 | より薄手の用紙を使用してください。 | - |
| | トナーが残り少なくなっています。 | トナーカートリッジを交換してください。 | 163 ページ |
| 文字の周囲がにじむ。 | LED ヘッドが汚れています。 | 柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。 | 178 ページ |
| | 用紙が適していません。 | 推奨紙を使用してください。 | 66 ページ |
| | 用紙が湿気を含んでいます。 | 新しい用紙と交換してください。 | 68 ページ |
| 封筒またはコート紙を印刷すると全体に薄く汚れる。 | 封筒またはコート紙に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。 | 故障ではありません。<br>コート紙はなるべく使用しないでください。 | - |
| 擦るとトナーがはがれる。 | 用紙の種類や厚さの設定が不適切です。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**用紙**］＞使用している用紙トレイを選択し、［**用紙種類**］と［**用紙厚**］を適切な値にしてください。または、［**用紙厚**］を現在の値より厚い値にしてください。 | 71 ページ |
| | 再生紙を使用しています。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**用紙**］＞使用している用紙トレイを選択し、［**用紙厚**］を現在の値より厚い値にしてください。 | 71 ページ |
| 光沢にムラが出る。 | 用紙の種類や厚さの設定が不適切です。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**用紙**］＞使用している用紙トレイを選択し、［**用紙種類**］と［**用紙厚**］を適切な値にしてください。または、［**用紙厚**］を現在の値より厚い値にしてください。 | 71 ページ |
| 思った色合いで印刷されない。 | トナーが残り少なくなっています。 | トナーカートリッジを交換してください。 | 163 ページ |
| | ［**黒の生成**］の設定がアプリケーションに合っていません。 | プリンタドライバの［**黒の生成**］で、［**黒 (K) トナーのみで生成**］または［**CMYK トナーで生成**］を選択してください。 | 応用編 |
| | カラー調整を変更しています。 | プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。 | 応用編 |
| | カラーバランスがとれていません。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**管理者設定**］＞［**プリンタ機能**］＞［**カラーメニュー**］を選択してから、［**濃度補正**］を行ってください。 | - |
| | 色ずれが起こっています。 | トップカバーをいったん開けて、閉じます。<br>または、＜**設定**＞キーを押し、［**管理者設定**］＞［**プリンタ機能**］＞［**カラーメニュー**］を選択してから、［**色ずれ補正**］を行ってください。 | - |
| CMY 100% のベタが薄い。 | ［**CMY100% 濃度**］が［**無効**］に設定されています。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**管理者設定**］＞［**プリンタ機能**］＞［**カラーメニュー**］＞［**CMY100% 濃度**］を選択し、［**有効**］を選択してください。 | - |
| 黒点や白点が現れる。 | 用紙が適していません。 | 推奨紙を使用してください。 | 66 ページ |
| | 約 94 mm 周期の場合は、イメージドラムの緑色の筒の部分に傷または汚れがついています。 | イメージドラムを柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムユニットを交換してください。 | 165 ページ |
| | 原稿ガラス、原稿押さえ板が汚れています。 | 原稿ガラス、原稿押さえ板を清掃してください。 | 176 ページ |

| 症状 | 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 汚れが印刷される。 | 用紙が湿気を含んでいます。 | 新しい用紙と交換してください。 | 68 ページ |
| | 用紙が適していません。 | 推奨紙を使用してください。 | 66 ページ |
| | 原稿ガラス、原稿押さえ板が汚れています。 | 原稿ガラス、原稿押さえ板を清掃してください。 | 176 ページ |
| 用紙全体が黒く印刷される。 | 機器の故障が考えられます。 | お客様相談センターへご連絡ください。 | - |
| 何も印刷されない。 | 一度に複数枚の用紙が搬送されました。 | 用紙をよくさばいてからセットしなおしてください。 | 68 ページ |
| | 機器の故障が考えられます。 | お客様相談センターへご連絡ください。 | - |
| | 原稿を裏表逆にセットしています。 | 正しく原稿をセットしてください。 | 74 ページ |
| 白抜けが起こる。 | 用紙が湿気を含んでいます。 | 新しい用紙と交換してください。 | 68 ページ |
| | 用紙が適していません。 | 推奨紙を使用してください。 | 66 ページ |
| | 原稿ガラスが汚れています。 | 原稿ガラスを清掃してください。 | 176 ページ |
| 全体が汚れる。 | 原稿ガラスが汚れています。 | 原稿ガラスを清掃してください。 | 176 ページ |
| | 両面が印刷されている原稿の裏面が写っています。 | 薄い紙の両面原稿ですと、裏面の原稿内容が透けて、表の原稿に写ってしまうことがあります。濃度を薄くしてください。 | - |
| 周りが汚れる。 | 原稿搬送ローラ、原稿押さえ板が汚れています。 | 原稿搬送ローラ、原稿押さえ板を清掃してください。 | 176 ページ |
| | 原稿サイズより大きな用紙にコピーしています（倍率 100% 時） | 原稿サイズと同じ大きさの用紙を選択します。 | - |
| | 原稿と用紙の向きが違っています。 | 原稿の向きを用紙に合わせてセットします。 | - |
| | 用紙サイズに合った倍率で縮小していません。 | 用紙サイズに合った倍率で縮小してください。 | - |
| 画像が傾く。 | 原稿が正しくセットされていません。 | 正しく原稿をセットしてください。 | 74 ページ |
| | 自動原稿送り装置に適した原稿がセットされていません。 | 自動原稿送り装置部にセット可能な原稿を使用してください。 | 74 ページ |
| | ADF 原稿ガラスに異物があります。 | ADF 原稿ガラスを清掃してください。 | 176 ページ |

## 原稿送り・用紙送りがおかしいとき

メモ

- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。

| 症状 | 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 原稿が出てこない。 | 原稿がつまっています。 | つまった原稿を取り出し、セットしなおしてください。 | 123 ページ |
| 原稿がよくつまる。 | 原稿が適切ではありません。 | 適切な原稿を使用してください。 | 73 ページ |
| | 原稿ガイドの位置がずれています。 | 原稿ガイドを原稿に沿わせてセットしてください。 | 74 ページ |
| | 自動原稿送り装置に紙片が残っています。 | ADF カバーを開けて確認してください。 | 123 ページ |
| | 原稿搬送ローラが汚れています。 | 原稿搬送ローラを清掃してください。 | 176 ページ |

| 症状 | 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ● 紙づまりがよく起きる。<br>● 複数枚同時に引き込まれる。<br>● 斜めに引き込まれる。 | 装置が傾いています。 | 安定した水平な場所に設置してください。 | - |
| | 用紙が薄すぎるか厚すぎます。 | 装置に適した用紙を使用してください。 | 65 ページ |
| | 用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。 | 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 | 67 ページ |
| | 用紙に折り目やシワや反りがあります。 | 装置に適した用紙を使用してください。<br>反りがある場合は修正してください。 | 65 ページ |
| | 裏面が印刷された用紙を使用しています。 | 一度印刷した用紙はトレイ 1 とトレイ 2 からは印刷できません。<br>MP トレイから印刷してください。 | 70 ページ |
| | 用紙がそろっていません。 | 用紙をよくさばき、上下左右をそろえてからセットしてください。 | 68 ページ |
| | 用紙を 1 枚だけセットしています。 | 用紙は複数枚でセットしてください。 | 68 ページ |
| | トレイに用紙が入ったまま追加しています。 | 先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。 | 68 ページ |
| | 用紙がまっすぐにセットされていません。 | トレイ 1 とトレイ 2 の、用紙ガイドと用紙ストッパを用紙に合わせてください。<br>MP トレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。 | 68 ページ |
| | 封筒のセット方向が間違っています。 | 封筒を正しくセットしてください。 | 70 ページ |
| | 用紙の厚さが 177 ～ 220 g/m$^2$ の用紙、封筒、ラベル紙をトレイ 1 とトレイ 2 にセットしています。 | 用紙の厚さが 177 ～ 220 g/m$^2$ の用紙、封筒、ラベル紙は MP トレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。 | 70 ページ<br>73 ページ |
| 用紙が送られない。 | プリントドライバの［**給紙方法**］の選択が間違っています。 | 用紙トレイを確認し、プリンタドライバの［**給紙方法**］で正しいトレイを選択してください。 | - |
| | プリンタドライバで手差しの指定をしています。 | MP トレイに用紙をセットして、操作パネルの［**読取開始**］を選択してください。<br>または、プリンタドライバで MP トレイを手差しとして扱う設定を無効にしてください。 | 70 ページ<br>応用編 |
| つまった用紙を取り除いても復旧しない。 | - | トップカバーをいったん開けて、閉じます。 | - |
| 用紙がまるまってしまう。<br>シワが出る。 | 用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。 | 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。 | 67 ページ |
| | 薄い用紙を使用しています。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**用紙**］＞［(トレイ名)］＞［**用紙厚**］を選択してください。この後、現在の設定より薄い値にしてください。 | 71 ページ |
| 用紙が定着器ユニットのローラに巻きつく。 | 用紙の種類や厚さの設定が不適切です。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**用紙**］＞［(トレイ名)］＞［**用紙種類**］/［**用紙厚**］を適切な値にしてください。<br>または、［**用紙厚**］を現在の設定より厚い値にしてください。 | 71 ページ |
| | 薄い用紙を使用しています。 | より厚手の用紙を使用してください。 | - |
| | 用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。 | 用紙先端部に余白を入れてみてください。<br>両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。 | - |

# 本機のトラブル

メモ

- 以下の説明で問題を解決できない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。

| 症状 | 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源を入れても表示画面に何も表示されない。 | 電源コードが抜けています。 | 電源を切ってから、電源コードをしっかり差し込んでください。 | - |
| | 停電しています。 | コンセントに電気がきているか確認してください。 | - |
| 動作しない。 | 電源コードをしっかりと差し込んでいません。 | 電源コードを確実に差し込んでください。 | - |
| | 電源が入っていません。 | 電源を入れてください。 | 21 ページ |
| 印刷処理を開始しない。 | エラーが表示されています。 | エラーコードを確認し、表示画面の指示に従ってください。 | 130 ページ |
| | イーサネットケーブル /USB ケーブルが差し込まれていません。 | イーサネットケーブル /USB ケーブルを確実に差し込んでください。 | 33 ページ<br>42 ページ |
| | イーサネットケーブル /USB ケーブルに問題があります。 | 別のイーサネットケーブル /USB ケーブルを使用してください。 | - |
| | イーサネットケーブル /USB ケーブルが規格にあっていません。 | ● USB2.0 仕様のケーブルを使用してください。<br>● イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX 仕様のケーブルを使用してください。 | - |
| | 印刷機能に問題がある可能性があります。 | < **設定** > キーを押し、[**レポート印刷**] > [**メニューマップ**] を選択し、メニューマップの印刷を行い印刷性能を確認してください。 | 75 ページ |
| | インタフェースが無効になっています。 | < **設定** > キーを押し、[**管理者設定**] > [**ネットワーク管理**] > [**ネットワーク設定**] を選択してから、使用しているインタフェースを有効にします。 | - |
| | プリンタドライバが選択されていません。 | プリンタドライバを「通常使うプリンタ」に設定してください。 | - |
| | プリンタドライバの出力ポートが間違っています。 | イーサネットケーブル /USB ケーブルを接続する出力ポートを指定してください。 | - |
| 操作パネルの表示画面に何も表示しない。 | 本機がスリープモードです。 | < **節電** > キーが点滅していることを確認し、< **節電** > キーを押して本機を起動します。 | 22 ページ |
| 印刷データが送信されない。 | イーサネットケーブル /USB ケーブルが破損しています。 | 新しいケーブルを接続します。 | - |
| | コンピュータのタイムアウトにかかっています。 | タイムアウトを長く設定してください。 | - |
| 異常音がする。 | 装置が傾いています。 | 安定した水平な場所に設置してください。 | - |
| | 装置内部に紙くずや異物があります。 | 装置内部を点検し、取り除いてください。 | - |
| | トップカバーが開いています。 | トップカバーを閉じてください。 | - |
| 共振音がする。 | 装置内の温度が上昇している状態で、幅狭用紙や厚紙などに印刷をしています。 | 装置の故障ではありません。そのままお使いください。 | - |

| 症状 | 原因 | 対処方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| すぐに印刷を開始しない。 | パワーセーブモードまたはスリープモードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。 | ＜**設定**＞キーを押し、［**管理者設定**］＞［**運用初期設定**］＞［**省電力設定**］＞［**パワーセーブ**］/［**スリープ**］を選択して、両モードを無効にします。 | 22 ページ |
| | イメージドラムユニットのクリーニング動作を行っていることがあります。 | しばらくお待ちください。 | - |
| | 定着器ユニットの温度を調整しています。 | しばらくお待ちください。 | - |
| | ほかのインタフェースからのデータを処理しています。 | 印刷処理が終了するまでお待ちください。 | - |
| ［**濃度**］の設定を変えても印刷結果が変わらない。 | ［**赤･緑･青色調整**］の設定を変更しました。 | ［**濃度**］の設定は、［**赤･緑･青色調整**］の設定に従って自動的に変更されます。印刷結果が期待どおりにならない場合、［**赤･緑･青色調整**］の設定を再度変更してください。 | - |
| 印刷の途中で印刷が止まる。 | 連続印刷などで定着器ユニットの温度が上昇したため、温度を調整しています。 | しばらくお待ちください。<br>定着器ユニットの温度が適切になると、自動的に印刷を再開します。 | - |
| | 長時間の連続印刷などで装置の内部温度が上昇したため、温度を調整しています。 | しばらくお待ちください。<br>本機の温度が適切になると、自動的に印刷を再開します。 | - |
| | カラー印刷やカラーコピー中に、ファクス送信原稿の読み込みやスキャンモードを使用した場合、いったん印刷が停止してから再度印刷が開始されます。MC561dn のみで発生する現象です。 | | - |
| 時計データなどの登録内容が消える。 | 長時間電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用しています。 | バッテリの寿命がきたことが考えられます。お客様相談センターへご連絡ください。 | - |
| メモリ不足になる。 | 複数のアプリケーションを同時に起動しています。 | 使用していないアプリケーションを終了してください。 | - |
| 印刷が遅い。 | 印刷処理をコンピュータ側でも行っています。 | 処理速度の速いコンピュータを使用してください。 | - |
| | プリンタドライバの［**印刷オプション**］タブで［**高精細 ( 多階調 )**］を選択しています。 | プリンタドライバの［**印刷オプション**］タブで、［**きれい (600x1200dpi)**］または［**ふつう (600x600dpi)**］を選択してください。 | - |
| | 印刷データが複雑です。 | 印刷データを簡単にしてください。 | - |
| | ファクス送信原稿の読み込みやスキャンモードを実行中に、カラー印刷やカラーコピーを行った場合、印刷速度が遅くなります。MC561dn のみで発生する現象です。 | | - |
| プリンタドライバの表示がおかしい。(Mac OS X) | プリンタドライバが正しく動作していない可能性があります。 | プリンタドライバをいったん削除したあと、再インストールを行ってください。 | 応用編 |

# 停電のとき

## 本機の動作

停電になった場合、本機は次のように動作します。

| 本機の状態 | 動作 |
|---|---|
| 通話中 | 引き続き通話ができます。 |
| 送信中 | 送信が途中で切れます。<br>停電が復旧したら、<br>● メモリ送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。<br>● リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度原稿をセットして、宛先を指定して送信を開始してください。 |
| 受信中 | 送信が途中で切れます。<br>停電が復旧したら、受信が終了し、メモリに保存されているページは自動的にプリントされます。 |
| コピー中またはリストプリント中 | プリントが途中で止まります。<br>停電が復旧したら、再度印刷してください。 |
| アイドル状態 | コピー、ファクス、スキャン、印刷を開始できません。<br>ファクス受信もできません。 |

注

- 無停電電源（UPS）またはインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバータは使用しないでください。

## 蓄積されたファクスデータ

### ■ メモリバックアップ

メモリに蓄積された画像データは、停電や電源を切ったときでも保持されます。

### ■ 消去通知

メモリに蓄積されたファクスデータが消えてしまった場合は、消去通知が自動的にプリントされます。

消去通知の対象となる原稿種別は次のとおりです。

- F コードボックス原稿
- 代行受信原稿

消去通知では、消去されたデータの次の項目をお知らせします。

- 原稿種別
- F コードボックス番号
- F コードボックス名
- 相手先名
- F コード親展 /F コード掲示板
- 開始時間
- 受信した枚数

メモ

- ファクスを手動受信、F コードポーリング受信、F コード親展受信で受信した場合は、その通信種類もプリントされます。

# 8. メンテナンス

この章では、消耗品の交換、本機の清掃、および本機の移動・輸送の方法について説明します。

## 消耗品を交換する

この節では、消耗品を交換する方法について説明します。

| ⚠警告 | | |
|---|---|---|
| トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。 | トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。 | こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。 |

| ⚠注意 | | |
|---|---|---|
| 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。 | トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。 | トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 |
| トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。 | トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 | トナーを飲み込んだ場合は、はきだしてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。 |
| 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。 | トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。 | 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。 |

注

- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

# トナーカートリッジを交換する

## トナーカートリッジの交換の目安

操作パネルの表示画面に［**%COLOR% トナーが少なくなっています。**］（「%COLOR%」は C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）のいずれかを示す）が表示されたら、新しいトナーカートリッジを用意してください。次のメッセージが表示されるまで、約 200 枚の印刷が可能です。

［**%COLOR% トナーがなくなりました。**］が表示され、印刷が停止したら、トナーカートリッジを交換してください。

シアン（青色）、マゼンタ（赤色）、イエロー（黄色）のトナーカートリッジが寿命になっても、印刷するときにプリンタドライバで［**モノクロ**］または［**グレースケール**］を指定し、モノクロで印刷することもできます。ただし、イメージドラムを傷つける原因となりますので、すみやかに、寿命になったトナーカートリッジを新しいものと交換してください。

トナーカートリッジの印刷可能枚数は、以下のとおりです（A4 片面印刷、印字濃度は工場出荷時の設定、ISO/IEC19798 に準拠）。

スタータトナーカートリッジは製品購入時に添付されているトナーカートリッジです。

- スタータトナーカートリッジのとき

| 種類 | 印刷可能枚数 | |
|---|---|---|
| スタータトナーカートリッジ | C、M、Y、K | 2,000 枚 |

- トナーカートリッジを交換したとき

| 種類 | 印刷可能枚数 | |
|---|---|---|
| トナーカートリッジ（大） | C、M、Y、K | 約 5,000 枚 |
| トナーカートリッジ | K | 約 3,500 枚 |
| | C、M、Y | 約 3,000 枚 |

＊トナーカートリッジ（大）は MC561dn 用です。
MC361dn ではご使用できません。

- イメージドラムユニット交換時、添付トナーカートリッジを使用したとき

| 種類 | 印刷可能枚数 | |
|---|---|---|
| 添付カートリッジ | C、M、Y、K | 約 1,000 枚 |

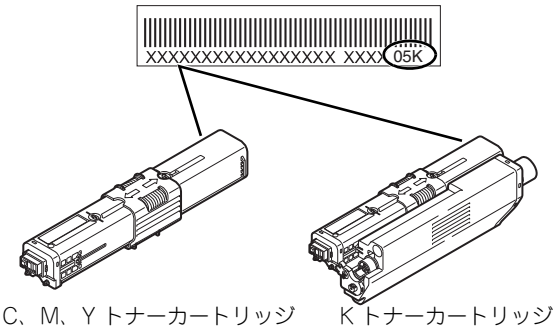
注

- トナーカートリッジの実際の印刷可能枚数は、使用方法により異なります。

### ■ トナーカートリッジの見分けかた

トナーカートリッジに貼ってあるバーコードの下 3 桁で見分けます。

05K： トナーカートリッジ（大）
03K： C、M、Y トナーカートリッジ
35K： K トナーカートリッジ




C、M、Y トナーカートリッジ　K トナーカートリッジ

注

- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- 使用中のトナーカートリッジ / イメージドラムユニットを装置間で入れ替えると、トナー使用量が正常にカウントされなくなります。
- ［**%COLOR% トナーがなくなりました。**］の表示のあとも、トップカバーを開閉することにより、A4、ISO パターンで約 100 枚（約 20 枚を 5 回）印刷することができますが、それ以降の印刷動作ができなくなります。イメージドラムユニットの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。

## 交換手順

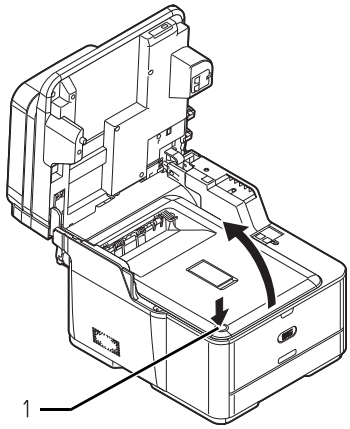
***1*** 新しいトナーカートリッジを準備します。

***2*** スキャナ部を開きます。

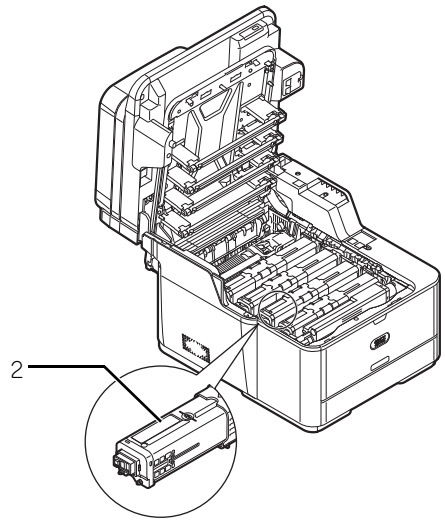
***3*** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

| ⚠注意 | やけどのおそれがあります。 | |
|---|---|---|

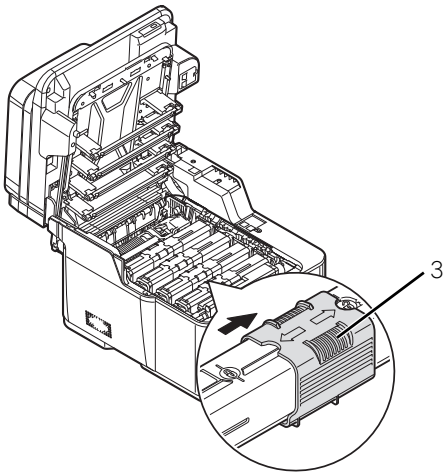
- 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。



***4*** ラベル（2）の色で、交換するトナーカートリッジを確認します。

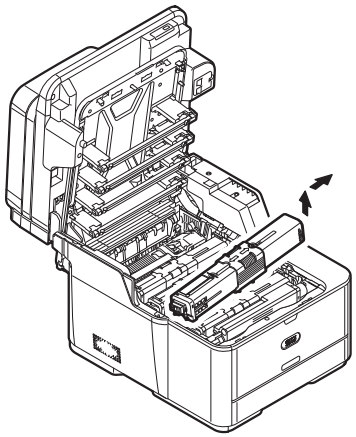



***5*** トナーカートリッジの青いロック（3）を右側にスライドさせ、ロックを解除します。




***6*** トナーカートリッジを右端から持ち上げ、取り出します。

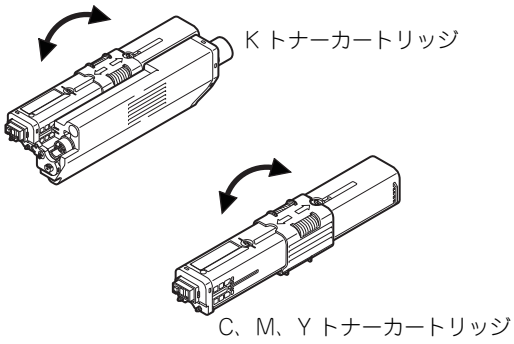
| ⚠警告 | やけどのおそれがあります。 | |
|---|---|---|
| ● 使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。 | | |



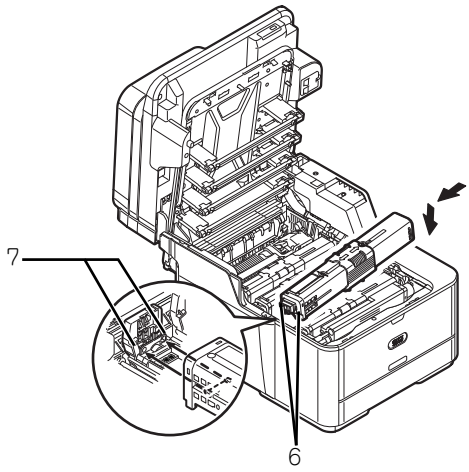
***7*** 新しいトナーカートリッジを開封し、上下左右に数回振ります。

メモ

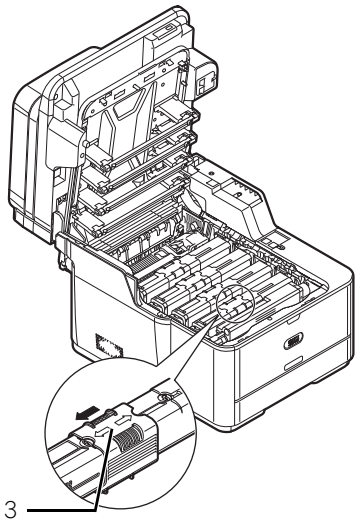
● K トナーカートリッジの形状は、ほかのカートリッジと異なります。



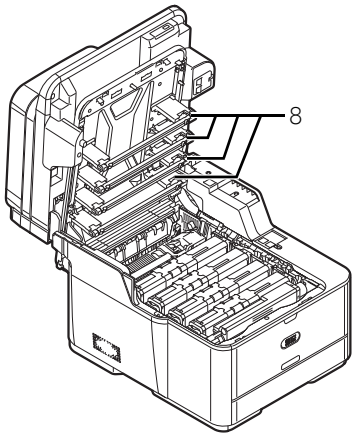

***8*** 新しいトナーカートリッジの色のラベルとイメージドラムユニットの色のラベルの位置が合うように、トナーカートリッジの左端の突起（6）をイメージドラムユニットの穴（7）に合わせて差し込み、右側も確実にセットします。




***9*** トナーカートリッジの青いロック（3）を左側にスライドさせ、ロックします。



***10*** 柔らかいティッシュペーパーで4個のLEDヘッド（8）を拭きます。




***11*** トップカバーを閉じます。

***12*** スキャナ部を閉じます。

参照

- 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（P. 190）を参照してください。

メモ

- やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

# イメージドラムユニットを交換する

## イメージドラムユニットの寿命

操作パネルの表示画面に［**イメージドラムユニットの交換時期です。**］が表示されたら、新しいイメージドラムユニットを用意してください。

そのまま印刷を続けると［**イメージドラムユニットを交換してください。**］を表示して印刷を停止します。

イメージドラムユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙（片面印刷時）で約 20,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に 3 枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。

実際の印刷枚数は、印刷条件によっては上記の目安より更に半分以下になる場合があります。

［**イメージドラムユニットの交換時期です。**］を表示してから［**イメージドラムユニットを交換してください。**］になるまでの目安は、約 250 枚です。（A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合）

それ以上印刷を続けると、強制的に印刷を停止します。

注

- イメージドラムユニットの実際の印刷可能枚数は、使用方法により異なります。印刷条件によっては上記の目安より更に半分以下になります。

注

- ［**イメージドラムユニットを交換してください。**］が表示されたあともトップカバーを開閉するとしばらく印刷を続けることはできますが、故障の原因となりますのでイメージドラムユニットを交換してください。
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムユニットを準備してください。
- ＜**設定**＞キー＞［**管理者設定**］＞［**機器管理**］＞［**システム設定**］＞［**ニアライフ時のステータス**］が、［**無効**］に設定されている場合、［**イメージドラムユニットの交換時期です。**］が表示されません。

## 交換手順

### ■イメージドラムユニットとトナーカートリッジを同時に交換する場合

注

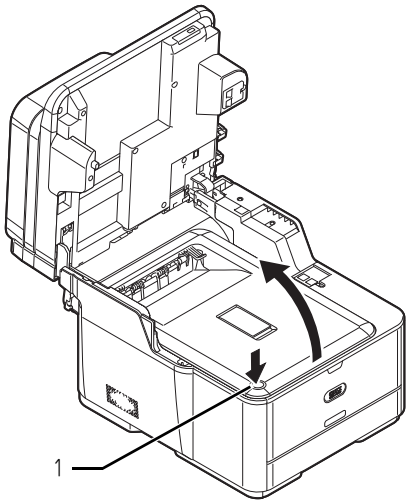
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムユニットは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- イメージドラムユニットには、トナーカートリッジが、各色 1 本づつ添付されています。K（ブラック）トナーカートリッジは、イメージドラムユニットの下に入っています。

***1*** 新しいイメージドラムユニットとトナーカートリッジを準備します。

***2*** スキャナ部を開きます。

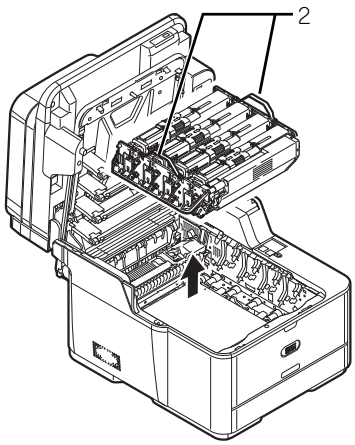
***3*** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

| ⚠注意 | やけどのおそれがあります。 | |
|---|---|---|
| ● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。 | | |

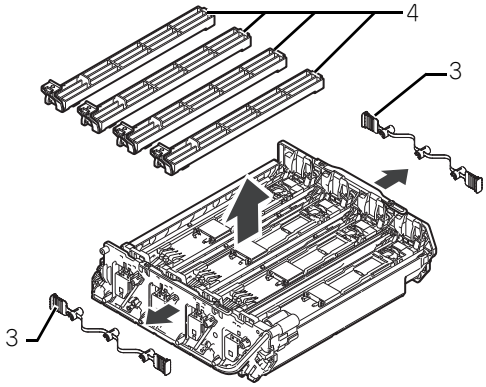



***4*** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機からイメージドラムユニットを取り出します。

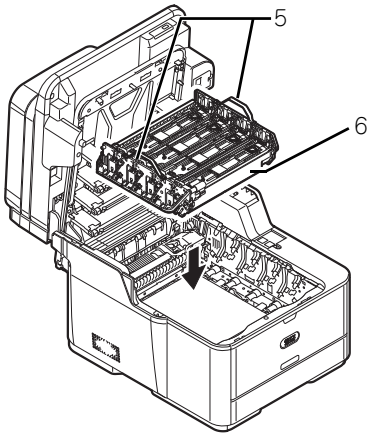
| ⚠警告 | やけどのおそれがあります。 | |
|---|---|---|
| ● 使用済みイメージドラムユニットとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。 | | |




***5*** 新しいイメージドラムユニットを開封し、サイドキャップ２個（3）とトップキャップ４個（4）を外します。




***6*** 新しいイメージドラムユニットの青いハンドル（5）を両手で持ち、Ｋトナーカートリッジの位置（6）が手前になるように本機にセットします。




***7*** 新しいトナーカートリッジ4本をイメージドラムユニットに取り付けます。

参照

● 「トナーカートリッジを交換する」（P. 163）の「交換手順」の手順７～９

***8*** トップカバーを閉じます。

***9*** スキャナ部を閉じます。

参照

● 使用済みイメージドラムユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（P. 190）を参照してください。

メモ

● やむを得ず、使用済みイメージドラムユニットを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

## ■イメージドラムユニットのみを交換する場合

注

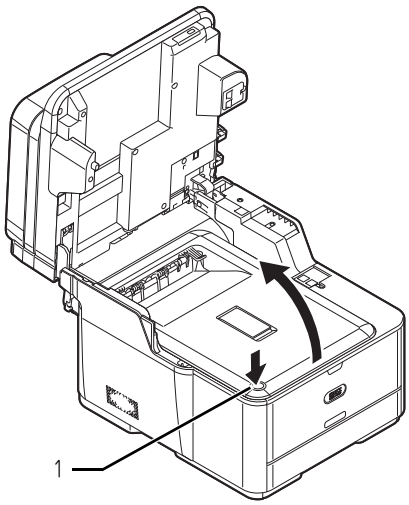
- 今まで使用していたトナーカートリッジを新しいイメージドラムユニットに取り付けて使用すると、それぞれのトナーカートリッジの残量表示は正しく表示されなくなります。
  また、交換後まもなく［**イメージドラムユニットの交換時期です。**］または［**イメージドラムユニットを交換してください。**］になる場合があります。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムユニットは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- イメージドラムユニットには、トナーカートリッジが、各色 1 本づつ添付されています。K（ブラック）トナーカートリッジは、イメージドラムユニットの下に入っています。

***1*** 新しいイメージドラムユニットを準備します。

***2*** スキャナ部を開きます。

***3*** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

| ⚠注意 | やけどのおそれがあります。 | ♨ |
|---|---|---|
| ● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。 | | |



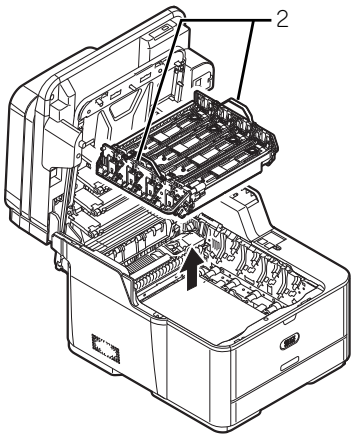

***4*** イメージドラムユニットからトナーカートリッジ 4 本を取り外し、平らな場所に置きます。

参照

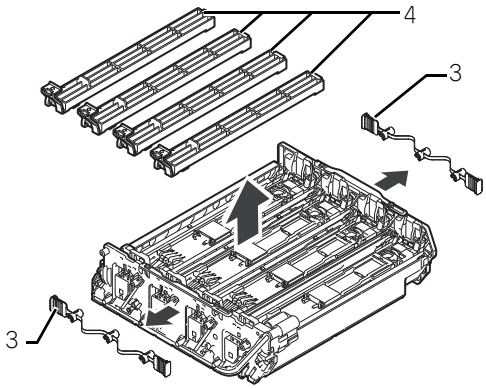
●「トナーカートリッジを交換する」（P. 163）の「交換手順」の手順 5 ～ 6

***5*** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機からイメージドラムユニットを取り出します。

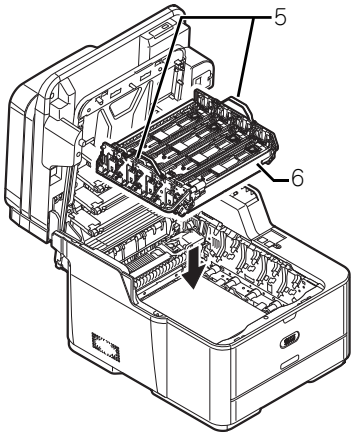
| ⚠警告 | やけどのおそれがあります。 | ♨ |
|---|---|---|
| ● 使用済みイメージドラムユニットとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。 | | |




***6*** 新しいイメージドラムユニットを開封し、サイドキャップ 2 個（3）とトップキャップ 4 個（4）を外します。




***7*** 新しいイメージドラムユニットの青いハンドル（5）を両手で持ち、K トナーカートリッジの位置（6）が手前になるように本機にセットします。



**8** 手順4で取り外したトナーカートリッジ4本をイメージドラムユニットに取り付けます。

参照

●「トナーカートリッジを交換する」（P. 163）の「交換手順」の手順7～9

**9** トップカバーを閉じます。

**10** スキャナ部を閉じます。

参照

● 使用済みイメージドラムユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（P. 190）を参照してください。

メモ

● やむを得ず、使用済みイメージドラムユニットを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

# ベルトユニットを交換する

## ベルトユニットの寿命

操作パネルの表示画面に［**ベルトユニットの交換時期です。**］が表示されたら、新しいベルトユニットを用意してください。次のメッセージが表示されるまで、約750枚の印刷が可能です。

［**ベルトユニットを交換してください。**］が表示されたら、ベルトユニットを交換してください。

ベルトユニットの印刷可能枚数は、約60,000枚です（A4片面印刷で一度に3枚ずつ印刷した場合）。

注

● ベルトユニットの実際の印刷可能枚数は、使用方法により異なります。

注

● ［**ベルトユニットを交換してください。**］が表示されたあとも、トップカバーを開閉するとしばらく印刷を続けることはできますが、故障の原因となりますのでベルトユニットを交換してください。

● ベルトユニットを交換したら、そのまま寿命になるまでお使いください。寿命前に取り外したベルトユニットを他の装置で使用すると、寿命が正しく表示されなくなります。

● ＜**設定**＞キー＞［**管理者設定**］＞［**機器管理**］＞［**システム設定**］＞［**ニアライフ時のステータス**］が、［**無効**］に設定されている場合、［**ベルトユニットの交換時期です。**］が表示されません。

## 交換手順

注

● イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。

● イメージドラムユニットは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

**1** 新しいベルトユニットを準備します。

**2** 本機の電源を切ります。

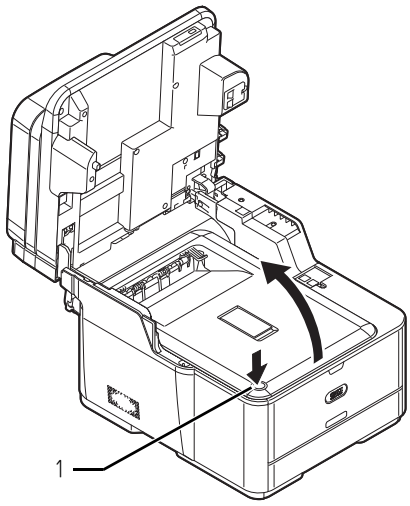
参照

●「電源を切る」（P. 21）

**3** スキャナ部を開きます。

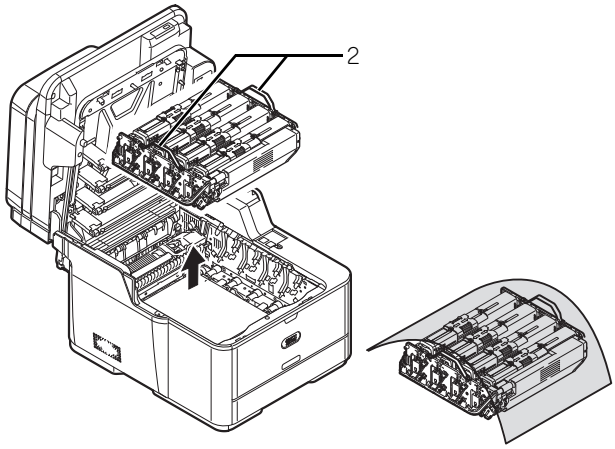
**4** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

| ⚠注意 | やけどのおそれがあります。 | |
|---|---|---|
| ● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。 | | |

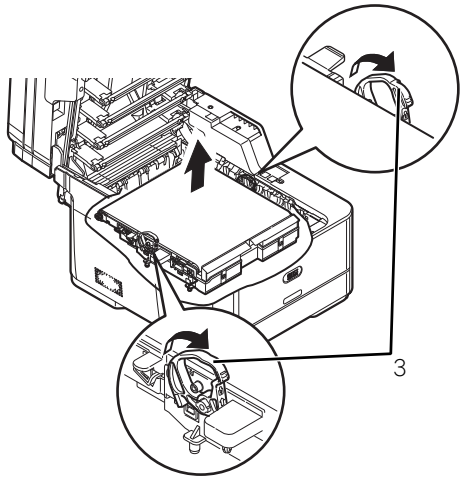



**5** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機から取り出し、平らな場所に置きます。

イメージドラムユニットを黒い紙または黒い袋で覆います。



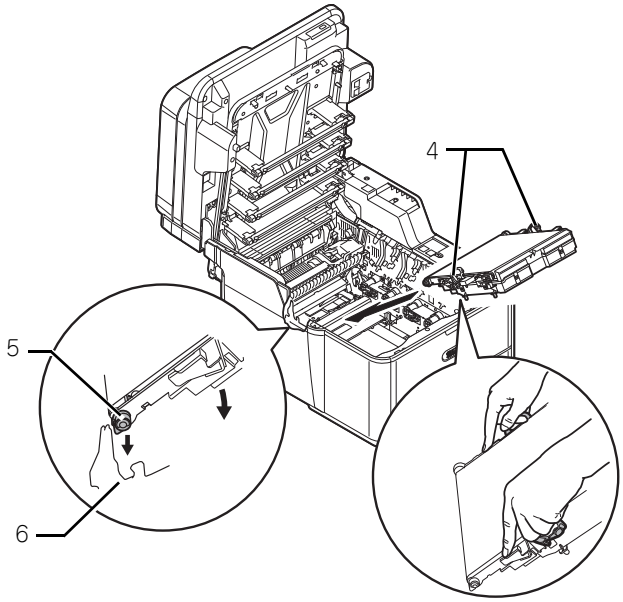
**6** ベルトユニットの両側の青いロックレバー（3）に指を入れ、ロックレバーを手前に起こし、ベルトユニットを取り出します。



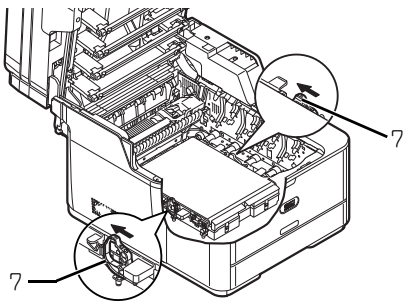

**7** 新しいベルトユニットを開封します。

**8** 新しいベルトユニットの両側の青いロックレバー（4）を両手で持ち、本機にセットします。

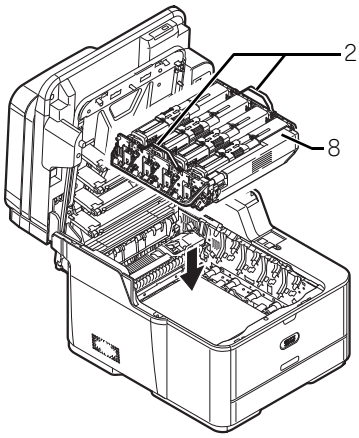
ベルトユニットの左右先端にあるローラ（5）を本機内部の溝（6）に引っかけてから、ベルトユニットの後部をおろします。




**9** 新しいベルトユニットのロックレバー（7）を、奥側に倒します。




**10** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、Kトナーカートリッジ（8）の位置が手前になるように本機に戻します。




**11** トップカバーを閉じます。

**12** スキャナ部を閉じます。

参照

- 使用済みベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（P. 190）を参照してください。

メモ

- やむを得ず、使用済みベルトユニットを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

## 定着器ユニットを交換する

### 定着器ユニットの寿命

操作パネルの表示画面に［**定着器の交換時期です**］が表示されたら、新しい定着器ユニットを用意してください。次のメッセージが表示されるまで、約 750 枚の印刷が可能です。

［**定着器を交換してください**］が表示されたら、定着器ユニットを交換してください。

定着器ユニットの印刷可能枚数は、A4 片面印刷時で最大 60,000 枚です。

注

- 定着器ユニットの実際の印刷可能枚数は、使用方法により異なります。

注

- ［**定着器を交換してください。**］が表示されたあとも、トップカバーを開閉するとしばらく印刷を続けることはできますが、故障や紙づまりの原因となりますので定着器ユニットを交換してください。
- 定着器ユニットを交換したら、そのまま寿命になるまでお使いください。寿命前に取り外した定着器ユニットを他の装置で使用すると、寿命が正しく表示されなくなります。
- ＜**設定**＞キー＞［**管理者設定**］＞［**機器管理**］＞［**システム設定**］＞［**ニアライフ時のステータス**］が、［**無効**］に設定されている場合、［**定着器の交換時期です。**］が表示されません。

## 交換手順

注

- イメージドラムユニットは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。

**1** 新しい定着器ユニットを準備します。

**2** 本機の電源を切ります。

参照

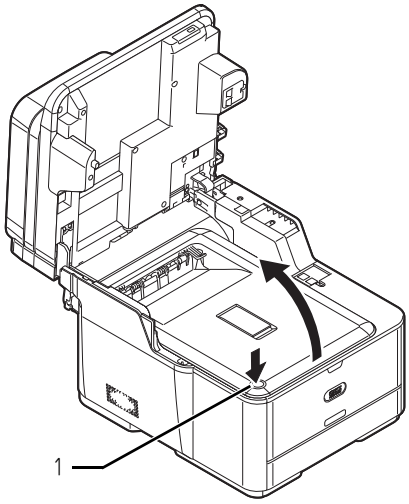
- 「電源を切る」（P. 21）

**3** スキャナ部を開きます。

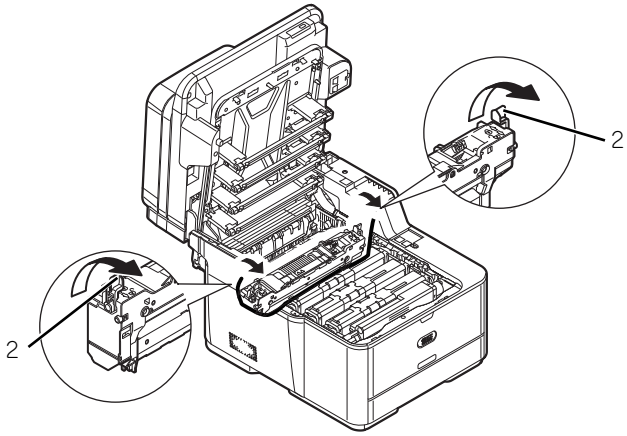
**4** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

| ⚠注意 | やけどのおそれがあります。 | ♨ |
|---|---|---|

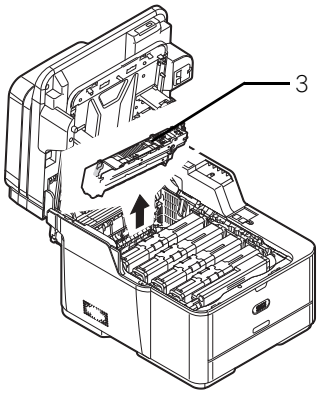
- 定着器ユニットは高温になっていますので、作業は慎重に行い、持ち上げるときは必ずハンドルを持ってください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。




**5** 定着器ユニットの両側の固定レバー（2）を手前に倒し、ロックを解除します。

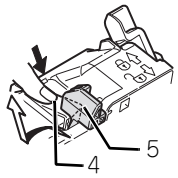



**6** 定着器ユニットのハンドル（3）を持ち、本機から定着器ユニットを取り出します。




**7** 新しい定着器ユニットを開封します。

**8** 新しい定着器ユニットの青いレバー（4）を矢印の方向に押しながら、オレンジ色のストッパリリース（5）を取り外します。

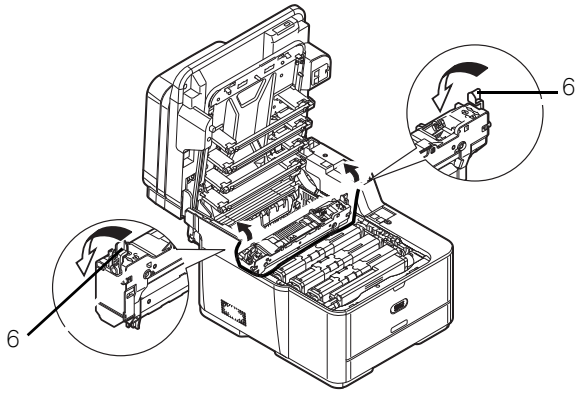



注

- オレンジ色のストッパリリースは保管してください。本機を輸送するときに必要になります。

**9** 新しい定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットを本機にセットします。

**10** 定着器ユニットの両側の固定レバー（6）を奥側に倒し、ロックします。




**11** トップカバーを閉じます。

**12** スキャナ部を閉じます。

参照

- 使用済み定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（P. 190）を参照してください。

メモ

- やむを得ず、使用済み定着器ユニットを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

# 給紙ローラを交換する

## 給紙ローラの寿命

給紙ローラの交換の目安は、各トレイとも約 120,000 枚です。

メモ

- 給紙ローラの実際の寿命は、環境や用紙によって異なります。

## 交換手順（トレイ 1）

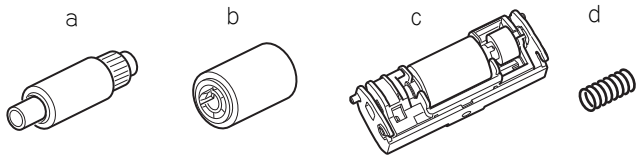
***1*** トレイ 1 用の給紙ローラセットに、以下の部品がそろっていることを確認します。

a) 給紙ローラ（ギヤ付）

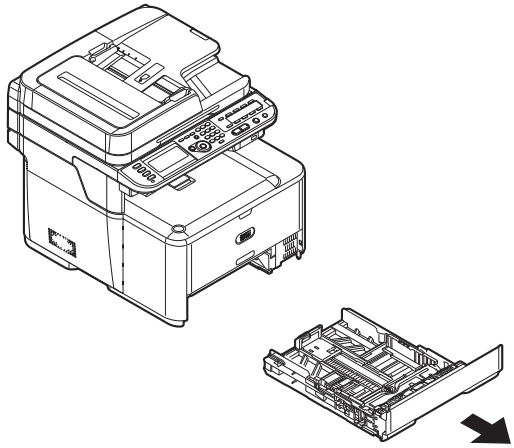
b) 給紙ローラ（ギヤなし）

c) 分離ローラ

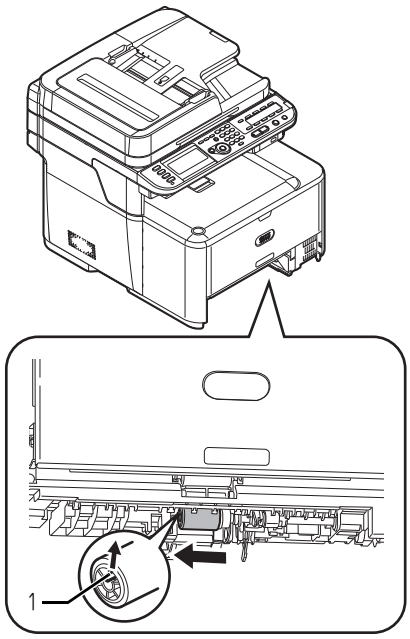
d) バネ



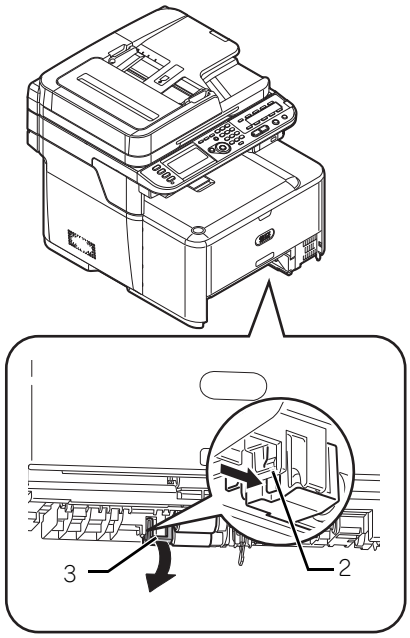

***2*** トレイ 1 を引き抜きます。



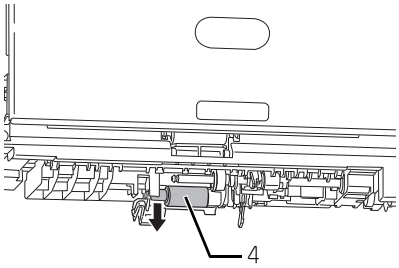
***3*** 手前の給紙ローラの爪（1）を外側に広げながら、手前の給紙ローラを左にスライドさせて、取り外します。



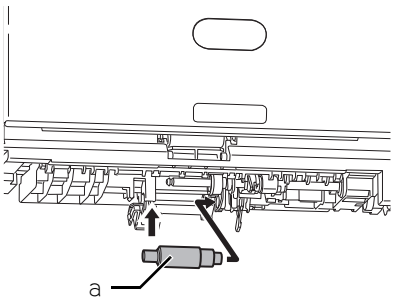

***4*** 奥の給紙ローラの左側にある黒いカバーの爪（2）を押して、黒いカバー（3）を下に開きます。



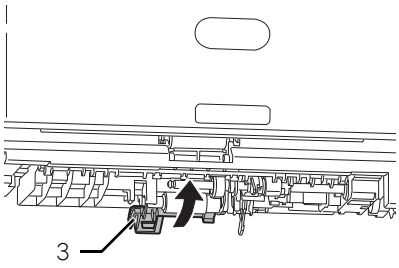
***5*** 奥の給紙ローラ（4）を取り外します。



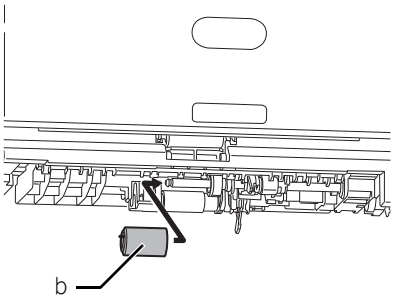

***6*** 新しい給紙ローラ（ギヤ付）（a）を取り付けます。




***7*** 黒いカバー（3）を閉じます。

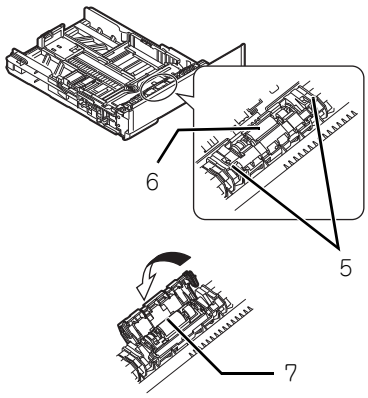



***8*** 新しい給紙ローラ（ギヤなし）（b）を取り付けます。




***9*** トレイ 1 から用紙を取り出します。

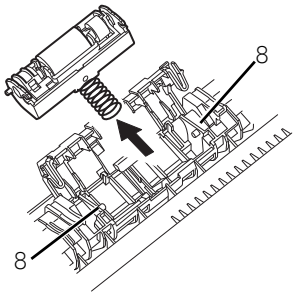
***10*** トレイ 1 の手前側の 2 つの爪（5）を内側に押しながら、分離ローラ（6）のカバー（7）を開きます。



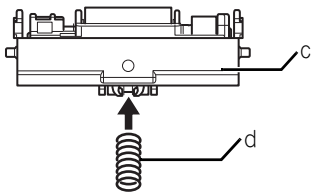




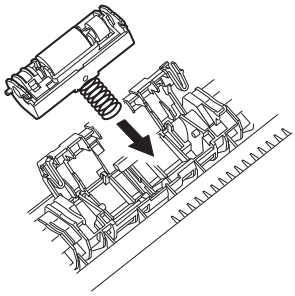
***11*** 分離ローラの、トレイ 1 の左右の突起（8）にはまっている部分を内側に押し、分離ローラとバネを取り外します。



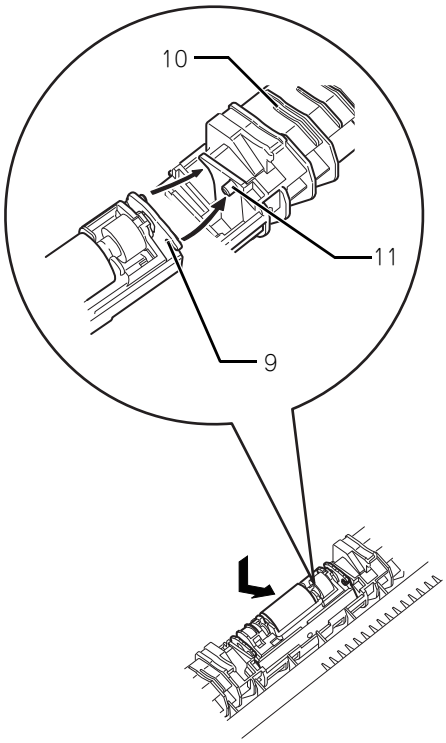

***12*** 新しい分離ローラ（c）に新しいバネ（d）を取り付けます。



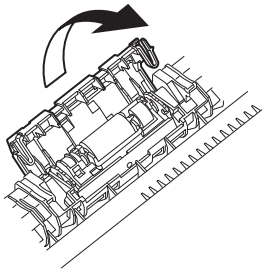

***13*** バネをトレイ 1 にセットし、分離ローラをトレイ 1 に押し込みます。



***14*** 分離ローラの両側のくぼみ（9）をトレイ 1（10）の突起（11）にはめ込みます。




***15*** カバーを閉じます。



***16*** トレイ 1 に用紙をセットし、トレイ 1 を本機に戻します。

## 交換手順（トレイ 2）

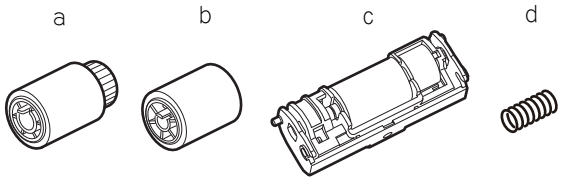
***1*** トレイ 2 用の給紙ローラセットに、以下の部品がそろっていることを確認します。

a) 給紙ローラ（ギヤ付）

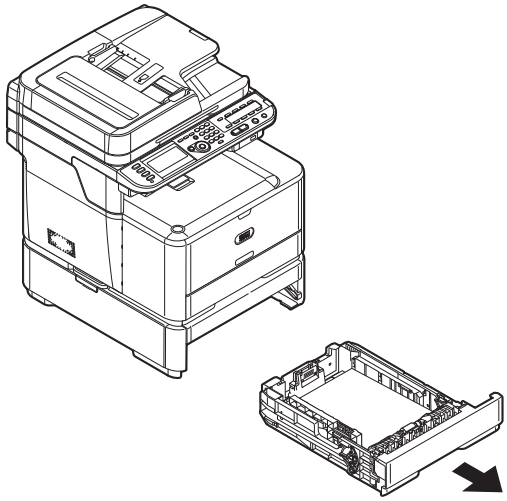
b) 給紙ローラ（ギヤなし）

c) 分離ローラ

d) バネ

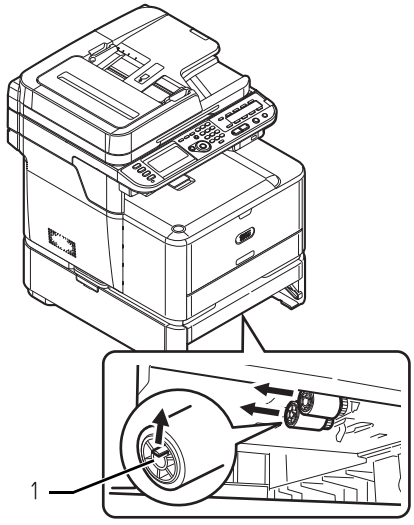



***2*** トレイ 2 を引き抜き、用紙を取り出します。



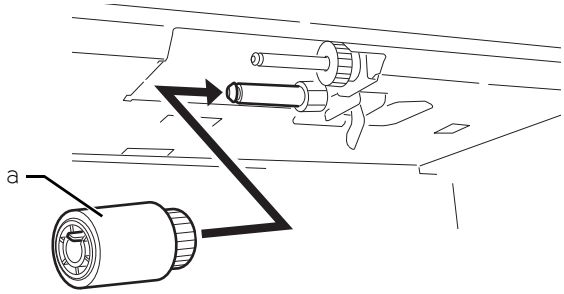
***3*** 給紙ローラの爪（1）を外側に広げながら、給紙ローラを左にスライドさせ、取り外します。

2 個とも外します。



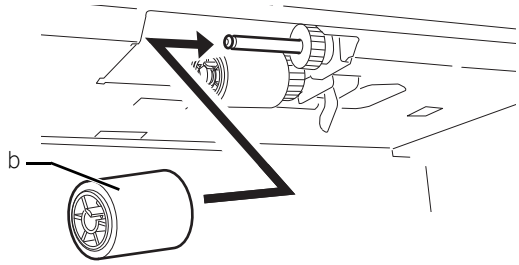
***4*** 新しい給紙ローラ（ギヤ付）（a）を奥側の軸にさし、給紙ローラを回しながら奥までしっかり差し込みます。

給紙ローラが抜けないか確認します。

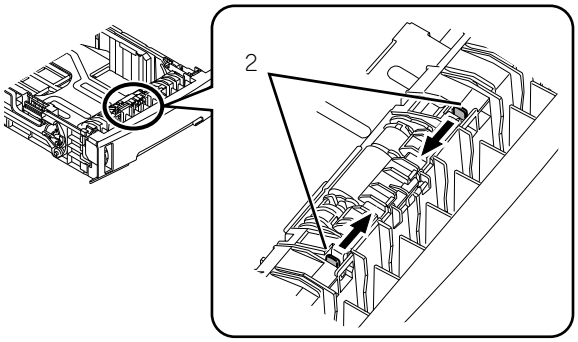


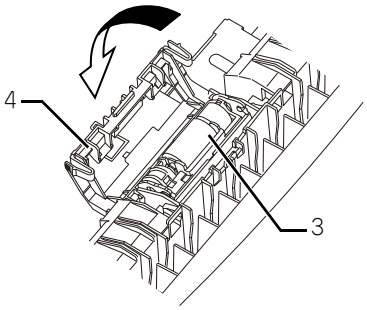

***5*** 新しい給紙ローラ（ギヤなし）（b）を手前側の軸にさし、給紙ローラを回しながら奥までしっかり差し込みます。

給紙ローラが抜けないか確認します。

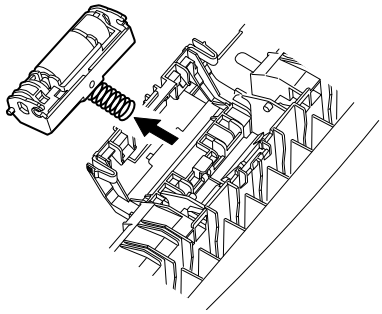



***6*** トレイ 2 の両側の爪（2）を内側に押し、分離ローラ（3）のカバー（4）を開けます。

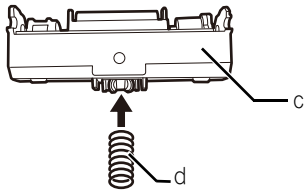


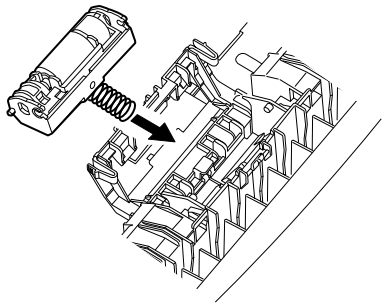

***7*** 分離ローラを斜め下方向に押し出し、取り外します。



***8*** 新しい分離ローラ（c）に新しいバネ（d）を取り付けます。

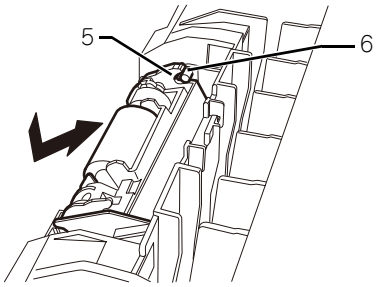



***9*** 分離ローラのバネをトレイ 2 に押し込みます。

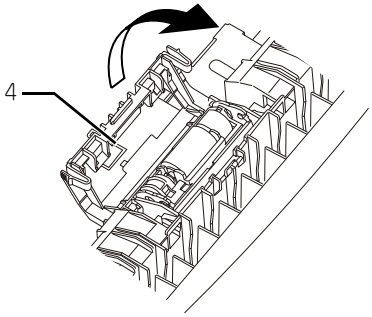


***10*** 分離ローラの両側のくぼみ（5）とトレイ 2 の突起（6）の位置を合わせます。

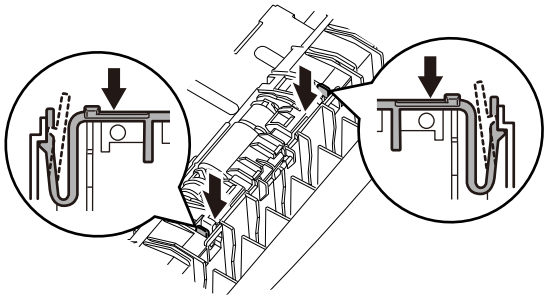
ここではまだ、突起をくぼみにはめ込みません。




***11*** カバー（4）を閉じます。



**12** トレイ 2 の 2 つの爪の周辺を押し、爪が確実に用紙カセットに引っかかっていることを確認します。



**13** 分離ローラを押し、上下に動くことを確認します。

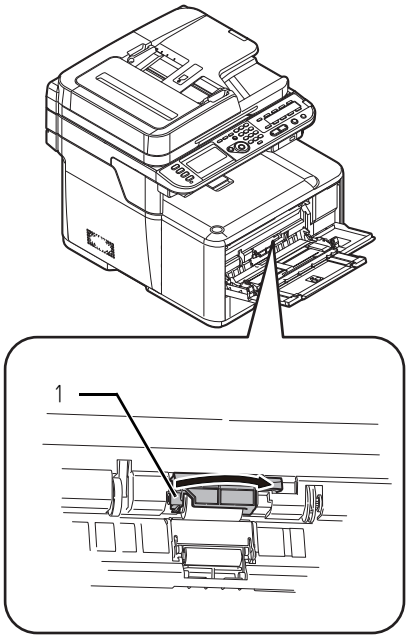
**14** トレイ 2 に用紙をセットし、トレイ 2 を本機に戻します。

## 交換手順（MP トレイ）

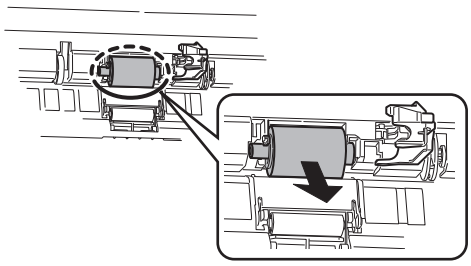
**1** MP トレイ用の給紙ローラを準備します。

**2** MP トレイを開きます。

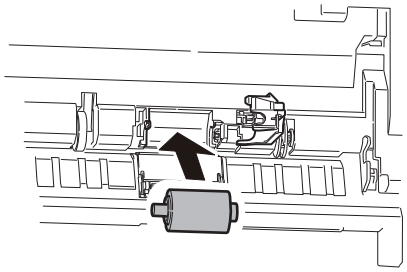
**3** 給紙ローラカバーの爪（1）を右側に押しながら、カバーを開きます。



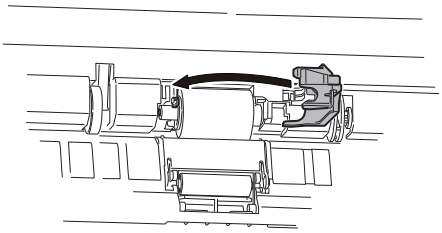

**4** 給紙ローラを手前に転がし、取り外します。



**5** 新しい給紙ローラを取り付けます。



**6** 給紙ローラカバーを閉じます。



**7** MP トレイを閉じます。

# 本機のお手入れ

この節では、本機の各部の清掃方法について説明します。

## 本機の表面を清掃する

注

- ベンジン、シンナー、アルコールは使用しないでください。本機のプラスチック部分を傷める場合があります。
- 本機に注油しないでください。

***1*** 本機の電源を切ります。

参照

●「電源を切る」(P. 21)

***2*** 本機の表面を、水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で拭きます。

***3*** 本機の表面を、乾燥した柔らかい布で拭きます。

## 原稿ガラスを清掃する

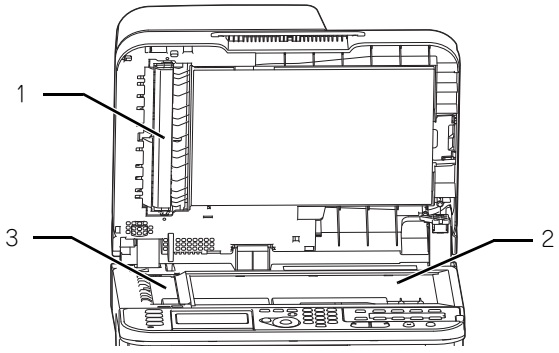
印刷の品質を維持するために、原稿ガラスを 1 か月に一度清掃してください。

注

- ベンジン、シンナー、アルコールは使用しないでください。本機のプラスチック部分を傷める場合があります。

***1*** 原稿ガラスカバーを開きます。

***2*** ADF 原稿押さえ板（1）、原稿ガラス（2）、ADF 原稿ガラス（3）の表面を、水を含ませてかたく絞った布で軽く拭きます。




***3*** 原稿ガラスカバーを閉じます。

メモ

- 原稿ガラス表面と原稿押さえ板の汚れがひどい場合、中性洗剤を含ませてかたく絞った布で軽く拭き、水を含ませてかたく絞った布で再度拭きます。

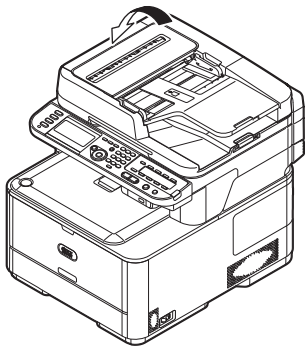
## 自動原稿送り装置（ADF）の原稿搬送ローラを清掃する

自動原稿送り装置の原稿搬送ローラがインク、トナー粒子、紙くずで汚れている場合、原稿と出力紙が汚れ、紙づまりが発生する場合があります。これを防ぐために、1 か月に一度、原稿搬送ローラを清掃することをおすすめします。

注

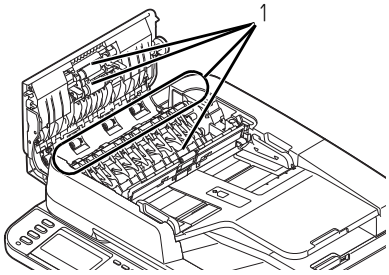
- ベンジン、シンナー、アルコールを使用しないでください。本機のプラスチック部分を傷める場合があります。

***1*** ADF カバーを開きます。



***2*** 原稿搬送ローラ（1）を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

原稿搬送ローラの表面全体を、手で回しながら拭きます。




***3*** ADF カバーを閉じます。

メモ

- 原稿搬送ローラの汚れがひどい場合、中性洗剤を含ませてかたく絞った布で拭き、水を含ませてかたく絞った布で再度拭きます。

## 給紙ローラを清掃する

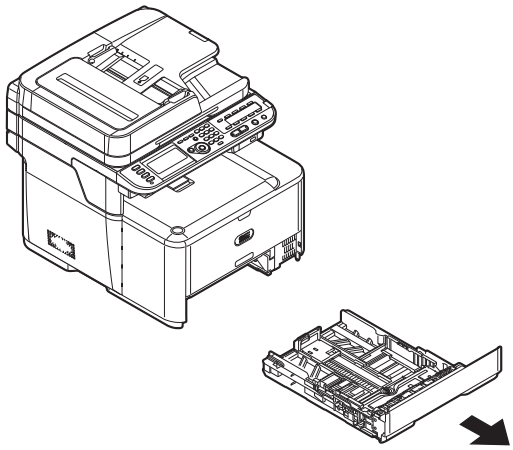
紙づまりが頻繁に発生する場合、給紙ローラを清掃してください。

### トレイ 1 とトレイ 2

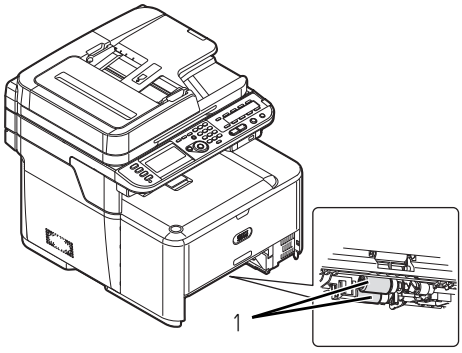
メモ

- 次の手順ではトレイ 1 を例にしていますが、トレイ 2 にも同じ手順があてはまります。

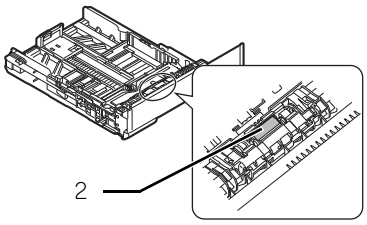
***1*** トレイを引き出します。



***2*** 本機内部の給紙ローラ 2 個（1）を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。



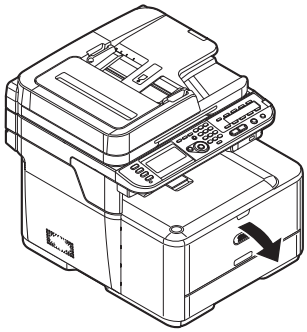

***3*** トレイの給紙ローラ（2）を水を含ませてかたく絞った布で拭きます。



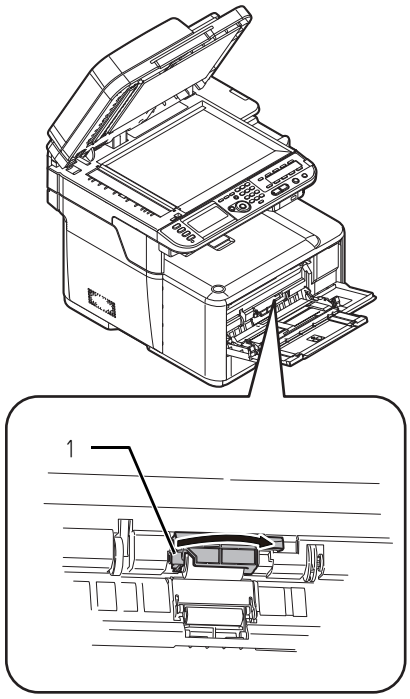

***4*** トレイを本機に戻します。

### MP トレイ

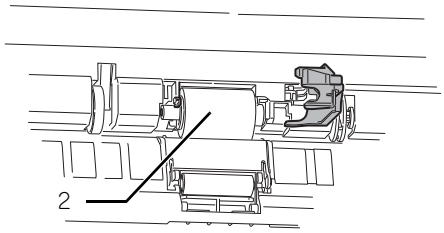
***1*** MP トレイを開きます。



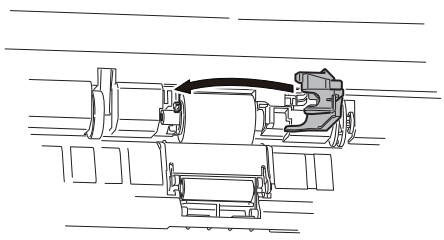
***2*** 給紙ローラカバーの爪（1）を右側に押しながら、カバーを開きます。




***3*** 給紙ローラ（2）を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。




***4*** 給紙ローラカバーを閉じます。



***5*** MP トレイを閉じます。

## LED ヘッドを清掃する

出力紙に縦に白い線が入る場合、画像が縦に消える場合、または文字の周囲がにじむ場合、LED ヘッドを清掃してください。LED ヘッドが汚れている場合、紙づまりの原因になります。

注

- メチルアルコールまたはシンナーを使用しないでください。LED ヘッドを傷める場合があります。
- イメージドラムユニットは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。

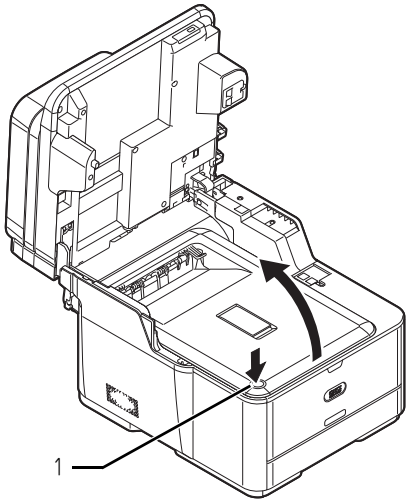
***1*** 本機の電源を切ります。

参照
- 「電源を切る」（P. 21）

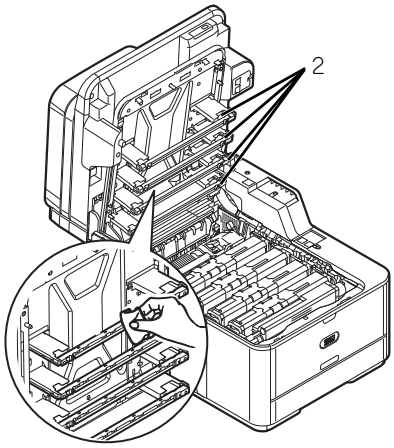
***2*** スキャナ部を開きます。

***3*** トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

| ⚠注意 | やけどのおそれがあります。 | |
|---|---|---|
| ● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。 | | |




***4*** 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面（2）を軽く拭きます。




***5*** トップカバーを閉じます。

***6*** スキャナ部を閉じます。

# 本機を移動・輸送する

この節では、本機を移動または搬送する方法について説明します。

## 本機を移動する

| ⚠注意 | ケガをするおそれがあります。 | ⚠ |
|---|---|---|
| ● 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。 | | |

*1* 本機の電源を切ります。

参照
●「電源を切る」(P. 21)

*2* すべてのケーブルを取り外します。

- 電源ケーブルとアース線
- イーサネットケーブル /USB ケーブル
- 電話線ケーブル

*3* 用紙トレイから用紙を取り除きます。

*4* 本機を持ち上げ、移動先に移動します。

## 本機を輸送する

| ⚠注意 | ケガをするおそれがあります。 | ⚠ |
|---|---|---|
| ● 本機は、重量が約 29 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。 | | |

| ⚠注意 | やけどのおそれがあります。 | ♨ |
|---|---|---|
| ● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。 | | |

注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムユニットは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。

*1* 本機の電源を切ります。

参照
●「電源を切る」(P. 21)

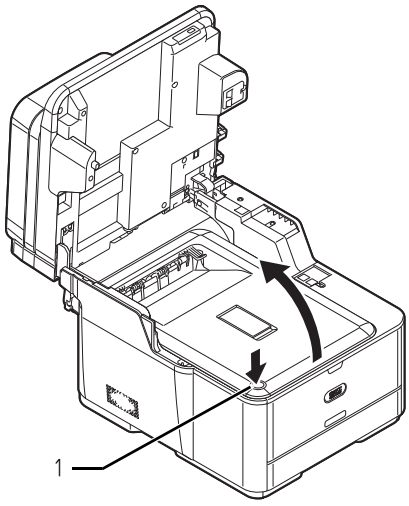
*2* すべてのケーブルを取り外します。

- 電源ケーブルとアース線
- イーサネットケーブル /USB ケーブル
- 電話線ケーブル

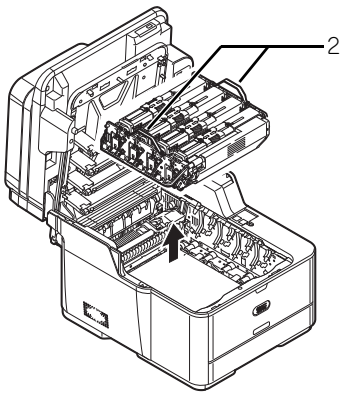
*3* 用紙トレイから用紙を取り除きます。

*4* スキャナ部を開きます。

*5* トップカバーオープンボタン（1）を押し、トップカバーを開きます。

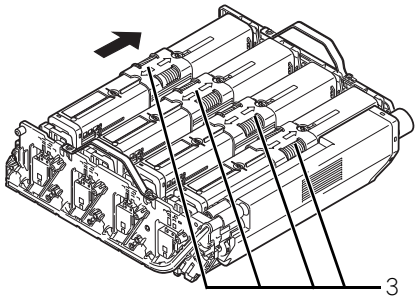



*6* イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、本機から取り出し、平らな場所に置きます。

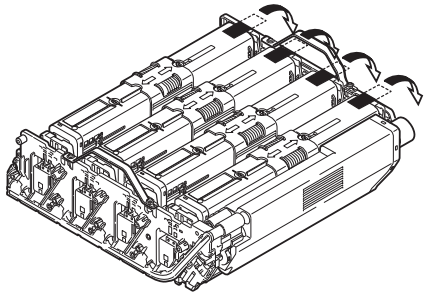



*7* トナーカートリッジの青いロック（3）を右側にスライドさせ、ロックを解除します。

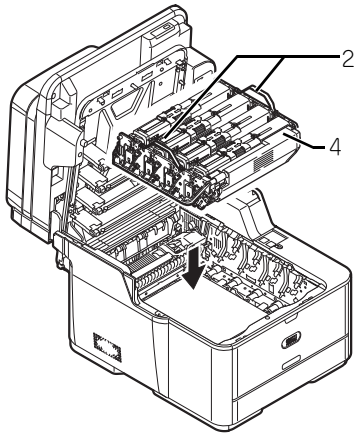
4 本のトナーカートリッジすべてのロックをスライドさせてください。



***8*** トナーカートリッジ 4 本を、イメージドラムユニットにビニールテープで固定します。



***9*** イメージドラムユニットの青いハンドル（2）を両手で持ち、K トナーカートリッジ（4）の位置が手前になるように本機に戻します。

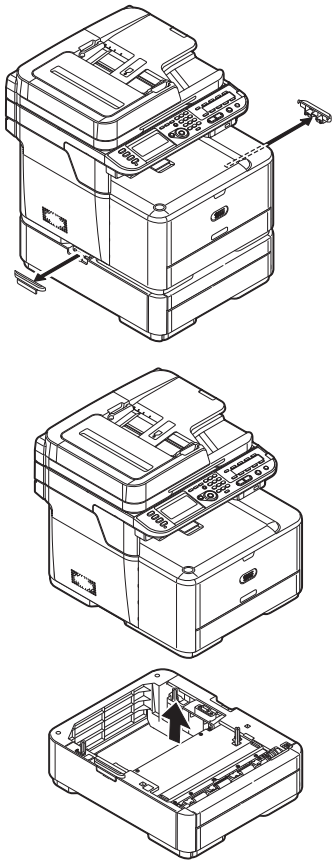



***10*** トップカバーを閉じます。

***11*** スキャナ部を閉じます。

***12*** オプションのセカンドトレイユニットを取り付けている場合は、本機から取り外します。

ロックピースを取り外し、本機を持ち上げ、セカンドトレイユニットを取り外します。



***13*** 本機に緩衝材を取り付けます。

***14*** 本機を持ち上げ、梱包箱に入れます。

注

- 製品購入時に本機についていた梱包箱と緩衝材を使用してください。
- 本機を輸送後、再度設置するときには、イメージドラムユニットとトナーカートリッジを固定したビニールテープをはがしてください。

# 9. 付録

この章には、本機の仕様と、消耗品およびオプションの構成部品に関する情報を記載します。

## 仕様

| 機種 | 型式 |
|---|---|
| MC361dn | N34306C |
| MC561dn | N34307C |

### ■一般仕様

| | | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|---|
| CPU | | ●プリンタコントローラ<br>PowerPC464、532 MHz<br>●スキャナコントローラ<br>ARM9、264 MHz | |
| メモリ | 内蔵 | ●プリンタコントローラ<br>256 MB<br>●スキャナコントローラ<br>128 MB | |
| | オプション | 256 MB/512 MB | |
| フラッシュROM | プリンタコントローラ | NAND：128 MB<br>NOR：2 MB<br>シリアル NOR：512 KB | |
| | スキャナコントローラ | NAND：64 MB （ファクス：4 MB）<br>SPI：8 MB | |
| ストレージデバイス | | - | SD メモリーカード<br>●内蔵<br>4 GB<br>●オプション<br>16 GB |
| 重量 | | 29 kg（消耗品を含む） | |
| 寸法 | | 427(W) x 509(D) x 444(H) mm | |
| 電源 | | AC100 V ± 10%、50/60 Hz ± 2% | |
| 消費電力 | | ●標準動作時<br>MC361dn：500 W<br>MC561dn：570 W<br>●待機時<br>MC361dn/MC561dn：100 W<br>●ピーク時<br>MC361dn/MC561dn：1170 W<br>●スリープモード時<br>MC361dn/MC561dn：1.5 W 未満<br>●パワーセーブモード時<br>MC361dn/MC561dn：20 W 未満 | |
| 使用環境条件 | | ●動作時<br>温度：10°C ～ 32°C、湿度：20% ～ 80% RH<br>●停止時<br>温度：0°C ～ 43°C、湿度：10% ～ 90% RH | |
| インタフェース | | USB 2.0 (Hi-Speed)、Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX | |
| 表示画面 | | グラフィック LCD パネル、84.1(W) x 33.6(H) mm、320 x 128 ドット | |

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| 対応 OS | ● Windows 7 日本語版、Windows Vista 日本語版、Windows Server 2008 R2 日本語版、Windows Server 2008 日本語版、Windows XP 日本語版、Windows Server 2003 日本語版、Windows 2000 日本語版<br>● Mac OS X 10.3.9 ～ 10.6 日本語版<br>詳しくは動作環境をご覧ください。 | |

## ■コピー部仕様

| | | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|---|
| 原稿サイズ | ADF | A6 ⏍、B5 ⏍、A5 ⏍、A4 ⏍、レター ⏍、リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、エグゼクティブ ⏍ | |
| | 原稿ガラス | A6 ⏍、B5 ⏍、A5 ⏍、A4 ⏍、レター ⏍、エグゼクティブ ⏍ | |
| ファーストコピータイム | カラー | 17 秒（原稿ガラス、高解像度）<br>14 秒（原稿ガラス、標準解像度） | |
| | モノクロ | 12 秒（原稿ガラス、高解像度） | |
| 部数 | | 最大 99 部 | |

## ■ファクス部仕様

| | | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|---|
| 互換性 | | ITU-T G3/Super G3 | |
| 圧縮方式 | | MH、MR、MMR、JBIG | |
| 通信速度 | | 最大 33.6 Kbps | |
| 適用回線 | | PSTN、PBX 回線 | |
| 回線接続方式 | | RJ11 x 2 (Line/TEL) | |
| 原稿サイズ | ADF | A4、レター、リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ | |
| | 原稿ガラス | A4、レター | |
| 伝送速度 | | 3 秒 / ページ（ITU-T、MMR、200 x 100 dpi） | |
| 蓄積原稿メモリサイズ | | 4 MB | |
| 蓄積原稿 | | 最大 200 ページ（ITU-T、MMR、200 x 100 dpi） | |
| 解像度 | | ● 標準<br>8 x 3.85 ライン /mm<br>● 高画質<br>8 x 7.7 ライン /mm<br>● 写真<br>8 x 7.7 ライン /mm<br>● 超高画質<br>8 x 15.4 ライン /mm | |

## ■PC ファクス仕様

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| モデム | EIA-592 Class 2 拡張 AT コマンド | |
| インタフェース | USB 2.0 (Hi-Speed)、Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX | |
| 対応 OS | Windows 7 日本語版、Windows Vista 日本語版、Windows Server 2008 R2 日本語版、Windows Server 2008 日本語版、Windows XP 日本語版、Windows Server 2003 日本語版、Windows 2000 日本語版 | |

## ■インターネットファクス仕様

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| 通信プロトコル | SMTP、POP3、MIME | |
| ファイル形式 | TIFF | |

## ■スキャナ部仕様

| | | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|---|
| スキャナタイプ | | 自動原稿送り装置（ADF）付きフラットベッドスキャナ | |
| 画像センサ | | カラー CIS | |
| 光源 | | LED | |
| 原稿厚さ | ADF | 60 ～ 105 g/m$^2$（16 ～ 28 lb）：片面原稿、60 ～ 90 g/m$^2$（16 ～ 24 lb）：両面原稿 | |
| | 原稿ガラス | 20 mm | |
| ADF 原稿容量 | | 50 枚 (80 g/m$^2$) | |
| 読み取り領域 | ADF | 105 x 148 ～ 215.9 x 355.6 mm (4.13 x 5.8 ～ 8.5 x 14 インチ ) | |
| | 原稿ガラス | 105 x 148 ～ 215.9 x 296.9 mm (4.13 x 5.8 ～ 8.5 x 11.69 インチ ) | |
| 読み取り速度 | カラー | 約 3 秒 / ページ（A4、300 x 300 dpi、原稿ガラス /ADF、片面印刷） | |
| | モノクロ | 約 2 秒 / ページ（A4、300 x 300 dpi、原稿ガラス /ADF、片面印刷） | |

## ■スキャン To メール仕様

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| 通信プロトコル | SMTP、POP3、MIME | |
| ファイル形式 | PDF（暗号化に対応）、M-TIFF（RAW/G3/G4 圧縮）、JPEG（JFIF）（カラー / グレースケールのみ）、XPS | |
| メールサーバ認証 | SMTP-AUTH、POP3 | |
| 対応メールサーバアプリケーション | Lotus Domino メールサーバー 5.0、Microsoft Exchange 2000 Server、Red Hat Linux 7.0 Sendmail | |
| 対応 LDAP サーバ | Windows Server 2008 Active Directory、Windows Server 2003 Active Directory、Windows 2000 Server Active Directory、Lotus Notes/Domino 7.0 | |
| 対応メールアプリケーション | Microsoft Office Outlook 2000、Microsoft Outlook Express 5.0/6.0、Windows メール（Windows Vista）、Windows Live メール、Mail（Mac 内蔵アプリケーション）、Lotus Notes/Domino R5 | |

## ■スキャン To ネットワーク PC 仕様

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| 通信プロトコル | FTP、HTTP、CIFS | |
| ファイル形式 | PDF（暗号化に対応）、M-TIFF（RAW/G3/G4 圧縮）、JPEG（JFIF）（カラー / グレースケールのみ）、XPS | |

## ■スキャン To USB メモリ仕様

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| 接続インタフェース | USB2.0 Host IF | |
| 対応ファイルシステム | FAT12、FAT（FAT16）、FAT32 | |
| ファイル形式 | PDF（暗号化に対応）、M-TIFF（RAW/G3/G4 圧縮）、JPEG（JFIF）（カラー / グレースケールのみ）、XPS | |

## ■ スキャン To ローカル PC 仕様

| | | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|---|
| 通信プロトコル | Windows | TWAIN、WIA | |
| | Mac OS X | TWAIN、ICA | |
| ファイル形式 | | PDF、TIFF、JPEG、BMP、PCX、GIF、TGA、PNG、WMF、EMF | |

## ■ 印刷部仕様

| | | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|---|
| 印刷方式 | | LED（発光ダイオード）を露光光源とする乾式電子写真記録方式 | |
| 印刷言語 | | PCL6（XL3.0、PCL5c）、PostScript 3 | |
| 内蔵フォント | | PCL：欧文 86 書体、日本語 2 書体<br>PS：欧文 80 書体、日本語 2 書体 | |
| 解像度 | | 600 x 600 dpi、600 x 1200 dpi、600 x 600 dpi 2bit | |
| 印刷色 | | イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック | |
| 印刷速度（A4） | | ● カラー<br>片面印刷：22 ppm<br>両面印刷：12 ppm<br>● モノクロ<br>片面印刷：24 ppm<br>両面印刷：13 ppm<br>● 600 x 600 x 2 bit<br>22 ppm | ● カラー<br>片面印刷：26 ppm<br>両面印刷：14 ppm<br>● モノクロ<br>片面印刷：30 ppm<br>両面印刷：16 ppm<br>● 600 x 600 x 2 bit<br>22 ppm |
| ファーストプリントタイム | 待機時 | ● カラー<br>9 秒<br>● モノクロ<br>8.5 秒 | ● カラー<br>8 秒<br>● モノクロ<br>7.5 秒 |
| | パワーセーブモード時 | 41 秒未満 | 40 秒未満 |
| 用紙サイズ | トレイ 1 | リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、レター、エグゼクティブ、A4、A5、B5、A6、16K（197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm）、はがき | |
| | トレイ 2（オプション） | リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、レター、エグゼクティブ、A4、A5、B5、16K（197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm） | |
| | MP トレイ | リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、レター、エグゼクティブ、A4、A5、B5、A6、C5、DL、Com-9、Com-10、Monarch、インデックスカード（3 x 5 インチ）、Photo サイズ（4 x 6 インチ /5 x 7 インチ）、カスタムサイズ、バナー（最大 52 インチ）、16K（197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm）、はがき、往復はがき、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 4 号封筒、A4 形封筒 | |
| | 両面印刷 | リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、レター、エグゼクティブ、A4、A5、B5、16K（197 x 273 mm、195 x 270 mm、184 x 260 mm）、カスタムサイズ | |
| | カスタムサイズ | ● トレイ 1<br>105 x 148 ～ 216 x 356 mm（4.1 x 5.8 ～ 8.5 x 14 インチ）<br>● トレイ 2（オプション）<br>148 x 210 ～ 216 x 356 mm（5.8 x 8.3 ～ 8.5 x 14 インチ）<br>● MP トレイ<br>64 x 127 ～ 216 x 1321 mm（2.5 x 5 ～ 8.5 x 52 インチ） | |
| 用紙種類 | | 普通紙（64 g/m$^2$（連量 55 kg）～ 220 g/m$^2$（連量 151 kg））、郵便はがき、封筒、ラベル紙 | |
| 給紙方式 | | トレイ 1 による自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙<br>セカンドトレイユニット（オプション）による自動給紙 | |

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| 給紙容量 | ● トレイ 1<br>普通紙 280 枚 /64 g/m$^2$（連量 55 kg） 総厚 25 mm 以下<br>● マルチパーパストレイ<br>普通紙 110 枚 /64 g/m$^2$（連量 55 kg） 総厚 10 mm 以下、はがき 40 枚、封筒 10 枚 / 坪量 85 g/m$^2$<br>● セカンドトレイユニット（オプション）<br>普通紙 580 枚 /64 g/m$^2$（連量 55 kg） 総厚 53 mm 以下 | |
| 排出方法 | フェイスアップ / フェイスダウン | |
| 排出容量 | ● フェイスアップスタッカ<br>100 枚（80 g/m$^2$ 未満）、10 枚（厚紙 / 封筒）<br>● フェイスダウンスタッカ<br>150 枚（80 g/m$^2$ 未満） | |
| 印刷保証範囲 | 用紙の端から 6.35 mm 以上（封筒などの特殊な用紙は除く） | |
| 印刷精度 | 書き出し位置精度：± 2 mm、用紙の斜行：± 1 mm/100 mm、<br>画像伸縮：± 1 mm/100 mm（82 g/m$^2$） | |
| ウォーミングアップ時間 | ● 電源投入後<br>60 秒以内<br>● パワーセーブモード終了後<br>32 秒以内 | |
| 使用環境条件 | ● 動作時<br>10 ～ 32°C /20 ～ 80% RH（最高湿球温度 25°C、最高乾球湿球温度差 2°C）<br>● 停止時<br>0 ～ 43°C /10 ～ 90% RH（最高湿球温度 26.8°C、最高乾球湿球温度差 2°C） | |
| 印刷品質保証条件 | 温度 10°C 時　湿度 30 ～ 73% RH、温度 32°C 時　湿度 30 ～ 54% RH、湿度 30% RH 時　温度 10 ～ 32°C、湿度 80% RH 時　温度 10 ～ 27°C、カラー印刷時　温度 17 ～ 27°C、湿度 50 ～ 70% RH | |
| 消耗品、メンテナンスユニット | トナーカートリッジ、イメージドラムユニット、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラセット | |

## ■USB メモリからの印刷仕様

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| インタフェース | USB 2.0（High Speed）Host IF | |
| ストレージデバイス | USB メモリ（最大 32 GB）<br>すべての USB メモリ製品の使用保証をするものではありません。 | |
| 対応ファイルシステム | FAT12、FAT（FAT16）、FAT32 | |
| ファイル形式 | PDF（v1.7、暗号化された PDF には非対応）、JPEG、TIFF（TIFF 6.0 Baseline）、PRN（PS/PCL） | |

## ■ネットワーク仕様

| | MC361dn | MC561dn |
|---|---|---|
| インタフェース | Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX | |
| プロトコル | TCP/IPv4、TCP/IPv6、SMTP、POP3、HTTP、SNMPv1/v3、DHCP、DNS、LPR、Port9100、BOOTP、ARP、FTP、CIFS、LDAP、SLP、Bonjour（Rendezvous）、Web Services Discovery（WSD）、NetWare、EtherTalk、NetBEUI | |
| 対応ブラウザ | Microsoft Internet Explorer 6.0 以降、Safari 3 以降、Firefox 3.0 以降 | |

# 消耗品・オプションの構成部品について

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

| 品名 | | 型名 | 説明 |
|---|---|---|---|
| トナーカートリッジ　ブラック | | TNR-C4HK1 | 標準のトナーカートリッジ |
| トナーカートリッジ　イエロー | | TNR-C4HY1 | |
| トナーカートリッジ　マゼンタ | | TNR-C4HM1 | |
| トナーカートリッジ　シアン | | TNR-C4HC1 | |
| トナーカートリッジ　ブラック（大） | | TNR-C4HK2 | 大容量トナーカートリッジ<br>（MC561dn のみ） |
| トナーカートリッジ　イエロー（大） | | TNR-C4HY2 | |
| トナーカートリッジ　マゼンタ（大） | | TNR-C4HM2 | |
| トナーカートリッジ　シアン（大） | | TNR-C4HC2 | |
| イメージドラムユニット | | ID-C4KA | イメージドラムユニット<br>（4 色 1 体型） |
| ベルトユニット | | BLT-C4H | ベルトユニット |
| 定着器ユニット | | FUS-C4J | 定着器ユニット |
| 給紙ローラセット（トレイ 1 用） | | RS-C4D | トレイ 1 用の給紙ローラ |
| 給紙ローラセット（トレイ 2 用） | | RS-C4B | トレイ 2 用の給紙ローラ |
| 給紙ローラセット（MP トレイ用） | | RS-C4E | MP トレイ用の給紙ローラ |
| セカンドトレイユニット | | TRY-C4G1 | より多くの用紙をセットしたいときに使用します。 |
| 256MB 増設メモリ | | MEM256G | メモリを増やしたいときに使用します。 |
| 512MB 増設メモリ | | MEM512D | メモリを増やしたいときに使用します。 |
| SD メモリーカード（MC561dn のみ） | | SDC-A1 | 16 GB の SD メモリーカードです。容量を増やしたいときに使用します。<br>（MC561dn には 4 GB SD メモリーカードが内蔵されています。） |
| エクセレントホワイト | A4 | PPR-CA4NA | OKI カラーページプリンタ用紙 |
| | A4（厚口） | PPR-CA4DA | |
| | A4 長尺 | PPR-CT4DA | |
| エクセレントペーパー | A4 | PPR-DA4TDB | |

注

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。
  （純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムユニットは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 ～ 35℃、湿度：20 ～ 85% RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

# ユーザサポートサービスについて

## 保証について

本製品には「保証書」は添付されていません。お客様登録をしていただくことにより、製品保証書を発行させていただきます。「COREFIDO（コアフィード）」シリーズの５年間無償保証を受けるには、お客様登録が必要です。

インターネットから弊社ホームページ（http://www.okidata.co.jp）へアクセスし、お客様登録（ご愛用登録）ボタンを押していただき、登録をお願いいたします。インターネット環境がご利用になれない場合は、お客様相談センターへお電話ください。書類にて登録ができる「お客様登録申込書」を郵送させていただきます。

メモ

- 無償修理を受けるには、お客様登録後に発行される保証書が必要となります。

## 無償保証規定

***1*** お客様の正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った使用状態）で故障が発生した場合には、保証期間内に限り保証規定に基づき、無償で修理させていただきます。

***2*** 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。

(1)保証書の提示がない場合。

(2)保証書の字句が書き換えられている場合。

(3)火災、天災、公害、塩害、異常電圧等の外部要因に起因する故障及び損傷の場合。

(4)お買い上げ後の輸送、移動時の落下、衝撃等、お取扱いが不適当なために生じた故障及び損傷の場合。

(5)説明書に記載の使用方法、または注意に反するお取扱い（不安定な電力供給、仕様に定める動作可能温度及び動作可能湿度の範囲外での使用等の使用環境の問題も含む）によって発生した故障及び損傷の場合。

(6)弊社指定の保守サービス会社以外で修理、改造された場合。

(7)接続している他の機器に起因した本製品の故障及び損傷の場合。

(8)弊社指定以外のメンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムユニット）、用紙等の使用に起因して生じた故障及び損傷の場合。

(9)正常なご使用方法でもメンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムユニット）、用紙等が自然消耗、磨耗、劣化した場合。

***3*** メンテナンス品（定着器ユニット、ベルトユニット、給紙ローラセット）、消耗品（トナーカートリッジ、イメージドラムユニット）、用紙等は本保証による保証対象とはなりません。また、パソコン本体の OS 改変やプリンタドライバソフトの改変に関しても、保証対象とはなりません。メンテナンス品・消耗品の交換については、お客様で行っていただきます。
弊社に依頼される場合は、部品代金に加えて工賃（出張費を含む）をお客様にご負担いただきます。

***4*** 製品によっては、メンテナンス品及び消耗品に該当する部品を追加する場合があります。
その場合には、当該製品のカタログ、取扱説明書等に追加されたメンテナンス品及び消耗品を記載します。

***5*** 製品の故障またはその使用上生じたお客様の直接、間接の損害につきましては、弊社はその責に任じません。

***6*** 設置場所の変更、転居、贈答等の場合で、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、お客様相談センターにお問い合わせください。

***7*** 弊社における保証は、製品の機能に関するものであり、ハードディスク等のデータ記憶部品に記憶されたデータ・プログラム・設定内容の消失または損害について保証するものではありません。

***8*** 修理を行った場合の修理内容につきましては、修理伝票等で代替いたします。

***9*** 保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

## オプション品の保証について

製品本体と同様にお客様登録をしていただくことにより、オプション品についても登録いただいた本体保証期間と同期間の保証をいたします。

## 最新版のソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

**http://www.okidata.co.jp**

## ご相談と修理について

本機の操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、沖データ製品に関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音をさせていただいております。

### お客様相談センター 0120-654-632

（携帯電話からは 03-5846-5921）

受付時間　9：00 ～ 20：00 月曜日～金曜日

9：00 ～ 17：00 土曜日

（ 但し、祝日、年末年始等を除く ）

※ 月曜日～金曜日の 17:30 ～ 20:00 及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

※ 無償保証対象外のメニューにつきましては別途、お客様相談センターへお問い合わせください。

◆ 沖データ製品のサポートサービスは（株）沖電気カスタマアドテック（OCA）が担当しております。

## 個人情報の取り扱いについて

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。

b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。

c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提共，アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。

d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

## - お問い合わせに回答できない場合について -

***1*** UNIX、Linux 環境でのお問い合わせ

***2*** アプリケーションの使い方

***3*** 問題解決に必要な情報が不足している場合

***4*** お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング

***5*** 装置の非公開仕様に関するお問い合わせ

**お問い合わせチェックシート**

**具体的な症状**

**製品の環境**
機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿＿年＿＿月
追加オプション：　なし　・　あり（　　）

**コンピュータ環境**
□Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**接続方法**
□パラレル　□USB　□ネットワーク（有線）　□ネットワーク（無線）　□TCP/IP
□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBIOSoverTCP/NetBEUI　□Bonjour(Rendezvous)　□その他(　　)

**プリンタドライバ**
プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

**アプリケーションソフト**
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

**エラー表示（正確に）**
コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
装置の操作パネルに表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
装置のLEDの状態　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

**その他**
他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない
他のコンピュータからの印刷　：□正常　□印刷できない

## 補修用部品の保有年数について

本プリンタの補修用部品の保有年数は、製造終了後 7 年間とさせていただきます。詳しくは、沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）をご覧ください。

## 製品を廃棄したい

お買い上げいただいた製品の廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。

一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。

なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

## 使用済み製品の回収について

沖データでは使用済み製品を回収するシステムを構築しております。詳しくは、沖データホームページ（http://www.okidata.co.jp）をご覧ください。

# 使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのプリンタ / 複合機の消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。

下の用紙をコピーし、必要事項を記入して FAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ 1 本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

---

**FAX 0120-107995**

沖データ回収センタ　宛

受付 No. ：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご担当者名　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ご住所　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
お電話番号　　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
回収ご希望日　　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

| | | |
|---|---|---|
| イメージドラム | ： | 個 |
| トナーカートリッジ | ： | 個 |
| 廃棄トナーボックス | ： | 個 |
| ベルトユニット | ： | 個 |
| 定着器ユニット | ： | 個 |
| インクリボンカートリッジ | ： | 個 |
| その他弊社製品 | ： | 個 |

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】

まとめた箱の荷姿で合計　：　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
フリーダイヤル 0120-640991（携帯電話からもご利用いただけます）
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

# Windows の基本手順

本書で例にしている Windows 7 以外の OS について、［**プリンタ**］/［**プリンタと FAX**］フォルダからドライバの設定画面を表示する手順を説明します。

メモ

- Windows Server 2008 R2 の手順は、Windows 7 と同じです。
- 複数のドライバをインストールしている場合は、［**プリンタ**］/［**プリンタと FAX**］フォルダにドライバごとにアイコンが表示されます。設定 / 確認したいドライバで以下の手順を行ってください。

## プロパティ画面を表示する

### ■ Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**コントロール パネル**］＞［**プリンタ**］を選択します。

***2*** OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**プロパティ**］を選択します。

### ■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**プリンタと FAX**］を選択します。

***2*** OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**プロパティ**］を選択します。

### ■ Windows 2000 の場合

***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**設定**］＞［**プリンタ**］を選択します。

***2*** OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**プロパティ**］を選択します。

## 印刷設定画面を表示する

### ■ Windows Vista/Windows Server 2008 の場合

***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**コントロール パネル**］＞［**プリンタ**］を選択します。

***2*** OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］を選択します。

### ■ Windows XP/Windows Server 2003 の場合

***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**プリンタと FAX**］を選択します。

***2*** OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］を選択します。

### ■ Windows 2000 の場合

***1*** ［**スタート**］をクリックし、［**設定**］＞［**プリンタ**］を選択します。

***2*** OKI MC561 アイコンを右クリックし、［**印刷設定**］を選択します。

# 索引


## 【英数字】

ActKey ..... 103, 104
ADF ..... 74
E メールの添付ファイル ..... 48
IP アドレス ..... 34
LDAP ..... 101
Mac OS X ..... 32
MP トレイ ..... 70, 77
Network Configuration ..... 97
PaperPort ..... 104
PIN ..... 117
TWAIN ..... 103, 104
USB メモリ ..... 113
Windows ..... 32

## 【あ行】

宛先グループリスト ..... 83
宛先指定 ..... 83
アドレスブック ..... 100, 107
イメージキャプチャ ..... 104
イメージドラムユニット ..... 186
インストール
　スキャナドライバ ..... 97
　ファクスドライバ ..... 34, 43
　プリンタドライバ
　（Mac OS X） 36, 44
　プリンタドライバ
　（Windows） 34, 43
エラーメッセージ ..... 130
往復はがき ..... 65

## 【か行】

カスタムサイズ ..... 72
紙づまり ..... 123
記号 ..... 30
機能切り替えキー ..... 29
給紙ローラ ..... 186
グループリスト ..... 100, 108
継続読取 ..... 79
継続読取モード ..... 79
原稿ガラス ..... 74
原稿のセット ..... 73
コピーキー ..... 76

## 【さ行】

サーバの設定 ..... 48
自動原稿送り装置 ..... 74
受信モード ..... 87
詳細検索 ..... 101
スキャンする ..... 100
ステータスキー ..... 130
ストップキー ..... 76, 86
設置条件 ..... 15
節電キー ..... 22
送信履歴 ..... 84, 100

## 【た行】

代行受信ランプ ..... 87
ダイヤル記号 ..... 83
単純検索 ..... 101
定着器ユニット ..... 186
停電 ..... 161
テンキー ..... 30
電源の条件 ..... 20
電話待機 ..... 88
動作環境 ..... 32
登録
　短縮ダイヤル ..... 90
トナーカートリッジ ..... 186

## 【な行】

ネットワーク接続 PC ..... 109

## 【は行】

はがき ..... 65
パスワード ..... 120
発信元名 ..... 85
封筒 ..... 66
フェイスアップスタッカ ..... 73
フェイスダウンスタッカ ..... 72
プリンタドライバ ..... 110
プリントキー ..... 113
プロファイル ..... 58
ベルトユニット ..... 186

## 【ま行】

文字入力 ..... 30

## 【や行】

ユーザ名 ..... 120
用紙サイズ ..... 65, 68, 72, 110
用紙サイズの設定 ..... 71
用紙トレイ ..... 68, 72
用紙の厚さ ..... 65, 68, 74

## 【ら行】

ラベル紙 ..... 66
両面印刷 ..... 68, 72
両面コピー ..... 79

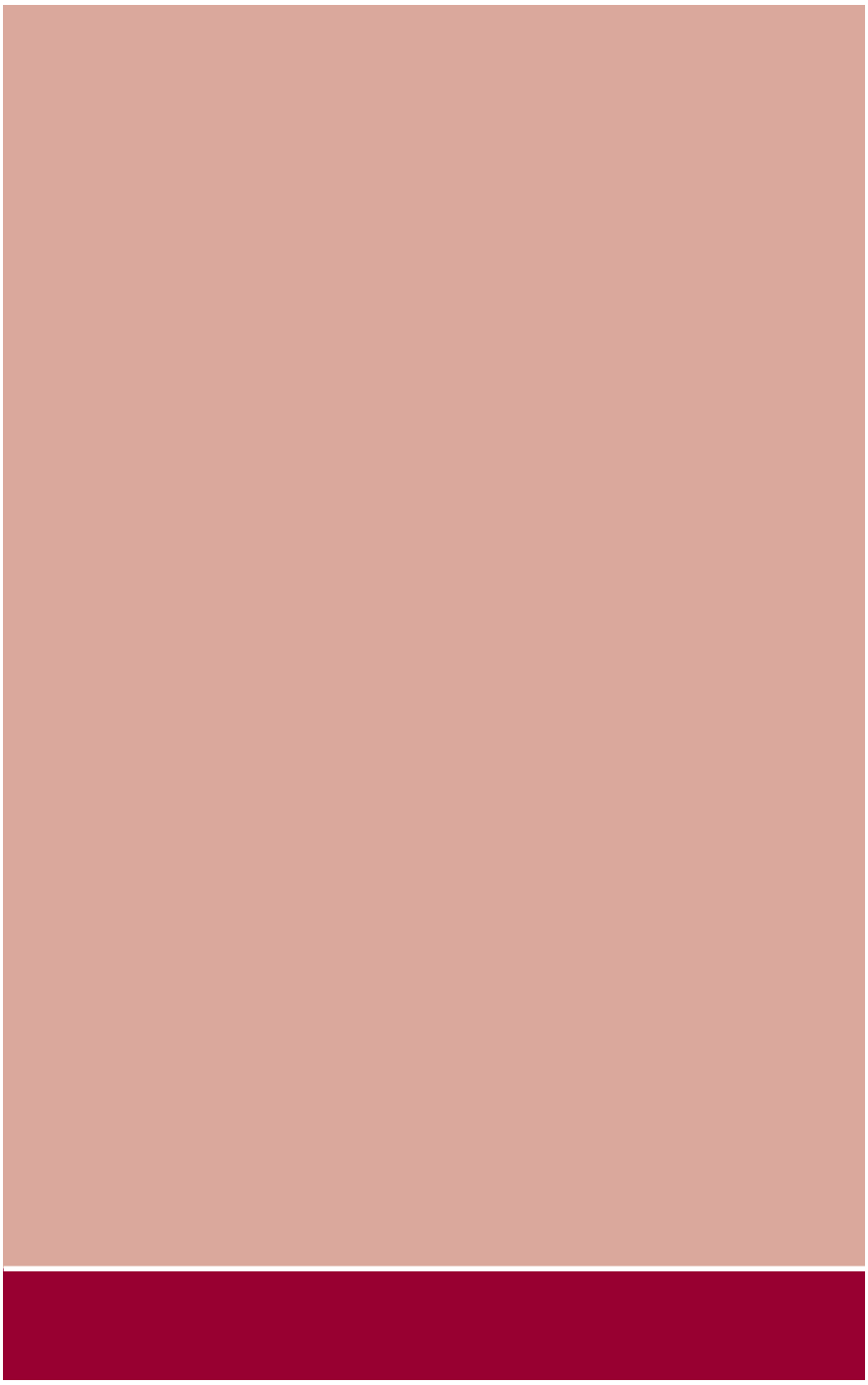
カラー複合機

# MC361dn/MC561dn

ユーザーズマニュアル（基本編）

発行日　2010年 9月　第２版
発行者　株式会社 沖データ

44669901EE



株式会社 沖データ

お客様相談センター
0120-654-632
（携帯電話からは03-5846-5921）

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）

44669901EE Rev2